

令和2年度

# 事業報告書



「すべては愛から始まる」

社会福祉法人 成仁会

特別養護老人ホーム 成仁ハウス百年の里  
特別養護老人ホーム 富美岡荘  
養護（盲）老人ホーム 祥風苑  
地域密着型介護老人福祉施設 蔵ハウス大船渡  
認知症対応型共同生活介護事業所 まちぐるみ  
大船渡市デイサービスセンター

小規模多機能型居宅介護施設 ひころいちの郷  
富美岡荘 ホームヘルプ事業所  
大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所  
富美岡荘 指定居宅介護支援事業所  
大船渡市福祉の里在宅介護支援センター  
社会福祉法人 成仁会 S Gビル



# 基本理念

「すべては愛から始まる」

社会福祉法人 成仁会

## 我が法人の基本理念・方針は、創業者精神にある

成仁会は、福祉の理想を実現し、皆が幸せに暮らすために、社会福祉法及び介護保険法に基づき、深い愛情と尊敬、法人をあげて至誠の心と情熱を持ち、施設経営事業の推進と地域福祉に貢献することを基本理念とする。

- 一、博く愛すること
- 一、礼をもって老者に仕えること
- 一、広く万人のために活動すること
- 一、健康を大切にすること
- 一、生涯学ぶこと

### ＜成仁会の思い＞

私たち「成仁会」は、法人開設から46年目となり、社会福祉法・介護保険法の理念に基づき、さらに創業者精神を堅持し、広く深く事業の発展と安定のためまい進するものである。その創業者精神とは、創業者である山崎伊一郎、山崎シゲ会長の思い「人間愛」から始まり、当法人の「すべては愛から始まる」を法人の基本と位置づけ、慈しみ、愛情、そして、高齢者が困難な時こそ「どうにかしてあげられないか」の意志表示と行動から始まったものである。

山崎シゲ会長のケアの哲学と思想は以下のものであり、これを法人の方針とする。

- ① 相談されたらいやとは言わないケアの実践とサービス開発
- ② 看取りを尊重できることが究極のケア、ケアの根源
- ③ 食べる喜び、食べたいと思う心を尊重するケア
- ④ 不安に寄り添い、和らげるケア
- ⑤ 生きることを喜び合えるケア
- ⑥ 一期一会のケア
- ⑦ ケアの言語化、データ化によるケアの科学化、見える化
- ⑧ 地域を愛し、地域に愛されるケア

- ⑨ 「老い」を尊重し、「老い」に礼を尽くし、感謝し、「老い」に学ぶケア
- ⑩ 職員が人間として成長し、輝くケア

我々「成仁会」は、この高齢者福祉への愛情と情熱を掲げ、高齢者の尊厳と暮らしを守り、「相手の身になって」を真に実践し、高齢者サービスを利用する方々のために、グループ法人である社会福祉法人社の里福祉会とともに実行するものである。

### <法人の目指す姿>

#### “生きていくことへの全人的サポートを目指す”

##### ◎施設サービス

一人ひとりが、住みやすく生活しやすく、安心してそれまでの自律的な暮らしが継続できる施設サービスを目指す。

##### ◎在宅サービス

住み慣れた地域において、それぞれの自律的な暮らしが、安定し、安心して継続できる在宅サービスを目指す。

##### ◎全人的にみつめる

その人の人生のすべてを理解することに努め、尊厳ある介護サービスの提供を目指す。

### <「至誠」を貫く>

「至誠を貫く」とは、その時その時に与えられた仕事に本気で取り組むということです。それが当たり前になれば、誰の前であっても、与えられた仕事に真剣に取り組む姿がほんとうの自分の姿になるのです。そして、知らず知らずのうちに誰からも頼られる人になるのです。この人だったら「しっかりと責任を果たすだろう。」と誰もが思うようになります。いわば周囲からの信頼が「自分の役割」に気づかせてくれるのです。

また、「至誠」すなわち誠を尽くし、精いっぱい真心を持って相手に話しえくことで、その相手に必ずわかってもらえる、心に思うことを言葉にしてこそ初めてわかり合えるのです。

### <成仁会 五つの思い>

- 一、真心を込めて入居者様と接しましたか
- 一、言ったことをきちんと行うことができましたか
- 一、気持ちを留めていましたか
- 一、自分のできる限りのことができましたか
- 一、最後まで諦めずに行うことができましたか

## <職員のあるべき姿>

介護員を含む私たち全職員は、利用者・入居者の皆様に対して、「じゃあ明日します」と言うことは、有ってはならないことです。明日という日が必ずあるとは限りません。今、その時その瞬間に行動、実践することが、利用者・入居者皆さまの「生命を守り」「生きがいを守り」「心を守り」その人の「尊厳を守る」ことになるのです。

更に、介護の仕事は、一人の力では決してうまく行かず、チームワークが必要である。介助する職員によってサービスや対応が違えば、入居されている方は戸惑ってしまうことになる。どの職員が現場に入っても、同じサービスを提供できるようにするのは、普段から職員同士が互いに理解し合うことが不可欠です。

そのため、「心を手にして」・「心を声にして」・「心を瞳にして」、職員は思っていることを相手に伝えることが必要です。会長・理事長の施設づくりを施設長→副施設長→課長→担当職員へ広く伝えることによって、全職員が思いを共有し、心を一にして日々の仕事に臨むことができるものであります。

全職員は、基本理念である「すべては愛からはじまる」を胸に刻み、シゲ会長が創業来45年間貫いて来た、とことんとことん「相手の身になって」やさしく思いやる気持ちを心にして実践することが、介護の姿勢にも通じるものであり職員のあるべき姿であると考えられます。

## < 山崎シゲ会長の栄誉 >

### ◎平成最後の御下賜金を拝受

山崎シゲ会長は平成 30 年 12 月 23 日、平成最後の御下賜金を拝受する栄誉にあずかりました。

これは、山崎シゲ会長の「相手の身になって」優しく、真心をこめて高齢者福祉に貢献してきた功績に加え、長年に亘る公明正大な法人経営と先進的技術を取り入れた施設運営が高く評価されたものです。令和という時代の幕開けに私たち役職員一同は、改めて山崎シゲ会長の高齢者介護に寄せる熱い思いを共有し、入居者の皆様をはじめ地域の高齢者の皆様に安心して生活していただけるよう地域福祉の発展に邁進する決意を新たにしました。



平成 30 年 12 月 25 日伝達式にて（岩手県知事より）

### ◎埼玉医科大学病院の客員研究員に任命

山崎シゲ会長は令和 2 年 11 月 13 日、埼玉医科大学病院緩和医療科の客員研究員に任命されました。山崎シゲ会長は、常に質の高い理想の介護を実現するため、早い段階からコンピュータを導入してケアの科学化とケアの見える化に取り組んできました。

このことが埼玉医科大学病院の研究チームの目に止まり、同病院の「医療介護連携プロジェクト」の客員研究員に山崎シゲ会長が任命されました。さらに同日「病態変化感知システム」の実証化テストの対象施設に私たちの法人と成仁会の施設が認定されたことは、高齢者介護の質の向上に取り組んできた山崎シゲ会長の功績に他なりません。



令和 2 年 11 月 13 日辞令交付式  
埼玉医科大学病院・岩瀬教授、山崎シゲ会長



山崎シゲ会長への  
客員研究員の辞令  
成仁会への実証  
化テスト施設の  
認定書

## 目 次

○ 基本理念	
○ 社会福祉法人成仁会	
令和2年度を振り返って	2
1 社会福祉法人成仁会事業報告	5
2 社会福祉法人成仁会の沿革	11
3 社会福祉法人成仁会役員	17
4 社会福祉法人成仁会経営施設の概要	18
5 評議員会の開催状況	26
6 理事会の開催状況	26
7 監事による監査会の開催状況	28
8 独立監査法人による監査状況	29
9 苦情解決第三者委員会の開催状況	30
10 社会福祉法人成仁会組織図	37
11 備蓄品管理状況	38
社会福祉法人成仁会 1年間の様子	40
○ 防災訓練報告	
防災訓練実施概要	44
社会福祉法人成仁会自衛消防隊組織図	50
各事業所防災訓練の様子	51
○ 特別養護老人ホーム 成仁ハウス百年の里	
令和2年度の事業を振り返って	58
1 各課の事業実施状況	
(1) 総務部総務課	59
(2) 事業部生活相談課	60
(3) 事業部介護課	66
(4) 事業部看護課	69
(5) 事業部栄養管理室	71
2 委員会の開催状況	76
3 職員研修の実施状況	84
成仁ハウス百年の里 1年間の様子	85
○ 特別養護老人ホーム 富美岡荘	
令和2年度の事業を振り返って	90
1 各課の事業実施状況	
(1) 総務部総務課	91
(2) 事業部生活相談課	91
(3) 事業部介護課	92
(4) 事業部看護課	92
(5) 事業部栄養管理室	93
2 委員会の開催状況	107

3 職員研修の実施状況	.....	116
富美岡荘 1年間の様子	.....	117
<b>○ 養護（盲）老人ホーム 祥風苑</b>		
令和2年度の事業を振り返って	.....	124
1 各課の事業実施状況		
(1) 総務課	.....	125
(2) 生活相談課	.....	125
(3) 介護課	.....	132
(4) 看護課	.....	134
(5) 栄養管理室	.....	136
2 委員会の開催状況	.....	139
3 職員研修の実施状況	.....	145
祥風苑 1年間の様子	.....	146
<b>○ 地域密着型介護老人福祉施設 蔵ハウス大船渡</b>		
令和2年度の事業を振り返って	.....	154
1 各課の事業実施状況		
(1) 生活相談課	.....	155
(2) 介護課	.....	158
(3) 看護課	.....	161
(4) 栄養管理室	.....	163
2 委員会の開催状況	.....	168
3 職員研修の実施状況	.....	175
4 運営推進会議の実施状況	....	177
蔵ハウス大船渡 1年間の様子	.....	178
<b>○ 認知症対応型共同生活介護事業所 まちぐるみ</b>		
1 各課の事業実施状況		
(1) 生活相談係	.....	182
(2) 介護係	.....	183
2 入退所の状況	.....	184
3 委員会の開催状況	.....	185
4 職員研修の実施状況	....	189
まちぐるみ 1年間の様子	.....	198
<b>○ 大船渡市デイサービスセンター</b>		
令和2年度の事業を振り返って	.....	202
1 各係の事業実施状況		
(1) 総務相談係	.....	203
(2) 介護係	.....	204
(3) 看護係	.....	205
2 職員研修の実施状況	.....	206
大船渡市デイサービスセンター 1年間の様子	.....	210

<b>○ 小規模多機能型居宅介護施設 ひころいの郷</b>	
令和2年度の事業を振り返って	..... 214
1 各係の事業実施状況	
(1) 総務相談係	..... 215
(2) 介護係	..... 216
(3) 看護係	..... 217
2 職員研修の実施状況	..... 220
3 運営推進会議の実施状況	..... 221
ひころいの郷1年間の様子	..... 222
<b>○ 富美岡荘ホームヘルプ事業所</b>	
令和2年度の事業を振り返って	..... 226
事業実施状況	..... 227
<b>○ 大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所</b>	
令和2年度の事業を振り返って	..... 232
事業実施状況	..... 233
<b>○ 富美岡荘指定居宅介護支援事業所</b>	
令和2年度の事業を振り返って	..... 238
事業実施状況	..... 239
<b>○ 大船渡市福祉の里在宅介護支援センター</b>	
令和2年度の事業を振り返って	..... 244
事業実施状況	..... 245
<b>○ 社会福祉法人成仁会 SGビル</b>	
事業内容 ほか	..... 248

令和2年度

## 事 業 報 告

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

社会福祉法人 成仁会

## 令和2年度を振り返って

### < 新型コロナ対策 >

令和元年（2019年）12月、中国武漢市で原因不明のウイルス性肺炎が相次いで発生していたが、日本国内では対岸の火事という受け止めでした。ところが、令和2年1月、武漢市滞在後に帰国した中国人が国内初の感染と確認され、また春節で入国していた武漢市のツアー客を乗せたバスの運転手の感染や同年2月、横浜港に再寄港した英國船籍の大型クルーズ船内の感染拡大によって、一気に国内の危機感が高まりました。

国内感染が拡大する中、岩手県へも令和2年7月、大船渡市では令和3年2月に中学校でクラスター感染が発生し、陽性者と同居家族であった当法人職員1名も罹患しました。当法人では、大船渡地域で感染者が判明すると同時に、連日感染予防対策会議を重ね、水際対策を全力で行った結果、入居者・職員への二次感染は防ぐことができました。

決算年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行の真っ只中にあり、厚生労働省は、高齢者や基礎疾患有する人が感染した場合に重症化リスクが高いことから、全国の社会福祉施設等に対し、常時マスク着用や手洗いの励行など、基本的な感染予防対策の再徹底を強く求めるに至りました。

私たち法人は、こうした國の方針を真摯に踏まえ、入居者・利用者の皆様の命と健康を守ることを第一に掲げて、全職員に出勤前の検温や勤務中の常時マスク着用を義務付けたほか、全職員を対象にしたコロナ抗原検査を複数回実施、面会制限、夏祭り・忘年会の中止、理事会の決議の省略、リモートでの会議実施など、ありとあらゆる感染予防の対策を講じてまいりました。

### < 事業の概況 >

決算年度は、東日本大震災の発災から10年の節目の年で、復興期から成長期への転換が期待されていましたが、突然の新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行の影響で、法人恒例のイベント事業は軒並み中止を余儀なくされました。

その一方で、本業である介護事業そのものに専念できた一年でした。職員一人ひとりが「うつらない・うつさない」という強い意志をもって、それぞれの職務に向き合うことができました。入居者様への面会禁止期間が長くなり、とりわけ入居者の皆様の「精神的な安定」に係るご家族等との面会の在り方については、職員が知恵を出し合いテレビ電話、リモートによるオンライン敬老会など感染状況を踏まえ様々に工夫を凝らしたほか、就業に関する規則規程の見直し、4月から同一労働同一賃金の実施によって働き方改革にも取り組みました。

私たち成仁会は、昭和51年（1976年）の設立以来、基本理念「すべては愛から始まる」のもと、全職員一丸となって、入居者様、利用者様、そしてそのご家族様すべての皆様が満足していただけるサービスの提供に誠心誠意努めて参りました。

新たな潮流として注目されていた「科学的介護」の導入に向け、埼玉医科大学病院 緩和医療科の「医療介護連携プロジェクト」に参画し、令和3年度からスタートする「病態変化感知システム」の実証化テストの準備作業にも着手してきました。

こうした取り組みができましたのも、評議員、理事・監事の皆様のご支援の賜と心から感謝を申し上げます。今後とも、役職員一同、入居者・利用者の皆様の幸せを願い「心を手にして」「相手の身になって」をひたすら実践してまいりますので、これまでと同様ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



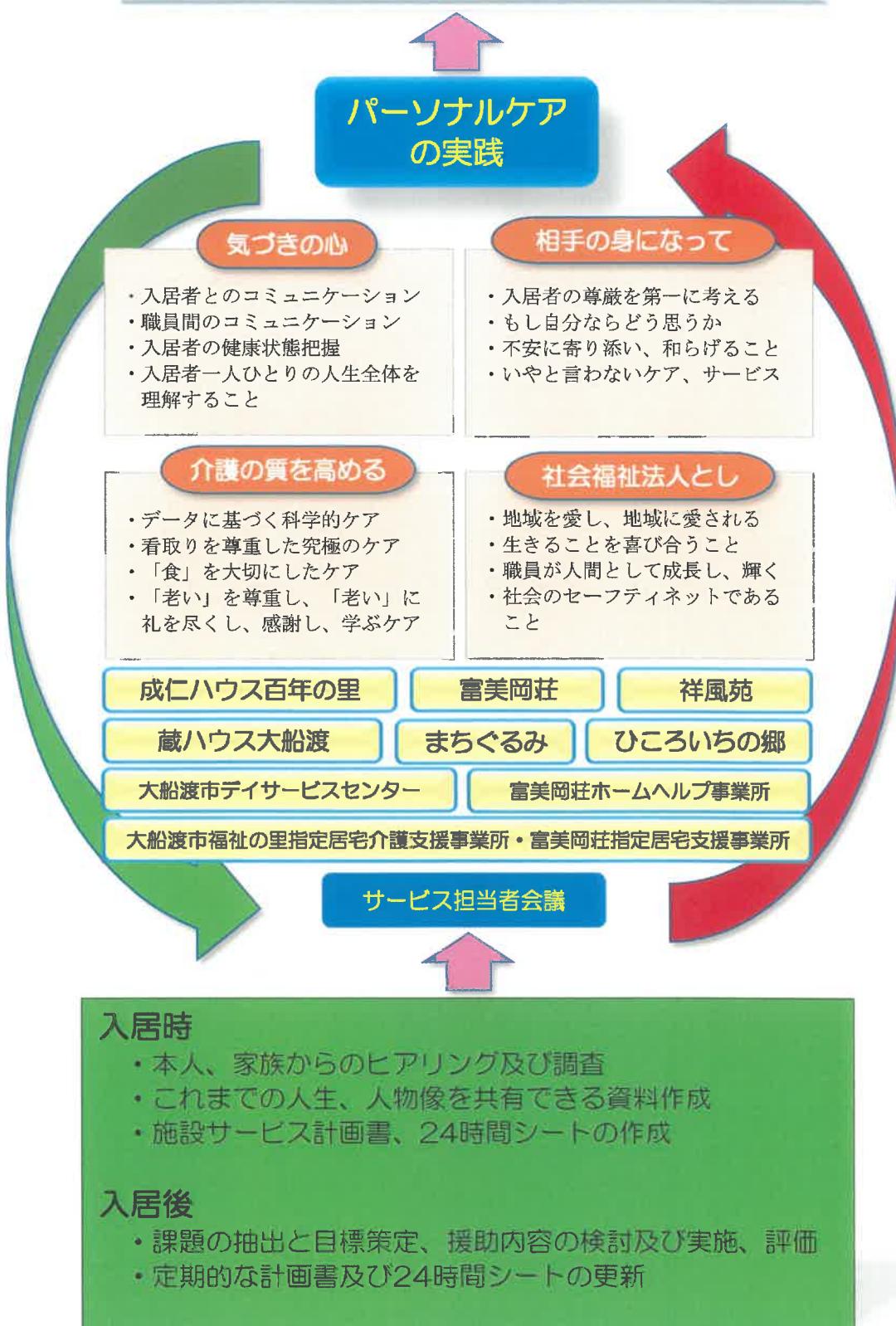
社会福祉法人 成仁会

会長 山崎シゲ

理事長 山崎和彦

# 成仁会が実践する施設運営

その方が歩んできた人生を理解し、施設での人生のラストステージを安心して過ごして頂く



# 1 令和2年度事業報告

## I 利用者本位のサービス提供

我が法人は、個人の尊厳保持、権利擁護、利用者の自律的な暮らしへの全人的なサポートを目指した利用者本位のサービスを提供する。

### (1) パーソナルケアの徹底とユニットケアの追求

#### 【実績】

- ◎ パーソナルケア実践のため、一人ひとりの実態調査を充実させ、幼少期から成人期、現在に至るまで人生の背景等、生活歴、暮らし方、利用前の生活パターン、病歴などから、その方を全人的に理解したカンファレンス・ケアの実践に努めた。「その人を良く知る」ことで、「相手の身になって」ケアを実践することが可能となり、入居者一人ひとりの尊厳を保持し、各ユニットにおいて、入居者が他の入居者と人間関係、社会的関係を築き、自律的な日常生活を安心して営めるよう、徹底した支援に努めた。
- ◎ 嘱託医である山崎内科医院と連携を密にし、入居者の皆様へ適切な医療の提供とご家族の意向に添った看取りの充実に努めた。

### (2) サービス向上の取組

利用者の皆様に安心して過ごしていただけるよう、常に介護サービスを評価・検証しながら、質の向上に取り組む。

#### 【実績】

- ◎ 利用者の皆様と直接関わる職員が、日々の介護を振り返り評価・検証し、これまで以上に快適に過ごすことができるよう、サービスの質の向上に努めた。また、日常の様子や状況については、広報誌やホームページによる情報発信を行い、入居者皆様の個々の状況については、オンライン面会等、連携良くご家族に都度情報提供を行うとともに、確実かつ迅速な説明に努めた。

### (3) 危機管理対策の強化

自然災害など予期せぬ事態が発生した場合に、被害の拡大防止と業務継続に向けた危機管理対策に努める。

## 【実績】

- ◎ 令和3年2月13日深夜、福島県沖を震源地とする震度5弱の強い地震が発生。日頃の訓練より、深夜にもかかわらず多くの職員が施設へ駆けつけ、入居者の安全第一に努めた。その後、東日本大震災の経験を踏まえて各種備蓄品の点検確認を改めて行い、備蓄の追加増強と災害に備えた命を守る行動の在り方について周知徹底を行った。
  - ・発電機の動作確認
  - ・公用車、燃料タンクのこまめな満タン給油
  - ・水・備蓄食料品・日用介護品の追加備蓄
  - ・医薬品の在庫確認
  - ・非常時の通信手段の確認
  - ・災害時、津波発生時の安全第一を考慮した個々の行動確認
- ◎ 新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス、結核など感染予防の対策に万全を期すとともに、感染拡大を最小限に抑えるための危機管理対策会議を状況に応じて都度行い、関係機関と連携した対応に努めた。

### (4) 利用者情報の共有

ケアマネやヘルパーなど在宅サービス部門が現場で得た情報を施設事業所と共有し、有効活用する。

## 【実績】

- ◎ 在宅利用者状況を居宅・ヘルプ事業所と施設事業所で連携を密にし、在宅高齢者の現状を法人全体で認識共有し、サービスの提供に努めた。

## II 職員の意欲・能力向上への取組

我が法人は、最大の財産“人財”である職員が誇りをもって働き続けられるよう、職員の意欲・能力向上に取り組む。

### (1) 職員教育・研修の充実

職員が介護の専門性や人間力の向上に積極的に取り組めるよう、職員教育・研修の充実を図る。

## 【実績】

- ◎ 法人主催の各種研修については、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、

各施設各委員会が中心となって施設内研修の充実を図った。ただし、感染予防研修については、委員会と看護師が連携し、少人数による研修を重ねて行い習得に努めた。また、外部研修については、収集型からオンライン研修に切り替わることも増えたことから、インターネットを介して研修に参加することが可能となり、知識の習得が可能となった。

## (2) 労働環境の維持向上

職員が安心して働き続けられるよう、公正な人事・給与や働きやすい職場づくりに取り組む。

### 【実績】

- ◎ 就業に関する以下の規則規程の見直しを行い、全職員が年次休暇を取得しやすい環境に努めるとともに、ヘルパー職員も積極的に年次休暇が取得できるよう適正な待遇に努め、働きやすい職場づくりに努めた。
  - ・職員就業規則
  - ・パートタイム職員就業規則
  - ・職員定年規程
  - ・定年職員の再雇用に関する規程
  - ・給与規程
- ◎ 職員の勤務態度や意欲・能力・努力などの人事評価に基づいた公正な人事・給与の処遇を推進し、職員の資格取得へ積極的な働きかけと下支えに努め、法人施設への帰属意識や仕事に対するモチベーションを保ち、安心して働き続けられるような職場づくりに努めた。
- ◎ 岩手県補助事業を活用して平成31年9月に導入した介護ロボット（見守りCUBE）の設置効果として、転倒リスクの高い入居者の状況確認が可能となったことから、転倒リスクを回避することができ、業務の効率化と介護労働の負担軽減による労働環境の改善の実現に努めた。

## (3) 戰略的な人財確保対策

職員の離職防止や新規採用・受入れなど、それぞれに 対応した戦略的な人財確保対策に取り組む。

### 【実績】

- ◎ ホームページの更新をタイムリーに行うことによって、ご家族様の閲覧も増え、介護の仕事内容や魅力も積極的に発信したことから、求職者からホームページを経由した問い合わせが増加し、職員採用にも結び付けることができた。新卒採用についても、採用実績のある大学、専門学校、

高校とそれぞれの対象者を意識し、採用に向けた積極的な働きかけを行い、人財確保の取り組みに努めた。また、外国人実習生の受け入れ準備についても、コロナ収束状況を見極めながら情報の収集に努め、準備を進めるに努めた。

### III 経営方針：地域まるごと支え合いの促進

我が法人は、地域の多様な主体と連携した各種の貢献活動を通じて、地域をまるごと支える共生社会の実現を促進する。

#### (1) 地域連携包括事業の実施

地域の多様な主体と連携し、支援を必要とする地域住民の課題を受け止めながら、包括的な相談支援を行う。

##### 【実績】

- ◎ 東日本大震災から 10 年が経過し、災害公営住宅等への移住もあり住まいの状況が変化する中、新型コロナウィルス感染症の蔓延により、在宅高齢者は外出自粛を余儀なくされ、地域とのつながりが希薄になっている。ケアマネージャーはヘルパーや近隣の地区公民館等の方々と連携を密にしながら定期的に訪問を行い、在宅介護の充実を図りながら、必要なサービス利用の促進と丁寧な寄り添い型の相談支援を行い、安心して暮らせる在宅生活の継続支援に努めた。

#### (2) 公益的取組の推進

地域の多様な福祉ニーズや課題等への社会貢献として、地域の支え合い活動と連動した公益的取組等を推進する。

##### 【実績】

- ◎ 日頃市地区において、地区公民館や地区助け合い協議会と連携しながら介護予防教室を開催し、これまで培ってきた専門性やノウハウを活用し、地域住民の方々と意見交換や介護予防促進のお手伝いを図りながら、社会貢献活動の取り組みを行った。
- ◎ IWATE あんしんサポート事業に参画し「福祉サービスを提供するに当たっての責務」を果たすべく、福祉的課題を抱える方の自立サポートを岩手県市町村行政・県市社会福祉協議会等と連携して取り組みに努めた。

## IV 経営方針：持続可能で活力ある法人経営

我が法人は、経営ガバナンスの強化や適正な業務執行と財務管理により、持続可能な活力ある法人経営を目指す。

### (1) 経営ガバナンスの強化

評議員会・理事会の内部統制機能の発揮や監事監査の実施等により、自律的で適正な法人運営を行う。

#### 【実績】

- ◎ 評議員会・理事会を開催し、役割・権限に基づく審議と意思決定を適切に行い、法人の内部統制が確実に機能する適正な法人運営を行った
- ◎ 法人の自主点検に加え、法人の監事による業務監査と会計監査を実施し、第三者（大光監査法人）による外部監査を受け、適正な業務執行と効率的な経営推進と公正で安定した法人運営に努めた。

### (2) 事業計画の進捗管理

事業計画の円滑な推進に向け、定期的な検討会議による 事業の検証・評価・見直しなど、確実な進捗管理を行う。

### (3) 財務・資産の適正管理

財務状況の把握・分析や法人保有の遊休資産の有効活用など、コスト意識をもった財務・資産の適正管理に努める。

#### 【実績】

- ◎ 毎月財務会議を実施し、全体及び施設ごとの事業進捗状況や財務状況を把握・検証し、確実な事業の推進に努めた。また、法人主導による運営会議、連絡会議開催により、法人本部・施設・事業所間の意識共有と円滑な事業の推進に努めた。
- ◎ 保有している土地の活用等、デイサービス事業所、グループホーム、サロン等を兼ね備えた複合的な総合福祉施設の開設に向けた検討を行った。

#### (4) 施設等整備の取組及び収益事業の充実

介護を要する高齢者等が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるような取組を推進する。

##### 【実績】

- ◎ 地域に密着した事業所運営を念頭に、在宅の要援護者が適切に介護サービスを利用できるよう、既存設備の有効活用しデイサービスセンターの定員増員に向けた準備を行った。
- ◎ 大船渡市ではもとより岩手県内においても、新型コロナウイルス抗体検査キットや抗原検出キットの取扱いをいち早く始め、新型コロナウイルス感染症に関する事業と微量血液検査事業と併せ、地域の方々の健康と未来に貢献する事業としての役割を果たしながら、法人の財源確保に努めた。

## V 法人の歩みの追想

創業から45年を迎えるのを機に、記念事業を実施する。

#### (1) 法人創立45周年記念事業の実施

これまでの法人の歩みを振り返るとともに検証し、今後の事業運営に資するため記念事業を実施する。

##### 【実績】

- ◎ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、取組が困難であったため、次年度での取組としたい。

## 2 社会福祉法人成仁会の沿革

社会福祉法人成仁会は、昭和46年気仙広域圏事業として、昭和51年度建設計画が策定された。昭和49年8月に気仙広域首長会議で、特別養護老人ホームの建設と運営は社会福祉法人とするべきとの報告がなされ、大船渡市より特別養護老人ホーム建設の打診が山崎伊一郎（初代理事長）にあり、気仙地域の各市町の支援及び有志の協力により、同年10月山崎伊一郎が大船渡市長に特別養護老人ホーム建設計画の申出をし、昭和50年3月に事業計画協議書を提出する運びとなり、身体上又は精神上著しい障害があるため常に介護を必要とし、かつ家庭においてこれを受けることの困難なお年寄りを介護し、老後を心配なく豊かに日々を送って頂く老人福祉施設「特別養護老人ホーム富美岡荘」を建設することにした。

昭和50年12月25日社会福祉法人成仁会設立認可（第1114号）。昭和51年1月19日社会福祉法人成仁会設立登記（山崎伊一郎初代理事長）。同年5月1日特別養護老人ホーム富美岡荘を開設（50床）した。

昭和55年2月17日富美岡荘の定員を変更（定員105床）。昭和58年4月1日老人居宅生活支援事業の開始（定員10床）。昭和60年2月26日福祉の里整備推進協議会に参加。平成4年6月1日大船渡市長より大船渡市デイサービスセンターの運営委託を受け、同年6月25日大船渡市長と盲養護老人ホーム用地の土地使用貸借契約締結をし、平成5年4月1日養護（盲）老人ホーム祥風苑を開設（定員50床）した。平成6年3月15日特別養護老人ホームショートステイ専用室棟の（定員20床）の利用開始となり、同年10月1日大船渡市長より独居のお年寄りの方々への配食訪問サービス事業を開始した。平成9年4月1日大船渡市長より富美岡荘ホームヘルプ事業所の受託を受けた。

平成12年4月1日より介護保険制度開始に伴い、介護老人福祉施設富美岡荘、富美岡荘ショートステイ事業所、大船渡市デイサービスセンター、富美岡荘ホームヘルプ事業所、大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所を開始し、同年7月1日より地域に密着した相談業務を目指し、盛町に富美岡荘介護センターを開所した。

このように当法人は40年余の歴史があり、山崎シゲ会長は常日頃、「月日が変われど、制度・政策が変われど、『利用者の尊厳』『利用者の幸せ』『愛する』は変わらない」との信念で、40年間基本のケアを実践してきた。

さらに、平成7年10月に厚生省並びに岩手県の「ケアプラン評価モデル事業」指定施設として、富美岡荘にコンピューターシステムを導入し、科学的データを基にしたケア、全人的なケアプラン：パーソナルケアを確立・実践してきた。

平成18年3月には、成仁会のロゴマークを制定。このロゴマークは「私たちの原点は、創設者である山崎伊一郎・山崎シゲ会長の精神である、相手の幸せを心から願う姿勢から始まる。樹の年輪には、ここでの時間を生きていく人々に幸せな歳を積み重ねてほしいという願いが込められている。また、外側の円には人々の結びつきを現し、愛を育む姿を表現している。成仁会の愛のかたちを、これからも共に育んでいけるように。」という思いから制作をした。職員の帰属心を高め、「利用者の幸せ」を願って成仁会の役職員が一致団結していく証としての社章とした。

また、地域密着型サービス事業 地域密着型介護老人福祉施設蔵ハウス大船渡及びグループホームまちぐるみは、盛町内の各種団体から事業への陳情書を大船渡市に提出した旨の報告を受け、応募申込書を提出し、同年9月14日には大船渡市から今事業の候補決定を受けた。盛町での事業は、施策が求める“日常生活圏域を基本としたサービス体系”に適した立地環境で、建物も街並みに沿った昔ながらの蔵造りとした。

平成12年4月1日から施行された介護保険制度の導入によって、高齢者介護のあり方は大きく変容しつつある。成仁会は、「高齢者が、尊厳をもって暮らすこと」を確保することが最も重要であると考え、高齢者がたとえ介護を必要とする状態になっても、「その人らしい生活を自分の意思で送ること」を可能とすること、すなわち「高齢者の尊厳を支えるケア」の実現を目指す施設づくりに努めている。

平成20年7月22日に大船渡市で開催された海フェスタいわてにご臨席された、秋篠宮同妃両殿下が養護（盲）老人ホーム祥風苑にお成りになり、山崎シゲ会長から施設についてお尋ねになり、また入居者に親しくお声をお掛けになった。



平成22年4月29日に山崎シゲ会長が春の叙勲瑞宝双光章受章。

平成23年3月11日、東日本大震災発生。富美岡荘、祥風苑、デイサービスセンターで避難者約500名を受け入れ、蔵ハウス大船渡も避難者約100名を受け入れた。結果的には総勢1000名を超える大所帯を受け入れ続けた。地盤沈下や外壁に亀裂が入るなど、富美岡荘が半壊認定を受ける。また、富美岡荘大船渡介護センターは津波により流出（全壊）した。

平成27年4月1日、日頃市町に小規模多機能型居宅介護施設【ひころいちの郷】を開設した。

平成27年5月1日、立根町に特別養護老人ホーム【成仁ハウス百年の里】（定員81名）及び【百年の里ショートステイ事業所】（定員21名）を開設した。

平成30年4月16日、太陽福祉文化賞功労賞を受賞。



平成30年5月18日、特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里が、医療福祉建築賞 2017 受賞。



平成30年12月23日、天皇陛下より御下賜として金一封を賜る。



平成30年12月25日伝達式（岩手県知事より）

#### 【准看護師養成事業】

平成26年度、看護師不足の解消を図る為、成仁会職員から募集し、公費で看護師を養成することとし、気仙沼市医師会付属準看護学校に2名が受験して合格した。平成26年4月7日より入学し、2年間履修する。平成27年度生募集に、2名が気仙沼市医師会付属準看護学校を受験して合格した。合計4名の職員が准看護師養成事業により履修。平成28年3月に2名が卒業し、准看護師の国家試験に合格した。

## 社会福祉法人成仁会の沿革

許可年月日・番号	昭和50年12月25日第1114号	設立登記年月日	昭和51年1月19日
昭和46年	気仙広域圏事業とし、養護老人ホームの昭和51年度建設計画が策定される		
49. 8. 12	気仙広域首長会議に特別養護老人ホーム建設と運営は社会福祉法人とすべきとの報告がされる		
10. 25	山崎伊一郎、大船渡市長に特別養護老人ホーム建設計画の申出する		
10. 31	大船渡市助役、県へ建設計画を説明		
50. 3. 5	特別養護老人ホーム建設計画協議書提出		
4. 29	社会福祉法人成仁会設立準備総会開催		
4. 29	山崎伊一郎・山崎シゲと特別養護老人ホーム用地の土地使用貸借契約締結		
6. 27	気仙地域各市町の支援、山崎伊一郎及び有志の協力により特別養護老人ホームの設置の要望がまとまり、社会福祉法人成仁会認可申請書提出		
12. 25	社会福祉法人成仁会設立認可（第1114号）		
51. 1. 19	社会福祉法人成仁会設立登記（初代理事長 山崎伊一郎）		
5. 1	特別養護老人ホーム富美岡荘開設（定員 50床）		
53. 2. 26	気仙広域圏協議会に増床（50床）計画を説明		
5. 20	昭和52年2号台風被害による土留災害復旧工事（岩手県福祉基金助成）		
54. 2. 16	特別養護老人ホーム富美岡荘整備（拡張）計画協議書提出		
55. 2. 17	特別養護老人ホーム富美岡荘定員変更（定員105床）		
9. 29	創業者 初代理事長 山崎伊一郎 逝去		
10. 21	第2代理事長 志田武之助就任		
58. 4. 1	老人居宅生活支援事業の開始（定員 10床）		
60. 2. 26	福祉の里整備推進協議会に参加		
61. 11. 1	大船渡市市政功労表彰（社会福祉法人成仁会）		
63. 12. 22	スプリンクラー整備工事完成		
平成元年8. 14	第3代理事長 山崎一郎就任		
2. 3	養護老人ホームの基本設計		
4. 2. 1	山崎一郎・山崎シゲと、特別養護老人ホーム用地の貸借契約締結		
2. 21	養護老人ホームの整備計画書提出		
6. 1	大船渡市長から大船渡市ディサービスセンターの運営委託		
6. 25	大船渡市長と盲養護老人ホーム用地の土地使用貸借契約締結		
5. 2. 24	特別養護老人ホーム富美岡荘ショートステイ専用居室及び合併浄化槽大規模修繕整備計画書提出		
4. 1	養護（盲）老人ホーム祥風苑開設（定員 50床）		
12. 10	（財）中央競馬主福祉財団からの助成により浴室整備事業（浴水循環炉過装置）完成		
6. 2. 28	合併浄化槽大規模修繕工事完成		
3. 12	県に老人居宅生活支援事業変更届の提出（新定員 30床）		
3. 15	特別養護老人ホームショートステイ専用居室棟（20床）の利用開始		
10. 1	大船渡配食訪問サービス事業開始		
7. 10. 1	大船渡市福祉の里在宅介護支援センター開所		
10. 4	厚生省並びに岩手県の「ケアプラン評価モデル事業」指定施設として特別養護老人ホーム富美岡荘に、コンピューターシステム導入		
12. 28	特別養護老人ホーム富美岡荘に、大船渡市福祉の里在宅介護支援センター併設		
8. 5. 10	社会福祉法人成仁会、特別養護老人ホーム富美岡荘創立20周年記念事業		
5. 10	故 山崎伊一郎初代理事長胸像建立		
9. 3. 30	特別養護老人ホーム富美岡荘大規模修繕工事完成		
4. 1	大船渡市より富美岡荘ホームヘルプ事業の受託		
10. 12. 19	「富美岡大観音」を富美岡荘前庭に建立		
12. 4. 1	介護保険制度開始【指定事業所】		
	介護老人福祉施設富美岡荘、富美岡荘ショートステイ事業所、大船渡市ディサービスセンター		
	富美岡荘ホームヘルプ事業所、大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所		
12. 7. 1	山崎シゲ副理事長の寄贈により、盛町に富美岡荘介護センター開所		
11. 1	富美岡荘ショートステイ床より特別養護老人ホーム富美岡荘に6床を転換し、富美岡荘の定員111名ショートステイ事業所の定員24名となる		

13, 6, 15	苦情解決第三者委員会の発足
11, 24	評議員会の発足
15, 6, 3	第4代理事長 山崎シゲ就任
9, 27	大船渡市へ地域介護・福祉空間整備事業計画書の提出
18, 3, 2	社会福祉法人成仁会ロゴマークの制定
4, 1	富美岡荘介護センターを盛町字町地内に移転
9, 14	大船渡市より平成19年度地域密着型サービス事業所（地域密着型介護老人福祉施設・認知症対応型共同生活介護）の候補決定を受ける
10, 1	指定特定入居者生活介護養護（盲）老人ホーム祥風苑事業開始
19, 1, 24	大船渡市が平成19年度地域密着型サービス事業の協議書を岩手県に提出
6, 28	大船渡市より平成19年度地域密着型サービス施設整備費補助金事業の内示を受ける
7, 2	大船渡市へ平成19年度地域密着型サービス施設整備費補助金事業補助金等交付申請書を提出
7, 3	大船渡市より平成19年度地域密着型サービス施設整備費補助金事業補助金等の交付決定を受ける
9, 20	独立行政法人福祉医療機構から福祉貸付資金の内定を受ける
12, 14	富美岡荘ホームヘルプ事業所用地として使用する土地の行政財産使用許可を受ける
12, 14	地域密着型サービス事業 地域密着型介護老人福祉施設蔵ハウス大船渡・認知症対応型共同生活介護事業所まちぐるみ新築工事に係る指名競争入札の実施
20, 1, 8	地域密着型サービス事業 地域密着型介護老人福祉施設蔵ハウス大船渡・認知症対応型共同生活介護事業所まちぐるみ新築工事着手
1, 22	介護保険制度指定更新〔指定事業所〕 介護老人福祉施設富美岡荘、富美岡荘ショートステイ事業所、大船渡市デイサービスセンター 富美岡荘ホームヘルプ事業所、大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所
7, 22	秋篠宮殿下、同妃殿下 養護（盲）老人ホーム祥風苑お成り
8, 1	社会福祉法人成仁会SGビル収益事業（不動産の貸しビルの経営）開始
8, 7	地域密着型サービス事業 地域密着型介護老人福祉施設蔵ハウス大船渡・グループホームまちぐるみ開所式
8, 11	地域密着型サービス事業 地域密着型介護老人福祉施設蔵ハウス大船渡・グループホームまちぐるみ開設
11, 10	社会福祉法人成仁会山崎シゲ理事長が岩手県知事表彰受賞
21, 1, 8	〔指定事業所〕蔵ハウス大船渡ショートステイ事業所開所
22, 4, 1	〔指定事業所〕富美岡荘指定居宅介護支援事業所開所
4, 29	社会福祉法人成仁会山崎シゲ会長が春の叙勲瑞宝双光章受章
7, 26	社会福祉法人成仁会会長山崎シゲ氏叙勲受章祝賀会開催
23, 3, 11	午後2時46分 東日本大震災発生 富美岡荘・祥風苑 避難者を約500名受け入れ デイサービスセンター 避難者を約100名受け入れ 蔵ハウス大船渡 避難者を約100名受け入れ (社福) 成仁会SGビルを大船渡市、大船渡市シルバー人材センター及び(株)アマタケに無償貸与
7, 1	(社)三陸福祉会の復興のため(社)成仁会・(社)鳴瀬会・(社)高寿会の4法人で復興支援調印式
9, 2	蔵ハウス大船渡にて鎮魂・復興祭の開催
9, 15	祥風苑第19回合同敬老会 岩手県知事出席
24, 10, 15	新施設建設のため岩手県へ老人福祉施設整備費協議書を提出
25, 3, 27	老人福祉施設新築工事（官田地区敷地造成工事）に係る土地売買契約の締結・調印式
4, 19	岩手県より平成25年度老人福祉施設等整備費補助金の内示
8, 9	平成25年8月9日大船渡市より平成25年度整備分介護サービス施設整備・運営事業者候補者（小規模多機能型居宅介護分）の決定通知（定員25名）
9, 26	理事会にて新老人福祉施設の名称を、特別養護老人ホーム「成仁ハウス百年の里」に決定
12, 20	小規模多機能型居宅介護施設整備（日頃市町字上宿17-4）に伴う土地売買契約の締結・調印式を行った。
12, 26	岩手県へ平成25年度老人福祉施設等整備費補助金交付申請書の提出
12, 27	特別養護老人ホーム「成仁ハウス百年の里」新築工事安全祈願祭
26, 1, 27	大船渡市より平成25年度介護サービス施設整備等臨時特例事業費補助金の内示
2, 26	大船渡市より平成25年度施設開設準備経費助成特別対策事業費等補助金の内示

2 6 .	4 .	1 1	小規模多機能型居宅介護施設新築工事安全祈願祭
	4 .	7	准看護師養成事業開始 第1回生2名 気仙沼市医師会附属准看護学校入学 新小規模多機能型居宅介護施設の名称を、小規模多機能型居宅介護施設「ひころいちらの郷」に決定
	1 1 .	2 8	小規模多機能型居宅介護施設「ひころいちらの郷」新築工事の完成届を受けた
2 7 .	3 .	2 5	大船渡市より指定地域密着型サービス事業所の指定通知を受ける（平成27年4月1日）
	4 .	1	小規模多機能型居宅介護施設「ひころいちらの郷」開所
	4 .	3 0	岩手県より介護老人福祉施設富美岡荘の入所定員減少の認可（入所定員30人 平成27年5月1日）
	4 .	3 0	岩手県より特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里の認可（入所定員81人 平成27年5月1日）
	4 .	3 0	岩手県より特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里の指定通知を受ける（平成27年5月1日）
	4 .	3 0	大船渡市より百年の里ショートステイ事業所の開始届を受ける（定員21人 平成27年5月1日）
	4 .	3 0	岩手県より百年の里ショートステイ事業所の指定通知を受ける（平成27年5月1日）
	5 .	1	特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里、百年の里ショートステイ事業所開所
2 8 .	4 .	1	富美岡荘ショートステイ事業所 入所定員7名増床
2 9 .	4 .	1	特別養護老人ホーム富美岡荘 入所定員12名増床
3 0 .	5 .	1 8	特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里 2017医療福祉建築賞受賞
	1 1 .	1	特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里 入所定員3名増床
	1 2 .	2 3	天皇陛下より御下賜金を賜る
3 1 .	4 .	1	大船渡市デイサービスセンターの管理運営に関する基本協定の締結（期間更新）
R 1 .	6 .	1 2	社会福祉法人成仁会の定款変更認可（収益事業の追加）
R 2 .	1 .	3 1	大船渡市への派遣職員用宿舎として提供していたSGビル改修工事の竣工
R 2 .	1 1 .	1 3	埼玉医科大学緩和医療科より山崎シゲ会長が客員研究員として辞令を受ける
R 2 .	1 1 .	1 3	埼玉医科大学緩和医療科より成仁会施設が「医療介護連携プロジェクト」の実証実験施設として認定を受ける

## 社会福祉法人成仁会 役員名簿

### 理事会

役 職	氏 名	任 期
理事長 代表理事	山崎 和彦	令和元年6月21日～令和2年度に関する定時評議員会終結時
会長	山崎 シゲ	令和元年6月21日～令和2年度に関する定時評議員会終結時
副会長	山崎 一郎	令和元年6月21日～令和2年度に関する定時評議員会終結時
専務理事	山口 清人	令和元年6月21日～令和2年度に関する定時評議員会終結時
理事	中嶋 豊	令和元年6月21日～令和2年度に関する定時評議員会終結時
理事	葛西 修哉	令和元年6月21日～令和2年度に関する定時評議員会終結時
理事	千葉 敏郎	令和元年6月21日～令和2年度に関する定時評議員会終結時
理事	佐々木 一雄	令和元年6月21日～令和2年度に関する定時評議員会終結時
理事	金子 英輝	令和元年6月21日～令和2年度に関する定時評議員会終結時
理事	今野 昭男	令和元年6月21日～令和2年度に関する定時評議員会終結時

### 監事會

役 職	氏 名	任 期
監事	佐藤 不二雄	令和元年6月21日～令和2年度に関する定時評議員会終結時
監事	鈴木 信男	令和元年6月21日～令和2年度に関する定時評議員会終結時

### 評議員会

役 職	氏 名	任 期
評議員	佐藤 雄幸	平成29年4月1日～令和2年度に関する定時評議員会終結時
評議員	津田 静月	平成29年4月1日～令和2年度に関する定時評議員会終結時
評議員	今野 隆子	平成29年4月1日～令和2年度に関する定時評議員会終結時
評議員	今野 龍雄	平成29年4月1日～令和2年度に関する定時評議員会終結時
評議員	佐藤 忠清	平成29年4月1日～令和2年度に関する定時評議員会終結時
評議員	細川 廣行	平成29年4月1日～令和2年度に関する定時評議員会終結時
評議員	佐藤 かなえ	平成29年4月1日～令和2年度に関する定時評議員会終結時
評議員	新沼 賢	平成29年4月1日～令和2年度に関する定時評議員会終結時
評議員	遠藤 雅法	平成29年4月1日～令和2年度に関する定時評議員会終結時
評議員	浜田 浩誠	平成29年4月1日～令和2年度に関する定時評議員会終結時
評議員	小野寺 有一	令和元年6月21日～令和2年度に関する定時評議員会終結時

## 社会福祉法人成仁会 経営施設の概要

### 【法人本部】

所 在 地 岩手県大船渡市立根町字宮田9番地1  
設 立 年 月 日 昭和 50 年 1 月 19 日  
代 表 者 山崎 和彦

### 【特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里】

所 在 地 岩手県大船渡市立根町字宮田9番地1  
経 営 主 体 社会福祉法人 成 仁 会  
開 設 年 月 日 平成 27 年 5 月 1 日  
施 設 名 特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里  
(介護保険事業所番号:0370300543)  
施 設 長 山崎 シゲ  
総 定 員 数 105 名  
長期入所定員 84 名  
短期入所定員 21 名  
職 員 数 75 名 (調理員は業務委託のため含まず)  
敷 地 の 所 有 社会福祉法人成仁会所有地  
敷 地 面 積 9, 958. 99m<sup>2</sup>  
建 築 面 積 2, 323. 14m<sup>2</sup>  
建 物 の 面 積 5, 742. 17m<sup>2</sup>  
建 物 の 構 造 鉄筋コンクリート造 3階建  
工事施行状況 直営・請負の別 請 負  
契約年月日 平成 25 年 12 月 21 日  
着工年月日 平成 25 年 12 月 24 日  
竣工年月日 平成 27 年 2 月 28 日



## 【特別養護老人ホーム富美岡荘】

所 在 地	岩手県大船渡市猪川町字富岡 148 番地
経 営 主 体	社会福祉法人 成 仁 会
開 設 年 月 日	昭和 51 年 5 月 1 日
施 設 名	特別養護老人ホーム 富美岡荘(介護保険事業所番号:0370300147)
施 設 長	村 上 博
総 定 員 数	52 名
長期入所定員	42 名
短期入所定員	10 名
職 員 数	32 名(調理員は業務委託のため含まず)
敷 地 面 積	6,730.80 m <sup>2</sup>
建 物 面 積	富美岡荘…1階 1,906.93 m <sup>2</sup> /2階 1,064.18 m <sup>2</sup> /3階 32.38 m <sup>2</sup> 延合計 3,003.49 m <sup>2</sup> ショート専用棟…376.01 m <sup>2</sup> 建物の構造 富美岡荘…鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 ショート専用棟…鉄骨亜鉛メッキ鋼板葺平屋建



## 【養護（盲）老人ホーム祥風苑】

所 在 地 岩手県大船渡市猪川町字富岡 176 番地  
経 営 主 体 社会福祉法人 成仁会  
施 設 名 養護（盲）老人ホーム 祥風苑（介護保険事業所番号:0370300360）  
施 設 長 崎 山 美知枝  
開 設 年 月 日 平成 5 年 4 月 1 日  
入 所 定 員 50 名  
職 員 数 28 名（調理員は業務委託のため含まず）  
敷 地 面 積 6,510 m<sup>2</sup>  
敷 地 の 所 有 借地（市有地・無償）  
建 物 の 面 積 1,658.46 m<sup>2</sup>  
建 物 の 構 造 鉄筋コンクリート鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建  
建設設備の区分 創 設  
工事施工状況 直営・請負の別 請 負  
契 約 年 月 日 平成 4 年 7 月 29 日  
着 工 年 月 日 平成 4 年 7 月 30 日  
竣 工 年 月 日 平成 5 年 3 月 22 日



## 【大船渡市デイサービスセンター】

所 在 地 大船渡市立根町字田ノ上 30 番地 22  
施 設 の 名 称 大船渡市デイサービスセンター(介護保険事業所番号:0370300071)  
所 長 金 野 晃  
開 設 年 月 日 平成 4 年 6 月 1 日  
設 置 主 体 大船渡市  
運 営 主 体 社会福祉法人 成仁会  
利 用 定 員 1 日 30 名  
職 員 数 18 名 (調理員は業務委託のため含まず)  
建 物 面 積 347.1 m<sup>2</sup>  
工事施工状況 平成 3 年 8 月 13 日 契約  
平成 3 年 8 月 14 日 着工  
平成 4 年 2 月 29 日 竣工



### 【地域密着型介護老人福祉施設蔵ハウス大船渡】

所 在 地 大船渡市盛町字町 3 番地 1  
経 営 主 体 社会福祉法人 成仁会  
開 設 年 月 日 平成 20 年 8 月 11 日  
施 設 名 蔵ハウス大船渡  
施 設 長 小笠原 登志江  
施 設 の 種 類 地域密着型介護老人福祉施設  
入 所 定 員 29 名  
職 員 数 24 名 (調理員は業務委託のため含まず)

### 【認知症対応型共同生活介護事業所まちぐるみ】

所 在 地 大船渡市盛町字町 3 番地 1  
経 営 主 体 社会福祉法人 成仁会  
開 設 年 月 日 平成 20 年 8 月 11 日  
施 設 名 まちぐるみ  
施 設 長 小笠原 登志江  
施 設 の 種 類 認知症対応型共同生活介護事業所  
入 所 定 員 9 名  
職 員 数 7 名 (調理員は業務委託のため含まず)

敷 地 面 積 1,647.82 m<sup>2</sup> (社会福祉法人成仁会所有地及び一部借地)  
敷 地 の 所 有 社会福祉法人成仁会所有地  
建 物 の 面 積 2,641.55 m<sup>2</sup>  
建 物 の 構 造 鉄筋コンクリート造陸屋根亜鉛メッキ鋼板葺 3 階建  
工 事 施 行 状 況 直営・請負の別 請 負  
契 約 年 月 日 平成 20 年 1 月 8 日  
着 工 年 月 日 平成 20 年 1 月 8 日  
竣 工 年 月 日 平成 20 年 7 月 31 日



## 【小規模多機能型居宅介護施設 ひころいの郷】

所 在 地 大船渡市日頃市町字上宿17-4他  
経 営 主 体 社会福祉法人 成仁会  
開 設 年 月 日 平成 27 年 4 月 1 日 予定  
施 設 名 小規模多機能型居宅介護施設 ひころいの郷  
所 長 三 浦 くみ子  
施 設 の 種 類 小規模多機能型居宅介護  
登 録 人 員 25 名  
職 員 数 11 名 (調理員は業務委託のため含まず)  
敷 地 の 所 有 社会福祉法人成仁会 所有地  
敷 地 面 積 3,020 m<sup>2</sup>  
建 築 面 積 355.60 m<sup>2</sup>  
延べ床面積 339.04 m<sup>2</sup>  
建 物 の 構 造 軽量鉄骨造 平屋建  
工事施行状況 直営・請負の別 請 負  
契約年月日 平成 26 年 3 月 24 日  
着工年月日 平成 26 年 3 月 26 日  
竣工年月日 平成 26 年 10 月 31 日



### 【富美岡荘ホームヘルプ事業所】

所 在 地 大船渡市盛町字町 6 番地 1  
設置・運営主体 社会福祉法人 成仁会  
施設の名称 富美岡荘ホームヘルプ事業所  
部 長 佐々木 和美  
施設の種類 指定訪問介護事業所  
開 設 平成 12 年 4 月 1 日

### 【大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所】

所 在 地 大船渡市盛町字町 6 番地 1  
設置・運営主体 社会福祉法人 成仁会  
施設の名称 大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所  
副 部 長 鈴木 浩子  
施設の種類 指定居宅介護支援事業所  
開 設 平成 12 年 4 月 1 日

### 【富美岡荘指定居宅介護支援事業所】

所 在 地 大船渡市盛町字町 6 番地 1  
設置・運営主体 社会福祉法人 成仁会  
施設の名称 富美岡荘指定居宅介護支援事業所  
所 長 石井 千枝子  
施設の種類 指定居宅介護支援事業所  
開 設 平成 22 年 4 月 1 日

### 【大船渡市福祉の里在宅介護支援センター】

所 在 地 大船渡市猪川町字富岡 148 番地  
設置主体 大船渡市  
運営主体 社会福祉法人 成仁会  
施設の名称 大船渡市福祉の里在宅介護支援センター  
副 部 長 鈴木 浩子  
施設の種類 地域型在宅介護支援センター  
開 設 平成 7 年 10 月 1 日



## 【社会福祉法人成仁会 SGビル】

所 在 地 大船渡市盛町字町 6 番地 8  
経 営 主 体 社会福祉法人 成仁会 理事長 山崎和彦  
事業開始年月日 平成 20 年 8 月 1 日  
建 物 名 称 社会福祉法人成仁会 SGビル  
事 業 の 種 類 不動産貸しビルの経営



## 5 評議員会の開催状況

### 第1回 定時評議員会（決議の省略）

日時 令和2年6月23日（金）

社会福祉法第45条の14第9項に準用される一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条及び定款第13条第4項の規定に基づき、評議員会を開催することなく、提案事項につき決議の省略を行った。

#### 1 評議員会の決議があつたものとみなされた提案事項の内容

- (1)議案第1号 令和元年度社会福祉法人成仁会事業報告の承認について
- (2)議案第2号 令和元年度社会福祉法人成仁会会計関係書類の承認について

#### 2 評議員会があつたものとみなされた日

令和2年6月23日（金）

評議員の全員(11名)が同意した。

なお、提案事項について特別の利害関係を有する評議員はいなかった。

## 6 理事会の開催状況

### 第1回 理事会（決議の省略）

日時 令和2年6月5日（金）

社会福祉法第45条の14第9項に準用される一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条及び定款第27条第2項の規定に基づき、理事会を開催することなく、提案事項につき決議の省略を行った。

#### 1 理事会への報告事項及び決議があつたものとみなされた提案事項の内容

##### ○報告事項

監査報告第1号 令和元年度社会福祉法人成仁会事業報告及び令和元年度社会福祉法人成仁会会計書類の監事による監査報告について

報告第1号 株の所持状況について

報告第2号 社会福祉法人成仁会執行役員の指名について

報告第3号 新型コロナウイルス感染予防対策について

##### ○提案事項

- (1)議案第1号 令和元年度社会福祉法人成仁会事業報告の承認について
- (2)議案第2号 令和元年度社会福祉法人成仁会会計関係書類の承認について
- (3)議案第3号 社会福祉法人成仁会給与規定の一部を改正することについて
- (4)議案第4号 社会福祉法人成仁会の運営に係る極度額内借入について
- (5)議案第5号 令和2年度定時評議員会の招集について

#### 2 理事会があつたものとみなされた日

令和2年6月5日（金）

理事の全員(10名)が同意し、監事の全員(2名)より確認書が提出された。

なお、提案事項について特別の利害関係を有する理事はいなかった。

## 第2回 理事会（決議の省略）

日時 令和2年9月30日（水）

社会福祉法第45条の14第9項に準用される一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条及び定款第27条第2項の規定に基づき、理事会を開催することなく、提案事項につき決議の省略を行った。

### 1 理事会への報告事項及び決議があつたものとみなされた提案事項の内容

#### ○報告事項

報告第1号 令和2年度社会福祉法人成仁会敬老会の実施について

報告第2号 令和2年度社会福祉法人指導監査の実施延期について

報告第3号 理事長の職務執行状況について

#### ○提案事項

(1)議案第1号 社会福祉法人成仁会安全衛生委員会規定の制定について

(2)議案第2号 社会福祉法人成仁会労働安全衛生委員会設置要綱の廃止について

### 2 理事会があつたものとみなされた日

令和2年9月30日（水）

理事の全員(10名)が同意し、監事の全員(2名)より確認書が提出された。

なお、提案事項について特別の利害関係を有する理事はいなかった。

## 第3回 理事会

日時 令和2年12月4日（金）午前11時

場所 成仁ハウス百年の里 会議室

出席数 理事10名 監事2名

#### ○報告事項

報告第1号 埼玉医科大学病院緩和医療科客員研究員の任命及び認定交付について

報告第2号 令和2年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の交付申請について

報告第3号 大船渡市介護保険指定事業所事業継続支援金交付決定について

報告第4号 社会福祉法人成仁会新卒等職員の採用について

#### ○決議及び承認事項

(1)議案第1号 埼玉医科大学病院緩和医療科指定実証実験施設認定について

(2)議案第2号 財務会計に関する内部統制の向上に対する支援業務委託契約の締結について

(3)議案第3号 社会福祉法人成仁会職員就業規則の一部を改正することについて

(4)議案第4号 社会福祉法人成仁会給与規程の一部を改正することについて

(5)議案第5号 社会福祉法人成仁会職員定年の一部改正することについて

(6)議案第6号 社会福祉法人成仁会定年退職者の再雇用に関する規則の一部を改正することについて

(7)議案第7号 社会福祉法人成仁会パートタイム職員就業規則の一部を改正することについて

(8)議案第8号 社会福祉法人成仁会ヘルパー就業規則の一部を改正することについて

## 第4回 理事会（決議の省略）

日時：令和3年3月26日（金）

社会福祉法第45条の14第9項に準用される一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条及び定款第27条第2項の規定に基づき、理事会を開催することなく、提案事項につき決議の省略を行った。

### 1 理事会への報告事項及び決議があったものとみなされた提案事項の内容

#### ○報告事項

報告第1号 令和2年度介護保険サービス事業所及び居宅介護支援事業所実地指導の結果について

報告第2号 令和2年度社会福祉施設指導監査及び介護保険施設の実地指導の実施結果について

報告第3号 新型コロナウイルス対策について

報告第4号 埼玉医科大学病院緩和医療科との連携について

報告第5号 理事長の職務執行状況について

#### ○提案事項

(1)議案第1号 令和2年度拠点区分収支予算第2次補正(案)について

(2)議案第2号 令和3年度社会福祉法人成仁会事業計画(案)について

(3)議案第3号 令和3年度社会福祉法人成仁会拠点区分収支予算(案)について

(4)議案第4号 医療介護連携プロジェクト・病態変化感知システム実証化テストの実施に伴い、ウェラブルデバイスを開発する先進的企業に出資することについて

(5)議案第5号 大船渡市デイサービスセンター利用者定員の変更について

(6)議案第6号 社会福祉法人成仁会が設置経営する施設等の施設長の任命について

### 2 理事会があつたものとみなされた日

令和3年3月26日（金）

理事の全員（10名）が同意し、監事の全員（2名）より確認書が提出された。

なお、提案事項について特別の利害関係を有する理事はいなかった。

## 7 監事による監査会開催状況

### 第1回 日時 令和2年5月20日（水）午前10時～12時30分

場所 成仁ハウス百年の里 会議室

監事 佐藤不二雄 鈴木信夫

#### [監査対象事業]

令和元年度社会福祉法人成仁会の各会計決算の計算書類及び事業報告等

一拠点区分一

・法人本部拠点区分

・特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里拠点区分

・指定介護老人福祉施設富美岡荘拠点区分

・指定特定施設入居者生活介護事業所 養護（盲）老人ホーム祥風苑拠点区分

- ・地域密着型介護老人福祉施設蔵ハウス大船渡拠点区分
- ・認知症対応型共同生活介護事業所まちぐるみ拠点区分
- ・指定通所介護大船渡市デイサービスセンター拠点区分
- ・訪問介護富美岡荘ホームヘルプ事業所拠点区分
- ・小規模多機能型居宅介護施設ひころいの郷拠点区分
- ・福祉の里在宅介護支援センター拠点区分
- ・富美岡荘指定居宅介護支援事業所拠点区分
- ・社会福祉法人成仁会 SG ビル収益事業拠点区分

[監査内容]

- (1) 令和元年度社会福祉法人成仁会決算報告書
- (2) 令和元年度社会福祉法人事業報告
- (3) 理事長の職務遂行について
- (4) 利用者預り金について
- (5) 小口現金について

## 8 独立監査法人による監査状況

### 第1回 外部監査

書類送付日 令和2年5月1日（金）

書類送付先 東京都新宿区四谷四丁目28番4

YKB エンサインビル5階

大光監査法人 理事長 亀岡保夫

公認会計士 古澤華織、野崎伸雄、釜屋秀雄

#### 送付書類

- ・特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里拠点区分  
令和元年度分 計算書類・財産目録・付属明細書・証票・伝票
- ・指定介護老人福祉施設富美岡荘拠点区分  
令和元年度分 計算書類・財産目録・付属明細書・証票・伝票
- ・令和元年度分 評議員会・理事会議事録

[監査実施内容]

- ・社会福祉法人成仁会の特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里拠点及び指定介護老人福祉施設富美岡荘拠点の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの令和元年度会計決算の計算書類についての監査

※外部監査法人について

所在地 東京都新宿区四谷4丁目28番地4 YKB エンサインビル5F

名称 大光監査法人

代表 理事長 亀岡 保夫

## 9 苦情解決第三者委員会開催報告

日時 令和3年3月15日（月）～18日（木）

苦情解決規程第14条により、第三者委員へ書面にて報告を行った。

### 1 苦情解決第三者委員：

今野龍雄委員、佐藤不二雄委員、佐野トキ子委員

### 苦情解決責任者：

山崎シゲ、村上 博、小笠原登志江、崎山美知枝、金野晃、三浦くみ子、  
和田工、石井千枝子、鈴木浩子

### 2 報告

各事業所より苦情（意見・要望・相談・不満）・感謝等の状況報告及び意見交換

成仁ハウス百年の里	苦情1件・感謝3件
富美岡荘	苦情1件
祥風苑	苦情0件・感謝3件
蔵ハウス大船渡	苦情0件・感謝9件
まちぐるみ	苦情0件・感謝4件
大船渡市デイサービスセンター	苦情2件・感謝2件
ひころいの郷	苦情0件・感謝1件
富美岡荘ホームヘルプ事業所	苦情1件・感謝1件
大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所	苦情0件・感謝2件
富美岡荘指定居宅介護支援事業所	苦情0件・感謝1件

## 10 法人開催による会議関係（コロナ対策緊急会議・地震関係）

日付	内容	場所	参加者
4/2	コロナ対策会議	百年の里	20名
4/9	コロナ対策会議	百年の里	13名
4/16	コロナ対策会議	百年の里	20名
4/27	コロナ対策会議	百年の里	15名
5/3	職員家族発熱に伴う緊急会議	zoom会議	本部・ディ
7/30	コロナ対策会議	百年の里	21名
10/5	コロナ対策会議	百年の里	22名
10/12	コロナ対策会議	百年の里	23名
12/14	コロナ対策会議	百年の里	8名
2/3	コロナ対策会議	zoom会議	15名
2/5	コロナ対策会議	百年の里	11名
2/7	コロナ対策会議	蔵ハウス	18名
2/8	コロナ対策会議（ヘルパー）	介護センター	30名
2/9	コロナ対策会議	蔵ハウス	11名
2/13	地震発生による緊急zoom会議（深夜）	zoom会議	各事業所
2/15	コロナ対策会議	zoom会議	各事業所
2/15	コロナ予防対策個人防護対策研修	百年の里	15名
2/17	コロナ対策会議（日中）	百年の里	14名
2/17	コロナ対策会議（夕方）	zoom会議	各事業所
2/18	コロナ対策会議	zoom会議	各事業所
2/19	コロナ対策会議	zoom会議	各事業所
2/24	コロナ対策会議	zoom会議	各事業所
3/20	地震発生による緊急招集	各事業所	

※ 財務経営会議は毎月開催（出席者：法人本部、各施設長、各所長、各事業所、経理担当）

## 埼玉医科大学病院 緩和医療科との取組状況

日付	内容	埼玉医科大学出席者	成仁会出席者
11月13日	埼玉医科大学病院緩和医療科研究員辞令交付式 (山崎シゲ会長)  埼玉医科大学病院緩和医療科実証実験認定施設交付式（成仁会・ 杜の里福祉会）  記念講演「成仁会とともに」 埼玉医科大学病院 緩和医療科 教授・岩瀬哲先生	4名	28名
11月27日	<b>第1回打ち合わせ</b> バーセルインデックスを理解する。利用者のA D Lを全職員が共 通した認識で評価することの必要性を理解する。	3名	30名
11月30日	<b>法人打ち合わせ</b> バーセルインデックス（成仁会バージョン）の作成について		13名
12月2日	<b>法人打ち合わせ</b> 日常生活動作評価方法について		11名
12月15日	<b>法人打ち合わせ</b> 各事業所のバーセルインデックス、D B Dの評価を確認し、共有 を図る。		23名
12月18日	<b>第2回打ち合わせ（リモートにて）</b> 前回の打ち合わせ以降、疑問に感じていることを理解する。認知 機能の評価指標について。	3名	27名
12月28日	<b>法人打ち合わせ</b> バーセルインデックスの判定基準の定義に基づいて評価し疑問点 を抽出する。		10名
1月7日	<b>法人打ち合わせ</b> バーセルインデックスの法人独自の定義を使っての評価から生ま れた疑問について定義を修正		7名

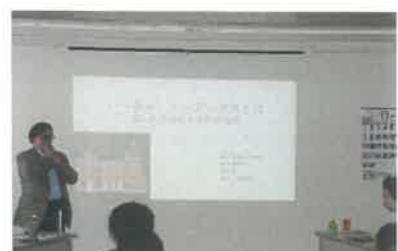
日付	内容	埼玉医科大学出席者	成仁会出席者
1月25日	法人打ち合わせ 次回第3回打ち合わせに向けた各事業所の進捗状況、質問内容の確認		16名
1月29日	<b>第3回打ち合わせ（リモートにて）</b> 今年度法人としてやるべきこととは。法人としてバーセルインデックスのYES NOシートの提案。研修会の名前が決定する。 【案くれっと研修会】に決定。	3名	23名
2月25日	法人打ち合わせ YES NOシートを作成してみての各事業所の感想。次回第4回案くれっと研究会での内容まとめ。		16名
2月26日	<b>第4回案くれっと研究会（各事業所もリモート参加）</b> 埼玉医科大学病院側より今後の研究の流れについて説明。法人側よりYES NOシートの説明。	3名	61名
3月2日	法人打ち合わせ 令和3年3月のB I評価の手法と件数について。D B D評価及びV I評価についての実施検討について		12名
3月26日	<b>第5回案くれっと研究会（リモートにて）</b> 研究改革のおさらい。法人側よりバーセルインデックスの進捗情報報告。村田製作所より、アンクレットの詳細説明。今後のスケジュールについて。	6名	22名

## 埼玉医科大学病院 緩和医療科との取組の様子

辞令交付式



第1回合同研修会



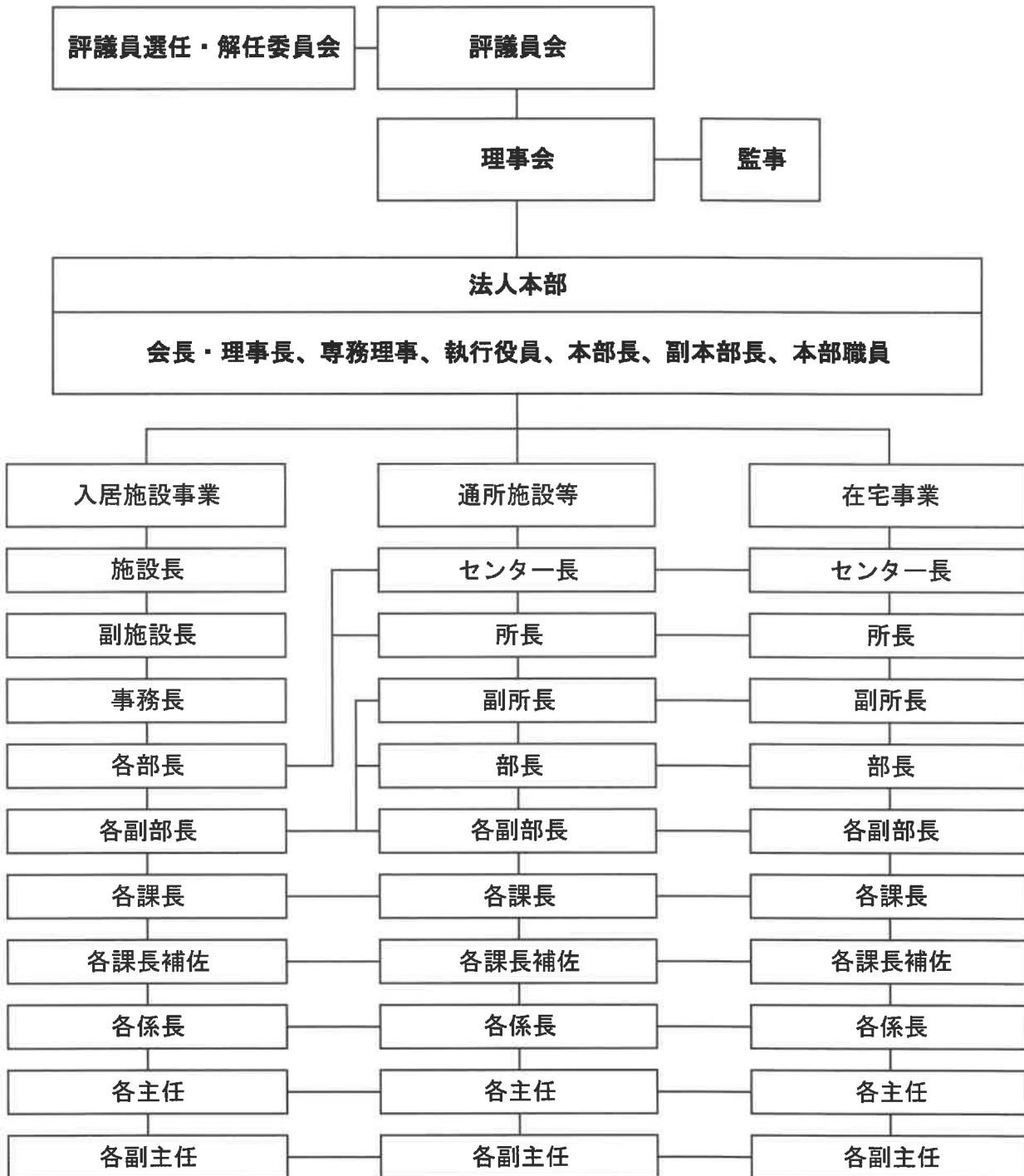
法人内研修及びリモートでの全体研修会



コロナ感染予防に関する衛生用品の購入保管状況  
(マスク、防護服、手袋、ゴーグル、消毒用アルコール等)

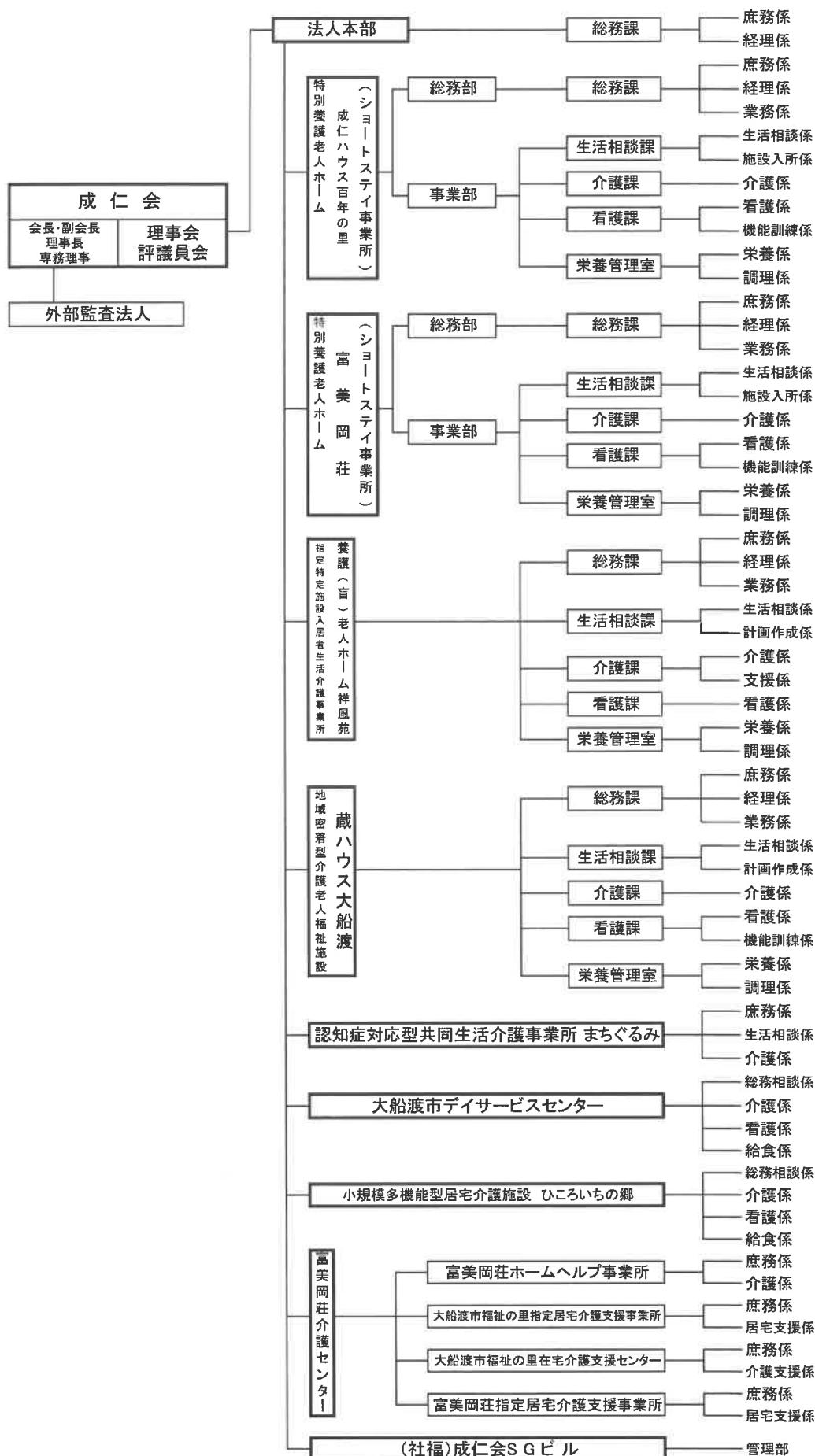


# 社会福祉法人成仁会 法人組織の格付



※職務格付については、当該当者の現行辞令に基づき、本人の経歴・資格・法人での実績等を勘案して、年度ごとに理事長が別に定めることができる。

## 社会福祉法人成仁会 組織図



# 備蓄品管理状況

(令和3年3月現在)

種別	品 名	数 量	保管場所
食料品 (入居者分)	米	各施設で準備 入居者(人数) × 1週間分	各施設厨房
	レトルトお粥		
	粥ゼリーの素		
	缶詰		
	レトルト食品		
	のり佃煮・調味みそ・ねり梅		
	ペースト食品(ソフト食用)		
	乾物品(みそ汁の具など)		
	みそ		
	各種調味料		
食料品 (職員分)	米	法人で準備 250人分 × 2週間分	富美岡荘厨房
	缶詰		
	レトルト食品		
	乾物品(みそ汁の具など)		
	みそ		
	各種調味料		
経管栄養	濃厚流動食	2週間分	各施設
水	5年保存水(飲料水)	3日分	富美岡荘厨房
調理用品	使い捨て容器(食事用)、練炭、カセットガスボンベ、 練炭コンロ、カセットガスコンロ		富美岡荘 (厨房・地下倉庫)
生活用品	オムツ・尿とりパッド	各種事業所毎	各事業所
	紙パンツ	50箱	富美岡荘
	マスク	多數	
その他	ポータブル発電機、軍手、ペーパータオル、反射式ストーブ、ゴム手袋、ティッシュペーパー、ファンヒーター、オイルヒーター、長靴、トイレットペーパー、扇風機、ディスポグローブ、ウェットティッシュ、投光器、手指消毒アルコール、タオル、車椅子、消毒ジェル、毛布、歩行器、ガムテープ、乾電池(単1~単4)、杖、ロープ、ラジオ、電灯、電気コードドラム、湯たんぽ、他多數。		

※公用車にヘルメット、タオル、マスク、ラジオ付き電灯等を常に積載している。

## 主な災害用備蓄品



電力及び照明の確保



食料品の確保（米）



電力の確保



食糧品の確保（飲料水）



通信手段の確保（衛生電話）



非常食の確保（レトルト食品）



移動手段の確保



介護用おむつ・ウエットティッシュ等

## 社会福祉法人成仁会1年間の様子



面会規制開始



コロナ対策会議開催



蜜を避けて辞令交付式



倫理法人会様よりタオル寄贈



県外来者は車内で抗原検査を実施



夏祭り各施設にて規模縮小にて開催



財務会議開催



大船渡東高校折り鶴寄贈

## 社会福祉法人成仁会1年間の様子



埼玉医科大学辞令交付式



認定臨床施設看板設置



一時的面会緩和措置



新型コロナウイルス対策会議



敬老会蜜を避けて開催



第1回案くれっと研究会



退職辞令交付



優良従業員表彰

## 社会福祉法人成仁会1年間の様子



コロナ予防の為各事業所で記念写真撮影



東日本大震災慰靈祭



テレビ会議にてコロナ対策会議開催



第6回案くれっと研究会開催



全職員対象に抗原検査実施



職員が「第22代大船渡椿娘」に選出



もちつき大会



令和2年度

## 防災訓練報告書

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

社会福祉法人 成仁会

## 成仁会防災訓練実施概要

防災訓練は、地震や火災、水害などの災害が発生した場合を想定し、利用者及び職員の安全確保を最優先に各事業所ごと毎月実践的な想定で防災訓練を実施した。実施については三陸沖地震を想定して、地震発生直後の火災発生等の複合災害を想定した訓練を繰り返し行ない、発生場所(各施設火元箇所)、発生時間(日中・夜間)のケースを想定しながら行ない、人命を守ることを第一に訓練を実施した。施設利用者の安全確保については、火災発生場所付近よりスマートフォンを使用し煙の中での誘導、また、夜間想定では、開始時間を周囲が暗くなる時間帯で、施設内も暗い状態にして行なう事で利用者及び職員の防災意識の向上や避難誘導の方法についても、実践的に徹底して行なう事が出来た。非常連絡網の伝達については、法人内一斉メールシステムを使用し、電話連絡に比べ短時間で伝達をする体制を図った。

### 【成仁ハウス百年の里】

月 日	実施内容	実施結果及び反省	参加人数
4月 20日	◎令和2年度新人職員と令和元年度中途採用職員を対象に以下の項目について研修及び機器の操作放送の説明と実施訓練を行い、防災への知識と意識の高揚を目的とする。 ①消火器及び屋内消火栓を使用した消火訓練。 ②地震及び火災発生時等の対応要綱。(避難場所及び避難ルートの確認、防火シャッターの使用方法) ③119番通報専用電話機、消防用設備及び館内非常放送器材の取り扱い説明④担架を実際に使用しての実技指導。	・年度初め毎年実施している訓練だが今年度は感染の対策の為、各施設毎の訓練とした。実際に設置してある消火器及び消火栓の説明、及び訓練用消火器を使った消火訓練や消火栓放水の実体験を行った。その後、施設内設備の取扱い説明、避難ルートの確認も行った。担架の実技指導は時間の都合で取りやめ、次回以降の訓練に組み込む事とした。また、訓練参加者に限らず防災委員も含め全員で真剣に取り組むことが出来た。	8名
5月 19日	◎総合訓練(日中:1階乾燥機室より火災) ・日中14時05分頃、震度6強の地震後、1階乾燥機室より出火想定で訓練行う。	・新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として入居者の避難誘導は最小限に行なったが、比較的スムーズに行なう事が出来た。 ・今年度新人職員にも参加して頂きながら地震・火災後の対応について指導しながら行なったが、一人一人が防災意識を持ちながら実施していた。火災発生から煙が上階へ行かないように各階へ繋がる階段のドアは閉めきるのが通常であるところ、出来ていなかったので今後は注意したい。	140名
6月 16日	◎総合訓練(夜間:1階乾燥機室より火災) ・深夜1時頃、震度6強の地震後、1階乾燥機室より出火想定で訓練行う。	・新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として入居者の避難誘導は最小限に行なったが、比較的スムーズに行なう事が出来た。 外部への状況報告や入居者点呼が遅れてしまった。 応援職員への的確な指示が出来なかつた。	140名
7月 27日	◎総合訓練(夜間:梅雨前線停滞に伴う河川の増水) ・深夜帯に梅雨前線の停滞に伴い、1日の降雨量がひと月分の量を超えて、河川の増水、氾濫の危険性が高まり市内に大雨洪水警報が発令、その後河川満水となり氾濫の危険状態となる。1階と2階の利用者を3階に避難誘導する。	・夜間で職員数が少ない状況での入居者の避難誘導を行なったが、完了するまで時間が掛かってしまい避難後の点呼確認や指揮班への報告もスムーズに行なえなかつた。 ・今回は水害訓練としては初めての夜間想定だったが、反省点が多く出てしまった。今後は検証を行なながら次回に活かせるようにする。	140名
8月 18日	◎内部研修(日中:放水・心肺蘇生訓練) ・消火栓を実際に使用した放水訓練。 ・心肺蘇生訓練用の人形とAEDを用いた緊急時対応訓練。	・消火栓を実際に使用した放水訓練を行うことにより、より一層消火活動に関する職員の理解が深まつたので、今後の訓練にも活かしたい。 ・心肺蘇生訓練用の人形とAEDを用いることで普段は出来ない緊急時の対応について実践を交えて訓練できたので良かった。	40名
9月 18日	◎総合訓練(夜間:梅雨前線停滞に伴う河川の増水) ・深夜帯に梅雨前線の停滞に伴い、1日の降雨量がひと月分の量を超えて、河川の増水、氾濫の危険性が高まり市内に大雨洪水警報が発令、その後河川満水となり氾濫の危険状態となる。1階と2階の利用者を3階に避難誘導する。	・前回よりも指揮班長の的確な指示により、スムーズに訓練を行うことができた。 ・また、一つ一つ確実に訓練を進めることができたことが良い点であった。	140名
10月 20日	◎内部研修(日中・夜間想定での質疑応答形式) ・各階、防災委員一人に対して5~6名の職員(事務所・相談課・医務課・介護課)が付き、災害を想定した行動をしながら委員からの問い合わせ、職員からは疑問に思っていることの聞き出し等を行い災害時の行動における意思統一を図る目的。 ・毎月訓練をしている職員の皆さんからだからこそあるであろう質問、疑問を都度聞き取り回答、検討し次回からの訓練に向けて同じミスをしないようシミュレーションしていく。	・普段の訓練で疑問に思っていることをこの機会に聞くことが出来、次の訓練に繋げることが出来た。年に一度開催してほしいという要望があり来年度の計画に組み込むことを検討する。 ・水害時の避難先について回答できる職員が少く問題点の洗い出しをすることが出来、理解していること理解できていない事がわかり次からの訓練に繋げる事が出来ている。 ・この施設は各ユニット内で区切ると一人での勤務時間が長くなってしまう。勤務歴が少ない職員の理解を継続的に重点的に実施することが重要という問題点が浮き彫りになった。	30名

11月 17日	◎内部研修(スマートによる煙幕避難体験・担架・ポータブル発電機使用訓練) ・室内にスマートを充満した空間を作り、煙の中での避難を疑似体験する。 ・施設所有の担架やポータブル発電機を使用した訓練。	・火災時、煙で充満した空間で避難する際には低い体勢で床伝いに避難すると、安全だという事を認識出来た。 ・担架訓練では負傷者役を乗せた状態で行ったが安全第一で担ぐ事が出来た。また、傷病者への声掛けを行いながら状態観察も必要であると再確認した。 ・ポータブル発電機の始動訓練では、始動手順を忘れている参加者が見受けられていた。今後も訓練継続することで指導手順の周知をしていきたい。	50名
12月 15日	◎総合訓練(日中:1階乾燥機室より火災) ・日中14時05分頃、震度6強の地震後、1階乾燥機室より出火想定で訓練行う。	・新型コロナウィルス感染拡大防止の対策として入居者の避難誘導は最小限に行つたが、比較的スムーズに行つ事が出来た。	140名
1月 29日	◎伝達訓練(法人内、伝達訓練) ・Biz安否確認アプリを使用してのメッセージ送信及び返信訓練行う。	・アプリ登録者62名の内、メッセージ既読確認できた職員及びメッセージに対し返信できた職員は43名だった、出来なかった職員に対し指導し次回は100%の既読、返信率を目指したい。 ・今後も定期的にメッセージ送信し職員がアプリを使用をスムーズに行えるようにしたい。	全職員
2月 16日	◎総合訓練(日中:3階ユニットキッチンより火災) ・日中14時頃、震度6強の地震後、3階ユニットキッチンより出火想定で訓練行う。	・ユニットごとで点呼報告の仕方が異なっていたので、指揮班長が聞く側が混乱してしまった。 ・火災の第一発見者が初期消火せず、避難誘導を開始し、消防班長のみでの消火活動となつてしまい、火の状況の報告を忘れてしまった。 ・避難誘導先が密になってしまった。状況にあつた避難誘導を行いたい。	140名
3月 16日	◎総合訓練(夜間:1階乾燥機室より火災) ・深夜1時頃、震度6強の地震後、1階乾燥機室より出火想定で訓練行う。	・声掛けが良く、入居者も安心された様子で避難誘導を行つことが出来た。 ・避難経路確保の為の障害物撤去を忘れていたユニットがあった。 ・前回よりもスムーズに避難誘導を行うことが出来たが、点呼の際に3階の応援職員2名の安否を報告していないということがあった。	140名

#### 【富美岡荘・祥風苑・デイサービス合同】

月 日	実施内容	実施結果及び反省	参加人数
4月 23日	◎祥風苑の中途採用職員と令和2年度新人職員を対象に研修及び機器の操作方法の説明と実地研修を行い、防災への知識と意識の高揚を目的とし実施。	・防災委員が消防設備の取り扱い説明を行ないながら実際に操作を実施し、理解し把握できた。 ・設備のあり方、訓練に対する意識付けもできた。	5名
5月 20日	◎総合訓練(日中:富美岡荘)震度6弱の地震発生後、洗濯場より出火想定で訓練を実施。	・訓練経験が浅い職員が主体としての訓練であり、全体的に注意喚起の声が小さく無駄な動きが多かった。	32名
5月 29日	◎デイサービスの中途採用職員と令和2年度新人職員を対象に研修及び機器の操作方法の説明と実地研修を行い、防災への知識と意識の高揚を目的とし行なつた。	・防災委員が消防設備の取り扱い説明を行ないながら実際に操作を実施し、理解し把握できた。 ・設備のあり方、訓練に対する意識付けもできた。	5名
6月 17日	◎総合訓練(日中:富美岡荘)震度6弱の地震発生後、洗濯場より出火想定で訓練を実施。	・注意喚起の声も大きく、こまめに利用者を安心させる声掛けを行なう姿が見受けられており良かった。	113名

7 月 27 日	◎部分訓練（日中：祥風苑）豪雨災害と土砂災害の危険性ありの想定で訓練を実施。（避難してくる他施設の受け入れ態勢実施）	・施設間の連絡体制、応援職員への指示等、スムーズに実施できた。 ・マニュアルはあるが、職員の基本ができており安全に実施できた。	115名
8 月 25 日	◎部分訓練（日中：デイサービス）豪雨災害と土砂災害の危険性ありの想定で訓練を実施。（避難してくる他施設の受け入れ態勢実施）	・施設間の連絡体制、応援職員への指示等、スムーズに実施できた。 ・常に声掛けを行ない利用者に安心させる事ができた。	143名
9 月 30 日	◎座学（祥風苑）心肺蘇生法、AED使用法、資料と動画を用いて学ぶ。（訓練用人形、訓練用AED、本物のAEDを使用し体験実施）	・実際に経験のない職員もいたが、もしもの為に良い経験ができたと思う。今後も手順や操作法を忘れずに覚えていてほしい。	14名
10 月 29 日	◎部分訓練（日中：デイサービス）豪雨災害と土砂災害の危険性ありの想定で訓練を実施。（避難してくる他施設の受け入れ態勢実施）	・被害状況や受け入れ姿勢は内線で行ない、しっかりと把握できた。 ・利用者への声掛けを常に行ない安心させる事ができた。	165名
11 月 26 日	◎総合訓練（夜間：富美岡荘）震度6弱の地震発生後、洗濯場より出火想定で訓練を実施。	・夜間帯想定で職員が少ない状況で互いに状況を把握するのが困難で誘導に時間がかかってしまった。	120名
12 月 9 日	◎総合訓練（夜間：祥風苑）震度6弱の地震発生後、ボイラー室より出火想定で訓練を実施。	・119番通報を實際に行ない通報、報告が確実にできた。 ・事前のマニュアルを読み込み、声も出ており、臨機応変に対応ができた。	97名
1 月 29 日	◎伝達訓練（職員非常連絡網）地震発生後、百年の里から出火想定で訓練を行なった。	・一斉メール（Biz 安否確認アプリ）による伝達訓練は未回答や操作法や登録等の確認が必要。	全職員
2 月 26 日	◎総合訓練（夜間：富美岡荘）震度6弱の地震発生後、洗濯場より出火想定で訓練を実施。	・前回の教訓を活かし、少ない人数でいかに効率よく避難誘導を行えるかを事前に確認したため、スムーズに避難誘導が行えた。	60名
3 月 30 日	◎部分訓練（夜間：祥風苑）震度6弱の地震発生後の対応の訓練を実施。	・入居者に対する注意喚起、点呼を実施し安全確保を行なった。 ・職員間の指示と連携と応援職員に対する確実な指示を出しスムーズに行動していた。	57名

【蔵ハウス大船渡・まちぐるみ】

月日	実施内容	実施結果及び反省	参加人数
5月20日	◎部分訓練（消火） 所属職員を対象に消火器・消火栓の使用方法の説明。（消火器は、訓練用の消火器と火点使用）	・各職員が消火器・消火栓の使用方法を確認する事が出来た。 ・屋内消火栓を展開し、展開時の有効範囲を確認する事が出来た。 ・消火器の使い方で、箒で掃く基本の動作を忘れている職員が半分以上居た。	8名
6月10日	◎内部研修(心肺蘇生・AEDの演習) ・救命の連鎖（チェーンオブサバイバル）の重要性を知る為、心肺蘇生とAEDの演習を行う。	・実際に訓練してみると（焦ってしまい。出血が無いか、危険物が周りに無いか確認し状況に応じて対応の仕方が違うので落ち着いて状況把握したい）との声が聞かれた。注意点を確認しながら定期的に訓練を行う。	10名
7月8日	◎部分訓練（夜間：津波避難） ・震度5弱の地震発生後、津波警報発令。津波到達の恐れ有り、1階の入居者を2階へ避難誘導するとの想定で訓練開始。	・入居者に対する声掛けはされていたが、職員同士が連携する際に、大きな声を出し合って連携出来ていなかった。 ・車椅子の持ち方、女性職員2名で車椅子を持ち誘導していた。再度、車椅子の持ち方を教え最低3～4名で行う事を伝える	20名
8月12日	◎部分訓練（日中：洪水避難） ・大型で強い台風の接近に伴い避難準備情報発令。発令後、大雨特別警報に切り替わり、また、盛川の氾濫危険水位を超える恐れ有り、1階の入居者を2階へ避難誘導する想定で訓練開始。	・避難誘導時、エレベーター使用システムズに避難できた。 ・避難誘導指示が出る前に誘導した職員が居た。 ・状況報告等もれなく行えた。	24名
9月9日	◎部分訓練（夜間：津波避難） ・震度5弱の地震発生後、津波警報発令。津波到達の恐れ有り、1階の入居者を2階へ避難誘導するとの想定で訓練開始。	・状況を見て声を掛け合いながらしっかりと連携を取り行動が出来ていた。 ・宿直役の入居者見守りに向かうのが遅れてしまった。 ・施設長のPHSが充電切れで、PHSでの連絡ができなかった。	20名
10月14日	◎部分訓練(夜間火災：通報・避難) ・夜間、三陸沿岸を中心とした強い地震（震度5弱）が発生し停電する。数分後、隣接の建物から火災が発生。施設内入居者各居室等への延焼の恐れあるとの想定で訓練開始。	・避難誘導の際手順の流れを把握していないかったが為に2階、3階の避難に時間がかかってしまっていた。また連絡不足等があつた為指示に遅れが生じる場面があり1人1人流れを把握すべきであると感じた。 ・各訓練の宿直の動き等配役の見直しを検討すべきであると感じた。	20名
11月24日	◎部分訓練（スマート体験） ・スマートマシンを使用し煙を充満させたスペースでの避難姿勢、視認範囲等の把握を目的とした疑似体験を実施。	・充満した煙の中を実際に車椅子を押しながら移動する中で想像以上に視界が不良だった為、ヘッドライトを着用するよう検討する。 ・火災報知器の復旧の際、誤報連絡が発信された為 復旧手順を今一度確認する。	10名
12月9日	◎内部研修(各防災機器、設備取り扱い) ・災害発生時による各防災機器、設備の取り扱い方法と対応の確認。	・実際に資料見ても動けるか不安という声があった為分からない場合は、園内の防災委員等に聞くなどし対応を取って頂くよう周知する。	10名
1月29日	◎伝達訓練(職員非常連絡網)地震発生後、百年の里から出火想定で訓練を行なった。	・一斉メール(Biz安否確認アプリ)による伝達訓練は未回答や操作法や登録等の確認が必要。	全職員

2月10日	◎部分訓練（夜間：津波避難） ・震度5弱の地震発生後、津波警報発令。津波到達の恐れ有り、1階の入居者を2階へ避難誘導するとの想定で訓練開始。	・宿直が実際に訓練に参加していない為マニュアル通りに実際行動できるのは難しいと判断しマニュアルの作り直しを検討する。 ・地震発生、警報発令等の事象が起きた直後の行動にややもたつきがあった。	10名
3月10日	◎部分訓練（夜間：津波避難） ・震度5弱の地震発生後、津波警報発令。津波到達の恐れ有り、1階の入居者を2階へ避難誘導するとの想定で訓練開始。	・蔵ハウス内での避難訓練マニュアルを作成しなおし実際に行ったが比較的スムーズに避難できたと感じた。 ・入居者一人一人の声掛けをしっかりと行えていて良かった。また各々がしっかりと上手に連携し合えていた。	10名

### 【ひころいの郷】

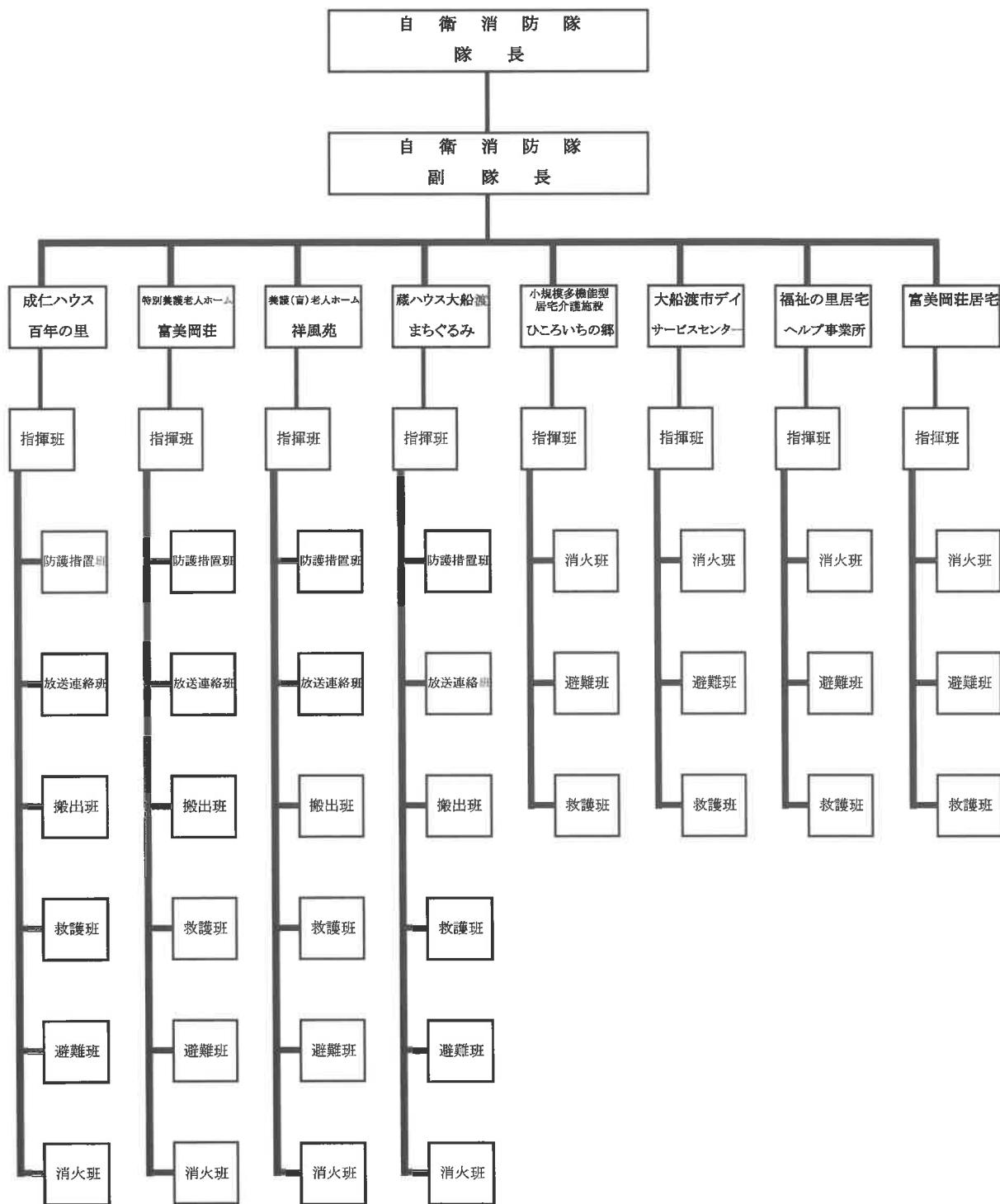
月 日	実施内容	実施結果及び反省	参加人数
4月27日	◎消防訓練 ・訓練用消火器を使用した手順確認と消防訓練 ・119番通報訓練 ・発電機使用手順～実動訓練。	・消火手順を確認しながらしっかりと行うことが出来た。 ・119番通報時、出火場所によっては火元に近い場合は非常ボタンを押した後、安全確保後に携帯電話での通報が有効の事を消防署との連携で確認した。	7名
5月27日	◎部分訓練(日中：地震避難) 午前中のレク体操・入浴介助対応中に震度6弱の地震発生の想定で訓練開始。	・強い揺れの最中、動かずに届く範囲での安全確保や大きな声での声掛けをしっかりと行うことが出来た。 ・被害状況の確認・報告時、破損・損傷箇所の確認をしっかりと行い報告できた。	18名
6月23日	◎部分訓練(日中：大雨避難) 豪雨により行政無線にて大雨警戒レベル3が発令。その後雨脚が強くなりレベル4に変更有り。敷地内の排水が追い付かず施設内に雨水流入の恐れがある想定で訓練開始。	・避難時の声掛けはスムーズで、連携も取れていた。 ・発電機や雨具等が玄関に有るので、早い段階でカウンター等に移動し水没しない工夫をする必要を感じた。	20名
7月21日	◎部分訓練(夜間：水害避難) 数日前より雨が続き、沿岸南部中心に大雨警報発令。時間経過と共に線状降水帯が発生し、市内に記録的短時間大雨警報が発令の想定で訓練開始。開始後施設裏側斜面土砂崩れ発生の想定。	・入居者様が避難を自分で行うので、居場所の把握等、介護員・宿直員間でしっかりと連携する必要を感じた。 ・家族様との連携を避難の移動時に出来る事が出来るよう、持ち出し袋の設置や必要物品のリストアップが必要を感じた。	17名
8月28日	◎部分訓練(日中：火災避難) 午前中のレク体操・入浴介助中震度6弱の地震発生。地震発生数分後に乾燥室より火災発生の為利用者の避難誘導するとの想定で訓練開始。	・浴室からの避難時、安全確保をしっかりと行いスムーズに避難誘導する事が出来た。 ・非常通報電話での電話対応は出来たが、火災報知器の復旧が不十分だったので、復旧手順の再確認を心掛ける。	21名
9月30日	◎部分訓練(日中：台風・大雨避難) 大型で強い勢力の台風が接近し、時間経過と共に避難警戒レベル4発令の想定で訓練開始。開始後、敷地内駐車場側の冠水と町内一帯が停電した想定有り。	・停電発生時、他事業所への2次避難必要時川の氾濫や土砂崩れにより移動が出来ない際の対応を確認する必要があると感じた。 ・停電時、電灯等明かりの確保と共に、ラジオにて情報収集が必要を感じた。	18名
10月27日	◎部分訓練(夜間：台風・大雨避難) 大型で強い勢力の台風が接近し、時間経過と共に避難警戒レベル4発令の想定で訓練開始。開始後、暴風雨により町内一帯が停電した想定有り。	・施設より避難できない状況を想定し、防寒や食事等の準備や、カセットコンロの使い方等確認を行う事が出来た。 ・ペットボトルによる即席ランタンを使用する事で、明かりの広がりを感じる事が出来た。	16名

11 月 27 日	◎部分訓練(日中：地震火災) 震度6弱の地震発生。地震発生数分後に脱衣室より火災発生の為利用者の避難誘導するとの想定で訓練開始。	・避難経路を2つに分け実施したが、職員間で連携をしっかりと行う事が出来た。 ・初期消火対応の手順や通報の対応をしっかりと行う事が出来た。	17名
12 月 22 日	◎部分訓練(日中：地震避難) 午前中のレク体操・入浴介助中震度6弱の地震発生した想定で訓練開始。	・浴室での地震発生時、近くのバスタオルを重ね頭部保護がしっかりと出来ていた。 ・加湿器やテーブルのお茶等、水分が床にこぼれた際、避難時の転倒リスクに繋がる事を注意しながら行動出来た。	18名
1 月 29 日	◎伝達訓練(職員非常連絡網) 地震発生後、百年の里から出火想定で訓練を行った。	一斉メール(Biz安否確認アプリ)による伝達訓練は未回答や操作法や登録等の確認が必要。	74名
2 月 25 日	◎内部研修 感染症対策の為、送迎時に津波警報が発令した際の安全確保をするのか、津波想定浸水区域図を使用しシュミレーションを行った。	・浸水想定区域の利用者様のご自宅を確認し、避難経路の検討を行う事が出来た。 ・公用車内用に非常食や防寒対策の物品設置等の検討を行った。	6名
3 月 24 日	◎部分訓練(日中：地震避難) 夕方送迎対応中、宮城から福島沖を震源とする震度6弱の地震発生。数分後市内に大津波警報発令の想定で訓練開始。	・送迎車、施設内の2つの状況で訓練し、それぞれ避難行動・報告対応の確認する事が出来た。 ・送迎対応職員の、電話にての報告内容で避難場所や道路状況等、報告に必要な情報が何か確認する事が出来た。	17名

#### 【福祉の里居宅・富美岡荘居宅・ヘルプ事業所】

月日	実施内容	実施結果及び反省	参加人数
4 月 13 日	◎内部研修 (消火設備の確認、災害時の動き方の確認) ・消火器の設置場所の再確認 ・災害時の役割の確認 ・災害時に搬出する重要書類の確認と周知	・防火設備や災害時の介護センター全体の動き方、優先で搬出する必要がある書類等について再確認し周知した。	10名
7 月 13 日	◎総合訓練 (日中想定) ・地震発生後、大津波警報が出た事を想定 ・職員の安否確認方法や搬出班の動き方の確認。	・職員内の役割分担を確認した。 ・事業所毎に利用者の家庭状況を確認し、安否確認が必要な利用者について共有した。 ・持ち出し用の書類の更新が必要と再確認した。	11名
11 月	◎内部研修 ・災害時に市内の介護事業者が集まり、情報交換をする災害時介護事業者連携について確認。	新型コロナウイルス感染予防対策の為、資料配布にて開催。	11名
1 月 25 日	◎非常伝達訓練の確認 ・Biz安否確認アプリの使用した一斉送信訓練の確認	・Biz安否アプリは、機種変更をしていたり機種が対応していない物があつたりしていた。変更した職員には再度アプリをダウンロードしてもらった。受信拒否になっている職員には設定変更をしていただいた。	全職員

## 社会福祉法人成仁会 自衛消防隊組織図



## 【百年の里 防災訓練実施状況】

総合訓練（日中想定）



総合訓練（夜間想定）



内部研修（担架使用手順・放水訓練・緊急時救命訓練）



## 【富美岡荘 防災訓練実施状況】

総合訓練（日中想定）



総合訓練（夜間想定）



新人研修（消火栓・発電機使用方法確認）



内部研修（スモークマシン・新設備説明・救命救急）



## 【祥風苑 防災訓練実施状況】

総合訓練（日中想定）



総合訓練（夜間想定）



新人研修（消防設備説明・取扱）



内部研修（心肺蘇生法・AED使用法）



## 【デイサービス 防災訓練実施状況】

総合訓練（日中想定）



総合訓練（日中想定）



総合訓練（日中想定）



総合訓練（日中想定）



## 【蔵ハウス大船渡・まちぐるみ 防災訓練実施状況】

総合訓練（日中想定）



総合訓練（夜間想定）



内部研修 消火訓練・スモーク体験・資料研修 )



## 【ひころいちの郷 防災訓練実施状況】

訓練（日中想定）



訓練（夜間想定）



内部研修(消火訓練・避難シミュレーション)



令和2年度

## 事 業 報 告

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

特別養護老人ホーム 成仁ハウス百年の里

## 令和2年度の事業を振り返って ～「個別ケア」の深化とナラティブ（物語）アプローチ～ 会長の哲学10項目の実践に向けて

元号が令和に変わり、新しい時代の2年目を迎えたこの年、「成仁ハウス百年の里」は、開設6年目を迎えようとしています。

何年経とうとも、どんな時代になろうとも、ケアの理念である「相手の身となり、心を手にして」という基本姿勢に変わることはございません。更なるパーソナルケアの実践を目指し、お一人おひとりの人生物語を把握するための手法を模索し、実践してきた一年でもありました。そして、私の示す10項目の哲学を実践することで、より具体的に、職員が一丸となり、前進できた年であったと感じております。

今年度は「新型コロナウイルス」という目に見えない敵との闘いでもありました。感染予防対策には全力を注ぎ、今できる最善の予防策を都度講じてまいりました。行政や地域の皆様からも、ここまで実行しているところは他にないというお言葉もいただきましたが、こればかりは、やりすぎるということはないと思い職員一丸となって取り組んでおります。おかげさまで現在に至るまで、罹患者が発生することなく過ごしております。

年度末には大船渡市から、高齢者施設をワクチンの先行接種の対象としたとの連絡を受け、連日協議調整を重ねております。今現在の最善の感染予防策となるワクチン接種が一日も早く実施できるよう準備を進めています。

このコロナ禍にあっても、先に掲げた感染予防対策を万全に行いながら、稼働率100%維持に努め、健全な事業運営ができましたことは、職員一人ひとりが、自分の行動に責任を持ち、責務を全うすることで実現できたと感じております。

どのような時代になろうとも、どのような事態になろうとも、創業者精神に基づいた基本姿勢を崩さず邁進することが、入居者様の「幸せの継続」につながることと確信いたしております。

今後も入居者様、そして職員も幸せを感じられるよう、なお一層精進してまいりたいと思っております。

特別養護老人ホーム 成仁ハウス百年の里

施設長 山崎シゲ

## 1 各課の事業実施状況

### (1) 総務部 総務課

総務課は施設間の連絡調整や各部署との連携を図り、円滑な施設運営が出来るよう職務にあたり、また入居者様の尊厳を支えるケアの徹底を図るため、細部にわたり入居者様や、そのご家族様のニーズに沿った質の高いサービスを提供できるよう尽力した一年となつた。

窓口業務を遂行するに当たっては、施設の顔であることを念頭に置き、「笑顔で挨拶」「感謝のことば」を忘れず、話しやすい対応を心掛け、昨今の感染症流行の予防対策に際しては、面会者への声掛けには細心の注意を払い手洗い、うがい、検温等施行していただき施設内の感染予防に努めた。電話においても相手に「笑顔が見える」よう誠意をもって対応し、関係部署への適切な取り次ぎを行つた。

さらに、収益事業として微量血液事業を推進し、市民の健康管理に貢献したほか、新型コロナ感染症抗原検査検出キットの販売を行い職員の予防のみならず、地域の方への感染症予防対策に貢献した。

事務業務においては、透明性・公平性が求められる中で、毎月適正な業務を進め、外部の会計事務所、監査法人に関係資料帳票等細部にわたり確認をしていただきながら正確な処理を行つた。また毎月財務会議を行い、各施設の財務状況の把握、施設運営の向上に努めた。

職員の資質向上に関しては、介護の知識や技術の習得、資格取得に向けて予算措置を行い資格取得のための支援、情報の収集や外部研修への参加等連絡調整にあたつた。

長年の経験から生まれた「成仁ハウス百年の里」のハードを大切に、創業者精神の下、入居者様やご家族、職員やその家族も一体となり、同じ方向を目指せるようにと努めてきた一年だったが、今後ますます高齢化が進み、地域からの期待も大きくなることが予想される現在、事業所内にととまらず、地域共生社会の実現に向け、地域との連携に務めていく必要があると考える。

## (2) 事業部 生活相談課

令和2年度は、新型コロナウイルスによる地球規模のパンデミックという、現代の私たちが経験したことのない状況下での1年となった。その中でも、「ここで暮らして良かった」と思っていただける施設を目指し、職員一丸となり取り組んできた。

令和2年度は「個別ケアの深化とナラティブアプローチ」をテーマに、入居に至るまでの個々人の物語（歴史）をより詳しく知ることで個別に深いアプローチができるよう、身元様にご協力を仰ぎ、過去の写真を積極的に調書に取り入れた。職員が視覚からも物語を読み取り、コミュニケーション技術の更なる向上と、情報の共有化の手段として活用できた。

長期入居平均介護度は4以上で推移し、終の棲家として最期まで食の楽しみを持ち、穏やかに生活していただけるような計画を立案し実践に努めた。長期入居者の入院合計日数が458日と前年比179%であったが、各居宅介護支援事業所と密な連携のもと、入院による空床の99.5%をショートステイへの利用につなげ、残り0.5%は入院加算の算定を行い、社会資源である長期入居の空床を100%活用することができた。感染症まん延予防のため面会規制を敷く中でも、スマートフォンを活用した定期的なテレビ電話等にて面会の代替策を施し、他職種連携のもと、継続して行っており、ご家族様にも大変喜んでいただいた。終末期の看取りについては、慣れ親しんだ施設で最期の時を安らかに迎えていただけるよう、ご家族と密に連絡を取り、安楽なケアを実践することができた。

新規の長期入居は19件で、うち要介護度4・5の長期入居は18件と、長期入居申し込みが多数ある中、重度で緊急度の高い方を多く受け入れることができた。

ショートステイ事業としては、緊急の相談・利用も多数あり、緊急利用・空床利用を含めた稼働率は114%となった。ショートステイ利用予定者と同居家族の体調確認、同居家族の就業・就学状況や家族以外の方との接触状況の詳細な実態把握を行い感染症予防に努めた。また、コロナ禍のため医療機関へ入院している方への面談形式の実態調査ができないが、電話での密な連携による調査を実施し、退院と同時に円滑に施設へ迎え入れることができた。

国保連請求及び利用料請求については、法的根拠に基づいた確実な請求業務を実施し、会計課と連携の上、未収金の把握や回収を行い、健全な財政運営を行うことができた。

感染症予防のため、慰問やボランティアの受け入れはできなかつたが、予防策を敷きながら毎日のラジオ体操の実施と施設内における行事等を企画し、ご入居者様に季節感を感じていただき、生活の中に生きがいや楽しみを持ち続けていただけないように努めた。

今後も、創業者精神にある基本姿勢を崩さず、入居者のため、地域のために貢献していきたいと考える。

## 利用者実績

今年度の稼働率は、長期入所98.5%、短期入所114%、合算稼働率は101.5%であった。日頃より、行政や医療機関、各居宅事業所との連携を密に図り、長期入所者が入院・外泊をされた際や急なキャンセルが発生した場合でも、その都度お声掛けをし、利用につなげることができた。また、緊急的に利用せざるを得ないさまざまな事情による短期入所の受入れ相談も多くみられ、その都度、各関係機関と迅速に連携を図りながら対応することができた。

### 【長期入所】

(単位：人)

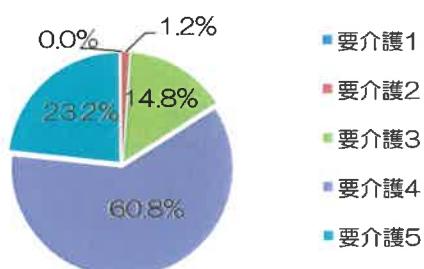
提供月	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度	利用ベッド数	ベッド定数	稼働率	入院外泊
令和2年4月	0	1	12	51	22	4.1	2499	2520	99.2%	21
令和2年5月	0	1	13	49	22	4.1	2577	2604	99.0%	27
令和2年6月	0	1	13	49	21	4.1	2503	2520	99.3%	17
令和2年7月	0	1	13	51	19	4.0	2529	2604	97.1%	75
令和2年8月	0	1	13	53	20	4.1	2541	2604	97.6%	63
令和2年9月	0	1	13	50	20	4.1	2483	2520	98.5%	37
令和2年10月	0	1	13	51	20	4.1	2574	2604	98.8%	30
令和2年11月	0	1	12	51	21	4.1	2446	2520	97.1%	74
令和2年12月	0	1	12	52	20	4.1	2526	2604	97.0%	78
令和3年1月	0	1	12	55	21	4.1	2590	2604	99.5%	14
令和3年2月	0	1	12	58	17	4.0	2345	2352	99.7%	7
令和3年3月	0	1	12	56	16	4.0	2589	2604	99.4%	15
合計	0	12	150	626	239	4.1	30202	30660	98.5%	458
介護度別比率	0.0%	1.2%	14.8%	60.8%	23.2%					

### 【短期入所】

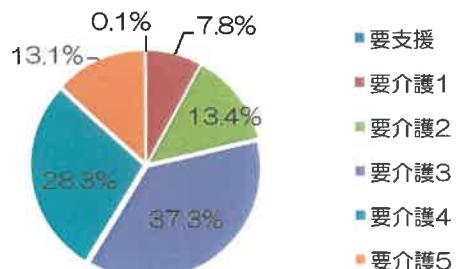
(単位：人)

提供月	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	平均介護度	利用ベッド数	ベッド定数	稼働率
令和2年4月	0	6	19	18	15	12		3.4	695	630	110%
令和2年5月	0	3	17	16	15	9		3.5	728	651	112%
令和2年6月	0	9	16	16	16	7		3.3	707	630	112%
令和2年7月	0	9	18	17	17	7		3.3	788	651	121%
令和2年8月	0	9	15	19	18	7		3.3	775	651	119%
令和2年9月	0	7	16	20	17	6		3.3	708	630	112%
令和2年10月	0	11	15	19	18	6		3.2	724	651	111%
令和2年11月	0	9	17	21	17	7		3.2	764	630	121%
令和2年12月	1	11	18	22	16	6		3.1	787	651	121%
令和3年1月	1	9	16	21	18	5		3.2	718	651	110%
令和3年2月	0	9	13	20	14	4		3.2	634	588	108%
令和3年3月	0	8	12	18	13	5	2	3.1	721	651	111%
合計	2	100	192	227	194	81	2	3.3	8749	7665	114%
介護度別比率	0.1%	7.8%	13.4%	37.3%	28.3%	13.1%					

### 【長期入所介護度比率】



### 【短期入所介護度比率】



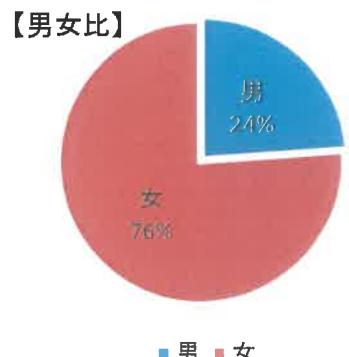
## 入居者の状況

今年度、新たに気仙管外からの入居はなく、昨年同様、釜石市1名と遠野市1名、計2名が管外からの入居者となっている。また、入居者の男女比や平均年齢は、前年度と概ね変わらず、男性入居者の最高年齢は101歳、最低年齢は69歳、女性入居者においては、最高年齢が102歳、最低年齢は66歳、全体の平均年齢は90.3歳となっている。

(1) 市町村別入居者の状況 (令和3年3月31日現在)

保険者名	男	女	計
合計	20	64	84
大船渡市	20	62	82
陸前高田市	0	0	0
釜石市	0	1	1
遠野市	0	1	1

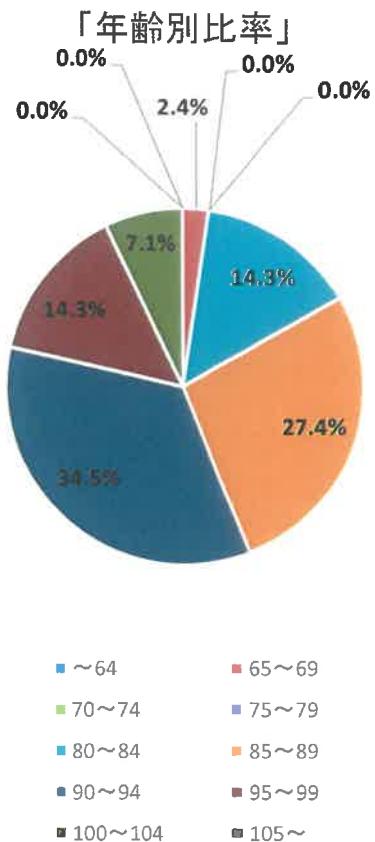
(単位：人)



(2) 年齢別状況 (令和2年3月31日現在)

年齢区分	男	女	計
～64	0	0	0
65～69	1	1	2
70～74	0	0	0
75～79	0	0	0
80～84	4	8	12
85～89	4	19	23
90～94	9	20	29
95～99	0	12	12
100～104	2	4	6
105～	0	0	0
計	20	64	84
最高	101	102	
最低	69	66	
平均	89.2	90.6	90.3

(単位：人)



## 入退居の状況

今年度は入居者、退居者の入れ替わりが19名であり、前年度は21名であったのほぼ同等であつた。今年度の新規入居者19名のうち、要介護度4、5は18名を占め、前年度に引き続き、日常生活継続支援加算の算定にもつながっている。また、退居の内訳は、16名が施設にてお亡くなりになられた方、3名が病院で永眠された方となっている。

**【入居者】**

No	入居年月日	氏名	介護度	保険者
1	令和2年4月4日	K・I様	3	大船渡市
2	令和2年4月10日	M・S様	5	陸前高田市
3	令和2年5月25日	T・T様	5	陸前高田市
4	令和2年8月20日	N・K様	5	大船渡市
5	令和2年8月29日	I・M様	4	大船渡市
6	令和2年8月31日	K・T様	4	大船渡市
7	令和2年10月12日	M・S様	4	大船渡市
8	令和2年11月9日	M・T様	5	大船渡市
9	令和2年12月7日	T・T様	4	大船渡市
10	令和3年1月4日	S・K様	4	大船渡市
11	令和3年1月7日	T・S様	4	大船渡市
12	令和3年1月28日	N・S様	5	大船渡市
13	令和3年1月29日	K・T様	4	大船渡市
14	令和3年1月30日	A・E様	4	大船渡市
15	令和3年2月6日	M・H様	4	大船渡市
16	令和3年2月11日	I・S様	4	大船渡市
17	令和3年2月17日	N・N様	4	大船渡市
18	令和3年2月25日	S・Y様	4	大船渡市
19	令和3年3月16日	S・T様	4	大船渡市

**【退居者】**

No	退居年月日	氏名	介護度	適用
1	令和2年4月3日	S・K様	4	大船渡市
2	令和2年4月9日	O・Y様	4	大船渡市
3	令和2年5月24日	K・M様	5	大船渡市
4	令和2年8月19日	M・S様	4	陸前高田市
5	令和2年8月28日	T・K様	5	大船渡市
6	令和2年8月30日	S・K様	4	大船渡市
7	令和2年10月11日	K・K様	3	大船渡市
8	令和2年11月8日	I・M様	4	大船渡市
9	令和2年12月6日	N・M様	4	大船渡市
10	令和3年1月3日	S・K様	5	大船渡市
11	令和3年1月6日	M・T様	5	大船渡市
12	令和3年1月27日	N・K様	5	大船渡市
13	令和3年1月28日	K・T様	4	大船渡市
14	令和3年1月29日	I・Y様	5	大船渡市
15	令和3年2月5日	S・S様	4	大船渡市
16	令和3年2月10日	H・M様	5	大船渡市
17	令和3年2月16日	T・T様	4	陸前高田市
18	令和3年2月24日	S・T様	4	大船渡市
19	令和3年3月15日	S・T様	4	大船渡市

## 入退院の状況

各課連携のもと、日々の入居者の状態観察、健康管理を行い、嘱託医である山崎内科医院の山崎医師には週2回の回診も行っていたりしている。また、入院治療が必要と判断される場合には、本人・家族の意向を重視しながら、協力病院である岩手県立病院と連携を取り、円滑な対応ができている。

	氏名	入院先（病院名）	病名	入院日	退院日
1	K・K様	大船渡病院 救急センター	肺炎、尿路感染症	令和2年3月13日	令和2年4月22日
2	K・M様	大船渡病院 救急センター			
3	T・K様	大船渡病院 内科	閉塞性黄疸、胆管炎	令和2年5月22日	令和2年6月19日
4	Y・M様	大船渡病院 整形外科			
5	T・K様	大船渡病院 救急センター	胆管炎疑い	令和2年6月30日	令和2年8月6日
6	T・K様	大船渡病院 内科			
7	S・K様	大船渡病院 整形外科	胆管炎	令和2年7月3日	令和2年7月27日
8	S・T様	大船渡病院 救急センター			
9	N・R様	大船渡病院 救急センター	肝硬変	令和2年8月16日	令和2年9月1日
10	K・K様	大船渡病院 救急センター			
11	S・T様	大船渡病院 救急センター	左下肢創部悪化	令和2年8月30日	令和2年10月11日 (病院にて死亡)
12	K・K様	大船渡病院 救急センター			
13	S・S様	大船渡病院 内科	膀胱タンポナーデ	令和2年10月16日	令和2年10月23日
14	S・T様	大船渡病院 内科			
15	S・K様	大船渡病院 救急センター	腹部腫瘍	令和2年10月29日	令和3年1月3日 (病院にて死亡)
16	K・K様	大船渡病院 救急センター			
17	K・T様	大船渡病院 内科	誤嚥性肺炎	令和2年11月15日	令和2年11月25日
18	K・M様	大船渡病院 整形外科			
19	S・S様	大船渡病院 内科	左視床部出血痕悪化	令和2年12月2日	令和2年12月14日
20	S・K様	大船渡病院 救急センター			
21	O・H様	大船渡病院 救急センター	腹部腫瘍、貧血	令和3年1月10日	令和3年1月18日
22	O・H様	大船渡病院 内科			

令和3年3月31日時点

## 入退所検討委員会

各施設代表が集まり、法人合同での検討委員会を開催することで、入居希望者についての情報共有や、各施設の現状を確認することができ、入居待機者のより円滑な施設入居に向けた検討を行うことができた。

### 1. 入退所検討委員会会議

回数	年月日	参加事業所
第1回	令和2年5月13日（水）	百年の里、富美岡荘、蔵ハウス、まちぐるみ、ひころいの郷
第2回	令和2年9月9日（水）	百年の里、富美岡荘、蔵ハウス、まちぐるみ、ひころいの郷
第3回	令和2年12月3日（水）	百年の里、富美岡荘、蔵ハウス、まちぐるみ、ひころいの郷
第4回	令和3年2月5日（金）	百年の里、富美岡荘、蔵ハウス、まちぐるみ、ひころいの郷
第5回	令和3年3月24日（水）	百年の里、富美岡荘、蔵ハウス、まちぐるみ、ひころいの郷

### 2. 令和元年度新規長期入所者

令和2年度の新規入所者は、19名で、このうち、要介護4・5を18名が占めている。これにより、年間を通して、日常生活継続支援加算（1日46単位）の算定ができた。

年月	新規入所人数（①）	①のうち要介護4・5の人数	①のうち要介護4・5の占める割合
令和2年4月	2	1	50.0%
令和2年5月	1	1	100.0%
令和2年6月	0	0	-
令和2年7月	0	0	-
令和2年8月	3	3	100.0%
令和2年9月	0	0	-
令和2年10月	1	1	100.0%
令和2年11月	1	1	100.0%
令和2年12月	1	1	100.0%
令和3年1月	5	5	100.0%
令和3年2月	4	4	100.0%
令和3年3月	1	1	100.0%
合計	19	18	94.7%

### (3) 事業部 介護課

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、今年度は、これまでの日常が 180 度転換した 1 年となった。これまで「普通」に出来ていたことでも、感染が広まっていくにつれて出来なくなっていくことが多くなっていった。面会の禁止、外部との交流もストップ、行事の縮小・・・。

その中で、私たちがやるべきことは何か。今年は、試行錯誤しながら、そのことを学んだ 1 年でもあった。まず、理事長の「今日からラジオ体操始めるぞ！」の一聲から、11 時のラジオ体操が始まった。全館放送で、「百年囃子」が流れ、その後、ラジオ体操をする。今では、その時間になれば、入居者が自然とリビングに集まり、みんなで体操を行うことが新しい日常の一部となっている。そして、体操が終わるとともに、どこからともなく大きな拍手や「バンザイ」の掛け声が聞こえてくるようになった。会長、理事長からは「お年寄りをいっぱい褒めているか？」とよく問われる。このラジオ体操には、そんな +  $\alpha$  の部分が求められているのだと感じている。体操や放送をきっかけにして、職員がコミュニケーションを取つていけるように。それには、まだまだ引き続き、職員一人ひとりの意識を高めていかなければならぬと感じている。

それから、面会や大規模な行事の開催が難しい中、メールや LINE、テレビ電話を使いながら、ご家族とのつながりが途切れることのないよう、入居者の近況報告を続けてきた。この機会に、直接、ご家族とのやりとりをしていく中で、私達介護職員とご家族との距離も近づいたように感じている。また、施設の 1 大行事である敬老会も、今年は規模を縮小し、来賓や家族を呼べぬ状況での開催となつたが、その分、アットホームなものとなり、入居者からも大変喜ばれた。また、敬老会記念という形で、入居者お一人お一人の日々の様子や敬老会の写真等をまとめた DVD を作成し、各ご家族へ郵送すると、「涙を流して何回も見たよ」等、感謝のお言葉をいただいた。面会が出来ない中、入居者と家族のつながりを継続していくことが、それぞれの安心感につながっている。これからも、私達に何ができるのかを考え、続けていきたい。

また、埼玉医科大学との実証実験の本格始動に向けたプロジェクトが発足し、そこで、世界で標準化されている ADL 評価「バーサルインデックス (BI)」に初めて出会うことができた。そこから、「誰がやってもぶれない評価」を目指して、日々の日常業務の一環として BI を取り入れ、何度も何度も評価とカンファレンスを重ね、徐々に評価の一致率も上がってきてている。また、ユニットケアは、一人仕事の時間が多いため、これを機に、ケアの統一にも繋がると、どの職員も前向きに取り組んでいる。

これからも、会長、理事長が話されるとおり、「とにかくお年寄りに優しく優しく」「介護に明日ね。はない」ということを頭に置き、入居者おひとりおひとりの暮らしが充実したものとなるように、1 日 1 日を大切にした個別ケアの実践に努めてまいりたい。

## 入居者の介護状況

今年度、長期入所の平均介護度は4.1となっており、要介護4、5の方が80%以上となっている。1日の暮らしの中で、入居者が何かしらの介助を必要とする場面は、高い割合を占めている。一方、短期入所は、介護度、利用期間等も様々であり、「実調シート」を元に状態の把握に努め、多様なニーズに沿った援助を心掛けている。

令和3年度の本格始動に向けて、今年度から、日常生活動作（A D L）の世界的評価基準である「バーサルインデックス」の評価様式を取り入れ、入居者おひとりおひとりのA D L評価を進めているところである。評価で生じたズレをカンファレンスを通じて一致させていくことが、科学的根拠を持ったケアの統一へも繋がると考え、積極的に取り組むことができている。

### 【食事】

「単位：人」

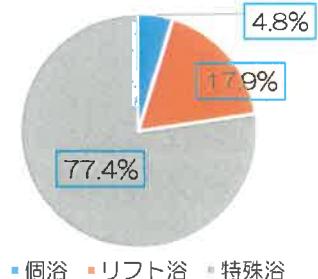
自立	一部介助	全介助
53	11	20



### 【入浴】

「単位：人」

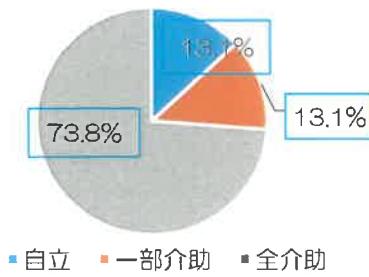
自立	一部介助	全介助
4	15	65



### 【移動】

「単位：人」

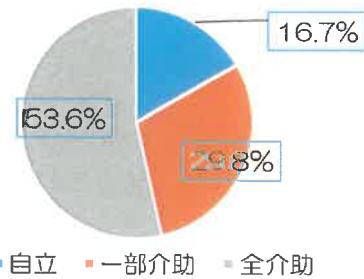
自立	一部介助	全介助
11	11	62



### 【排泄】

「単位：人」

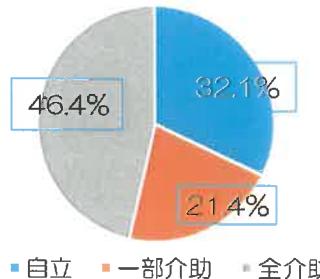
自立	一部介助	全介助
14	25	45



### 【起座】

「単位：人」

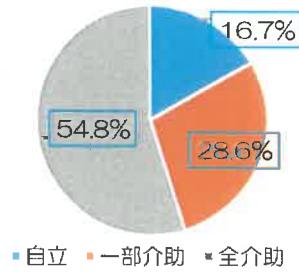
自立	一部介助	全介助
27	18	39



### 【着脱】

「単位：人」

自立	一部介助	全介助
14	24	46



## 行事実施状況

新型コロナウイルス感染予防のため、外部との交流行事は実施できなかったが、施設内においても、密にならない工夫をしながら、「ハレの日」を大切に、入居者に楽しみを感じていただけ るような行事を企画し、開催することができた。

月 日	行 事 概 要	月 日	行 事 概 要
4月 8日	花まつり	8月 19日	ビアガーデン
22日	不在者投票	9月 11日	甘味処
23日	寿司バイキング	16日	敬老会
5月 1日	開所記念日	30日	お月見だんご作り
8日	音楽セッション	10月 27日	紅葉バスハイク
10日	母の日メッセージカード	11月 5日	回転寿司
15日	ふるさとバスハイク	26日	百年の里作品展示会
6月 19日	百年の里大運動会	12月 24日	百年の里クリスマス忘年会
21日	父の日メッセージカード	28日	もちつき大会
22日	百年の里ショッピング	1月 13日	水木だんご作り
7月 7日	七夕短冊飾り	29日	新沼サツ様100歳セレモニー
8月 5日	百年の里夏祭り	2月 3日	節分豆まき
11日	習字クラブ	17日	鈴木トモ様100歳セレモニー
13日	迎え火	3月 3日	ひなまつり
16日	送り火		

## (4) 事業部 看護課

高齢化率が上昇の一途をたどる現在において、高齢者施設での医療的ケアが占める割合は、年々増加傾向にある。

そんな状況下において、安全を担保し安心して生活していただくために、施設看護師としての役割を担った。入居者の方々が、疾病コントロールをしながら、穏やかに生活していただくため、一人一人の状態を把握し、注意すべきこと、予想されることなど、常に嘱託医である山崎内科医院と連携を密にし、協力医療機関、施設内各部署とも連携を図りながら業務にあたった。それにより、異常の早期発見、対応につなげることができた。

また、看取り期を見極め、コロナ禍であっても、ご家族との面会を実現することができた。

今年度は、新型コロナウイルス感染症のため、面会制限を余儀なくされた。体調変化のある方などは、いつも以上に、ご家族と連絡を取り、報告、相談することで、信頼関係を築くことができた。

感染症予防については、新型感染症の情報収集、必要物品の手配などに尽力した。実際に罹患者が出た場合を想定した、個人防護用具を取り入れた標準予防策の研修の実施や、情報共有のあり方などを模索しながら様式変更し、確実な情報共有につながるよう、現在も実行している。

年度末には、新型コロナウイルスワクチンの先行接種にむけ、大船渡市との協議を重ね、早期の実施を目指した。

来年度も、この感染症に関しては、日々の情報に注目し、施設内感染予防のため。入居者、職員の健康管理や、自己管理の徹底を図っていく。

## ①健康管理状況

### (1) 入居者疾患状況（延べ人数）

男女の別	脳血障害による後遺症	高血圧	パーキンソン病	糖尿病	認知症	心疾患	消化器疾患（便秘含）	眼疾患	皮膚疾患	泌尿器系	呼吸器系	骨粗鬆症等	悪性新生物	その他	計
男	14	10		2	3	7		4	1	5	1	7	1	13	68
女	26	28	6	8	20	14	16	18	3	4	2	38	8	37	228
計	40	38	6	10	23	21	16	22	4	9	3	45	9	50	296

### (2) 医療的処置

男女の別	経管栄養		インシユリント	糖尿・日内変動	眼剤管理	V.P.	ペースメーター	人工肛門	膀胱瘻	バルーンカテーテル	
	経鼻	胃瘻									
男	0	1	0	4	2	2	3	0	1	0	
女	4	0	1	10	20	0	0	1	1	2	
計	4	1	1	14	22	2	3	1	2	2	

### (3) 予防接種状況

入居者	・10月1日～11月5日 インフルエンザ予防接種 ・隨時 肺炎球菌 (ニューモバックス)	85 3
職員	・10月1日～11月5日 インフルエンザ予防接種	71

### (4) 嘱託委回診状況 2月はリモート診察

- 回診日 週2回（火曜日、木曜日）
- 時間 17:00～18:00 急変時は隨時往診
- 回診日以外は14:30電話報告（土曜日は10:30）

### (5) 健康診断実施状況

対象者	実施年月日	内 容	人 数
入居者	4月1日～30日	身長、体重、検尿、血圧、心電図、聴打診	84
	10月1日～30日	体重、検尿、血圧、心電図、聴打診	84
	8月21日	予防医学協会による結核健診	38
	4月1日～9月30日	山崎内科医院による胸部写真撮影	46
職員	5月1日～5月31日	身長、体重、検尿、血圧、心電図、視力、聴力	69
		採血、胸部写真（妊娠中の者除く）	68
	10月1日～31日	体重、検尿、血圧、心電図、視力、聴力、採血	68

## (5) 事業部 栄養管理室

百年の里はユニット型の施設であることから、ユニットケアの目指すところである「暮らしの継続」を食事の面から実践するべく、開所時から継続してユニットでの炊飯やみそ汁づくりを介護職員が実施している。

今年度も美味しく・楽しく食事をして頂けるよう、季節に応じた行事食やイベントの他、選択食を積極的に取り入れた。選択食は「その場で選ぶ」ということを念頭におきながら、年間を通して実施することができた。その他に、委託業者の職員にもユニットへ出向いてもらいその場での実演調理や、入居者と一緒に調理を行うなどの食事レクも実施し、普段とは違った雰囲気の中で味だけでなく目で、香りで食事を楽しんで頂けるようサービスを行った。来年度以降も継続し、実施回数を増やしていくよう取り組んでいきたい。

また、一人ひとりがその人らしく穏やかに生活できるよう栄養の面からのサポートを行ってきた。個別の栄養ケアマネジメントの遂行にあたり、毎月の体重・食事量のモニタリングを行いながら、日々の食事状況や状態の変化を観察し、個人の栄養状態の把握に努めた。状態の低下が見られる場合には、他職種と連携して提供内容（食形態や提供量など）の見直しを臨機応変に行い、食事量・栄養状態の安定を図った。その他、嗜好調査などをもとに個々の嗜好・要望の把握を行い、可能な限りの個別ケアに取り組むことができた。

調理業務においては、安全で美味しい食事の提供を第一に、大量調理施設衛生管理マニュアルを遵守し、厨房内の衛生管理を徹底して行った。自己の健康管理にも十分留意し、厨房からの感染症の発生を防いだ

委託業者を交えた給食委員会を毎月開催し各職種・委託業者から意見を出し合い、より良い食事提供・円滑な給食運営に努めてきた。残食調査を実施し日々の献立作成・食事提供内容へのフィードバックを行い、食事に対する満足度を向上させることに努めた。

<行事食等提供状況>

実施日	内 容
4月 2日 7日 8日 9日 14日 16日 22日 28日	<p>洋食の選択食（オムライス/ミートソース）      おかず選択食（イカと大根の煮物/酢豚）      花まつり（なべやき・甘茶）      パン選択食      おかず選択食（八宝菜/新じゃがとひき肉の煮物）      麺選択食（カレーうどん/かき揚げそば）      觀桜会（寿司バイキング）      おにぎり選択食</p> 
	<p>※上記の他、ユニット調理実施</p> <p style="text-align: right;">寿司バイキング</p>
5月 1日 8日 10日 12日 14日 19日 21日 26日 28日	<p>開所記念・お祝い膳      餅の日      母の日メニュー      パン選択食      おかず選択食（ポークチャップ/ミックスフライ）      丂ぶり選択食（そぼろ丂/かき揚げ丂）      ぼたもちバイキング      おかず選択食（鶏のから揚げ/魚の味噌漬け焼き）      パン選択食</p> 
	<p>※上記の他、ユニット調理実施</p> <p style="text-align: right;">開所記念・お祝い膳</p>
6月 2日 5日 9日 11日 15日 19日 21日 22日 23日 25日 26日 30日	<p>麺選択食（焼きそば/冷やし中華）      揚げ物選択食      パン選択食      おかず選択食（焼き魚/肉味噌がけ）      おかず選択食（牛肉のスタミナ焼き/スペイン風オムレツ）      運動会お弁当      父の日メニュー      山崎商店（カップラーメン等選択食）      おかず選択食（さばみそ煮/餃子）      旧端午の節句（かまもち）      パン選択食      ごはんものの選択食（親子丂/ちらし寿司）</p> 
	<p>※上記の他、ユニット調理（天ぷら実演）実施</p> <p style="text-align: right;">運動会お弁当</p>

実施日	内 容
7月 3日 7日 9日 14日 16日 16日 17日 21日 22日 30日	<p>パン選択食 七夕メニュー おかず選択食（冷しゃぶ風/カレイの唐揚げ） 麺選択食（冷麺風うどん/夏野菜の天ぷらそば） おかず選択食（とんかつ/焼き魚） 甘味処 〃 土用の丑の日（うな丼） パン選択食 ごはんもの選択食（カレー/牛丼）</p> 
	<p>※上記の他、ユニット調理実施</p> <p style="text-align: right;">甘味処</p>
8月 4日 5日 6日 7日 12日 14日 15日 16日 19日 20日 21日 25日 27日	<p>パン選択食 夏祭り おかず選択食（チキン南蛮/具沢山卵焼き） なのか日（小豆ぱっとう） 丂ぶり選択食（油麩丂/ソースカツ丂） お盆メニュー 〃 〃 ビアガーデン 二十日盆（お弁当メニュー） おかず選択食（和風ハンバーグ/魚の照り焼き） 主食選択食（かき揚げうどん/天丂） おかず選択食（鮭のホイル焼き/フルコギ）</p>  
	<p>※上記の他、ユニット調理実施</p> <p style="text-align: right;">ビアガーデン</p>
9月 2日 3日 9日 11日 16日 18日 22日 25日 39日	<p>パン選択食 おにぎり選択食 重陽の節句 おかず選択食（焼き魚/コロッケ2種） 敬老会・お祝い膳 パン選択食 秋分の日（おはぎ） ごはんもの選択食（カレー/天津飯） おかず選択食（魚の竜田揚げ/メンチカツ）</p> 
	<p>※上記の他、ユニット調理実施</p> <p style="text-align: right;">敬老会・お祝い膳</p>

実施日	内 容
10月 1日 2日 6日 9日 13日 20日 23日 27日 30日	十五夜 パン選択食 ごはんもの選択食（ちらし寿司/みそカツ丼） おかず選択食（秋の天ぷら/さば味噌焼き） パン選択食 おにぎり選択食 おかず選択食（鮭のちゃんちゃん焼き/ミックスフライ） 麺選択食（ナポリタン/焼きそば） パン選択食 ※上記の他にユニット調理実施
	十五夜
11月 5日 6日 10日 13日 17日 20日 24日 27日	回転寿司 〃 ごはんもの選択食（そぼろ丼/天丼） パン選択食 麺選択食（カレーうどん/とろろそば） おかず選択食（タラの甘酢あんかけ/具入りオムレツ） おかず選択食（赤魚の煮付け/とんかつ） パン選択食
	 回転寿司
	※上記の他、ユニット調理実施
12月 1日 4日 8日 11日 15日 18日 24日 28日 31日	おかず選択食（チキンクリーム煮/さばの味噌煮） パン選択食 ごはん選択食（中華丼/かに玉丼） フライバイキング パン選択食 おかず選択食（ぶり大根/豚肉の生姜焼き） クリスマス忘年会 もちつき大会 大晦日メニュー
	 クリスマス忘年会
1月 1日 7日 7日 12日 14日 15日 19日 22日 26日 29日	正月メニュー もちの日 七草粥 パン選択食 おかず選択食（白身魚のピザ焼き/スペニッシュオムレツ） 小正月 めん選択食（なべ焼きうどん/かき揚げそば） おかず選択食（とんかつ/あぶたま煮） パン選択食 ごはんものの選択食（カレーライス/ちらし寿司）
	お正月メニュー

実施日	内 容
2月 2日 5日 9日 12日 16日 19日 22日 26日	<p>節分メニュー（恵方巻き）</p> <p>おかず選択食（エビフライ/ポークチャップ） /</p> <p>パン選択食</p> <p>旧元旦・もちバイキング</p> <p>おかず選択食（煮込みハンバーグ/タラの野菜あんかけ）</p> <p>パン選択食</p> <p>おでんバイキング</p> <p>おかず選択食（鶏肉のクリーム煮/魚の西京焼き）</p>
	 <p>もちバイキング</p>
3月 3日 5日 9日 12日 16日 19日 20日 23日 26日 30日 31日	<p>ひなまつりメニュー</p> <p>おかず選択食（天ぷら/焼き魚）</p> <p>おかず選択食（牛肉のスタミナ焼き/五目卵焼き）</p> <p>ごはんものの選択食（カツ丼/蒲焼丼）</p> <p>中華まん選択食</p> <p>おかず選択食（コロッケ 2種/サバの竜田揚げ）</p> <p>春分の日メニュー</p> <p>洋食選択食（オムライス/ナポリタン）</p> <p>おかず選択食（白身魚のピザ焼き/スペイン風オムレツ）</p> <p>おかず選択食（チキン南蛮/煮魚）</p> <p>山菜の日メニュー</p>
	 <p>※上記の他にユニット調理実施</p> <p>春分の日</p>

## 広報委員会

広報誌にて施設での日常の様子や栄養だより、感染症情報&介護の豆知識など専門的分野からも情報を発信する事が出来た、ただコロナの関係でユニット内でのイベント自粛等もあり広報誌を作成する際話題を集めると苦戦する月もでて発行が遅れたり、発行できない月もあった。来年度は定期的な広報誌の発行につなげたい。

ユニット内では常に写真を取る事をスタッフ一人ひとりが意識して業務に当たっている為、個人の写真は充実しているように思う、引き続き継続していく。

今後もホームページを活用し行事や日常等の写真を定期的に掲載していきたい。

	年月日	開催内容	活動内容
第1回	5月5日	令和2年活動内容	広報誌発行に伴う、ページの割り振り 活動内容の目的について ホームページについて
第2回	6月10日	ソフト勉強会	ラベルマイティーの勉強会をマンツーマンで行い、掲示コーナーを作成する。
広報誌	6月25日	広報誌4、5月号発行	・開所記念日5周年・令和2年度採用職員研修（新人インタビュー）・ガンのリスク検査について・花まつり・ふるさと巡り・新人中途採用者消防研修・ユニットの様子（お花見バスハイク、母の日）・栄養だより（食中毒、手洗い）・施設内の感染症対策
	8月20日	広報誌6、7月号発行	・大運動会・ユニットの様子（トーンチャイム、ハーバリウム教室、七夕）・栄養だより（免疫について）・ユニット調理の様子
	10月23日	広報誌8、9月号発行	・満百歳（鈴木トモ様）・面会規制緩和・法人内今話題の人・がんのリスク検査について・夏祭り・敬老会・ユニットの様子（迎え火、送り火、ユニット調理、月見団子作り）栄養だより（減塩のコツ、減塩レシピ）・介護の豆知識（クロックポジションについて）
	12月21日	広報誌10、11月号発行	・文化祭作品展示・回転寿司・ユニットの様子（誕生会、月見団子作り）・栄養だより・介護の豆知識
施設内掲示写真			・新しい行事の写真はエレベーター内に掲示して更新されたら2階セミパブリックスペースの写真掲示コーナーに移動し入居者様に鑑賞していただく

## リスクマネジメント委員会

令和2年度の主な活動内容としては、昨年度から引き続き毎月の事故・ヒヤリハット報告書をグラフ化し、職員全員で事故・ヒヤリハットを把握することに取り組んだ。事故は合計17件、ヒヤリハットは6件報告があった。レベル4以上の事故は4件発生しており、いずれも転倒、転落による骨折であった。年度後半からはテーマを決めて委員が自分の担当のユニットを点検、確認するなどの取り組みを行い、課題を抽出し改善に取り組んだ。次年度も引き続き毎月テーマを決めて、各委員が担当ユニットの実情を踏まえた事故防止策を展開できるように取り組みたいと考える。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第1回	4/20(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の委員会について (活動目標・構成員・活動内容・開催日程・具体的な活動について)</li> <li>・令和元年3月ヒヤリハット・事故報告書の分析について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の活動についてどのように進めていくかについて検討した。</li> <li>・前月のヒヤリハット・事故報告書の分析を行った。</li> <li>・車いす点検票の確認</li> </ul>
第2回	5/18(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価</li> <li>・令和元年度の事故・ヒヤリハット報告書の集計について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。また令和元年度の事故報告書の集計について確認した。</li> <li>・研修委員会主催だがKYT研修をおこなった。</li> </ul>
第3回	6/15(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。</li> <li>・ショートの居室環境について1か月ごと見直すこととした。</li> </ul>
第4回	7/20(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価</li> <li>・車椅子・歩行器点検票について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。</li> <li>・入居者様個別の対応策について検討した。</li> </ul>
第5回	8/17(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価</li> <li>・車椅子・歩行器点検票について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。</li> <li>・入居者様個別の対応策について検討した。</li> </ul>
第6回	9/23(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価</li> <li>・車椅子・歩行器点検票について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。</li> <li>・入居者様個別の対応策について検討した。</li> </ul>
第7回	10/19(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。</li> <li>・入居者様個別の対応策について検討した。</li> </ul>
第8回	11/16(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価</li> <li>・今月の点検・確認項目について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。</li> <li>・各居室、リビングの異食のリスクになるものの確認、臥床時の車いすの置き場所。自走する利用者、入居者様の自走の状態を検証し文章化して報告。</li> </ul>
第9回	12/21(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価</li> <li>・今月の点検・確認項目について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。</li> <li>・臥床時の車いす保管場所の統一、車いすの自走、フットレストの必要性の評価について一覧にしました。</li> </ul>
第10回	1/18(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価</li> <li>・今月の点検・確認項目について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。</li> <li>・入居者様個別の対応策について検討した。</li> <li>・移乗方法と注意点について入居者個々について表にまとめた</li> </ul>
第11回	2/15(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価</li> <li>・車椅子・歩行器点検票について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月ヒヤリハット・事故について、報告、検討を行った。</li> <li>・入居者様個別の対応策について検討した。</li> </ul>
第12回	3/15(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価</li> <li>・今月の点検・確認項目について</li> <li>・今年度の反省、次年度への課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。</li> <li>・今年度の実践して良かった点、実践出来なかつた点など各委員毎にあげてもらい、次年度への課題を抽出した。</li> <li>・車いす、クッション類は適しているかなど4項目について確認した。</li> </ul>

## 感染予防対策委員会

今年度は感染症マニュアルに沿って実践、予防に努め、感染症発生なく経過した。今後も感染症予防対策の周知、徹底に努め、感染症発症者が出ないよう、体調管理をしっかりと行っていく。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第1回	令和2年4月30日	・今年度の活動計画	・今年度の活動計画について
第2回	令和2年5月29日	・4月の感染症の発生状況 ・感染症マニュアルについて	・感染症の発生状況 ・感染マニュアルの周知、徹底
第3回	令和2年6月23日	・5月の感染症の発生状況 ・冷蔵庫点検について ・6月26日内部研修	・感染症の発生状況について ・食中毒予防の為、利用者、ユニットの冷蔵庫内食品保存リスト表を作成し管理 ・食中毒感染予防について
第4回	令和2年7月8日	・6月の感染症の発生状況 ・6月の反省	・感染症発生状況について ・食中毒予防について
第5回	令和2年8月19日	・7月の感染症の発生状況 ・7月の反省	・感染症発生状況について ・冷蔵庫点検表の活用、衛生管理について
第6回	令和2年9月8日	・8月の感染症の発生状況 ・8月の反省	・感染症発生状況について ・食中毒予防について
第7回	令和2年10月5日	・9月の感染症の発生状況 ・9月の反省	・感染症の発生状況について ・感染症マニュアルの実践、徹底
第8回	令和2年11月9日	・10月の感染症発生状況 ・10月の反省	・感染症発生状況について ・インフルエンザ対応、環境整備について
第9回	令和2年12月7日	・11月の感染症発生状況 ・11月の反省	・感染症発生状況について ・インフルエンザ・ノロウイルスの対応について
第10回	令和3年1月18日	・12月の感染症発生状況 ・12月の反省	・感染症発生状況について ・インフルエンザの対応について
第11回	令和3年2月15日	・1月の感染症発生状況 ・大船渡市内コロナ感染状況	・感染症発生状況について ・インフルエンザ、コロナの対応について
第12回	令和3年3月8日	・2月の感染状況 ・今年度のまとめ	・感染症発生状況について ・ノロウイルスの対応について ・今年度のまとめ

## 褥瘡予防対策委員会

褥瘡発生リスクの高い利用者を中心に個別訪問を実施し、体位交換や正しいポジショニング等を確認し、周知に努めた。来年度もブレーデンスケール、OHスケールを使用し褥瘡発生のリスクを評価し、褥瘡予防をしていく。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第1回	令和2年4月27日	・今年度の活動計画	・今年度の活動計画について
第2回	令和2年5月30日	・入居者の全身状態、皮膚状態について（ユニット訪問）	・褥瘡褥瘡リスクの高い方(2名)の全身状態・皮膚状態の確認、ポジショニングの指導
第3回	令和2年6月29日	・皮膚トラブル予防 ・エアーマットの使用状況の確認、見直し	・皮膚トラブル予防の為個別におむつ、パッドの選択、使用方法の指導 ・エアーマットの使用状況の確認、見直し
第4回	令和2年7月17日	・入居者の全身状態、皮膚状態について（ユニット訪問）	・入居者様個別訪問し、皮膚状態観察・体位交換・ポジショニング・清潔等の指導(3名)
第5回	令和2年8月25日	・入居者の全身状態、皮膚状態について	・入居者様の体位交換、皮膚状態の確認
第6回	令和2年9月23日	・入居者の全身状態、皮膚状態について（ユニット訪問）	・入居者様個別訪問し、皮膚状態観察・体位交換・ポジショニング・清潔等の指導(2名)
第7回	令和2年10月16日	・入居者の全身状態、皮膚状態について（ユニット訪問） ・エアーマット使用状況確認	・入居者様個別訪問、皮膚状態観察・栄養状態確認・ポジショニング・清潔等の指導(2名) ・エアーマット使用状況の集計、確認
第8回	令和2年11月20日	・入居者の全身状態・皮膚状態について（ユニット訪問）	・入居者様個別訪問し、皮膚状態観察・ポジショニングを確認し指導(1名)
第9回	令和2年12月25日	・入居者の全身状態・皮膚状態について（ユニット訪問） ・見守りつきエアーマットレスについて	・入居者様個別訪問、皮膚状態観察・栄養状態確認・ポジショニング・清潔等の指導(1名) ・見守りつきエアーマットについての勉強会
第10回	令和3年1月12日	ブレーデンスケールにて褥瘡発生リスクの評価	・エアーマット使用者に対しブレーデンスケールを使用し評価
第11回	令和3年2月19日	入居者の全身状態・皮膚状態について（ユニット訪問）	入居者様個別訪問し皮膚状態観察・体位交換・ポジショニング・清潔等の指導(1名)
第12回	令和3年3月30日	・今年度のまとめ	・今年度の反省とまとめ

## 身体拘束廃止委員会

今年度の身体拘束実施者は2名にて経過した。いずれも経管栄養のカテーテル（経鼻）が入っている方の安全確保のためのミトン使用となっており、身体拘束実施経過検討を行うも、自己抜去のリスクが高く、廃止まで至らなかった。

身体拘束は高齢者虐に繋がることでもあり、委員会として、研修会の開催や啓発活動を通じて、職員の身体拘束廃止に向けた意識向上や、虐待のない安心した生活が送れる施設作りに繋げるような活動を中心に行うことができた。

回数	年月日	検討議題	内容
第1回	令和2年4月6日	身体拘束に関する経過検討	1名の方が経鼻カテーテル抜去予防の観点からミトンを使用する。ご家族もご本人の心身に関する苦痛を緩和したいとのことで希望され、廃止に向けて経過観察していくこととする。
第2回	令和2年5月11日	身体拘束に関する経過検討	1名の方が経鼻カテーテル抜去予防の観点からミトン使用者が追加となり、計2名となる。廃止に向けて経過観察していくこととする。また、『ベッド安全点検シート』を作成し、適切なベッド配置がなされているか等の点検を実施した。
第3回	令和2年6月1日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかつた。
第4回	令和2年7月6日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかつた。また、『ベッド安全点検シート』を作成し、適切なベッド配置がなされているか等の点検を実施した。
第5回	令和2年8月3日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかつた。
第6回	令和2年9月7日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかつた。また、『ベッド安全点検シート』を作成し、適切なベッド配置がなされているか等の点検を実施した。
第7回	令和2年10月5日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかつた。
第8回	令和2年11月2日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかつた。また、『ベッド安全点検シート』を作成し、適切なベッド配置がなされているか等の点検を実施した。
第9回	令和2年12月7日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかつた。
第10回	令和3年1月4日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかつた。また、『ベッド安全点検シート』を作成し、適切なベッド配置がなされているか等の点検を実施した。
第11回	令和3年2月1日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかつた。
第12回	令和3年3月1日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかつた。

## 給食委員会

委員を通じて、入居者様の食事に関する意見や要望を各職種・委託業者に伝え、より良い食事を提供するための意見交換を行った。また、食欲不振や体調不良の入居者様に対して、各種職員と連携し摂取状況や嗜好の把握を行い、その方に見合った食事を提供し、少しでも摂取量が増えるよう努めてきた。また、選択食やバイキングの実施やユニット調理に力を入れ、入居者様の食事がより美味しく楽しいものになるよう努めてきた。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第1回	4月16日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・今年度の活動計画について ・食事提供（各課から）について
第2回	5月8日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・残食調査の実施方法について
第3回	6月12日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・水分補給について
第4回	7月10日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・冷蔵庫の温度管理について
第5回	8月14日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・食中毒予防について
第6回	9月11日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・衛生管理について
第7回	10月9日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・敬老会の反省について ・生ものの提供について
第8回	11月24日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・日常の給食提供について
第9回	12月11日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・年末年始の行事確認
第10回	1月28日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・日常の献立への要望
第11回	2月12日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・選択食の実施方法について
第12回	3月12日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・日常の献立への要望

## 教育育成委員会

今年度の研修は、感染症予防の観点から、一堂に会した研修の開催をなるべく避け、日程を分散させる等、密にならないような工夫を行いながら実施した。また、資料配布という形で、全職員に周知徹底を図り、個々の学習を進め、職員の資質向上に努めることができた。

内部研修		
4月	24日	成仁会職員の心構えと法令遵守 セクシャルハラスメントについて 令和2年度事業計画 身体拘束等適正化にむけて ※資料配布
5月	14日～21日	福祉施設における危険予知訓練　：村上丈課長補佐
	28日	個人情報保護法について 接遇について　：村上丈課長補佐
6月	26日	感染症予防対策について　：鈴木由美子看護師 プライバシー保護について　：村上丈課長補佐
	29日～7月1日	第1回認定介護員フォローアップ研修（手技の確認） ※ビデオ研修
7月	24日	事故発生時の対応について　：平山課長 褥瘡予防について　：山田美紀子看護師
8月	25日	緊急時の対応　：平山課長
9月	23日～25日	第2回認定介護員フォローアップ研修（手技の確認） ※ビデオ研修
	28日	介護施設の接遇マナー講座：田原美晴先生（内部研修）
10月	7日	施設におけるターミナルケア　※資料配布
	7日・8日	新型コロナウイルス感染症の施設内での感染症対策について ：東副施設長
	20日	防災訓練（内部研修）　：千葉一洋
11月	20日	介護保険制度について 権利擁護について 認知症について　※資料配布
	27日	リスクマネジメントについて　※資料配布
12月	22日	身体拘束廃止について 褥瘡予防について　※資料配布
1月	20日～22日	第3回認定介護員フォローアップ研修（手技の確認） ※ビデオ研修
2月	26日	職員のメンタルヘルスについて 腰痛予防について　※資料配布
3月	26日	施設の医療について　※資料配布

## 医療的ケア対策推進委員会

令和 2 年度は、認定介護員を対象としたフォローアップ研修を実施した。また新型コロナウィルスの感染予防対策のため外部研修に参加することができなかつたため、内部研修委員会とも連携し認定介護員以外でも研修に参加できるようにしたほか、ターミナルケア、緊急時の対応などの研修に取り組んだ。研修中の感染対策として密にならないように研修期間を複数日設定したり、資料配布とした。

今後も法令に則りながら、入居者様の安全を確保し、質の高いケアを提供できるよう委員会活動を継続していく。

第1回	令和2年4月28日(火)	今年度の活動計画について	活動計画立案
第2回	令和2年6月29日(月) ～7月1日(水)	認定介護員フォローアップ研修(第1回)	手技の確認(ビデオ研修)
第3回	令和2年8月25日(火)	緊急時の対応について	内部研修として全職員対象で開催
第4回	令和2年9月23日(水) ～9月25日(金)	認定介護員フォローアップ研修(第2回)	手技の確認(ビデオ研修)
第5回	令和2年10月7日(水)	施設におけるターミナルケア	内部研修として全職員対象(資料配布)
第6回	令和2年1月20日(水) ～22日(金)	認定介護員フォローアップ研修(第3回)	手技の確認(ビデオ研修)
第7回	令和3年3月26日(金)	施設の医療について	内部研修として全職員対象(資料配布)

## 職員研修実施状況(外部研修)

日付	内容	出席者		研修内容
6月24日	社会福祉法人成仁会会計セミナー初級編	係長 事務長	金野優子 菊池郁子	初めての社会福祉法人会計
7月21日	社会福祉法人成仁会会計セミナー基本編	係長 事務長	金野優子 菊池郁子	初めての社会福祉法人会計
9月28日	合同接遇研修会		職員10名	接遇について
10月6日	令和2年度気仙地区地域感染症予防研修会	副施設長	東美也子	気仙地区における感染症発生動向調査と対策について
10月7日	安全運転管理者講習	相談課長	遠藤宏	安全運転講習
10月9日	社会福祉法人会計セミナー実践編	係長 事務長	金野優子 菊池郁子	会計処理実践編
10月10日	感染症に関する講演会	副施設長 相談課長	東美也子 平山茂子	新型コロナウイルス入居施設関連対策について（大船渡市）
10月16日	実態調査	相談課長	平山茂子	盛岡市
11月19日	気仙地区看護師長会	副施設長	東美也子	気仙管内病院施設関係者との医師の意見交換会

## 成仁ハウス百年の里 1年間の様子



令和2年4月8日  
【花祭り】



令和2年4月22日  
【市議会議員選挙不在者投票】



令和2年5月1日  
【開所記念日】



令和2年5月29日  
【施設外お茶会】



令和2年6月4日  
【裁縫クラブ】



令和2年6月19日  
【大運動会】



令和2年7月7日  
【お茶っこクラブ】



令和2年7月10日  
【瀬戸物大市】

## 成仁ハウス百年の里 1年間の様子



令和2年8月5日  
【夏祭り】



令和2年8月19日  
【ビアガーデン】



令和2年9月16日  
【敬老会】



令和2年9月18日  
【消防訓練】



令和2年10月24日  
【食事レク かまもち作り】



令和2年10月27日  
【紅葉狩りバスハイク】



令和2年11月5日  
【回転寿司の日】



令和2年11月26日  
【百年の里文化祭】

## 成仁ハウス百年の里 1年間の様子



令和2年12月24日  
【クリスマス忘年会】



令和2年12月28日  
【餅つき大会】



令和3年1月1日  
【元旦 権現様】



令和3年1月13日  
【水木団子づくり】



令和3年2月3日  
【節分 豆まき大会】



令和3年3月17日  
【手巻き寿司づくり】



令和3年3月18日  
【鍋パーティー】



令和3年3月20日  
【ぱた餅作り】



令和2年度

## 事 業 報 告

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

特別養護老人ホーム 富美岡荘

## 令和2年度の事業を振り返って

### ～「ありがとう」の心を忘れずに、45年変わらぬ愛を～

令和2年度の最大の出来事として、新型コロナウイルス感染症問題です。昨年度から現在も継続して予防を行っています。当市でも感染が広まり、法人として何度も感染症対策会議を実施し、手洗い・うがい・アルコール消毒や面会の制限等、外部からの感染を出来るだけシャットアウトすることを徹底し、また、職員も出来るだけ不要不急以外は、遠出はなるべくひかえるようお願いをしております。入居者様に感染すれば、重篤になるとの情報ですので、今後も引き続き予防を徹底して参ります。

今まででは、直接、施設に来て面会をすることが出来ましたが、コロナ過では、携帯電話を使っての新しい面会の方法（オンライン面会）で入居者様の状況をお知らせすることが出来ました。また、毎月発行している広報で様子を詳しく報告しています。

計画した行事は、施設内で出来る行事は規模を縮小して実施をしましたが、最大のイベントである成仁会夏祭り・盛町道中踊りは中止となり、敬老会は家族なしでの実施となり、家族のいない行事は、やはり寂しく、入居者の方々は、今ひとつ盛り上がりに欠けたと思われます。来年度は、是非、家族を交えて記憶に残るイベントにしたいと思います。

令和3年度から、埼玉医大との実証実験を行うにあたり、事前研修を実施し、必ず成功させるべく、研修を積み上げ結果を残したい。

その他は、大きな事故（骨折等）なく何事もなく経過した1年であったことに感謝し、常に入居者五十数名の命をお預かりしていることを、全職員が緊張感をもって一生懸命、入居者様に寄り添って支援した事に感謝します。

長期入所42床・短期入所が10床、被災者緊急入所者が1名（令和2年10月で終了）・やむを得ない定員超過1名（令和3年3月で終了）合計で52名の入居者となっております。

長期入所の稼働率が、102%（昨年103%）短期入所の稼働率では、121%（昨年119%）今年度の目標である安定した運営に貢献できたと思う。平均介護度では、4.25。（昨年4.3）入所平均年齢は、86.3歳（昨年85.4歳）入所期間では、2.1年と昨年同様となっています。退所者人数では24名（内1名は養護施設に移動）です。

これらの統計から、ここ最近の入所者については、入所する時点で年齢が高く重度化・重症化が進んでいる状況であり、その中で、いかに入居者の方々・家族の方々に安心して施設生活を送れるようにするには、会長・理事長が常に話されている、「相手の身になって」「寄り添う介護」パーソナルケアがいかに必要であるか来年度は益々、職員みんなでひとりを見つめ直し、更なる職員の資質の向上を目指して、穏やかに入居者・家族・職員皆が生活出来るよう、職員一丸となって精進してまいります。

特別養護老人 ホーム富美岡荘

施設長 村上博

## 1. 各課の事業実施状況

### (1) 総務部 総務課（庶務課・経理課・業務係）

総務部・総務課としては、コロナ過の中で、消毒等の備品の確保、欠品しないように綿密にチェックし、施設内における各課・各部署との連携を密に行い、本部からの早め早めのコロナ過の指示・対策を的確に把握・実施し、各事業所との連携・連絡調整をスムーズに実施した。

今年度はじめから、面会制限となってしまい、富美岡荘に入居する入居者様のご家族や業者の方に対し大変申し分けなかった。電話での対応は、常に明るい雰囲気で感謝の気持ちを忘れず対応をした。

経費の節約は、細部に渡りチェックし、ムリ・ムダを極力省き適正な運営を実施した。今後も事務所主導で、本部の会計とも詳細に協議を重ね、経費の削減について徹底的に分析し収益を上げるようチェック体制の強化を図った。

事務処理においては、透明性・公平性が求められる中で、請求書等は二重・三重のチェック体制を確立し適切に毎月遅れることなく適正に処理ができた。

### (2) 事業部 生活相談課

コロナ過での入所は、相當に気を使った。受け入れする際には、家族等にコロナ過に感染者の有無の調査等かなりのチェックがあった。現入所者の安全・安心を守るためにものであり従って、面会も1年間禁止となってしまったため、新しい面会の方法として、携帯電話を使用した面会（オンライン面会）方法で実施をし、家族の方々からは好評であった。また、広報を通して近況報告もいつも以上に細かく報告を実施した。

相談課として最重要課題である稼働率であるが、長期入所定員42名の稼働率102%で稼働した。震災以降実施している被災者受け入れ状況は、10月で終了した。

短期入所においては、定員10名の稼働率で121%である。  
やむを得ない事情による定員超過の受け入れ2件、緊急利用の要請が28件あり、受け入れした。

やむを得ない身体拘束は、経鼻経管栄養の長期入居者1名に対して、現在実施している。身体拘束廃止及び虐待予防に向けた取り組みの中で、施設内研修での職員研修を実施し、身体拘束の適正化に関する指針の周知徹底を図った。面会が少ないせいか苦情は、1件であったが、早期に誠心誠意対応し、解決できた。

### (3) 事業部 介護課

令和2年、新年度早々から新型コロナウイルス感染症拡大が世界的規模で問題になっている中、本部の対策会議から予防対策の指示が早め早めにあり、施設内で感染症予防対策の内部研修を行い、徹底したうがい、手洗い、アルコール消毒、施設内の消毒、加湿、換気等を徹底して実施し予防に努めた。職員は不要不急での外出は出来るだけ避け、どうしても管内から離れるときは上司に報告し消毒液持参で出掛けるよう徹底していた。インフルエンザ、ノロウイルス等の感染予防も同様に実施し感染者は無かった。

骨折等大きな事故もなく経過した。1年1年職員の観察力の質が向上している事を実感している。

埼玉医科大の実証実験が来年度から実施することで、事前に研修を積み重ね、来年度4月からスムーズに行えるよう備える。

一年を通して、行事を実施してきたが、やや寂しさが残る一年であった。計画した行事は、滞りなく実施はしたが、今年の行事は、ご家族の参加なしの行事であったため、いつも通りの入居者・ご家族のふれあいが無かつた1年であった。

来年もコロナ過の中でどう入居者様のストレスを発散させて、穏やかな生活を継続していただけるか、

### (4) 事業部 看護課

令和2年度4月から、新型コロナウイルス感染症予防として、うがい・手洗い・アルコール消毒を徹底して実施した結果、入居者のインフルエンザ、ノロウイルス感染予防も結果として実施できた。更に、面会規制もあり徹底した防止ができた。

年2回の健康診断と年1回の胸部レントゲン撮影やインフルエンザワクチンの予防接種を実施した。5年に1回の肺炎球菌ワクチン接種対象者は今年度なしであった。

施設でのターミナルケアを希望された場合、面会は、感染症対策を万全に行い、面会は実施して頂き、嘱託医の指示や家族の意向を確認し、相談課、介護課、看護課と充分な連携を図り、オンコール体制にて入居者の尊厳を大切にしながら看取りケアの対応を実施した。

各課連携して職員みんなで入居者一人ひとりを見つめ直し、入居者の尊厳を守り、安心して笑顔あふれる暮らしになるように、職員更なる資質の向上を目指します。

## (5) 栄養管理室

今年度もおいしく・楽しく安全に食事をいただけるよう、委託業者や他職種との協力で業務を行った。

また、一人ひとりがその人らしく穏やかに生活できるよう栄養面からのサポートを実施した。個別の栄養ケアマネジメントの遂行にあたり、毎月の体重・食事量等のモニタリングを行いながら、日々の食事摂取状況や状態の変化を観察し、個人の栄養状態の把握に努めた。食事摂取の低下が見られる場合には、他職種と連携し食事内容や提供量等の見直しをその都度行い、食事量・栄養状態の安定を図った。その他、嗜好調査や食事摂取観察等を行う中で、嗜好や要望の把握を行い、可能な限り個別ケアに取り込むことができた。

高齢者の方々は食欲の低下と相まって食事量が少なくなることが多いため、低栄養のリスクが高くなることから、たんぱく質含量にも留意し、各職種と試作・検討を行い、個々の入居者様にあった食品の提供に踏み込んだ。安全に美味しく食事がいただけるよう、今後も各職種と委託業者と一体となって取り組んでいきたい。

調理業務においては、安全で温かくて美味しい食事の提供を第一に、大量調理施設衛生管理マニュアルを遵守し、厨房内の衛生管理を徹底して行った。自己の健康管理にも十分留意し、厨房からの感染症の発生を防いだ。また、毎月給食委員会を開催し、各職種・委託業者から意見を出し合い、より良い食事提供・円滑な給食運営に努めた。

## 利 用 者 実 績

長期入所は、東日本大震災の被災者救済の定員超過は、1名だったが、10月に退去となり、以降は受け入れ無しとなった。又、短期入所における、やむ得ない事情による措置入所を1名受け入れていたが、3月に長期入所となり、令和3月末現在で定員超過は、長期短期共に無し。ケアマネ判断による緊急利用、長期入所の方の入院による空床利用等は実施した。平均稼働率は、長期・短期ともに100%を超える状況にあり、社会資源を非常に有効活用できている。

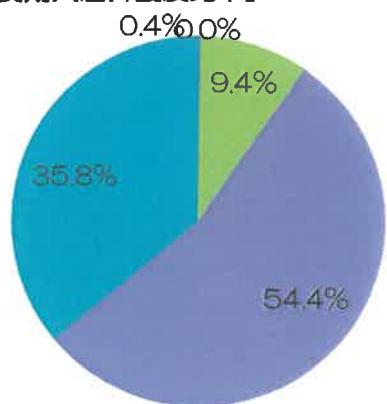
### 【長期入所】

提供月	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度	被災者及び措置入所	利用ベッド数	ベッド定数	稼働率
令和2年4月	1	0	3	21	22	4.34	2	1,320	1,260	105%
5月	1	0	4	23	20	4.27	2	1,359	1,302	104%
6月	0	0	3	23	17	4.33	1	1,290	1,260	105%
7月	0	0	3	24	18	4.33	1	1,333	1,302	102%
8月	0	0	4	25	17	4.28	1	1,333	1,302	102%
9月	0	0	4	26	14	4.23	1	1,290	1,260	102%
10月	0	0	5	26	14	4.20	1	1,317	1,302	101%
11月	0	0	5	25	13	4.19	0	1,260	1,260	100%
12月	0	0	5	24	13	4.19	0	1,302	1,302	100%
令和3年1月	0	0	5	25	14	4.20	0	1,302	1,302	100%
2月	0	0	5	23	14	4.21	0	1,176	1,176	100%
3月	0	0	4	25	15	4.25	0	1,302	1,302	100%
合計 (下段:比率)	2	0	50	290	191	年平均 4.25	0.75	15,584	15,330	年平均 102%

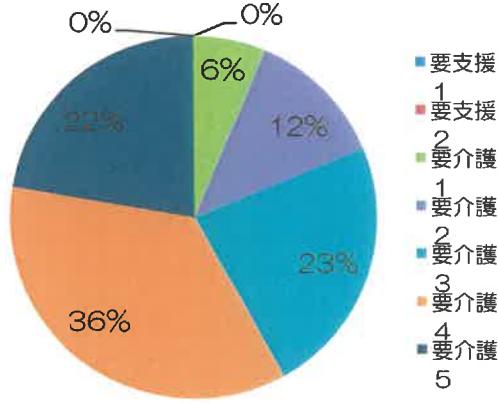
### 【短期入所】（※ベッド数での換算）

提供月	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度	ベッド定数	利用ベッド数	稼働率
令和2年4月	0	0	32	46	45	110	41	3.23	300	353	118%
5月	0	0	29	54	57	121	21	2.99	310	410	132%
6月	0	0	17	51	62	141	43	2.98	300	364	121%
7月	0	0	14	50	53	122	53	2.73	310	376	121%
8月	0	0	25	53	46	143	49	2.97	310	366	118%
9月	0	0	54	44	55	150	29	2.91	300	362	121%
10月	0	0	22	63	49	141	46	2.94	310	370	119%
11月	0	0	23	38	54	102	77	2.83	300	372	124%
12月	0	0	13	35	102	122	122	4.02	310	370	119%
令和3年1月	0	0	14	41	166	108	133	4.36	310	388	125%
2月	0	0	13	25	129	93	132	4.49	280	330	118%
3月	0	0	7	15	141	125	173	5.13	310	356	115%
合計 (下段:比率)	0	0	263	515	959	1478	919	年平均 3.46	3,650	4,417	年平均 121%
	0%	0%	6%	12%	23%	36%	22%				

【長期入居介護度比率】



【ショートステイ介護度比率】

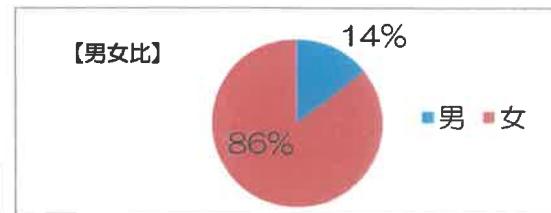


## 入居者の状況

長期入居定員42名、男女比は男性14%、女性86%である。平均年齢は、昨年度は85.4歳、今年度は86.3歳、と推移。年齢層には幅があるので、より個別性の高いケアが求められる。平均入所期間は約2年間となっている。

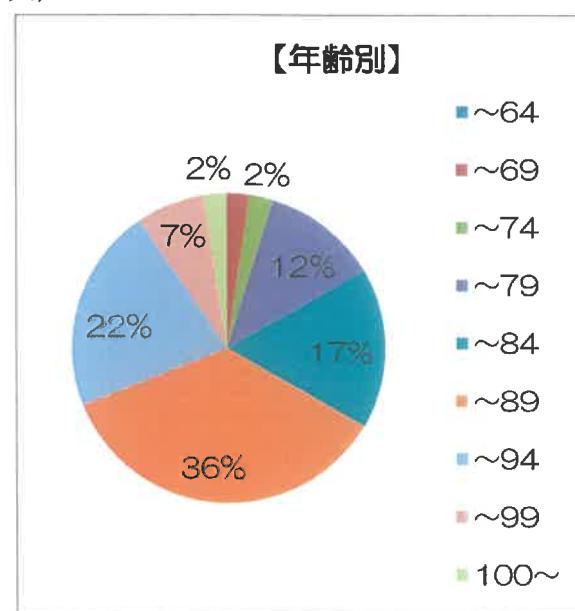
(1) 市町村別入居者の状況（令和3年3月31日現在 単位：人）

保険者名	男	女	計
大船渡市	6	34	40
陸前高田市	0	1	1
釜石市	0	1	1
合計	6	36	42



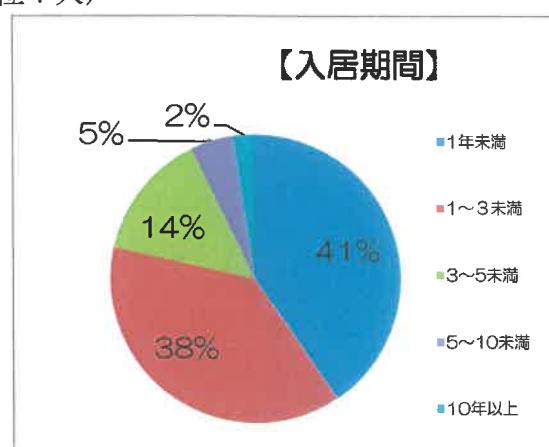
(2) 年齢別状況（令和3年3月31日現在 単位：人）

	男	女	計
~64	0	0	0
~69	1	0	1
~74	1	0	1
~79	0	5	5
~84	1	6	7
~89	1	14	15
~94	2	7	9
~99	0	3	3
100～	0	1	1
計	6	36	42
最高	93	100	
最低	68	76	
平均	81.8	87.1	86.3



(3) 入居期間の状況（令和3年3月31日現在 単位：人）

	男	女	計
1年未満	3	14	17
1～3未満	1	15	16
3～5未満	1	5	6
5～10未満	1	1	2
10年以上	1	0	1
計	7	35	42
平均年数	2.0	2.1	2.1



## 入退所者の状況

今年度は、入居者22名、退居者24名となっている。被災枠の方は1名退去され被災者定員超過無しとなった。令和2年3月にやむを得ない事情による長期の定員超過として、1名受け入れていたが、養護老人ホームへ入所する為退去となっており、現在長期の定員超過はない。

**【入居者】**

No	入居年月日	氏名	介護度	保険者
1	令和2年4月9日	S・H	5	大船渡市
2	令和2年4月21日	M・K	4	大船渡市
3	令和2年4月23日	H・S	5	大船渡市
4	令和2年5月3日	S・S	4	大船渡市
5	令和2年5月4日	S・N	4	大船渡市
6	令和2年5月12日	M・H	4	大船渡市
7	令和2年5月31日	T・S	3	大船渡市
8	令和2年7月4日	I・K	4	大船渡市
9	令和2年7月19日	K・S	4	大船渡市
10	令和2年8月1日	K・I	5	大船渡市
11	令和2年8月21日	K・M	4	大船渡市
12	令和2年8月22日	M・S	5	大船渡市
13	令和2年8月23日	T・T	3	大船渡市
14	令和2年9月4日	K・K	5	釜石市
15	令和2年10月1日	Y・O	4	大船渡市
16	令和2年10月7日	T・T	4	大船渡市
17	令和2年10月20日	M・C	4	大船渡市
18	令和2年11月16日	T・I	5	大船渡市
19	令和3年1月8日	K・S	5	大船渡市
20	令和3年1月11日	K・K	4	大船渡市
21	令和3年3月15日	M・S	4	大船渡市
22	令和3年3月18日	N・T	5	大船渡市

**【退居者】**

No	退去年月日	氏名	介護度	退所理由
1	令和2年4月8日	S・H	5	病院にて死亡
2	令和2年4月20日	Y・S	5	施設にて死亡
3	令和2年4月22日	C・I	4	施設にて死亡
4	令和2年5月2日	M・K	5	施設にて死亡
5	令和2年5月3日	S・M	5	施設にて死亡
6	令和2年5月11日	H・S	5	病院にて死亡
7	令和2年5月26日	M・U	1	養護老人ホームへ入所
8	令和2年5月30日	S・S	4	病院にて死亡
9	令和2年7月3日	C・K	5	施設にて死亡
10	令和2年7月18日	K・K	5	病院にて死亡
11	令和2年7月31日	E・K	5	病院にて死亡
12	令和2年8月20日	U・S	5	施設にて死亡
13	令和2年8月21日	M・K	5	施設にて死亡
14	令和2年8月22日	T・K	5	施設にて死亡
15	令和2年9月3日	S・N	4	病院にて死亡
16	令和2年9月30日	M・S	4	施設にて死亡
17	令和2年10月6日	T・K	5	施設にて死亡
18	令和2年10月15日	S・O	5	施設にて死亡
19	令和2年10月19日	N・M	4	施設にて死亡
20	令和2年11月15日	K・M	4	施設にて死亡
21	令和3年1月7日	M・C	4	病院にて死亡
22	令和3年1月10日	Z・S	4	施設にて死亡
23	令和3年3月14日	K・S	4	施設にて死亡
24	令和3年3月17日	T・U	3	施設にて死亡

## 入退所検討委員会

年度内の入居申込み数と今までの入居申込み待機者に対する意向調査を精査した結果、令和2年度末時点での長期入所の希望者は55名だった。

入退所検討委員会の開催は随時とし、法人内合同で入退所検討委員会を設置し開催した。岩手県の指針に基づき、入居決定過程の透明性・公平性を確保し、お客様と地域のニーズにお応えできるよう努めた。

### 1. 入退所検討委員会会議

回数	日時	会議参加者	入所検討者数
第1回	令和2年5月13日	2名	10名
第2回	令和2年9月9日	2名	12名
第3回	令和2年12月9日	2名	14名
第4回	令和3年2月5日	2名	12名
第5回	令和3年3月24日	2名	13名

### 2. 新規入居申込者数一覧

単位：人

令和元年度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	未記入	合計
合計	0	1	14	26	17	23	3	84

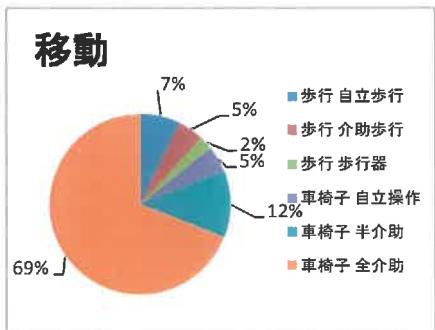
※申込みの介護度は、受付した時点での要介護度となっている。

## 入所者の介護状況

長期入居者42名 約82%の方々が何らかの介助を必要としている。  
今後も自立支援を目標とする。

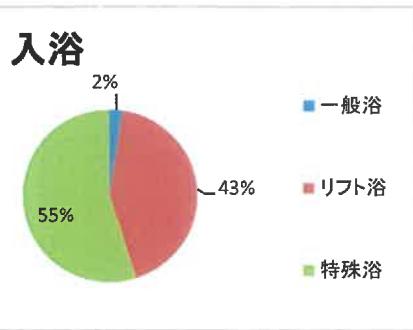
### 【移動】

歩行		車椅子			
自立歩行	介助歩行	歩行器	自立操作	半介助	全介助
3	2	1	2	5	29



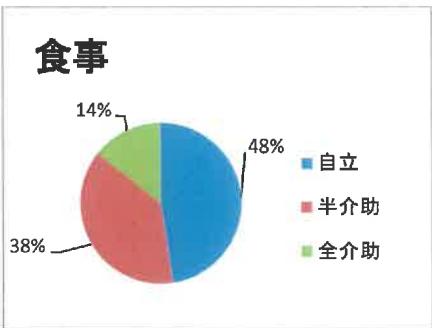
### 【入浴】

一般浴	リフト浴	特殊浴
1	18	23



### 【食事】

自立	半介助	全介助
20	16	6



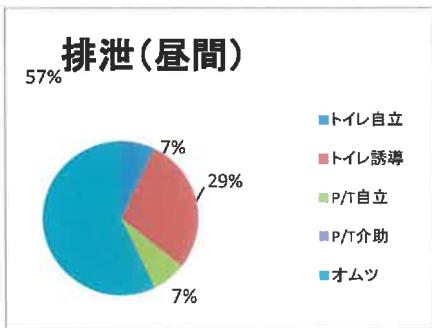
### 【着脱】

自立	一部介助	全介助
1	9	32



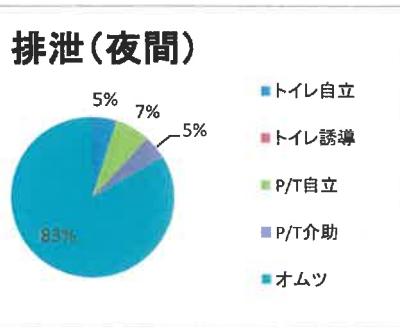
### 【排泄】(昼間)

トイレ自立	トイレ誘導	P/T自立	P/T介助	オムツ
3	12	3		24



### 【排泄】(夜間)

トイレ自立	トイレ誘導	P/T自立	P/T介助	オムツ
2		3	2	35



## 地域交流・行事実施状況

施設内での活動に限らず、地域との関わりを積極的にもつことで、入居者様の社会性を保つことができた。施設生活ならではの楽しみ方も提供する事で日々の生活にメリハリがついたと思われる。また、コロナ禍の中で、施設内で実施できる最大限の催しものは実施できた。

月 日	行 事 等	内 容	参加人員
R2 4月	8日 花まつり 16日 花見団子 16日 誕生会	お釧迦様のお誕生日の馴初めを話しあ祝いした。 誕生者を紹介し、職員の余興でお祝いしながら、花見団子を食した。	20名 32名 32名
5月	1日 富美岡荘開所記念日 10日 母の日イベント 25日 BBQ 25日 誕生会	富美岡荘の開所を祝い、お祝い膳を提供し、成仁会の歴史を振り返った。 メッセージカードに感謝の気持ちを書き写真撮影をした。 玄関前にて立夏の雰囲気を感じていただきBBQを楽しんだ。 BBQを頂きながら、誕生者を紹介しあ祝いした。	43名 21名 32名 32名
6月	8日 富美岡荘運動会(スポーツ大会) 21日 父の日イベント 24日 誕生会	玄関前で体を動かし、入居者様や職員と交流を図った。 メッセージカードに感謝の気持ちを書き写真撮影をした。 誕生者を紹介し、職員・入居者様のカラオケ大会でお祝いを	47名 39名 40名
7月	22日 誕生会 30日 夕涼み会	誕生者を紹介し、職員による余興(ギターの弾き語り、二人羽織等)、入居者様によるカラオケでお祝いした。 玄関前にて夏の雰囲気を感じていただきBBQを楽しんだ。	36名 54名
8月	13日 迎え火 16日 送り火 26日 誕生会	中庭にて、ご先祖様の靈をお迎えした。 中庭にて、ご先祖様の靈をお送りした。 誕生者を紹介して、職員による歌合戦をしあ祝いした。	15名 25名 41名
9月	16日 敬老会 16日 誕生会 23日 秋の彼岸供養	富美岡荘食堂を会場にして敬老会を実施した。 富美岡荘食堂を会場にして敬老会のお祝い膳を頂きながら、誕生者を紹介しあ祝いした。 祥風苑集会室にて安養寺住職を招き供養を行った。	55名 55名 14名
10月	7日 野外食 28日 誕生会	玄関前にて入居者様に握っていただきおにぎりと豚汁を美味しく頂いた。 誕生者を紹介し、職員による余興(ギターの弾き語り、歌謡ショー等)でお祝いした。	31名 47名

月　日	行　事　等		内　容	参加人員
11月	18日	誕生会	誕生者を紹介し、入居者様のカラオケでお祝いした。	41名
12月	16日	誕生会	誕生者の紹介し、職員の余興で誕生者をお祝いした。	52名
	16日	忘年会	たくさんの料理を提供していただき、忘年会を開催した。	52名
	24日	クリスマスホーム喫茶	ケーキを食べながら施設長サンタよりプレゼントを貰った。	31名
	25日	餅つき	入居者様、職員が賑やかに餅つきを行った。	47名
R3	13日	水木団子作り	こねる、丸める、飾りを行い、荘内各所にきれいに飾った	29名
1月	27日	誕生会	誕生者を紹介し、入居者様と職員の歌でお祝いした。	35名
2月			2月は、当市においてコロナ過のクラスター発生につき 2月分の行事は全て中止とした。	
3月	19日	春の彼岸供養	祥風苑集会室にて安養寺住職を招き供養を行った。	22名
	24日	2月・3月合同誕生会	誕生者を紹介し、入居者様と職員の歌でお祝いした。	31名

## カンファレンス開催状況

年間を通して定期的に施設長を中心とした、多職種で協議し有意義のあるカンファレンスを開催することが出来た。

法人理念のパーソナルケアを念頭に多角的な視点で入居者様を見つめ、課題を抽出し分析することで職員のケアに対する意思統一も同時に図ることが出来た。

次年度はアセスメントに新様式も採用されることから、勉強会を重ね職員への周知を図っていく。

実施月	カンファレンス			モニタリング	合計件数
	通常	新規	その他		
令和2年4月	5	3	0	7	15
5月	7	4	0	8	19
6月	8	0	0	6	14
7月	7	2	0	5	14
8月	9	4	0	6	19
9月	7	1	0	7	15
10月	4	3	0	6	13
11月	6	1	0	9	16
12月	8	0	0	6	14
令和3年1月	6	2	0	5	13
2月	8	0	0	6	14
3月	7	2	0	8	17
合計件数	82	22	0	79	183

※通常カンファレンス…計画期間の満了に伴い、更新する時期に実施されるもの。

※新規カンファレンス…富美岡荘に新規契約され入居することで実施されるもの。

※その他のカンファレンス…ムンテラを行い看取り期に入った方や、特に状態が変化した方に  
隨時開催されるもの。

※モニタリング…計画期間の概ね半ばの期間で一度計画とおり、評価することで継続か、  
変更等を検討されるもの。

## ①健康管理状況

### (1) 入居者疾患状況（延べ人数）

	脳血管障害による後遺症	高血圧	パーキンソン病	糖尿病	認知症	不眠	心疾患	消化器疾患（便秘含み）	眼疾患	皮膚疾患	呼吸器疾患	貧血	感染症	悪性新生物	骨粗鬆症	その他	合計
男	10	6	2	4	6	3	10	7	1	6	3	4	1	5	2	7	77
女	29	36	2	11	26	14	39	26	7	24	7	16	0	6	14	6	263
計	39	42	4	15	32	17	49	22	8	30	10	20	1	11	16	13	340

### (2) 医療的処置

	経管栄養		インシュリン	人工肛門
	経鼻	胃瘻		
男	1	0	0	1
女	4	0	0	0
計	5	0	0	1

### (3) 予防接種状況

10月8日～10月20日 インフルエンザ予防接種		10月16日～11月18日 インフルエンザ予防接種	
利用者		職員	
人 数	40人	人 数	29人

### (4) 嘱託医回診状況

- ・回診日 週2回（火曜日、木曜日）
- ・回診日以外は、14時30分電話報告（土曜日は10時30分）
- ・時間 14時～16時
- ・急変時は随時往診

### (5) 健康診断実施状況（平成31年3月末長期入所42名）

	実施年月日	内 容	人 数
利 用 者	4月1日～30日	身長、体重、検尿、血圧、心電図、聴打診	45
	9月1日～30日	体重、検尿、血圧、心電図、聴打診	43
	8月21日	予防医学協会による結核検診	17
	4月1日～7月31日	山崎内科医院による胸部写真撮影	27
職 員	5月1日～5月30日	身長、体重、検尿、血圧、心電図、聴打診、採血	33
		聴力、視力、胸部写真（妊娠中の者除く）	33
	10月1日～10月30日	身長、体重、検尿、血圧、心電図、聴打診、採血、聴力、視力	30

## ②レク活動等の参加状況

(延べ人数)

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
レク活動	476	554	512	481	548	561	522	564	539	568	514	582	6,421
余暇活動	383	439	432	469	518	485	502	515	490	565	470	471	5,739
軽作業	318	368	292	322	314	369	386	377	359	420	362	309	4,196
行事参加	20	90	115	116	126	66	145	157	159	145	35	92	1,266
合計	1,197	1,451	1,351	1,388	1,506	1,481	1,555	1,613	1,545	1,698	1,381	1,454	17,622

## ③通院・薬受け状況

診 療 科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
県立大船渡病院													
血 液 内 科	3	1	1	2	2	1	2	2	1	2	1	1	20
脳 神 経 外 科	2	1	2							1	1	1	8
外 科	1		1	1		3			1				7
整 形 外 科	3		1	5	1	1		2	1	2	5		21
消 化 器 内 科	3	5	2	3	3		2	1	2	1	1	2	25
形 成 外 科													0
泌 尿 器 科	3		1	5	1	1	3	1	1	7	1	4	28
精 神 科	1	2	2	3	1	2	2	2	1	3	1	3	23
救 急 センター	5			2	1			2		4			14
循 環 器 科	1	6	5	6	4	1	3	1	3	2	3	2	37
血 管 外 来													0
呼 吸 器 科		1	1		1		2			1	1	1	8
眼 科						1	1		1		1	2	6
皮 膚 科												2	2
放 射 線 科													0
県立大船渡病院合計	22	16	16	27	14	10	15	11	12	23	15	17	199
山崎内科医院	6	4	8	15	7	6	8	7	6	10		13	90
及川皮膚科					1					1		2	4
歯 科	1				1	7	2	1					12
そ の 他 医 院	2					1	3	5	2	3			16
受 診 科 数	12	7	10	9	11	10	10	10	11	12	9	10	121
実 人 数	25	14	22	34	19	17	25	24	17	31	13	25	266
延 人 数	31	20	25	44	23	26	28	24	20	37	15	30	323

## 行事食等実施状況

実施日	内容	実施日	内容
4月 8日 13日 15日 22日 24日 28日	花祭り（甘茶・なべ焼き） パン選択食 観桜会・誕生会 回転寿司 手作りおやつ（どら焼き） 丼ぶり選択食	10月 1日 7日 22日 28日 31日	十五夜（おやつ：団子） 野外食 かしげクラブ（なべ焼き） 誕生会 おやつ選択食
5月 1日 5日 10日 15日 20日 27日	開荘記念・お祝い膳 端午の節句（かまもち） 母の日・ケーキバイキング おかず選択食 誕生会 おにぎり選択食	11月 11日 13日 18日 20日 25日	回転寿司 パン選択食 誕生会 あつたか汁物選択食 かしげクラブ（五平餅）
6月 5日 8日 17日 16日 25日	おかず選択食 富美岡荘大運動会 誕生会 父の日・和菓子バイキング 麺選択食	12月 11日 16日 21日 24日 25日 31日	おでんバイキング 忘年会・誕生会 冬至メニュー クリスマス・ホーム喫茶 もちつき・もちバイキング 大晦日メニュー
7月 7日 9日 21日 22日 30日	七タメニュー パン選択食 土用の丑の日メニュー 誕生会 夕涼み会	1月 1日 3・5日 7日 13日 15日 18日 27日	元旦・お祝い膳 もちの日 七草がゆ 水木団子作り 小正月メニュー（団子） パン選択食 誕生会
8月 4日 12日 14日 27日	冷たい麺選択食 おやつ選択食（甘味） お盆メニュー（～16日まで） おにぎり選択食	2月 2日 9日 11日 12日 17日 21日 24日	節分メニュー おにぎり選択食 建国記念日メニュー バレンタインバイキング 誕生会 みんなの日曜日 おかず選択食
9月 4日 9日 16日 24日 25日	おやつ選択食 重陽の節句 敬老会・誕生会 おかず選択食 秋分の日（おはぎ）	3月 3日 5日 7日 20日 26日	ひな祭りメニュー パン選択食 みんなの日曜日 春分の日（ぼたもち） おやつ選択食

## 各月行事食等（写真）

各月	内容
4月	 <p>◀ お花見お膳 手作りおやつ ▶</p> 
5月	 <p>◀ 開所記念・祝い膳 母の日ケーキバイキング ▶</p> 
6月	<p>おかず選択食 ▶ オムレツ さばのおろし煮 鶏肉のトマト煮</p> 
7月	 <p>◀ 七夕メニュー 土用の丑の日メニュー ▶</p> 
8月	<p>麺選択食 ▶ 冷やしラーメン かしわそば かしわうどん</p> 
9月	<p>敬老会 ▶</p>  

各月	内容
10月	かしげクラブ ▶ (なべ焼き)  
11月	回転寿司 ▶ 
12月	 もちバイキング ▶ ◀ クリスマスお膳 
1月	 七草粥 ▶ ◀ 元旦・お祝い膳 
2月	 誕生会メニュー ▶ ◀ 節分メニュー 
3月	 ◀ ひな祭りメニュー みんなの日曜日 ▶ (CoCo 壱番屋カレー) 

## 2. 委員会の開催状況

### 医療的ケア対策推進委員会

今年度は、医療的ケア委員会の実施は出来なかった。内部研修のみの実施となった。今年度はコロナウイルス関連で感染症委員会を重視し本部からの情報に合わせ施設内で出来る感染予防に努める事は出来た。今後も情報に敏感になり、入居者様個々のニーズを把握し体調変化を早期に発見出来る様な職員間での研修を随時実施していく。

第1回	令和2年6月30日	施設における医行為についての周知と徹底	内部研修にてバイタルサインの基礎知識と実践
第2回	令和2年10月31日	施設における医行為についての周知と徹底	内部研修にてターミナルケアについて

# 広報委員会

## 1、富美岡荘の広報について

富美岡荘の広報を、滞りなく様々な内容を掲載し発行することができ、ご家族様に届け様子をお伝えすることができた。また、入居者様の日々の活動や行事の写真撮影を、率先して行うことができた。

月		活動内容
令和2年 2・3月	富美岡 荘物語	・ひなまつり・栄養だより・輪投げ大会・誕生会 ・豆まき・彼岸供養・感染予防について
令和2年 4・5月	富美岡 荘物語	・第45回富美岡荘開所記念日・母の日 ・花まつり・誕生会・不在者投票 ・回転寿司・荘内の様子職員紹介
令和2年 6・7月	富美岡 荘物語	・夕涼み会・誕生会・七夕・富美岡荘大運動会 ・元気です！富美岡荘
令和2年 8・9月	富美岡 荘物語	・富美岡荘敬老会・盆行事・選択食・出前講座 ・元気です！富美岡荘
令和2年 10・11月	富美岡 荘物語	・野外食・回転寿司・選択食・クラブ活動 ・誕生会・元気です！富美岡荘
令和2年 12・1月	富美岡 荘物語	・年頭挨拶・餅つき大会・お正月行事 ・クリスマス忘年会・成人式・水木だんご ・元気です！富美岡荘
令和3年 2・3月	富美岡 荘物語	・百歳セレモニー・誕生会・輪投げ大会 ・工作作り・栄養だより・彼岸供養 ・オンライン面会・元気です！富美岡荘

## 2、ホームページについて

広報誌同様、様々な行事や広報誌に載せきれない行事を事細かに掲載、発信し、地域福祉に貢献することができた。ホームページ掲載にあたり、施設のPRもすることができた。

月	活動内容
令和2年4月	・余暇時間・回転寿司・選択食
令和2年5月	・富美岡荘開所記念日・母の日
令和2年6月	・富美岡荘大運動会
令和2年7月	・夕涼み会・荘外散歩
令和2年8月	・誕生会
令和2年9月	・富美岡荘敬老会
令和2年10月	・十五夜・秋の味覚を堪能・映画観賞会・かしこクラブ
令和2年11月	・回転寿司・かしこクラブ
令和2年12月	・クリスマス忘年会・おでんバイキング・もちつき大会
令和3年1月	・年頭の挨拶・水木団子作り
令和3年2月	・車いす寄贈・百歳セレモニー
令和3年3月	・選択食

## リスクマネジメント委員会

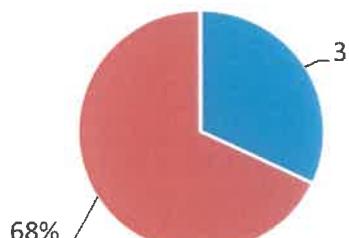
主な活動として、毎月のヒヤリハット報告と事故方向の集計をし、それに対しての事故分析と、今後の対応について検討・討議をし再発防止の取り組みを行った。内部研修を7月、11月に開催しリスクマネジメントに対する意識向上を図った。今年度は転倒転落による事故が1件、無断外出による事故が2件発生した。

	年月日	開催内容	活動内容
第1回	4月27日	3月のヒヤリハット報告 アセスメント	3月のヒヤリハット報告・事故報告集計 アセスメント
第2回	5月28日	4月のヒヤリハット報告 アセスメント	4月のヒヤリハット報告・事故報告集計 アセスメント。今年度の年間計画
第3回	6月28日	5月のヒヤリハット報告 アセスメント	5月のヒヤリハット報告・事故報告集計 アセスメント
第4回	7月28日	6月のヒヤリハット報告 アセスメント 内部研修	6月のヒヤリハット報告・事故報告集計 アセスメント 事故発生時の対応について
第5回	8月19日	7月のヒヤリハット報告 アセスメント	7月のヒヤリハット報告・事故報告集計 アセスメント
第6回	9月7日	8月のヒヤリハット報告 アセスメント	8月のヒヤリハット報告・事故報告集計 アセスメント
第7回	10月13日	9月のヒヤリハット報告 アセスメント 内部研修	9月のヒヤリハット報告・事故報告集計 アセスメント
第8回	11月19日	10月のヒヤリハット報告 アセスメント	10月のヒヤリハット報告・事故報告集計 アセスメント。リスクマネジメントについて
第9回	12月11日	11月のヒヤリハット報告 アセスメント	11月のヒヤリハット報告・事故報告集計 アセスメントについて
第10回	令和3年 2月14日	12月1月のヒヤリハット 報告 アセスメント	12月1月のヒヤリハット報告・事故報告集 計 アセスメント
第11回	3月14日	2月のヒヤリハット報告 令和3年度の活動報告	2月のヒヤリハット報告・事故報告集計 アセスメント

## 事故・ヒヤリハット発生状況グラフ

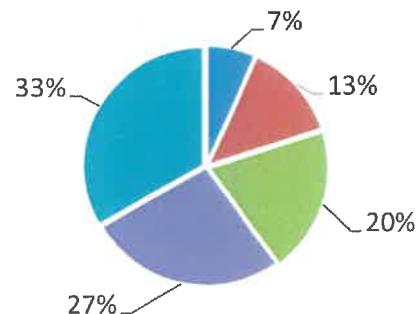
今年度は、事故・ヒヤリハット総数が57件と、昨年度の103件より件数が減少した。ヒヤリハット数は昨対比55%となった。事故種別では、転倒・転落が45%、表皮剥離・出血が9%となった。発生原因としては、職員の注意不足と状態把握不足が大きな要因となった。

性別



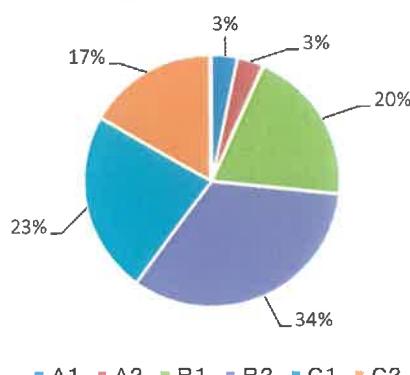
■ 男 ■ 女

要介護度



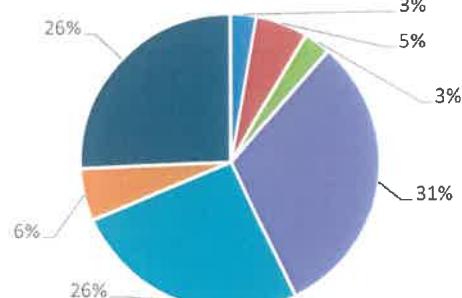
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5

日常生活自立度(障害)



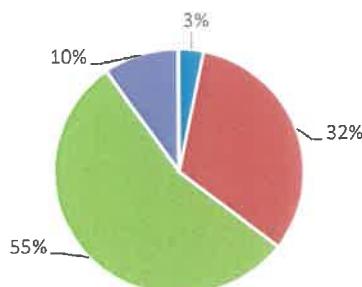
■ A1 ■ A2 ■ B1 ■ B2 ■ C1 ■ C2

日常生活自立度(痴呆)



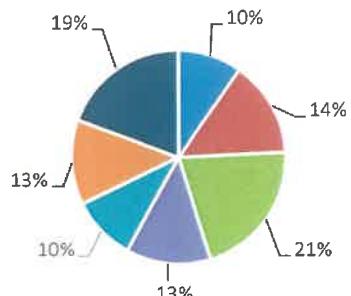
■ 正常 ■ I ■ IIa ■ IIb ■ IIIa ■ IIIb ■ IV ■ M

業務の多忙度



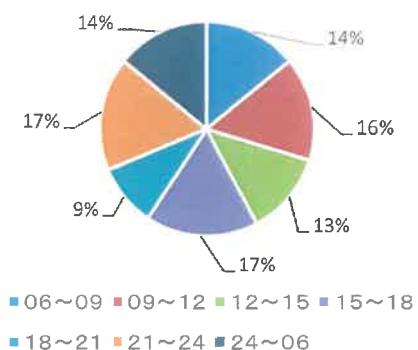
■ 非常に忙しい ■ 忙しい ■ 普通 ■ 余裕がある

曜日別

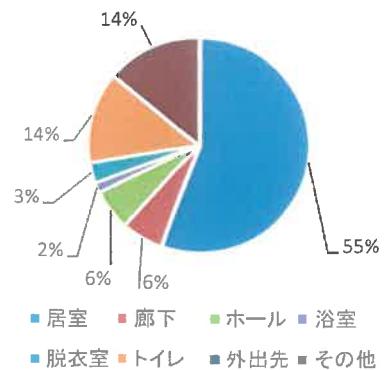


■ 日曜日 ■ 月曜日 ■ 火曜日 ■ 水曜日  
■ 木曜日 ■ 金曜日 ■ 土曜日

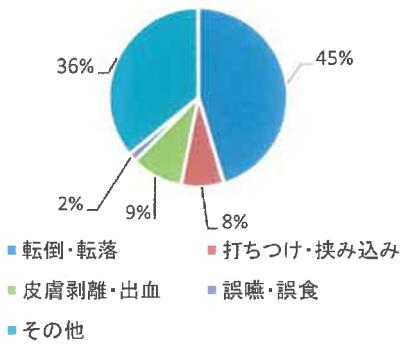
時間別



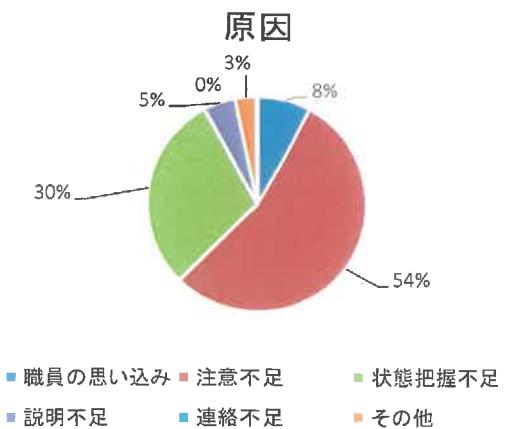
発生場所



種類



原因



## 感染症予防対策委員会

今年度は新型コロナウィルスの流行が収まらず、気仙管内でも発症が確認されたことにより、例年通りの外部研修や復命研修ができなかった。

新型コロナウィルスを主に感染症及び食中毒発生の予防、発生時の蔓延予防の内部研修を実施した。個々の高い意識により、施設内の感染予防ができている。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第1回	令和2年 4月 23日	今年度の事業計画 について	今年度の事業計画を作成 新型コロナウィルスの状況を把握し、 対応について確認した。
第2回	6月 22日	食中毒の予防につ いて	栄養士により内部研修を行い、食中毒 予防の対応について確認した。
第3回	8月 6日	結核予防について	大船渡保健所の高齢者入所施設等予防 出前講座を受ける。
第4回	11月 4日	ノロウィルス予防 と対策について	内部研修を行い、予防方法、発生時の 処理方法を確認した。
第5回	令和3年 2月 4日	新型コロナウィル スの予防について	本部とも連携しながら、富美岡荘とし ての予防策を確認した。
第6回	2月 8日～10日 2月 17日～19日	新型コロナウィル スの抗原検査につ いて	全職員の抗原検査を実施した。
第7回	2月 18日～27日	ガウンテクニック について	内部研修として、全介護員にガウンテ クニックの講習を行った。
第8回	3月 25日	今年度の開催内容 について	今年度の反省と来年度の目標を作成し た。

## 褥瘡予防対策委員会

今年度の活動目標である「褥瘡発生者ゼロを目指そう」は達成できた。年2回の研修会の開催、月1回のエアーマット使用状況の確認を行なった。重傷者やショート利用入居者でエアーマット対応指示の方が多かった。毎月の会議で褥瘡だけでなく皮膚観察しトラブルを未然に防ぐ事、早期対応、早期改善に努めることが出来た。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第1回	令和2年4月28日	今年度の活動目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・今年度の活動目標と予定</li><li>・エアーマット使用状況の確認</li><li>・皮膚トラブルについて</li></ul>
第2回	令和2年5月26日	活動報告と翌月の計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・皮膚トラブルについて</li><li>・エアーマット使用状況確認</li></ul>
第3回	令和2年6月30日	内部研修活動報告	<ul style="list-style-type: none"><li>・内部研修開催</li><li>・エアーマット使用状況の確認</li><li>・皮膚トラブルについて</li></ul>
第4回	令和2年7月29日	活動報告と翌月の計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・エアーマット使用状況の確認</li><li>・皮膚トラブルについて</li></ul>
第5回	令和2年8月28日	活動報告と翌月の計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・エアーマット使用状況の確認</li><li>・皮膚トラブルについて</li></ul>
第6回	令和2年9月29日	活動報告と翌月の計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・エアーマット使用状況の確認</li><li>・皮膚トラブルについて</li></ul>
第7回	令和2年10月28日	活動報告と翌月の計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・エアーマット使用状況の確認</li><li>・来月内部研修について</li><li>・皮膚トラブルについて</li></ul>
第8回	令和2年11月24日	活動報告と翌月の計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・エアーマット使用状況の確認</li><li>・重症者多く皮膚観察の重要さ</li></ul>
第9回	令和2年12月22日	活動報告と翌月の計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・エアーマット使用状況の確認</li><li>・重症者の皮膚トラブルについて</li></ul>
第10回	令和3年1月21日	活動報告と翌月の計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・エアーマット使用状況の確認</li><li>・重症者の皮膚観察について</li></ul>
第11回	令和3年2月25日	活動報告と翌月の計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・エアーマット使用状況の確認</li></ul>
第12回	令和3年3月25日	今年度のまとめ	<ul style="list-style-type: none"><li>・今年度の反省</li><li>・来年度プレーデンスケールを調査</li><li>・個々の把握に力を入れる</li></ul>

## 身体拘束廃止委員会

身体拘束実施者は年間を通して1名の方がやむを得ず、経管栄養のカテーテルを自己抜去する可能性が非常に高くご家族様からも強い要望があったためミトン型手袋を使用することとなった。

幾度となく廃止に向けて検討を重ねていたが実際ミトンを使用した状態でも何度か自己抜去の報告があり、また新型コロナウィルス感染予防の観点から不要な受診等を控えたい観点からご家族様からも同要望があったため廃止に至ることはできなかった。

次年度は、拘束実施者0を目指してケアの向上を図っていきたい。

回数	年月日	開催内容	活動内容	実施者
第1回	令和2年4月24日（金）	実施者の経過検討	検討はするが、廃止には至らず。	1名
第2回	令和2年5月25日（月）	実施者の経過検討	検討はするが、廃止には至らず。	1名
第3回	令和2年6月25日（木）	実施者の経過検討	検討はするが、廃止には至らず。	1名
第4回	令和2年7月22日（水）	実施者の経過検討	検討はするが、廃止には至らず。	1名
第5回	令和2年8月24日（月）	実施者の経過検討	検討はするが、廃止には至らず。	1名
第6回	令和2年9月23日（水）	実施者の経過検討	検討はするが、廃止には至らず。	1名
第7回	令和2年10月21日（水）	実施者の経過検討	検討はするが、廃止には至らず。	1名
第8回	令和2年11月24日（火）	実施者の経過検討	検討はするが、廃止には至らず。	1名
第9回	令和2年12月22日（火）	実施者の経過検討 岩手県実態調査の回答	検討はするが、廃止には至らず。	1名
第10回	令和3年1月27日（水）	実施者の経過検討	検討はするが、廃止には至らず。	1名
第11回	令和2年2月25日（木）	実施者の経過検討	検討はするが、廃止には至らず。	1名
第12回	令和3年3月29日（月）	実施者の経過検討	検討はするが、廃止には至らず。	1名

## 給食委員会

入居者の食事の観察を日々行い、入居者の声として給食連絡会に参加し、食事に関する意見・要望を委託業者へ伝えた。また、楽しく食事をしていただけるよう毎月さまざまなイベントを企画・実施した。食欲不振や体調不良の入居者へは、各課職員と共に摂取状況や嗜好の把握に努め、個別対応や献立内容の見直しを行うなど摂取量が増えるよう努めた。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第1回	令和2年4月9日	前月の反省と 今年度の計画について	・献立の反省について ・開所記念の食事内容について
第2回	令和2年5月14日	前月の反省と 今月の行事予定について	・献立の反省について ・行事食に関して
第3回	令和2年6月11日	前月の反省と 今月の行事予定について	・献立の反省について ・嗜好調査の実施について
第4回	令和2年7月9日	前月の反省と 今月の行事予定について	・献立の反省について ・補助食品の見直しについて
第5回	令和2年8月12日	前月の反省と 今月の行事予定について	・献立の反省について ・敬老会の食事内容について
第6回	令和2年9月10日	前月の反省と 今月の行事予定について	・献立の反省について ・配膳時間・方法について
第7回	令和2年10月8日	前月の反省と 今月の行事予定について	・献立の反省について ・敬老会の食事の反省について
第8回	令和2年11月12日	前月の反省と 今月の行事予定について	・献立の反省について ・12月行事の確認について
第9回	令和2年12月10日	前月の反省と 今月の行事予定について	・年末年始の食事提供について
第10回	令和3年1月14日	前月の反省と 今月の行事予定について	・みんなの日曜日実施について
第11回	令和3年2月15日	前月の反省と 今月の行事予定について	・年末年始の食事の反省について
第12回	令和3年3月12日	前月の反省と 今月の行事予定について	・献立の反省について ・各施設の行事食に関しての確認

### 3. 職員研修実施状況（施設内研修）

原則、年間計画に基づき研修を遂行した。新型コロナウイルス感染予防の観点から研修形態も考慮しながら必要時には臨時の研修を重ね職員のスキルアップを目指した。

No.	実施日	内 容	報告者／発表者
1	令和2年4月10日	成仁会の基本理念・事業計画	村上施設長
2	令和2年4月17日	社会福祉施設等における感染拡大防止のための留意点	山崎相談課長
3	令和2年4月20日	身体拘束廃止について	橋本相談主任
4	令和2年5月26日	接遇	山崎相談課長
5	令和2年5月27日	個人情報保護と守秘義務	橋本相談主任
6	令和2年6月22日	食中毒予防及び疥癬	吉田管理栄養士
7	令和2年6月25日	法令遵守	山崎相談課長
8	令和2年7月14日	介護施設における事故発生時の対応	村上相談課長補佐
9	令和2年7月24日	褥瘡予防と対策	石倉看護副部長
10	令和2年8月6日	・結核予防・その他感染症予防 ・職員のメンタルヘルス	岩手県大船渡保健所 山崎様
11	令和2年8月20日	高齢者のバイタルサイン	村上看護副部長
12	令和2年8月27日	プライバシー保護	村上相談課長補佐
13	令和2年9月3日	高齢者の虐待防止と権利擁護	村上相談課長補佐
14	令和2年9月24日	認知症及び認知症ケア	村上介護員
15	令和2年10月12日	身体拘束廃止にむけて	村上相談課長補佐
16	令和2年10月19日	ターミナルケア(看取り介護)	石倉看護副部長
17	令和2年10月30日	身体拘束廃止にむけて	山本介護員
18	令和2年11月19日	ノロウイルス予防	吉田管理栄養士
19	令和2年11月23日	リスクマネジメント	長野介護員
20	令和2年12月17日	インフルエンザ予防と対策	石倉看護副部長
21	令和2年12月22日	褥瘡予防と対策	村上看護副部長
22	令和3年1月18日	交通安全	村上施設長
23	令和3年1月25日	車椅子への移乗と移動	山崎相談課長
24	令和3年2月15日	介護保険制度	村上相談課長補佐
25	令和3年2月18日	ガウンテクニック装着	石倉看護副部長
26	令和3年2月22日	腰痛予防	石倉看護副部長
27	令和3年3月15日	地震・津波に対策	村上副部長

### (施設外研修)

No.	実施日	内 容	出席者
1	令和2年10月10日	地域で求められる新型コロナウイルス感染対策について	石倉看護副部長

## 富美岡荘 1年間の様子



【花まつり】  
令和2年4月8日



【荘外散歩】  
令和2年4月15日



【回転寿司】  
令和2年4月22日



【不在者投票】  
令和2年4月22日



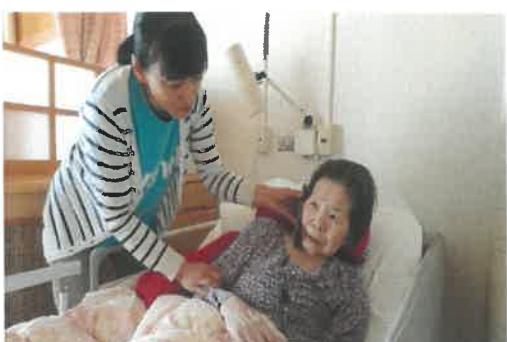
【開所記念日】  
令和2年5月1日



【母の日】  
令和2年5月3日



【消防訓練】  
令和2年5月20日



【ご家族様と電話】  
令和2年5月25日

## 富美岡荘 1年間の様子



【富美岡荘大運動会】  
令和2年6月8日



【選択食】  
令和2年6月13日



【父の日】  
令和2年6月21日



【誕生日】  
2020年6月24日



【七夕】  
令和2年7月7日



【マッサージ】  
令和2年7月8日



【誕生日】  
令和2年7月21日



【バーベキュー大会】  
令和2年7月30日

## 富美岡荘 1年間の様子



【迎え火】  
令和2年8月13日



【かき氷】  
令和2年8月20日



【誕生会】  
令和2年8月26日



【選択食】  
令和2年8月27日



【敬老会】  
2020年9月16日



【彼岸供養】  
令和2年9月23日



【おはぎバイキング】  
令和2年9月25日

## 富美岡荘 1年間の様子



【月見団子作り】  
令和2年10月1日



【バーベキュー】  
令和2年10月7日



【映画鑑賞】  
令和2年10月14日



【かしきクラブ】  
令和2年10月21日



【選択食】  
令和2年11月20日



【回転寿司】  
令和2年11月11日



【パン選択食】  
令和2年11月13日



【誕生会】  
令和2年11月18日

## 富美岡荘 1年間の様子



【クリスマスホーム喫茶】  
令和2年12月24日



【誕生会・忘年会】  
令和2年12月16日



【餅つき大会】  
令和2年12月25日



【餅つき大会】  
令和2年12月25日



【福笑い】  
令和3年1月2日



【元旦】  
令和3年1月1日



【誕生会】  
令和3年1月27日



【水木団子作り】  
令和3年1月18日

## 富美岡荘 1年間の様子



【おにぎり選択食】  
令和3年2月9日



【おにぎり選択食】  
2021年2月9日



【石倉カヤノ様百歳記念】  
2021年2月15日



【石倉カヤノ様百歳記念】  
2021年2月15日



【オンライン面会】  
令和3年3月18日



【ひな祭り】  
令和3年3月3日



しだれ桜作り  
令和3年3月25日



【彼岸供養】  
令和3年3月19日

令和2年度

## 事 業 報 告

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

養護（盲）老人ホーム 祥風苑

## 令和2年度の事業を振り返って 視覚障がい者の身になり 共に歩む ～盲老人ケアの専門性を確立～

祥風苑は平成5年に岩手県で唯一の養護盲老人ホームとして開設し、28周年を迎えました。当時、在宅で懸命に生活されている視覚に障がいをもった高齢者ご様子を目の当たりにした山崎シゲ会長、理事長が、国・県・市を動かし、全国盲老人福祉施設協議会様、岩手県視覚障がい者協会様の多大なるご支援により、大変なご苦労の末に50床の施設を開苑し現在に至っております。開設当初からの入居者様は現在5名となり、高齢ではありますがお元気に生活をされております。

令和2年度は東日本大震災の被災枠も定員に組み込まれて、昨年度より3名減で定員50名。その内、要介護認定者は30名、その平均介護度は3.8となっております。視覚障がいに加え、聴覚障がいや聾啞、精神障害などを重複し、更には重度の認知症の入居者が増えており、当初の養護盲老人ホームとは違った困難さが更に顕著になっております。年間の退所者は10名でしたが、嘱託医の山崎先生と連携し、施設でほとんどの方を最後まで看取らせて頂きました。

また、今年度は県内・市内での新型コロナウィルスが発生し、感染対策に徹底した一年でした。その影響もあってか年度末の入所者が決まらず、3月末は定員を満たすことができずに新年度を迎えることになりました。新年度は気を抜かず感染対策の徹底と、県内市町村に働きかけて新規入所者の受け入れを早急に進めてまいります。

祥風苑はこの一年間、ボランティアの受け入れや地域交流ができず、施設内での暮らしが多くなりましたが、様々な取り組みをすることができました。

四季折々の行事やクラブ活動、職員の指導による「コーラスクラブ」など、自らが選んで参加する趣味や生きがいづくりの場を提供することができました。

また、IBC岩手放送の神山アナウンサーの計らいにより、年末のラジオチャリティーにラジオ電波で祥風苑を紹介していただき、県内唯一の盲老人ホームをアピールすることができました。

さらに、今年度は成仁会全体の取り組みとして、埼玉医科大学病院緩和医療科認定施設との研究により、施設での実証実験に着手しました。会長、理事長の「元気で長生き」を推進する思いに職員一同、次年度に向けて一丸となり取り組んでおります。

全国的に新型コロナウィルスが猛威を振るう中、今年度も大過なく一年を終えることができました事に安堵するとともに、次年度も更に県内措置機関・各関係機関との連携、連絡を密に図るようにし、満床の定員確保に努めてまいりたいと思います。

会長・理事長の盲老人への思いと、永年築き上げた歴史に、職員一丸となって更なる専門性を磨き、より質の高いケアをもって継続するよう努力いたします。

養護(盲)老人ホーム 祥 風 苑  
施設長 崎 山 美 知 枝

# 1 各課の事業実施状況

## (1) 総務課

今年度も引き続き、業務の効率化と迅速化に努めた。

業務については、点検、見直し、工夫を図りながら、法令や法人諸規程、県の指導に基づき、適性かつ正確な事務処理に努めた。

また、常にコスト意識を保ち、収入の確保、不要な支出の削減を心掛けながら、予算の執行にあたった。

祥風苑は築28年が経過し、施設設備のいたるところに老朽化により不具合が生じている。優先度を考慮しながら、厨房内設備及び配管修理、施設内照明設備交換等、住環境の改善に取り組んだ。入居の皆様が安心・安全、快適に過ごして頂けることを念頭に、今後とも整備改善を進めたい。

例年、県内主要な措置機関、関係施設等へ訪問もしていたが、新型コロナウイルスの影響により、あまり実施することができなかつたこともあり、広報、ホームページの充実を図り、県内唯一の盲老人施設であることのアピールをし、入居者の拡大につなげた。

その他、職員のスキルアップにも施設内で積極的に取り組んだが、更なる専門性の向上を図るとともに、法人本部、各施設間との連携を緊密にし、円滑な施設運営、業務執行に当たっていきたい。

## (2) 生活相談課

新型コロナウイルスの流行により、感染症対策に奔走した1年だった。面会や外出制限、ボランティア、地域交流活動の中止などで入居者の意欲低下、ストレスなどが心配される事態となった。ご家族との関係が疎遠にならないようリモート面会の実施、電話連絡や広報誌とともに写真を同封して様子を伝えるなどの工夫をした。また、できる限り入居者の部屋を訪問してコミュニケーションを図るよう努めた。

専門的かつ多様なニーズに対応するために、今年度採用された視覚障がいの相談員による「視覚障がい者の援助方法」や「レクリエーション」を実施し、当事者の立場から職員指導し、視覚障がい者ケアへの理解を深めることができた。

今年度は、東日本大震災の被災者3名を本入所に組み込むこととなった為、10名の退所者に対して5名の入所者を受け入れ、3月末日の空床が2床となつた。新型コロナウイルスの感染症対策のため、措置機関への訪問ができなかつたことや、入所希望者が収入面や環境面で措置の対象者とはならないという事例もあった。来年度は、年間を通して措置機関だけでなく、社会福祉協議会や居宅支援事業所など関係機関からも情報収集し、生活困難な視力障がい高齢者を入所に結びつけるように努めたい。

## 利用者実績

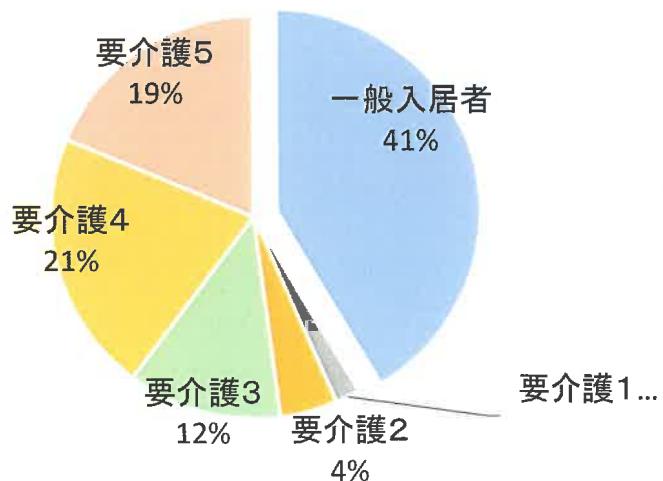
視覚障がいに加え、認知症の症状がみられる方も多くなってきており、平均介護度は昨年に比べて低くなっているものの介護のニーズは依然高い状況といえる。

入所定員は50名。そのほかに東日本大震災の被災者を3名受け入れていたが、県からの通知により12月までに全員定員枠内に組み込まれた。

※入院者・外泊者もベッド数に含む。

年 月	定員(50名)											計	利用 ベッド数 (床)	ベッド 定数 (床)	稼働率	入院 外泊 (日)					
	一般入居者 (20名)		特定入居者(30名)																		
	定員 超過	要介護1 定員 超過	要介護2 定員 超過	要介護3 定員 超過	要介護4 定員 超過	要介護5 定員 超過	平均 介護度														
R2.4月	22	1	1	2	1	5	10	1	10	/	3.9	53	1,579	1,500	105%	4					
5月	21	1	1	2	/	6	9	1	11	/	3.9	52	1,612	1,550	104%	2					
6月	21	1	1	2	/	6	9	1	11	/	3.9	52	1,560	1,500	104%	10					
7月	21	1	1	2	/	6	9	1	11	/	3.9	52	1,599	1,550	103%	0					
8月	21	1	1	2	/	6	10	1	10	/	3.9	52	1,608	1,550	104%	19					
9月	21	1	1	2	/	6	11	1	9	/	3.9	52	1,555	1,500	104%	4					
10月	20	1	1	2	/	6	11	1	9	/	3.9	51	1,581	1,550	102%	0					
11月	21	1	1	2	/	6	10	1	10	/	3.9	52	1,569	1,500	105%	22					
12月	20	1	1	3	/	6	11	/	9	/	3.8	51	1,566	1,550	101%	0					
R3.1月	20	/	1	3	/	7	11	/	8	/	3.7	50	1,531	1,550	99%	0					
2月	20	/	1	3	/	7	10	/	9	/	3.7	50	1,373	1,400	98%	0					
3月	18	/	1	2	/	9	10	/	8	/	3.7	48	1,478	1,550	95%	30					
合計 (下段:比率)	255	12	28	76	129	115				3.8	/		18,611	18,250	102%	91					
	40%	2%	4%	12%	20%	18%															

**【入居者割合】**



## 入居者の状況

今年度末現在48名の入居者は県内15市町村から措置入所している。

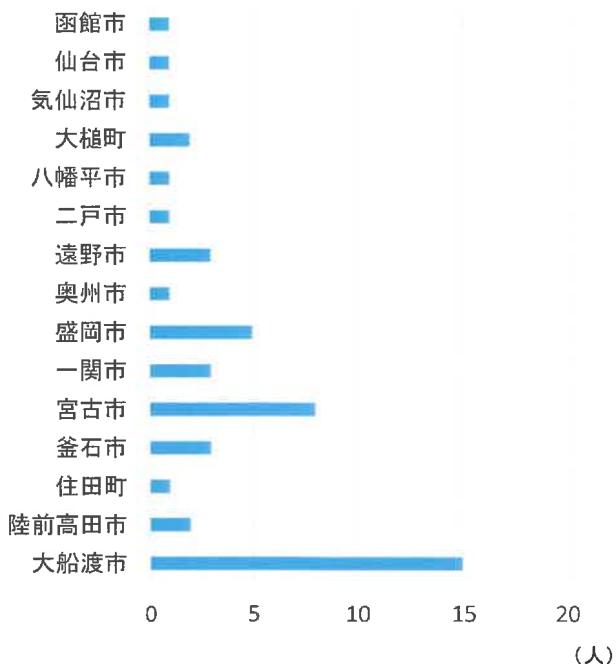
視覚障がいをもった生活困難者の措置依頼のほか、晴眼の生活困難者の措置依頼も増加しており、精神障がい、知的障がい、肢体不自由など障がいの状況も多様であり、それぞれのニーズへの対応が求められている。

開設当初から在籍する入居者は5名となり、在籍期間5年未満の入居者が増加してきています。

### (1) 市町村別入居者の状況 (令和3年3月31日現在:人)

措置権者	男	女	計
大船渡市	1	14	15
陸前高田市	0	2	2
住田町	0	1	1
釜石市	0	3	3
宮古市	4	4	8
一関市	1	2	3
盛岡市	1	4	5
奥州市	0	1	1
遠野市	2	1	3
二戸市	0	1	1
八幡平市	1	0	1
大槌町	0	2	2
気仙沼市	0	1	1
仙台市	0	1	1
函館市	0	1	1
合計	10	38	48

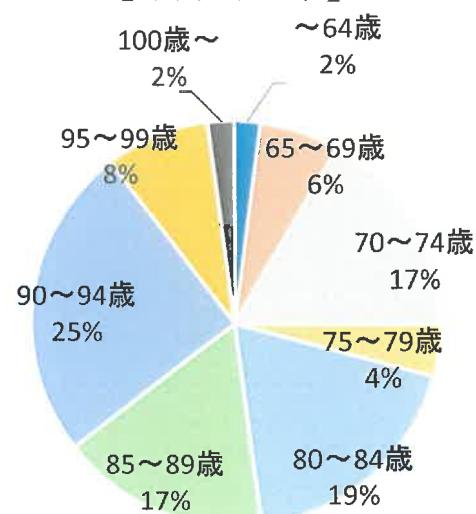
【市町村別入居者数】



### (2) 年齢別状況 (令和3年3月31日現在:人)

年齢区分	男	女	計
~64	1	0	1
65~69	1	2	3
70~74	2	6	8
75~79	0	2	2
80~84	3	6	9
85~89	1	7	8
90~94	1	11	12
95~99	1	3	4
100~	0	1	1
合計	10	38	48
最高(歳)	96	100	
最低(歳)	62	68	
平均(歳)	79.5	84.9	83.8

【年齢別比率】

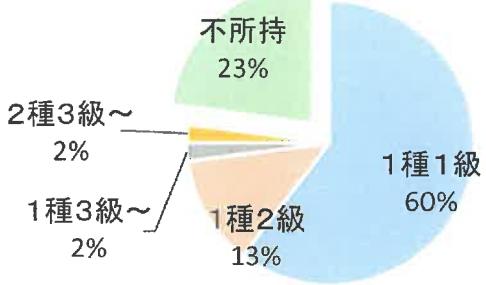


### (3) 障がいの状況

#### ①身体障がい者手帳所持者数 (年度末日:人)

等級	男	女	計
1種1級	8	21	29
1種2級	2	4	6
1種3級～	0	1	1
2種3級～	0	1	1
不所持	0	11	11
合 計	10	38	48

【身障手帳等級割合】



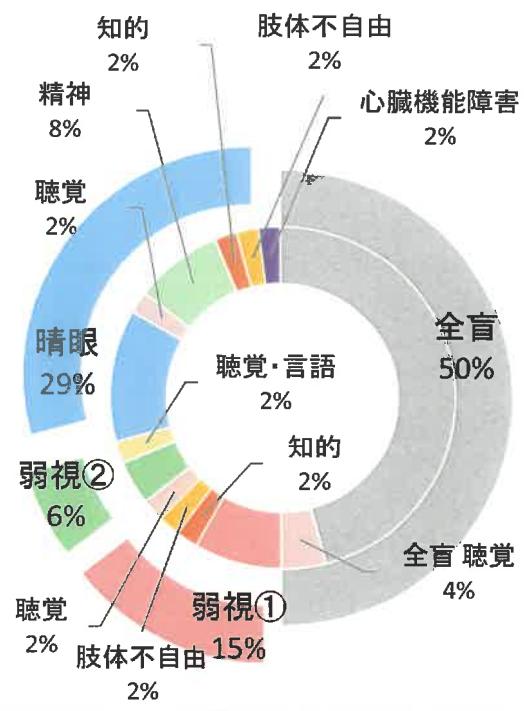
#### ②障がい者の状況 (年度末日:人)

※弱視①は2級、弱視②は3級以下。盲養護の入居対象の視覚障害は、1級、2級としているため身障手帳の弱視は晴眼者と同じ扱いとなる。

※精神は障害者手帳所持者、知的は療育手帳所持者としています。

区分	男	女	小計
全盲	5	17	24
	1	1	
弱視①	2	2	7
	0	1	
	0	1	
	1	0	
弱視②	0	2	3
	0	1	
	0	6	
晴眼	0	1	14
	0	4	
	0	1	
	0	1	
	1	0	
	合 計	10	38

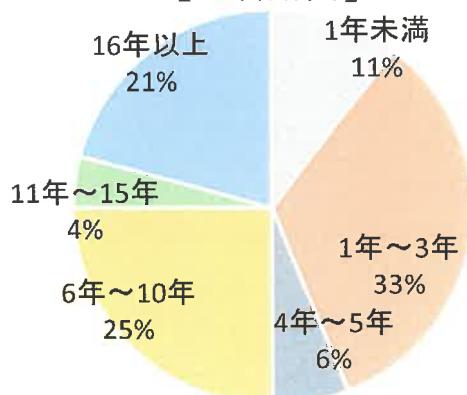
【障がい者の状況】



### (4) 入居期間 (年度末日:人)

年 数	男	女	計
1年未満	2	3	5
1年～3年	3	13	16
4年～5年	0	3	3
6年～10年	2	10	12
11年～15年	1	1	2
16年以上	2	8	10
計	10	38	48
平均	8.1	8.8	8.6

【入居期間】



## 入退所の状況

今年度は糖尿病のほか、がんを患う方が多く、退所は高齢による老衰のほか、疾病が引き金となり死亡するケースが多かった。また、東日本大震災による緊急入所者は県からの通知により定員に組み込まれた。例年より退所者が多く、県内外の措置機関と連絡をとり、待機者の確保に努めたが、年度末には初めて空床が2床となってしまった。

### 【入所者】

No.	入所年月日	氏名	措置権者	摘要
1	7月20日	M・Y様	八幡平市	居宅より入所
2	9月1日	K・A様	大槌町	病院より入所
3	11月20日	M・F様	盛岡市	他施設より入所
4	2月1日	M・T様	宮古市	他施設より入所
5	3月25日	J・K様	大槌町	病院より入所

### 【退所者】

No.	退所年月日	氏名	措置権者	摘要
1	4月19日	K・D様	大船渡市	大船渡病院にて死亡
2	7月6日	H・I様	大船渡市	祥風苑にて死亡
3	8月27日	S・S様	大船渡市	大船渡病院にて死亡
4	9月25日	S・C様	釜石市	大船渡病院にて死亡
5	11月28日	F・I様	釜石市	祥風苑にて死亡
6	12月16日	Y・C様	大船渡市	祥風苑にて死亡
7	1月12日	A・U様	陸前高田市	祥風苑にて死亡
8	2月9日	K・M様	大船渡市	祥風苑にて死亡
9	2月20日	M・K様	釜石市	祥風苑にて死亡
10	3月14日	T・S様	大船渡市	祥風苑にて死亡

## 入退院の状況

身元が遠方の方が多く、入院時すぐに家族対応することが難しい状況である。今年度も入院者は少ないものの、入院の手続き、準備、必要な連絡など家族に代わって行う場面も多くあった。病状説明には同席させていただき、本人の病状を把握することで嘱託医とも連携ができ、退院時の受け入れをスムーズに行うことができた。

氏名		入院先（病院名）	病名	入院日	退院日
1	K・D様	岩手県立大船渡病院	右尿管腫瘍	4月16日（木） 入院先にて死亡	4月19日（日） 入院先にて死亡
2	N・M様	岩手県立大船渡病院	左脳梗塞	5月30日（土）	6月10日（水）
3	S・S様	岩手県立大船渡病院	腸閉塞誤嚥性肺炎	8月9日（日）	8月27日（木） 入院先にて死亡
4	S・C様	岩手県立大船渡病院	細菌性肺炎	9月22日（火）	9月25日（金） 入院先にて死亡
5	T・K様	岩手県立大船渡病院	S字結腸がん	11月9日（月）	11月30日（月）
6	M・F様	岩手県立大船渡病院	統合失調症	3月2日（火）	入院中

## 地域交流・余暇・クラブ活動等集計表

祥風苑では心身の健康状態を維持していくために、日々の生活の中において個人が持っている機能の衰えを出来るだけ防いで自立支援を図りました。各クラブ活動は趣味を中心に自発的参加者が中心になり毎月定期的に実施していますが、年度初めより感染症予防対策にて各活動や外出を自粛せざるを得ませんでした。わいわいクラブにおいては多種多様な症状の方に合わせて苑内での活動を行いましたが、年々職員の援助なしでは実施困難となってきております。

単位:人

活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
せきれいの会交流会	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31
コーラスクラブ	0	17	29	34	15	9	12	26	25	11	0	10	188
カラオケクラブ	19	12	16	29	26	19	25	20	32	22	8	25	253
短歌教室	0	0	14	13	17	11	11	4	0	0	0	0	70
外出	0	34	11	4	1	0	2	0	1	1	0	5	59
外食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
わいわいクラブ	ラジオ体操	526	592	463	458	509	438	489	370	477	416	420	432 5,590
	口腔機能向上体操	260	235	119	380	302	256	247	202	155	149	62	24 2,391
	運動機能向上体操	44	38	71	56	74	46	59	12	39	22	0	6 467
	散歩	5	97	80	22	0	10	25	16	0	0	0	41 296
	手芸	2	11	0	0	0	0	5	29	0	0	0	47
	園芸	0	0	15	0	0	0	0	5	0	0	0	20
	調理	0	0	0	0	0	0	12	0	0	19	0	31
	読み聞かせ	93	93	125	129	134	55	156	143	70	94	20	21 1,133
	商店出張販売	126	162	143	169	141	123	162	136	131	124	66	96 1,579
地域交流	0	40	0	0	0	25	0	0	0	0	0	37	102
合計	1,075	1,362	1,086	1,294	1,219	992	1,205	963	930	858	576	697	

## 施設実習・施設見学・ボランティア・地域交流状況

### (1)施設実習・体験学習等

※新型コロナウイルス感染症の影響で受け入れなし。

### (2)施設見学

※新型コロナウイルス感染症の影響で受け入れなし。

### (3)ボランティア受入れ状況

月	交流会(個人・団体名)	内 容
9	ちんどん「寺町一座」	ちんどん演舞、交流
12	大船渡市漁協赤崎地区女性部	新巻き鮭の寄贈
	声の福祉図書館運営ボランティア 「せきれい」	朗読CDの寄贈
	音声訳ボランティア「オープンハート」	朗読CDの寄贈
3	スタジオジュエル	ベリーダンスDVDの寄贈

### (4)定期的に受入れているボランティア

交流会(個人・団体名)	内 容
佐藤不二雄先生「短歌教室」	・月2回の短歌教室(作品を郵送して指導を受けた) ・東海新報への短歌教室作品の掲載
声の福祉図書館運営ボランティア 「せきれい」	・朗読CDの寄贈 ・広報大船渡の音声訳、小説カセットテープの貸し出し
千葉賀子先生「大船渡さんご合唱団」	・コーラスクラブの指導
オープンハート	・朗読会CDの寄贈 ・社協だよりの音声訳CDの貸し出し
美杉会	・祥風苑短歌教室作品、社協便り、広報大船渡の点訳

### (3) 介護課

ケアプランにもとづき入居者の個々の生活に合わせて自分らしく生活が送れるよう援助を行った。その中で、介護課として最も重点を置いたことは、個々の入居者のニーズに対応することである。

視覚障がいの他にも聴覚、精神、嚥嚙等の障がい、認知症や要介護度の違い、入所に至る背景、価値観の違う入居者個々に対応するため、日誌や連絡ノートを活用し、職員間で情報共有を行うとともに日々のミーティングで話し合い、個々のニーズに素早く対応することを心掛けた。その結果、苦情、骨折事故は1件、褥瘡発生者、身体拘束は、ゼロにおさえることができた。

短歌教室、コーラスクラブは、文化祭やボランティアフェスティバル等で発表すること目標にして活動した。残念ながら、新型コロナウイルスの影響で発表の場が少なかったが、入居者の生きがいづくりにつながった。また、入居者全員で楽しめるイベントの他に少人数や個別の買い物対応や外食などきめ細やかに対応していく事で入居者の満足度を上げることができた。

日々の変化していく心身の状態と向き合い、入居者自らが「自分らしく生活することをどのように支えていくか、その大切さと難しさをあらためて考えさせられた1年だった。

### 日常生活状況

※ 視覚障害のため、自立であっても誘導介助を要する。

#### ①食事

	自立	見守り	一部介助	全面介助	合計
男	7	4	0	3	14
女	18	10	4	7	39
計	25	14	4	10	53

#### ②移動

	自立	一部介助	全面介助	合計
男	4	2	8	14
女	9	12	18	39
計	13	14	26	53

#### ③排泄

	排泄状況			日中				夜間			
	自立	一部介助	全面介助	トイレ自立	トイレ介助	Pトイレ	オムツ交換	トイレ自立	トイレ介助	Pトイレ	オムツ交換
男	6	3	5	7	1	1	5	6	1	1	6
女	15	8	16	14	11	3	11	15	4	5	15
計	21	11	21	21	12	4	16	21	5	6	21

#### ④入浴

	自立	一部介助	全面介助 (リフト込)	合計
男	5	3	6	14
女	13	4	22	39
計	18	7	28	53

#### ⑤更衣

	自立	一部介助	全面介助	合計
男	5	3	6	14
女	13	14	12	39
計	18	17	18	53

## 行事実施状況

施設の方針である入居者の「視覚障がい者の身になって」に則りつつ、コロナ禍という例年とは違う環境でも、制限されないよう行事にアレンジを加えながら、少しでも日々の楽しみと移りゆく季節を感じていただけるように配慮しながら企画を実行し、入居者の笑顔につなげた。

月 日	行 事 概 要	月 日	行 事 概 要
4月 1日	開苑記念日	10月 10.13.15日	出前会
8日	花祭り	21日	スポーツ大会
9日	出前寿司	27日	出前寿司
15日	観桜会・誕生会	28日	ハロウィン誕生会
5月 20日	誕生会	11月 18日	誕生会
26・29日	藤棚見学ツアーア	26日	千秋庵出前会
6月 11日	洋食出前会	12月 10日	出前寿司
15日	鬼越公園散歩ツアーア	16日	忘年会&誕生会
17日	誕生会	26日	餅つき大会
29日	ケーキの日	1月 5日	新春福引き大会
7月 20日	碁石バスハイク	25日	出前寿司
22日	誕生会	27日	誕生会
8月 3日	うなぎ出前会	2月 2日	節分・豆まき
4日	スイカ割大会	3月 17日	出前寿司
13・16日	迎え火・送り火	19日	彼岸供養・墓参り
26日	誕生会	24日	誕生会
9月 23日	彼岸供養		
(その他) ◎カラオケクラブ、コーラスクラブ、短歌教室については県内コロナ感染状況に応じて実施。			

## (4) 看護課

今年度は、新型コロナウイルス対策からスタートした。標準的な感染症対策を内部研修で確認するとともに、面会や外出制限、受診もできる限り代診で対応した。1月には、大船渡市内でもコロナウイルスのクラスターが発生したが、法人本部と連携し、職員全員に抗原検査を実施するなどの対策を取り、施設での感染者はなかった。

新年度も引き続き感染の動向を見ながら状況に合わせて対応する。

また、今年度は7名の入居者様を施設で看取った。本人や家族の望む最期をかなえるため、嘱託医と連携し、ご家族にも容態の変化を細やかに報告しながら、その時その時で、入居者様にとってどのような援助が必要か、全職員でコミュニケーションをとりながら対応した。

入居者の抱える疾病は、多岐にわたり精神科からの入所も多く迎えた。症状が安定して入所されても環境が変わることで、症状が出てくることもあり、対応の難しさと専門性を高める必要性を感じた。

また、急に容態に変化をきたす入居者様もおられ、お一人お一人の話を聞き、日々の観察と早期に変化に気づくことで一日でも長く健康で生活できるように対応することが大切であると感じた。

### 健康管理状況

(1) 入居者疾患状況 (単位:名)

疾患名	脳血管障害による後遺症	高血圧	パーキンソン病	糖尿病	認知症	リウマチ	心疾患	消化器疾患(便秘含)	精神疾患	皮膚疾患	呼吸器疾患	貧血	内分泌系	悪性新生物	骨粗鬆症	泌尿器系	その他
男	8	7	1	4	4	0	2	7	3	1	0	1	0	1	1	3	1
女	16	19	0	9	21	1	15	26	11	0	0	2	3	2	6	4	3
計	24	26	1	13	25	1	17	33	14	1	0	3	1	3	7	7	4

(2) 医療的処置 (単位:名) (3) 予防接種状況 (単位:名)

内容	経管栄養		インシユリン	血糖日内変動	不眠	吸痰
	経鼻	胃瘻				
男	0	0	1	2	2	3
女	0	0	2	9	12	4
計	0	0	3	14	14	7

利用者	10月24日～11月14日	インフルエンザ 予防接種	49
職員	10月25日～11月14日		23

### (4) 嘱託医回診状況

- ・回診日 週2回(火曜日、木曜日)14時～16時
- ・回診日以外は、14:30電話報告(土曜日は10:30)
- ・急変時は隨時往診して頂く。

## (5)健康診断実施状況

(単位:名)

対象者	実施月日	内 容	人数
利用者	4月1日～30日	身長、体重、検尿、血圧、心電図、聴打診	52
	9月1日～30日	体重、検尿、血圧、心電図、聴打診	51
	8月22日	予防医学協会による結核検診	24
	4月1日～8月22日	山崎内科医院、他医療機関胸部写真撮影	28
職 員	5月1日～5月30日	身長、体重、検尿、血圧、心電図、聴打診、採血	27
		聴力・視力、胸部写真(妊娠中の者除く)	27
	10月1日～11月16日	体重、検尿、血圧、心電図、聴打診、採血、聴力・視力	28

## (6)通院・薬受け状況

(単位:名)

病院名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
岩手県立大船渡病院													
神経内科	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	4
脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
外 科	1	0	1	0	2	0	2	1	2	0	1	0	10
整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内科・消化器科	0	0	0	1	0	2	5	0	1	1	1	1	12
形成外科	1	0	1	0	1	0	3	1	1	1	3	2	14
泌尿器科	0	0	0	1	5	1	0	1	2	0	1	0	11
精神科	3	3	4	2	5	2	6	4	4	5	9	5	52
救急センター	0	1	0	0	0	3	0	0	2	1	0	0	7
循環器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
血液内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	5
眼 科	0	2	1	2	1	1	1	0	1	2	1	0	12
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
山崎内科医院	1	3	24	4	1	3	2	3	0	2	0	1	44
及川皮膚科クリニック	1	2	3	1	2	7	2	4	3	3	1	0	29
歯科医院	6	1	0	0	0	2	2	1	1	0	0	0	13
飯塚眼科医院	4	0	3	4	1	1	3	0	2	2	0	1	21
鳥羽整形外科医院	2	1	3	1	2	7	3	2	8	3	3	6	41
いとう耳鼻咽喉科クリニック	0	1	2	2	1	0	0	1	0	1	0	0	8
その他医院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
受診総合計	19	15	42	18	22	29	29	19	27	21	26	21	288

## (5) 栄養管理室

今年度も「安全」・「安心」・「楽しく」・「おいしい」食事提供を第一に、入居者様のいちばんの楽しみである「食」にバラエティ溢れる工夫をした。イベント食ではバイキング形式で要望に応じた料理やおやつを選択できる企画をした。また、委託業者の「みんなの日曜日」の企画より、CoCo壱番屋の特製カレーライスや吉野家の特製親子丼を提供し、外食の気分を味わって頂けた。今年度は感染症の影響もあり、ふれあいクッキングができなかったので、状況を見ながら入居者様の生活リハビリの一環として実施できるよう次年度の課題としたい。

入居者様一人ひとりの声に耳を傾け、食事内容に満足感が得られるよう嗜好調査を実施することで、個々のニーズに応じた細やかな食事提供をした。身体的理由のある方やアレルギーを持っている方には、代替食を提供した。また、今年度は便秘の方に排便を促進する補助食品を配茶時に取り入れた。使用してから1週間ほどで個人差はあるが効果がでている。

入居のほとんどの方は視覚に障がいがあるため、クロックポジションによる献立説明や食事の内容、食材や調理方法、盛り付けなどを細やかに説明した。

入居者、職員、委託業者とのコミュニケーションを図り、大量調理施設衛生管理マニュアルに基づき、日々の衛生管理と、その記録に努めた。また、毎月の給食会議は各課や委託業者からの意見に基づき施設に合った食事提供や問題点の解決に努めた。

来年度も入居者の「笑顔」が見える食事サービスを提供、提案し、さらなる食事満足度の向上に取り組んでいく。各課と連携を深め、食事摂取量が下回ることがないよう栄養バランスのとれた献立て成や健康保持に努めたい。

### 行事食等提供状況

実施日	内 容		
4月 1日 8日 15日 30日	開苑記念日 花まつり 観桜会&誕生会 寿司バイキング	 開苑記念日	 観桜会&誕生会
5月 5日 10日 20日 27日	端午の節句 母の日メニュー 誕生会 天丼セレクション	 母の日メニュー	 天丼セレクション
6月 17日 21日 24日 25日	誕生会 父の日メニュー 野外食(BBQ) ご当地カップラーメン	 野外食(BBQ)	 カップラーメンの日

実施日		内 容
7月	7日 21日 22日 27日	七夕 土用の丑の日 誕生会 もちぶるまい会
		 七夕
		 もちぶるまい会
8月	5日 11日 19日 26日	スイカ割り ソフトクリームの会 納涼祭 誕生会
		 ソフトクリームの会
		 納涼祭
9月	9日 16日 22日 25日	重陽の節句 敬老会&誕生会 秋分の日 おはぎバイキング
		 敬老会
		 おはぎバイキング
10月	1日 14日 21日 28日 31日	十五夜団子作り 野外食(さんま炭火焼き) スポーツ大会 ハロウィン誕生会 ハロウィンおやつ
		 十五夜団子作り
		 野外食(サンマ炭火焼き)
11月	7日 18日 25日	寿司バイキング 誕生会 文化祭&ミニ喫茶
		 寿司バイキング
		 誕生会
12月	14日 16日 21日 25日 26日 31日	おでんバイキング クリスマス忘年会&誕生会 冬至(新巻鮭) クリスマスミニ喫茶 もちつき大会 大晦日メニュー
		 おでんバイキング
		 クリスマス

実施日	内 容	
1月 1~3日 7日 13日 15日 水木団子作り 27日	正月献立 七草 餅バイキング 小正月 誕生会	 正月  もちバイキング
2月 2日 11日 14日 19日 21日	節分 建国記念日 バレンタイン喫茶 誕生会 みんなの日曜日	 節分  みんなの日曜日
3月 3日 7日 14日 18日 24日	ひな祭り&春のお茶会 みんなの日曜日 ホワイトデー おにぎり選択食 誕生会	 春のお茶会  おにぎり選択食(3種類)
<定期的に提供する行事食>		
○朝食選択食:月1回		○希望昼食会:月2回
		○パンの日:月1回

## 2 委員会の開催状況

### リスクマネジメント委員会（事故・ひやりはっと）

今年度のひやり・はっと報告件数は57件、事故報告件数は3件ありました。事故の内容は転倒が3件、内骨折事故が2件でした。全体を通して、体調が悪くなるとひやりはっとや事故が多くなる傾向にありました。未然に事故やひやりはっとを防ぐために、体調の変化に早期に気づき、細かな対応をすることの重要性を感じました。

開催月日		会議内容	事故件数	ひやりはっと件数
4月	27日	今年度の目標・活動内容について	0	4
5月	7日	4月ひやりはっと、事故集計報告（ひやりはっと・事故の分析）	0	2
		事例から今後の対応について		
6月	23日	5月ひやりはっと、事故集計報告（ひやりはっと・事故の分析）	1	3
		事例から今後の対応について		
	24日	内部研修「事故の予防」		
7月	6日	6月ひやりはっと、事故集計報告（ひやりはっと・事故の分析）	0	5
		事例から今後の対応について		
8月	30日	7月ひやりはっと、事故集計報告（ひやりはっと・事故の分析）	0	7
		事例から今後の対応について		
9月	8日	8月ひやりはっと、事故集計報告（ひやりはっと・事故の分析）	0	7
		事例から今後の対応について		
10月	19日	9月ひやりはっと、事故集計報告（ひやりはっと・事故の分析）	0	6
		事例から今後の対応について		
11月	16日	E. G様骨折事故に伴う緊急対策会議	1	5
	18日	10月ひやりはっと、事故集計報告（ひやりはっと・事故の分析）		
		事例から今後の対応について		
12月	21日	K. H様骨折事故に伴う緊急対策会議	1	8
	26日	11月ひやりはっと、事故集計報告（ひやりはっと・事故の分析）		
		事例から今後の対応について		
1月	18日	12月ひやりはっと、事故集計報告（ひやりはっと・事故の分析）	0	3
		事例から今後の対応について		
	19日	内部研修「障害・認知症高齢者の日常生活自立度判定基準とリスクマネジメントの関係」について		
2月	24日	1月ひやりはっと、事故集計報告（ひやりはっと・事故の分析）	0	5
		事例から今後の対応について		
3月	18日	6月ひやりはっと、事故集計報告（ひやりはっと・事故の分析）	0	2
		事例から今後の対応について		
合 計			3	57

## 感染症予防対策委員会

インフルエンザ、結核、ノロウイルス等感染症罹患者が1名もなく1年間過ごすことができた。今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、成仁会本部の対策会議に幹部職員が出席し、各課と連携を図り、統一した感染防止に努めた。

回数	月 日	内 容
1	4月27日	今年度の目標、活動方針について
2	6月11日	施設の現状の把握 【内部研修】食中毒予防について 栄養士 菅野幸季
3	8月21日	施設の現状の把握 結核について
4	10月31日	施設の現状の把握、結核罹患者の濃厚接触者の経過観察
5	11月8日	【内部研修】吐物処理の方法について 介護課 高橋拓夢
6	11月12日	【内部研修】「高齢者入所施設での感染症対策について」 大船渡保健所 山崎様
7	12月25日	施設の現状の把握、気仙地域の感染症の動向について
8	1月22日	インフルエンザ罹患者発生につき対応策の確認
9	2月25日	1・2月のインフルエンザ、感染症対策について 気仙地区のインフルエンザの動向について 新型コロナウイルス対策について
10	3月19日	現在の感染症の状況について 新型コロナウイルス対策について 今年度の反省

## 褥瘡予防対策委員会

褥瘡発生のリスクの高い方を例年より多くピックアップし、好発部位を観察しクッションの当て方などを検討することで褥瘡発生を防止することができた。

回数	月 日	内 容
1	4月30日	今年度の目標、活動方針
2	6月20日	褥瘡発生リスクの高い12名の対応の検討
3	8月27日	褥瘡発生リスクの高い14名の対応の検討 【内部研修】褥瘡予防について 介護副課主任 山本美保
4	10月15日	褥瘡発生リスクの高い13名の対応の検討
5	12月20日	褥瘡発生リスクの高い12名の対応の検討
6	2月27日	褥瘡発生リスクの高い12名の対応の検討
7	3月9日	褥瘡発生リスクの高い12名の対応の検討 今年度の反省 【内部研修】「褥瘡予防のポジショニング」について 看護課 金野舞

## 身体拘束廃止委員会

コロナ禍において入居者も職員も感染症対策に日々奮闘する中で、職員は身体拘束廃止の三原則(切迫性・非代替性・一時性)を常に念頭に置き、個々に合わせた援助内容を検討し、今年度も身体拘束ゼロを達成することができた。

回数	年月日	検討内容
1	令和2年 4月25日	・今年度の目標、活動方針について ・施設の状況について(身体拘束 0名)
2	7月20日	・施設の状況について(身体拘束 0名) 【内部研修】「身体拘束廃止について」 介護課課長補佐 鈴木千賀子
3	10月31日	・施設の状況について(身体拘束 0名) コロナ禍における虐待防止について/身体拘束、虐待防止20のチェックポイント
4	令和3年 1月28日	・施設の状況について(身体拘束 0名) 【内部研修】「身体拘束廃止に向けて減算・取り組み事例・ご家族対応」 生活相談課副部長 菅野洋子
5	3月9日	・今年度の反省 ・施設の状況について(身体拘束 0名)

## 給食委員会

入居者の平均年齢が年々低くなっている中、和食より洋食を好む方が増えてきている。より満足度の高い食事提供を目指し、嗜好調査や日々挙げられる入居者の声を反映した献立やイベント食を各職種との情報共有により、要望や給食全般に関する問題の改善に努めた。

また、定期的に富美岡荘・祥風苑合同の給食会議及び給食委員会を開催し、委託業者や各職種との情報交換により、より一層満足していただける食事提供につなげた。

月 日	会 議 内 容	活 動 内 容
4月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月の反省と、4月の活動計画について</li> <li>・開苑記念の食事内容の反省について</li> <li>・感染症予防(コロナウイルス)について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事食参加者の集計と準備</li> <li>・その他行事食の準備</li> </ul>
5月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月の反省と、5月の活動計画について</li> <li>・懇談会に挙げられた食事内容について</li> <li>・食器類の購入検討について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事食参加者の集計及び聞き取り</li> <li>・行事食の準備</li> </ul>
6月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月の反省と、6月の活動計画について</li> <li>・嗜好調査の実施について</li> <li>・夏季に向けて衛生管理について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回目 嗜好調査実施</li> <li>・野外食の提案及び準備</li> </ul>
7月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月の反省と、7月の活動計画について</li> <li>・麺献立について</li> <li>・献立内容見直しについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事食参加者の集計及び聞き取り</li> <li>・野外食の提案及び準備</li> </ul>
8月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月の反省と、8月の活動計画について</li> <li>・害虫予防について</li> <li>・夏季の衛生管理について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事食参加者の集計と準備</li> <li>・その他行事食の準備</li> </ul>
9月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月の反省と、9月の活動計画について</li> <li>・敬老会の食事内容について</li> <li>・衛生管理について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老会メニューの提案及び準備</li> <li>・食堂の環境整備</li> </ul>
10月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月の反省と、10月の活動計画について</li> <li>・敬老会の食事内容の反省について</li> <li>・感染症予防について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ大会メニューの提案及び準備</li> <li>・その他行事食の準備</li> </ul>
11月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月の反省と、11月の活動計画について</li> <li>・食事変更提出時間の確認について</li> <li>・災害時の施設と厨房の連携について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回目 嗜好調査実施</li> <li>・その他行事食の準備</li> </ul>
12月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月の反省と、12月の活動計画について</li> <li>・年末年始の食事提供について</li> <li>・感染症予防(コロナウイルス)について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もち提供者の集計</li> <li>・その他行事食の準備</li> </ul>
1月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月の反省と、1月の活動計画について</li> <li>・感染症(ノロウィルス)対策と予防について</li> <li>・イベント食の反省について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もち提供者の集計</li> <li>・行事食参加者の集計と準備</li> </ul>
2月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月の反省と、2月の活動計画について</li> <li>・感染症予防(コロナウイルス)について</li> <li>※コロナウイルス感染拡大の為、各施設で実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事満足度調査の実施</li> <li>・その他行事食の準備</li> </ul>
3月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月の反省と、3月の活動計画について</li> <li>・食事状況の観察と情報の収集</li> <li>・今年度の反省と来年度に向けて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事食参加者の集計と準備</li> <li>・その他行事食の準備</li> </ul>

## 研修委員会

職員の専門性の向上と自己研鑽を目的とし研修計画に基づいて内部研修を実施した。

### 内部研修会

No.	月 日	開 催 内 容	講 師	参加職種
1	4月1日	視力障害とは(新人研修)	副施設長 菅野くみ子 栄養士 菅野幸季	新任職員
2	5月21日	「接遇」について	副施設長 菅野くみ子	全職種
3	5月28日	「視力障がい者ケア」について	生活相談員兼マッサージ師 古水健吾	全職種
4	6月10日	成仁会の歴史と祥風苑の成り立ち 職員としての心構え	社会福祉法人成仁会 理事長 山崎和彦	全職種
5	6月15日	感染症・食中毒予防、蔓延防止について	栄養士 菅野幸季	全職種
6	6月24日	事故の予防策	介護課課長補佐 鎌田敬子	全職種
7	7月20日	「身体拘束廃止」について	介護課課長補佐 鈴木千賀子	全職種
8	7月23日	「死後の処置」について	副施設長 菅野くみ子	全職種
9	8月6日	高齢者施設入所施設での感染症対策について ～新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・胃腸炎結核～	大船渡保健所 職員	全職種
10	8月24日	「プライバシーの保護」について	介護課主任 澤田倫子	全職種
11	8月26日	「褥瘡予防」について	看護職員 新沼エミ	全職種
12	8月27日	「倫理及び法令順守」について	介護員兼支援員 田上和孝	全職種
13	9月17日	「非常災害」について	介護員兼支援員 高橋拓夢	全職種
14	10月22日	「緊急時の対応と施設医療」について	看護課課長 次藤さち子	全職種
15	11月3日	「認知症及び認知症ケア」について	介護員兼支援員 今野芳明	全職種
16	11月3日	「ノロウイルス予防対策」について	介護員兼支援員 石川智美	全職種
17	11月10日	「視覚障がい者のレクレーション活動」について	生活相談員兼マッサージ師 古水健吾	全職種
18	11月26日	「職員のメンタルヘルス」について	生活相談課副部長 菅野洋子	全職種
19	12月29日	「褥瘡予防について」について	看護職員 金野舞	全職種
20	1月19日	「ヒヤリハットの書き方/日常生活自立度」について	介護員兼支援員 柏崎晃	全職種
21	1月29日	身体拘束廃止に向けて	生活相談課副部長 菅野洋子	全職種
22	2月13日	「交通安全」について	生活相談課課長 村上信吾	全職種
23	3月2日	「ターミナルケア」について	介護課副主任 千田明枝	全職種
24	3月9日	「権利擁護」について	生活相談課副主任 中村すみれ	全職種
25	3月25日	「守秘義務、個人情報保護」について	介護員兼支援員 千葉直子	全職種

## 広報活動状況報告

年間を通し広報誌だけではなく、ホームページの更新にも力を入れ、全国へとPRになるよう様々な施設内の様子を掲載した。コロナ禍の中、外部との交流や行事が減ったことで、例年に比べて記事つくりが難しかったように感じた。昨年に比べて発行が予定より大幅に遅れることができたので良かったと思う。ホームページの更新は毎月行ない、苑内の出来事、様子を発信することができた。また、新たな試みとして動画での更新を行い、ご家族や外部の方々に好評を得た。

月	広報誌・HP	掲載内容
4月分	ホームページ	開園記念日・花祭り・観桜会・消防訓練・不在者投票・寿司バイキング
5月分	ホームページ	野外散歩・園芸・誕生会・天井セレクション・藤棚見物・裁縫クラブ・職員紹介
4・5月号	祥風苑通信	【P1】花祭り【P2】開園記念日・花祭り【P3】観桜会・野外散歩【P4】不在者投票・誕生会・藤棚バスハイク【P5】栄養管理室だより【P6】視覚障害者ケアの勉強会・お茶会・お知らせ・タオル寄贈・ボランティア紹介【別紙】短歌教室作品
6月分	ホームページ	園芸クラブ・コーラスクラブ・短歌教室・職員研修会(理事長講和)・誕生会・野外食盛川河川敷・鬼越公園散策・サツキ・外気浴・食のイベント盛りだくさん
7月分	ホームページ	碁石海岸バスハイク・誕生会・もちぶるまい会・消防訓練
6・7月号	祥風苑通信	【P1】野外食【P2】河川敷散策会・誕生会・サツキ【P3】クラブ活動再開！【P4】野外食・碁石海岸バスハイク【P5】栄養管理室だより【P6】職員研修会・お知らせ・ボランティア紹介【別紙】短歌教室作品
8月分	ホームページ	土用の丑の日・スイカ割り大会・ソフトクリームの会・お盆の迎え火・送り火・納涼祭・誕生会
9月分	ホームページ	敬老会(動画)・敬老会①②・寺町一座ちんどん・彼岸供養・おはぎバイキング
8・9月号	祥風苑通信	【P1・P2】敬老会【P3】スイカ割り大会・納涼祭【P4】土用の丑の日・誕生会・彼岸供養【P5】栄養管理室だより【P6】ちんどん寺町一座・お知らせ・ボランティア紹介【別紙】短歌教室作品
10月分	ホームページ	十五夜団子・野外食・出前会・スポーツ大会・誕生会・ハロウィンカボチャ・社会福祉協議会表彰
11月分	ホームページ	寿司バイキング・誕生会・ナツ子様100歳お祝い・文化祭作品・祥風苑文化祭・千秋庵出前会
10・11月号	祥風苑通信	【P1】ハロウィンかぼちゃ【P2】スポーツ大会【P3】ハロウィン&誕生会・出前会【P4】文化祭作品作り・誕生会【P5】栄養管理室だより【P6】松澤ナツ子様100歳お祝い・赤い羽根共同募金・お知らせ・ボランティア紹介【別紙】短歌教室作品
12月分	ホームページ	新巻き鮭贈呈式・忘年会・誕生会・IBCラジソン・クリスマス喫茶・餅つき大会
1月分	ホームページ	お正月・新春福引き大会・もちバイキング・水木団子づくり・誕生会
12・1月号	祥風苑通信	【P1】新年の風景【P2】誕生会＆忘年会【P3】クリスマス喫茶・餅つき大会【P4】新年あいさつ・新春福引き大会・水木団子作り【P5】栄養管理室だより【P6】IBCラジソン・朗読CD寄贈・新巻き鮭寄贈・ボランティア紹介【別紙】短歌教室作品
2月分	ホームページ	節分豆まき
3月分	ホームページ	ひなまつりお茶会・出前寿司・彼岸供養・誕生会
2・3月号	祥風苑通信	【P1】ひなまつりお茶会【P2】節分・出前寿司【P3】ひなまつりお茶会・誕生会【P4】彼岸供養・佐藤不二雄先生NHK全国短歌大会入選【P5】栄養管理室だより【P6】ボランティア紹介【別紙】短歌教室作品

### 3 職員研修実施状況(外部研修)

月 日	内 容	出 席
7月22日	令和2年度第1回 養護老人ホーム部会	施設長 崎山美知枝 生活相談課課長 村上信吾
10月6日	令和2年度気仙地域感染症予防研修会	看護職員 金野舞
3月	令和2年度介護保険施設等集団指導(書面開催)	生活相談課副部長 菅野洋子

## ～ 養護(盲)老人ホーム祥風苑 一年間の様子 ～

【4月】



山崎シゲ会長と一緒に祝い「開苑記念日」



お祝いに甘茶をかけて「花祭り」



観桜会&誕生会



清き一票を「不在者投票」

【5月】



今年も綺麗な桜が咲きました



内部研修 「視覚障がい者のケアについて」



苑庭のさつきが今年も綺麗に咲きました



米崎町へ見事な藤棚を見物にでかけました

## 【6月】



「フクセン弁当出前会」



佐藤不二雄先生による短歌教室



初夏の空気を満喫 河川敷



理事長講和



「園芸クラブ」活動開始



外で食べるご飯は最高「野外食」

## 【7月】



碁石海岸散策



備えあれば患いなし「消防訓練」

## 【8月】



厳しい暑さに負けぬように「うなぎ出前」



まっすぐ振り下ろして！「スイカ割り大会」



お盆の送り火・迎え火



納涼祭

## 【9月】



敬老会へ向けて練習中 コーラスクラブ



ご長寿をお祝い第28回敬老会



秋晴れの中にぎやかに 寺町一座



秋の彼岸供養

## 【10月】



十五夜のお月見団子作り



秋の味覚 秋刀魚を堪能



熱戦！ スポーツ大会



10月の誕生会はハロウィンがテーマ

## 【11月】



力作揃い 祥風苑文化祭



趣向を凝らして盛り上げた 11月誕生会



内部研修「視覚障がい者レク」



松澤ナツ子様満百歳セレモニー

## 【12月】



立派な新巻きザケをいただきました



せきれいの会の皆様よりCDの寄贈



クリスマス・大忘年会



一年の締め 餅つき大会

## 【1月】



会長・理事長と新年のご挨拶



今年最初の運試し



小正月の水木団子作り



1月誕生会

## 【2月】



鬼もコロナも外！福は内！ 節分豆まき



カラオケクラブ

## 【3月】



ひなまつりお茶会



お好みのお寿司に舌鼓 出前寿司



春の彼岸供養



長安寺へお墓参り



2・3月誕生会



例年より早く桜が開花しました



令和2年度

## 事 業 報 告

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

地域密着型介護老人福祉施設 蔵ハウス大船渡

## 令和2年度の事業を振り返って

～いつでも夢を～

令和2年度テーマを「いつでも夢を」とした当施設も、開設から13年が過ぎました。常に初心に返り原点を意識し「すべては入居者様の幸せのために」と、職員一丸となりました。これも、45年と言う長い歴史のある本部成仁会がバックにありとても心強く、感謝しております。

そして今年は、新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、我が藏ハウス大船渡には大きな出来事があり、皆様にご心配をお掛けし、その際には「成仁会」の偉大さを再認識いたしました。

大船渡市での学校クラスターにより、スタッフ1名が陽性となりました。但し、日常的な感染予防対策や定期的な抗原検査、陽性発生者の情報収集や情報交換会議などにより、スタッフの心構えもできておりその定期的な抗原検査により早期発見に至り、その後の館内の全館消毒・入居者全員の抗原検査を独自で実行し、その時点での全員陰性を確認することができました。これも、前掲の「成仁会」と言う『全集中！』のお陰で、わずかの時間に消毒や抗原検査を終え、ご家族にご報告をすることができました。翌日は保健所のご配慮により、全入居者・スタッフのPCR検査を受けることができ、「全員陰性！」の報告を受けた時には、喜びが涙に変わりました。会長や理事長の「成仁会から陽性者がいたら噂話であれこれと詮索されることがないように事実をマスコミに報道する」という判断により、地元新聞に記事掲載を自ら依頼し、記事には施設名公表で掲載されましたので少なからず誹謗中傷を心配しました。しかし、地域の反響は全く逆で「普通は隠そうとするのに成仁会は素晴らしい」「施設名や詳細を公表したことではっきりとしてわかりやすい」「トップの判断は素晴らしい」「疲れないように頑張れ」などと、激励の電話をたくさんいただき、成仁会の実直さ偉大さを改めて感じました。

また、山崎シゲ会長が埼玉医科大学緩和医療科の客員研究員となり実証実験を始めるにあたり法人全体でワンチームとなり事業の成功に向けてスタートした一年でした。会長は「常に相手の身になって、そのためにはその方をよく知ること（パーソナルケア）が大事である」ことがいかに大事かを話しておりますが、この実証実験にいかに大切であることを全スタッフで共有しました。

GHまちぐるみにおいては、認知症の方の特性をよく理解し常に寄り添ったケアを心掛け、コロナ禍ゆえの、遠方のご家族様へのSNS通信などを徹底して行いました。

今後も、シゲ会長の「常に相手の身になって」この想いの大切さ、そして、地域との繋がりの大切さを胸に、スタッフ一丸となって精進してまいります。

地域密着型介護老人福祉施設 藏ハウス大船渡  
認知症対応型共同生活介護事業所 まちぐるみ  
施設長 小笠原 登志江

# 1 各課の事業実施状況

## (1) 生活相談課

今年度は「いつでも夢を」というテーマを掲げ、昨年度に引き続き入居者・職員がそれぞれの「夢」を追求し、非日常だったそれぞれの「夢」を日常化できるように取り組んだ。新型コロナウィルス感染拡大防止対策で面会や外出が制限され、家族との関りが薄くなることで感じている心理的負担を和らげるために、SNSでの情報発信、オンラインのビデオ通話システムにて顔を見ながらの会話を支援した。敬老会や発表会もWeb会議システムを活用し、大勢の家族に参加していただき、特に遠方にお住いの家族からは「今まで参加することができなかつた催しに参加することができて感激した。」等と喜びの声を多くいただいた。

介護保険請求では、要介護度の区分変更申請による月遅れ請求はあったが、過誤申請や返戻等なく確実に行うことができた。また未収金管理・回収を法人本部と連携しながら適切に行なった。

今年度は3名の退所者（看取り）があり、家族との連携をこまめに取り意向をその都度確認し、嘱託医や協力病院と連携しながら最期を迎える。家族からは「悔いなく見送ることができた。」と感謝の言葉をいただいた。

最期まで住み慣れた地域で過ごしたいと、本人や家族の希望で入所相談や申し込みに訪れる方も多く、3月末現在で待機人数は30名を達している。入所検討委員会を通し、法人で連携・調整を図り、状況を把握した上で公正な対応をした。

また、入居前の実態調査では在宅生活からの暮らしの継続を実現させるために、より多くの情報収集に努めた。入居後も家族に法人や施設の理念の説明を行い、昔の写真を持参いただいたり、若いころのエピソードを伺うことができ、施設職員一丸となってパーソナルケアに取り組んだ。

空床を利用しての短期入所も実施し、稼働率を維持しながら在宅介護を支援することができた。震災後から継続していた被災者の受け入れは、今年度をもって終了した。

地域行事等も中止となり、地域交流や社会貢献が困難な状況ではあったが、今後も地域の方々の様々な意見に耳を傾け、地域福祉の拠点として、入居者や地域の方々に貢献できる取り組みを積極的に行っていきたい。

## 利用実績

前年度と比較すると長期入所者の入院者数は少ないが、入院期間が長期になった方がおり、延べ人数としては大きな変化はなかった。入院者が出了タイミングは短期入所利用希望者が見つからず、都度待機者の担当ケアマネやご家族様、他の事業所などと連携し、できるだけ空床が出ないよう調整を図った。

1名被災者の受け入れがあり、100%超だった稼働率だが、3月上旬で被災枠が終了となった。

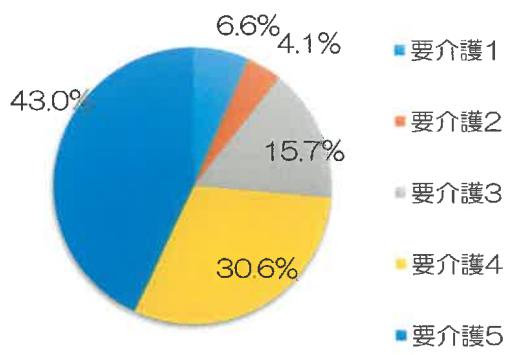
### 【長期入所】

提供月	要介護 1 (人)	要介護 2 (人)	要介護 3 (人)	要介護 4 (人)	要介護 5 (人)	平均 介護度	利用 ベッド数 (床)	ベッド 定数 (床)	稼働率	入院 外泊 (日)
令和2年4月	2	1	5	10	12	4.0	900	870	103.4%	0
令和2年5月	2	1	5	9	13	4.0	930	899	103.4%	0
令和2年6月	2	1	5	9	13	4.0	900	870	103.4%	0
令和2年7月	2	1	5	8	15	4.0	926	899	103.0%	4
令和2年8月	2	1	5	8	14	4.0	930	899	103.4%	0
令和2年9月	2	1	5	8	14	4.0	900	870	103.4%	0
令和2年10月	2	1	5	9	13	4.0	918	899	102.1%	12
令和2年11月	2	1	5	10	13	4.0	868	870	99.8%	32
令和2年12月	2	1	5	10	13	4.0	910	899	101.2%	20
令和3年1月	2	2	4	10	12	3.9	930	899	103.4%	0
令和3年2月	2	2	4	10	12	3.9	840	812	103.4%	0
令和3年3月	2	2	4	10	12	3.9	900	899	100.1%	0
合計 (下段：比率)	24	15	57	111	156	4.0	10,852	10,585	102.5%	68
	6.6%	4.1%	15.7%	30.6%	43.0%					

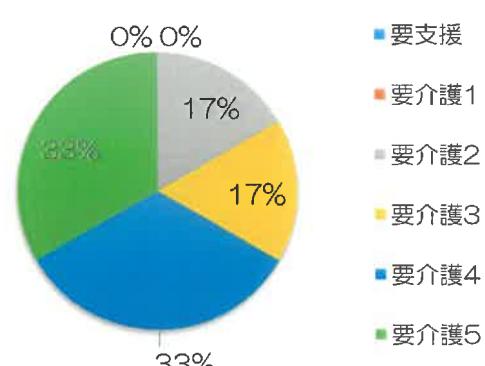
### 【短期入所】

提供月	要支援 (人)	要介護 1 (人)	要介護 2 (人)	要介護 3 (人)	要介護 4 (人)	要介護 5 (人)	平均 介護度	利用 ベッド数 (床)	ベッド 定数 (床)	稼働率
令和元年7月	0	0	1	0	0	0	2.0	2	4	50%
令和元年10月	0	0	0	0	0	1	4.0	11	12	92%
令和元年11月	0	0	0	0	1	1	4.0	23	32	72%
令和元年12月	0	0	0	1	1	0	4.0	8	20	40%
合計 (下段：比率)	0	0	1	1	2	2	3.5	44	68	65%
	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	33.3%				

### 【長期入所介護度比率】



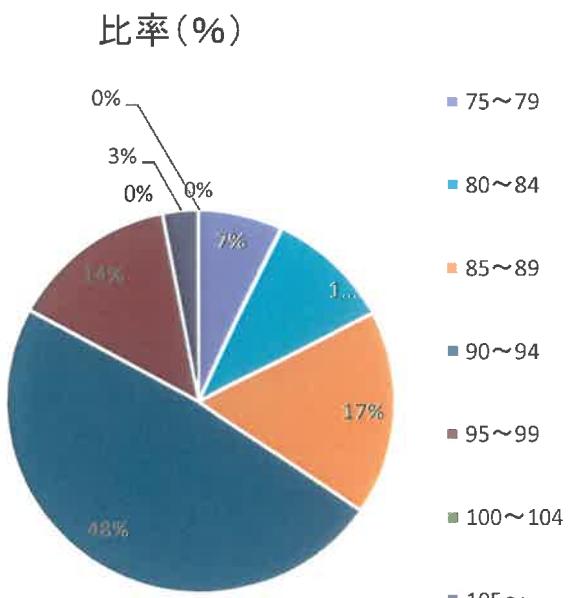
### 【短期入所介護度比率】



## 年齢別状況

(令和3年3月31日現在)

年齢区分	男(人)	女(人)	計(人)	比率(%)
~64	0	0	0	0%
65~69	0	0	0	0%
70~74	0	0	0	0%
75~79	0	2	2	7%
80~84	0	3	3	10%
85~89	1	4	5	17%
90~94	5	9	14	48%
95~99	0	4	4	14%
100~104	0	0	0	0%
105~	0	1	1	3%
計	6	23	29	
最高	94歳	109歳		
最低	88歳	75歳		
平均	90.5歳	90.0歳	90.1歳	



## 入退居の状況

今年度は入居3名、退居3名であり、例年に比べ少なかった。入院者については3名で、いずれも看取り期による入院での死亡退所となつた。入院中の空床は計4名の方に短期入所を利用していただいたが、入院状況によって利用期間の調整があり、担当ケアマネや本人・家族との連携を隨時行った。

### (1) 入 居

No.	年月	介護度	住 所
1	令和2年7月	5	猪川町
2	令和2年11月	4	盛町
3	令和2年12月	4	大船渡町

### (2) 退 居

No.	年月	介護度	摘 要
1	令和2年7月	5	大船渡病院で永眠
2	令和2年11月	4	大船渡病院で永眠
3	令和2年12月	5	大船渡病院で永眠

### (3) 入・退院者の状況

No.	氏名	入院先 (病院名)	病名	入院年月日	介護度	退院年月日
1	T. N様	大船渡病院	敗血症・尿路感染症	令和2年7月21日	5	-
2	K. U様	大船渡病院	うつ血性心不全	令和2年10月20日	5	-
3	S. I様	大船渡病院	急性腎不全	令和2年10月30日	5	-

## (2) 介護課

今年度も入居されている方々のほか、新規入居の方々の介護度が重度化している中で、各課と連携し出来る限り自立した生活、居心地の良い生活を目指し取り組んだ。

今年度はコロナウイルス感染症の為、面会・外出・行事等に制限がある中で、入居者様の「いつでも夢を」を実現できるよう取り組んだ。蔵ファームを立ち上げ、参加希望された入居者様対象とし、水やりや草むしりなど計画的に行った。過去の農業経験を生かし準備から収穫までの過程すべてに携わることで、達成感や生きがいや喜びを感じていただくことができ、自然との触れ合いを通し心の安定にも繋がった。

ご家族様との繋がりを保つために「ちょこっと面会」として3密を避け、ソーシャルディスタンスを守った上で窓越しやベランダからの対面の機会を作ったり、普段の様子を個別に動画でご家族様に送るなどの他、敬老会や発表会（文化祭）はオンラインで行い、施設での生活の様子をご家族様に伝え、少しでも安心していただくように努めた。

食事面では、普段の食事摂取動作や咀嚼・嚥下の観察を行い、変化が生じた際には、各課と連携を図り、状態に応じた食事形態を検討しながら必要な栄養の摂取につなげることはもちろん、ご家族に相談しながら地物や季節の食材、嗜好に合ったものの持ち込みをしていただき、食への意欲を引き出すように取り組んだ。

排泄への取り組みとして、隨時入居者様の状態に合った排泄用品の種類の選定や交換のタイミングの見直しを図った。

また、最新のスキンケアについて学び、看護課と連携し必要時には医療的処置を行う等、早期発見・早期対応に努めスキントラブルを軽減させ、より快適な生活に繋げられた。

音楽セッション、フラワー・アレンジメントクラブ、蔵静寿会（習字クラブ）等の活動は、講師を招くことができない状況ではあるが、活動の継続を希望される方も多く自主的に行うことができた。施設全体での行事は減ったが、その分ユニット内での催しを企画し、個別での趣味活動等にも取り組み、各々「ステイホーム」を楽しんでいただいた。

カンファレンスや委員会活動も定期的に開催し、24時間シートを最大限に活用し、統一したケアをすることができた。

今年度も引き続き被災者枠の入居者1名受け入れを行ったが、そのまま本入所となり今年度をもって被災枠は終了した。

## 入居者の介護状況

**【食事】** 入居者の入れ替わりで自立の方が増加し、何らかの介助が必要な方の割合が若干減少した。食事介助は看護課の協力も得ることができ、咀嚼・嚥下機能等、より専門的な視点での観察にも繋がり、迅速に食事形態の変更ができた。

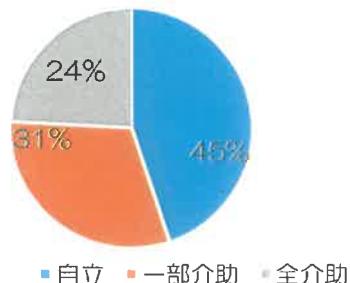
**【排泄】** 入居者の状態変化はほとんどないが、入居者の入れ替わりによる変化は見られている。排泄用品の種類を増やし、自立支援を意識しながら個々に合わせた介助方法や用品の見直しも随時行った。

**【入浴】** 前年度と大きな変化はないが、特殊浴が増加傾向である。

**【移動】** 加齢とともに、徐々に筋力低下が見られたが、生活リハビリでご自分で出来る範囲で出来ることを継続して行った。

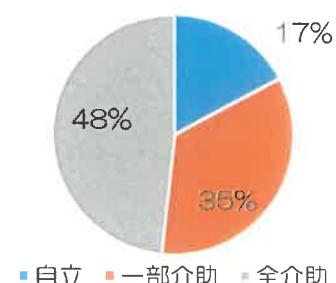
### 【食事】

自立	一部介助	全介助
13	9	7



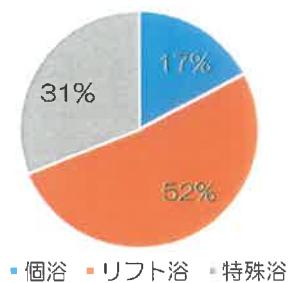
### 【排泄】

自立	一部介助	全介助
5	10	14



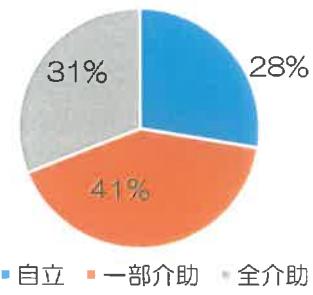
### 【入浴】

個浴	リフト浴	特殊浴
5	15	9



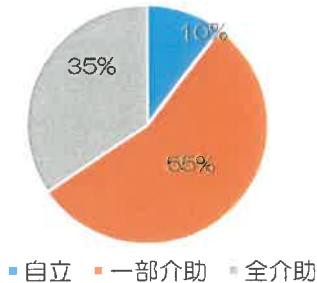
### 【起座】

自立	一部介助	全介助
8	12	9



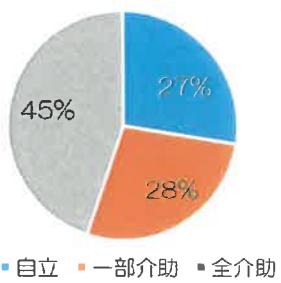
### 【移動（歩行・車椅子）】

自立	一部介助	全介助
3	16	10



### 【着脱】

自立	一部介助	全介助
8	8	13



## 行事実施状況

コロナ禍で、バスハイクやショッピングなどの外出や地域行事参加の機会が減り、行事にご家族様を招くこともできなかったが、その分ユニットでの活動の機会を増やしたり、小規模単位で蜜を避けての施設内での交流の機会を増やした。クラブ活動などは継続したいという希望があり、習字やフラワーアレンジメントは講師を招かずに自主的に活動を行った。

月 日	行 事 概 要	月 日	行 事 概 要
7日 8日 14日 28日	観桜会(煮しめ作り) 花祭り・かもしか号 手作りおやつ(盛町) 寿司バイキング	5月8日 10日 11、12、15日 21日	習字同好会 フラワーアレンジメントクラブ バスハイク(ふるさと巡り) ゲーム大会
6月1日 5日 15日 22日 26日	入居者懇談会 バスハイク(大船渡方面) フラワーアレンジメントクラブ 蔵静寿会 カップラーメン選択食	7月1日 8日 17日 20日 28日 29日	入居者懇談会 消防訓練 フラワーアレンジメントクラブ バーベキュー 蔵静寿会 阿部歯科医院訪問診療
8月1日 5日 7日 11日 12日 13日・16日 19日 21日 25日 30日	入居者懇談会 阿部歯科医院訪問診療 ビアガーデン 開所記念日 カップラーメン選択食 迎え火・送り火 縁日(~21日) 予防医学協会結核検診 蔵静寿会 フラワーアレンジメント	9月1日 20日 28日 29日	入居者懇談会 蔵ハウス大船渡・まちぐるみ合同敬老会 蔵静寿会 フラワーアレンジメントクラブ
10月1日 4日 14日 16日 21日 22日 23日 28日 29日 30日	月見団子作り・入居者懇談会 大船渡東高校太鼓部イベント 消防訓練 盛こども園権現様お披露目会 蔵静寿会 バスハイク(世田米・横田方面、日頃市方面) 野外食(さんま) 渡辺歯科クリニック訪問診療 フラワーアレンジメントクラブ バスハイク(世田米・横田方面、綾里方面)	11月3日 5日 8日 10日 11日 24日 29日	入居者懇談会 ミニスポーツ大会 田茂山地区権現様来所 フラワーアレンジメントクラブ 煮しめ作り ホーム喫茶 オンライン発表会
12月1日 9日 10日 22日 24日 28日 29日	回転寿司・入居者懇談会 消防訓練 イルミネーション点灯式・夕食作り(全ユニット) フラワーアレンジメント クリスマス忘年会 餅つき会 蔵静寿会	1月1日 2日 12日 15日	新年あいさつ・正月遊び 入居者懇談会 フラワーアレンジメント 水木団子作り
2月9日 10日 16日	手作りおやつ(盛町) 消防訓練 ホーム喫茶(チョコレートフォンデュ)	3月3日 10日 26日	なべやき作り 渡辺歯科クリニック訪問診療 フラワーアレンジメントクラブ 消防訓練 蔵静寿会 昼食バイキング

### (3) 看護課

「いつでも夢を」をモットーに、個人の尊厳を大切にしながら身体状況や体調の管理を行い、コロナ禍でも心身ともに健やかにストレスを最小に過ごしていただことを目標に活動した。

体調の変化に注意しながら観察を行い早期から嘱託医と連携し、必要時には専門科への受診対応を行った。家族への受診結果はその都度報告し、来園の際は健康状態や生活状況を説明した。2月に職員1名がコロナウィルスに感染したが、感染前からの休業対応や感染予防策の徹底により利用者・職員への感染はなかった。さらに、各部署と連携し感染症予防に努め他の感染症には罹患することなく過ごすことができた。口腔内の感染から肺炎につながるリスクが高いことから歯科医師と協力して歯科検診や予防治療を継続した。口腔ケアの難しい入居者には個別に口腔ケア方法の指導を受けて徹底的に口腔保清に取り組んだ。

要介護度4・5の方が多くなり機能低下や疾病等のリスクが高まる中で、ADL評価に合わせた生活リハビリを個別に対応し身体機能の維持・強化に努めた。

ターミナルケアでは、嘱託医のムンテラを行い御家族の意向を伺い、常時御家族との連携を図りながら対応した。最後まで安心して看取ることができたと感謝された。

### 健康管理状況

(1) 入居者疾患状況(述べ人数)

単位：人

脳血管障害による後遺症	高血圧	パーキンソン病	リウマチ	糖尿病	認知症	精神疾患	心疾患	消化器系（便秘含み）	泌尿器系	皮膚疾患	呼吸器系	内分泌系	悪性新生物	その他	計	
男	2	2	1	0	1	2	5	4	2	2	3	1	0	0	5	30
女	10	18	3	0	3	13	5	17	8	2	8	1	0	2	19	109
計	12	20	4	0	4	15	10	21	10	4	11	2	0	2	24	139

(2) 健康診断実施状況

入居者	R2年4月	身長・体重・検尿・血圧・聴打診・心電図	30名
	R2年9月	身長・体重・検尿・聴打診・心電図・胸部写真 (胸部写真是岩手県予防医学協会対応で実施した)	30名
	R2年10月	インフルエンザワクチン予防接種	30名
	R2年12月	肺炎球菌ワクチン予防接種	5名
職 員	R2年5月	身長・体重・血圧・検尿・視力・聴打診・腹囲・採血・ 胸部写真・心電図・聴力	22名
	R2年10月	体重・血圧・検尿・聴打診・腹囲・心電図・聴力・採血・視力	22名
	R2年11月	インフルエンザワクチン予防接種	21名

(3) 通院・薬受け状況

病院名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
県立大船渡病院	脳神経外科	1	0	0	1	1	1	1	0	0	1	0	4 10
	整形外科	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	泌尿器科	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	内科(循内神内含)	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	4
	外科(乳腺外来含)	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	4	7
	眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	精神科	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	3
	緩和ケア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	救急センター	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	5
山崎内科医院	8	8	2	13	3	2	4	7	2	2	1	1	53
阿部歯科医院	0	2	1	2	9	5	3	6	7	4	0	1	40
鳥羽整形外科医院	1	0	1	1	0	1	0	1	0	2	6	2	15
及川皮膚科医院	4	2	4	9	7	6	5	2	3	2	0	2	46
飯塚眼科医院	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
いとう耳鼻科	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	1	5
及川歯科医院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
渡辺歯科医院	2	0	2	0	2	0	2	0	1	0	0	1	10
受診科 計	5	3	9	8	8	9	7	6	7	5	3	3	73
実人数	14	10	11	18	15	11	9	11	12	6	3	7	127
延べ人数	16	12	14	29	25	20	18	18	14	11	7	21	205

(4) 嘱託医回診状況

回診日 週2回 (火曜日・木曜日)

回診時間 14時から15時

対象者 状態変化のある入居者

急変者は随時電話にて報告。指示受け対応する。

休日・回診日以外は毎日電話にて報告する。

## (4) 栄養管理室

令和2年度は、「全国うまいもの巡り～ワールド～」を企画し、日清と連携しながら日本全国や世界の美味しい料理を提供した。また、由来カードを作成し、入居者様が身近に全国の料理を楽しみながら食事していただけるよう配慮した。

現在提供している食形態は、常食、ソフト食、ミキサー食である。個々人の食事摂取状況や身体状況を確認しながら、その都度、状態に合わせた食事提供した。その他、嗜好に合わせた食事提供やアレルギー除去食を提供し、入居者様が安心して安全な食事を摂取できるような食事提供に努めた。

毎月各ユニットでおやつ作りや夕食作りを実施することで、入居者様の残存機能を活かし、楽しみながら調理していただきたい。そして、なじみ深い郷土料理や季節感を取り入れた食材を使用し、食欲増進および食事の満足度の向上に繋がるよう工夫した。

施設全体で行う行事食や毎週1回選択食、毎月月末にはホーム内喫茶を取り入れ、施設内での生活に潤いや入居者様同士の交流ができるような環境作りに取り組んだ。

HACCPの概念に基づき、調理過程における重要管理事項について、点検・記録を行った。食品納入時の検収や十分な加熱を確実に行い記録し、入居者様が安全に食事できるよう配慮した。

毎朝のミーティングに参加し、ユニットの情報を把握し、委託業者と共有しながら入居者様一人ひとりの健康状態や食事摂取量を把握し、各々の生活習慣や好みも尊重しながら必要な対応に努めた。

令和3年度も各課と連携を図り、情報を共有し円滑に、きめ細かいサービスの提供に努める。

## 給食状況

区分 月別	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂質 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	塩分 (g)	レチノール当量 (μg)	V-B1 (mg)	V-B2 (mg)	V-C (mg)	食物繊維 (g)
R2年4月	1,815	62.5	60.7	249	9.3	6.5	748	1.16	1.16	102	16.1
5月	1,826	59.2	63.0	797	9.2	6.8	874	1.41	1.28	101	15.8
6月	1,779	61.4	57.4	754	8.8	7.1	790	1.26	1.24	101	15.8
7月	1,808	61.5	60.2	735	8.1	7.4	828	1.26	1.27	104	15.6
8月	1,796	60.3	58.5	777	8.2	7.1	793	1.15	1.17	104	15.8
9月	1,871	63.9	64.3	776	8.9	6.8	785	1.25	1.26	100	16.8
10月	1,824	59.9	64.5	245	8.1	7.1	720	1.56	1.13	86	15.0
11月	1,808	62.3	58.3	815	9.1	7.4	773	1.48	1.26	117	16.4
12月	1,789	60.5	58.0	251	8.6	7.1	260	1.14	1.17	107	15.9
R3年1月	1,934	64.9	65.1	842	9.9	7.3	717	1.27	1.27	110	16.9
2月	1,931	64.5	67.1	860	9.8	6.9	787	1.27	1.30	120	16.8
3月	1,833	63.1	57.2	765	9.4	7.6	718	1.23	1.20	92	16.5
合 計	22,014	744.0	734.3	7,866	107.4	85.1	8,793	15.44	14.71	1,244	193.4
1日平均摂取量	1,835	62	61	656	9.0	7.1	733	1.29	1.23	104	16.1
1日目標基準量	1,540	53	43	660	6.2	7.2	680	1.00	1.14	100	15.4
充足率(%)	119	117	142	99	144	98	108	129	108	104	105

## 日清医療食品現任者研修

実施月	研修項目
4月	基本方針と四つの約束、コンプライアンス
5月	組織体制(支店/自営業所)、勤怠管理、ワークシェア
6月	安全管理・事故防止、事故事例
7月	施設における規則・マナー、個人情報の保護、患者様・入所者・ご家族等との対応
8月	病院・福祉施設等の社会的役割と組織、標準作業書に関する記載事項、医療関連サービスに係る倫理綱領
9月	災害防止(地震対策マニュアル)
10月	ノロウイルス
11月	食中毒と感染症の予防に関する基礎知識、社員の日常的な健康管理
12月	労災防止
1月	患者様の食事の特殊性とその意義、治療食に関する知識
2月	アレルギー
3月	地震対策マニュアル

## 日清医療食品による衛生指導

衛生巡回	月1回	衛生巡回 他事業所チーフによる実施
	月1回	各事業所チーフによる実施
	毎日	各事業所社員による点検実施
支店指導	月1回	SVによる厨房状況確認、指導
	不定期	IRによる厨房状況確認、指導
蔵ハウス大船渡	不定期 8月(年1回)	本社衛生管理室による衛生監査(R元年度は実施なし) 新調理食品検査(検証調査)

## 行事食実施状況

①施設全体での行事食とユニットでのおやつ作り・夕食作り

実施日	行事名		
4月	2日 夕食づくり (佐倉里) 7日 観桜会 8日 花祭り 14日 手作りおやつ (盛町) 21日 ホーム内喫茶 (桜ロール) 28日 寿司バイキング	 <b>《寿司バイキング》</b>	 <b>《ホーム喫茶》</b>
5月	3日 憲法記念日 5日 端午の節句 7日 夕食づくり (盛町) 12日 手作りおやつ (盛町) 14日 ちょこっとクッキング (天神) 19日 手作りおやつ (天神) 21日 夕食づくり (佐倉里) 26日 ホーム内喫茶 (クレープ)	 <b>《夕食作り》</b>	 <b>《ホーム喫茶》</b>
6月	2日 手作りおやつ (天神) 9日 手作りおやつ (佐倉里) 11日 夕食づくり (天神) 16日 手作りおやつ (盛町) 18日 夕食づくり (佐倉里) 23日 ちょこっとクッキング (佐倉里) 25日 夕食づくり (盛町) 30日 ホーム内喫茶 (プリンアラモード)	 <b>《ちょこっとクッキング》</b>	 <b>《おやつ作り》</b>
7月	7日 七夕 9日 夕食づくり (佐倉里) 14日 手作りおやつ (天神) 16日 夕食づくり (盛町) 20日 バーベキュー 21日 土用の丑の日 23日 海の日	 <b>《海の日》</b>	 <b>《バーベキュー》</b>
8月	6日 夕食づくり (天神) 7日 ビアガーデン 11日 開所記念日 13日 お盆メニュー 14日 お盆メニュー 15日 お盆メニュー 16日 お盆メニュー 18日 かき氷(各ユニット) 19日 縁日風屋台 20日 夕食作り(佐倉里)	 <b>《開所記念日》</b>	 <b>《ホーム喫茶》</b>
9月	8日 手作りおやつ (盛町) 9日 重陽の節句 10日 夕食づくり (佐倉里) 15日 手作りおやつ (佐倉里) 17日 夕食づくり (天神) 20日 敬老会 19日 夕食作り (天神) 22日 秋分の日 24日 夕食づくり (盛町) 29日 ホーム内喫茶 (もみじ饅頭)	 <b>《夕食作り》</b>	 <b>《敬老会》</b>

実施日		行事名		
10月	1日	十五夜		《ホーム喫茶》
	6日	手作りおやつ (天神)		
	8日	夕食づくり (盛町)		
	13日	手作りおやつ (佐倉里)		
	15日	夕食づくり (天神)		
	20日	手作りおやつ (盛町)		
	23日	野外食 (さんまの塩焼き)		
	27日	ホーム内喫茶 (かぼちゃワッフル)		
11月	3日	文化の日		《野外食》
	5日	ミニスポーツ大会		
	10日	手作りおやつ (盛町)		
	12日	ちょこっとクッキング (盛町)		
	17日	手作りおやつ (佐倉里)		
	19日	夕食づくり (天神)		
	23日	勤労感謝の日		
	24日	ホーム内喫茶 (チーズケーキ)		
	26日	湯豆腐 (各ユニット)		
	29日	発表会		
12月	1日	回転寿司		《クリスマス・忘年会》
	3日	夕食づくり (佐倉里)		
	8日	手作りおやつ (盛町)		
	10日	水餃子鍋 (各ユニット)		
	15日	手作りおやつ (天神)		
	17日	つくね豆乳担々鍋 (各ユニット)		
	24日	クリスマス・忘年会		
	〃	ホーム内喫茶		
	28日	餅つき会		
	31日	大晦日(年越しそば)		
1月	1日	正月メニュー、もちの日		《正月メニュー》
	2日	正月メニュー		
	4日	正月メニュー、もちの日		
	7日	もちの日		
	〃	七草		
	14日	夕食づくり (盛町)		
	15日	小正月		
	19日	手作りおやつ (天神)		
	21日	夕食づくり (佐倉里)		
	26日	ホーム内喫茶 (チュロス)		
	28日	鶏野菜鍋 (各ユニット)		
2月	3日	節分		《餅バイキング》
	9日	手作りおやつ (盛町)		
	11日	建国記念日		
	16日	ホーム内喫茶 (チョコレートフォンデュ)		
	25日	餅バイキング		
3月	3日	ひな祭り		《ホーム喫茶》
	16日	手作りおやつ		
	20日	春分の日		
	26日	バイキング		
	30日	ホーム内喫茶 (島根：出雲ぜんざい)		
				《ひなまつり》
				《バイキング》

## 行事食実施状況

### ②全国うまいもの巡り～ワールド～

実施日	都道府県(ご当地料理名)		
4月 8日	山形県 (山形風芋煮)		《中国：小籠包》
17日	カナダ (メープルクッキー)		
22日	東京都 (深川めし)		
5月 9日	広島県 (がんす天)		《広島県：がんす天》
30日	中国 (小籠包)		
6月 10日	福井県 (越前おろしそば)		《京都府：茶そば》
24日	イタリア (ピザ)		
7月 2日	京都府 (茶そば)		《イタリア：ピザ》
17日	スペイン (パエリア風炊き込みご飯)		
29日	埼玉県 (おからのゼリーフライ)		
8月 14日	徳島県 (でこまわし)		《宮城県：油麺丼》
28日	アメリカ・ハワイ (ロコモコ丼)		
9月 16日	宮城県 (油麺丼)		《ハワイ：ロコモコ丼》
23日	韓国 (トックスープ)		
24日	岩手県 (北上コロッケ)		
10月 8日	茨城県 (ねぎカツ)		《佐賀県：だご汁》
20日	オーストラリア (フィッシュアンドチップス)		
11月 12日	熊本県 (いきなり団子)		《オーストラリア：フィッシュアンドチップス》
24日	北アフリカ (クスクス)		
26日	佐賀県 (だご汁)		
12月 21日	富山県 (たら汁)		《タイ：ガパオライス》
31日	インド (インドカレー)		
1月 2日	奈良県 (茶粥・奈良漬)		《富山県：たら汁》
20日	タイ (ガパオライス)		
28日	石川県 (鶏野菜鍋)		
2月 16日	山梨県 (かつば飯・ほうとう汁)		《愛知県：天むす・味噌煮込みうどん》
3月 11日	愛知県 (天むす・味噌煮込みうどん)		《山梨県：かつば飯・ほうとう》
18日	フランス (キッシュ)		
30日	島根県 (出雲ぜんざい)		

## 2 委員会の開催状況

### 褥瘡予防委員会

毎月委員会を開催し、皮膚観察者の状況を写真に収めて対応の検討することで、褥瘡予防対策のリスクマネジメントを行った。皮膚の状態に変化があった際には各課・嘱託医との連携で早めの対応を行い、必要時には皮膚科の受診も行った。

入居者様は、年々高齢化となり、食事量の減少による低蛋白や・長時間の臥床や車椅子生活により、褥瘡の発生率が高くなってきた。食事の摂取量・体重の変化・アルブミン値などを評価し、低栄養予防に取り組んだ。また、体位変換、車椅子での座位時間や姿勢、環境、エアーマット等をこまめにチェックすることで早期発見に努め、悪化することなく改善することができた。

回	月 日	内 容
第1回	4月 15日	①褥瘡発生者経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討 ③今年度の活動について
第2回	5月 20日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討
第3回	6月 17日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討 ③特殊マットの使用状況
第4回	7月 15日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討
第5回	8月 19日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討 ③特殊マット使用状況
第6回	9月 16日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討
第7回	10月 21日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討
第8回	11月 18日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討 ③特殊マット使用状況
第9回	12月 16日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討
第10回	1月 19日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討
第11回	2月 17日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討 ③特殊マット使用状況
第12回	3月 17日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討 ③次年度の活動について

## リスクマネジメント委員会

毎月の委員会を通じ、事故・ヒヤリハットの報告や事例の検討、資料を使用しての研修を行い、対策を講じ再発防止に努めた。

今年度はヒヤリハットの種類として転倒が多く全割合の半数以上を占め、次いで表皮剥離だった。また、5件の受診対応を必要とする事故が発生し、頭部裂傷、骨折につながってしまった。

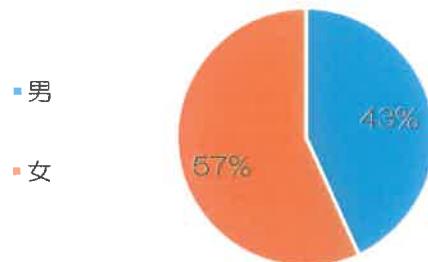
今後は事故での教訓を活かし、安全・安心・安楽な介助を提供できるよう知識を深め、実践しヒヤリハットや事故防止に努めていきたい。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第1回	4月22日	・4月の報告 ・事例検討	・3月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討トラブルに学ぶリスク対応
第2回	5月20日	・5月の報告 ・事例検討 その他	・4月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討 「退去時の入居者側の現状回復義務の有無」
第3回	6月17日	・6月の報告 ・事例検討 ・その他	・5月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討 「食事中に誤飲事故が発生した場合の介護施設側の損害賠償責任について」
第4回	7月15日	・7月の報告 ・事例検討	・6月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第5回	8月31日	・8月の報告 ・事例検討	・7月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第6回	9月16日	・9月の報告 ・事例検討	・8月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第7回	10月22日	・10月の報告 ・事例検討	・9月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第8回	11月18日	・11月の報告 ・事例検討	・10月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第9回	12月16日	・12月の報告 ・事例検討	・11月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第10回	1月20日	・1月の報告 ・事例検討	・12月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第11回	2月17日	・2月の報告 ・事例検討	・1月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第12回	3月17日	・3月の報告 ・事例検討	・2月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討

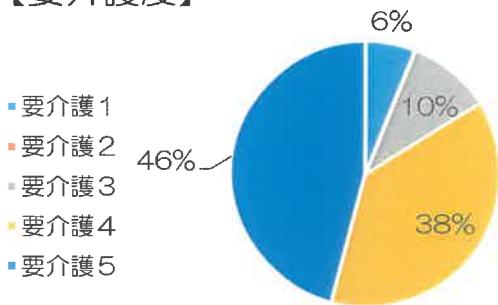
## 事故・ヒヤリハット発生状況

今年度挙げられた事故報告5件、ヒヤリハット報告51件の内容は、同じ入居者の割合が高く、認知症や過信による自身の状態把握不足や機能低下での転倒、転落が最も多かった。発生場所は居室が最も多く、環境整備や生活パターンの観察等対策を講じたが、見守りが不十分な環境での予期せぬ動きに対応できず事故やヒヤリハットにつながってしまう事例が多くなった。

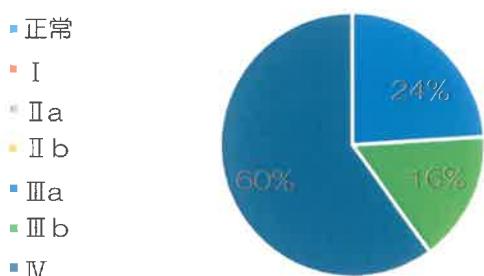
【性別】



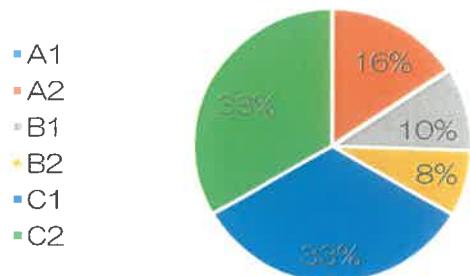
【要介護度】



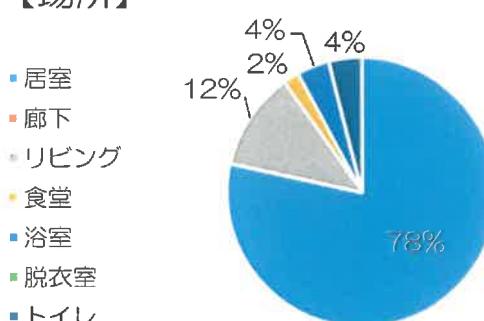
【日常生活自立度】  
(認知)



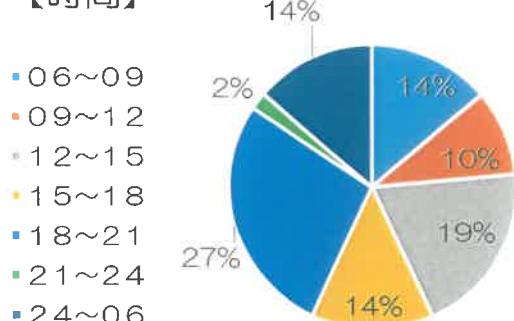
【日常生活自立度】  
(障害)



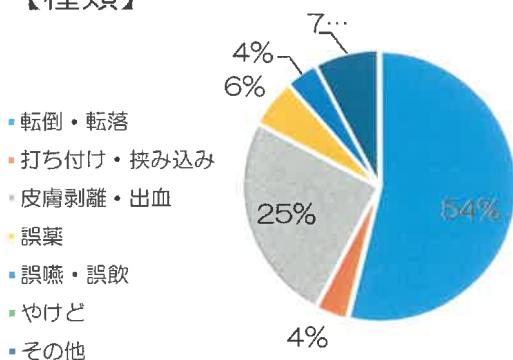
【場所】



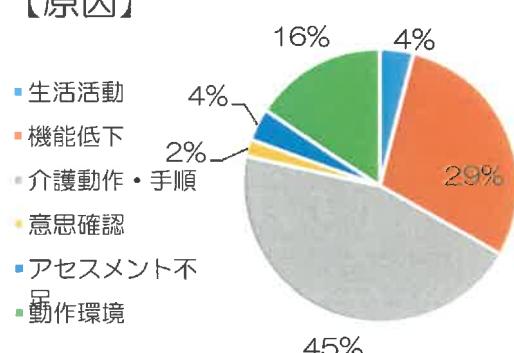
【時間】



【種類】



【原因】



事故集計

## ヒヤリハット集計

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
総件数	1	6	4	6	10	5	6	1	5	3	2	2	51
性別	男	1	3	1	4	6	1	4	1	1	0	0	0
	女	0	3	3	2	4	4	2	0	4	3	2	29
介護度	要支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	3
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	5
	4	1	4	1	4	3	1	4	1	0	0	0	19
	5	0	2	2	1	6	2	2	0	4	1	2	24
日常生活 自立度 (障害)	A1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	A2	0	1	0	3	1	0	3	0	0	0	0	8
	B1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	2	0	5
	B2	0	0	1	0	0	0	2	0	1	0	0	4
	C1	0	3	0	0	5	0	1	0	3	1	2	17
	C2	1	2	2	3	4	3	0	1	1	0	0	17
	正常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日常生活 自立度 (認知)	I	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	II a	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	II b	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	III a	1	2	0	2	2	2	0	1	0	2	0	12
	III b	0	0	2	0	2	0	2	0	2	0	0	8
	IV	0	4	2	4	6	2	4	0	3	1	2	30
	M	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
曜日	日曜日	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1
	月曜日	1	2	1	2	1	2	2	0	1	0	0	12
	火曜日	0	0	1	1	3	1	1	0	1	1	0	9
	水曜日	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	4
	木曜日	0	1	1	0	3	0	0	0	0	0	0	5
	金曜日	0	2	0	0	1	1	0	0	2	1	0	7
	土曜日	0	1	1	2	1	0	0	1	0	1	1	9
時間	0 6～0 9	0	0	0	0	2	1	0	0	0	2	1	1
	0 9～1 2	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	0	5
	1 2～1 5	1	0	0	1	2	0	3	0	3	0	0	10
	1 5～1 8	0	2	0	3	1	0	0	0	1	0	0	7
	1 8～2 1	0	3	2	2	2	1	1	1	1	1	0	14
	2 1～2 4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	2 4～0 6	0	1	2	0	1	1	0	0	0	1	1	7
場所	居室	1	5	2	4	9	5	4	1	2	3	2	40
	廊下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	リビング	0	0	2	1	1	0	0	0	2	0	0	6
	食堂	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	浴室	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
	脱衣室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	トイレ	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	外出先	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
種類	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	転倒・転落	1	2	1	3	9	1	4	1	1	3	1	1
	打ち付け・挟み込み	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	皮膚剥離・出血	0	2	1	2	0	1	2	0	3	0	1	13
	誤薬	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3
	誤嚥・誤飲	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
	やけど	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4
原因	生活活動	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	機能低下	1	4	0	2	2	0	0	0	1	3	1	15
	介護動作・手順	0	2	3	2	3	3	5	0	3	0	1	1
	意思確認	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	アセスメント不足	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
	動作環境	0	0	1	0	5	2	0	0	0	0	0	8

## 感染症対策委員会

当施設の感染対策として噴霧器での消毒、玄関先での手洗い、うがい・手指・エアタオル消毒の徹底、施設内の温度湿度管理を行った。また、外出時のマスク着用や、出勤時のバイタルチェックを行い感染予防に努め入居者のインフルエンザの罹患はないが、新型コロナウィルス職員1名の罹患があり、入居者、職員PCR検査を行い、

新型コロナウィルス対策については、毎月委員会で新情報を共有し、他県への外出時の注意や面会時の体調確認、標準感染予防策を強化した。

回	月 日	内 容	
第1回	4月 15日	①3月の感染症の実態 ②3月の体調不良者の実態	③新型コロナウィルス対策について ④その他
第2回	5月 20日	①4月の感染症の実態 ②4月の体調不良者の実態	③新型コロナウィルス対策について ④その他
第3回	6月 17日	①5月の感染症の実態 ②5月の体調不良者の実態 ③新型コロナウィルス対策について	④職員の感染予防、健康診断の結果 ⑤その他
第4回	7月 15日	①6月の感染症の実態 ②6月の体調不良者の実態	③新型コロナウィルス対策について ⑤その他
第5回	8月 19日	①7月の感染症の実態 ②7月の体調不良者の実態	③新型コロナウィルス対策について ④その他
第6回	9月 16日	①8月の感染症の実態 ②8月の体調不良者の実態	③新型コロナウィルス対策について ⑤その他
第7回	10月 21日	①9月感染症の実態 ②9月の体調不良者の実態 ③インフルエンザ予防対策	⑤ノロウイルス、新型コロナウィルス対策について ⑥その他
第8回	11月 18日	①10月の感染症の実態 ②10月の体調不良者の実態	③新型コロナウィルス対策について ④その他
第9回	12月 16日	①11月の感染症の実態 ②11月の体調不良者の実態 ③冬の皮膚の乾燥対策	④インフルエンザ、新型コロナウィルス対策について ⑤その他
第10回	1月 20日	①12月の感染症の実態 ②12月の体調不良者の実態 ③インフルエンザ対策として	④誤嚥性肺炎について ⑤その他
第11回	2月 17日	①1月の感染症の実態 ②1月の体調不良者の実態 ③新型コロナウィルスの感染予防	④その他について
第12回	3月 17日	①2月の感染症の実態 ②2月の体調不良者の実態 ③新型コロナウィルスの対策、法人のコロナ関連発信の情報	④今年度の反省 ⑤その他

## 広報委員会

広報紙「みんなの蔵誌」を隔月で発行し、蔵ハウス大船渡での生活の様子を家族や地域の皆様にお伝えした。特に今年度は行事だけではなく、施設内での過ごし方や普段の様子等の記事やお便り欄のスペースを増やしたこと、面会できないご家族様に少しでも多くの情報を発信できるよう努めた。

題字を入居者様に書いていただいているところの写真も掲載し、好評をいただいている。

月	開催日	開催内容	広報誌掲載内容	
4、5月	4月15日	令和2年度の活動について 広報誌No.50発行について ・記事担当	蔵ハウス広報紙 「みんなの蔵誌」 令和2年 4~5月号 (No.50)	蔵ファーム、観桜会 ふるさと巡り、日常生活 寿司バイキング、花祭り 大船渡椿娘、ちよこっと面会 ユニット通信欄
			ホームページ	寿司バイキング、アイちゃんもマスクで予防、花祭り、観桜会、新人職員、つばき娘、蔵ファーム、ユニット調理、消防訓練、ちよこっとクッキング、母の日
6、7月	6月17日	広報誌No.51発行について ・特集記事について ・記事担当 ・写真の撮り方について	蔵ハウス広報紙 「みんなの蔵誌」 令和2年 6~7月号 (No.51)	バーベキュー、ユニット紹介、熱中症予防×コロナ対策、クラブ活動、菊地様米寿祝い、蔵ファーム、職員紹介、ユニット通信欄
			ホームページ	防災訓練、蔵ハウス美容室？ユニット調理、スイカ割・早食い大会、バーベキュー
8、9月	8月19日	広報誌No.52発行について ・記事担当 ・ユニット通信欄記入に際して注意事項	蔵ハウス広報紙 「みんなの蔵誌」 令和2年 8~9月号 (No.52)	オンライン敬老会、蔵ファーム、岩手県最高齢 鴨野様お祝いセレモニー、縁日、ビアガーデン、ユニット通信欄
			ホームページ	習字クラブ、縁日、迎え火、開所記念、早食い大会、ビアガーデン・花火大会、蔵ファーム収穫、さつまいもの収穫、岩手めんこいテレビさんが取材にいらっしゃいました、オンライン敬老会、蔵ファーム（秋の部）鴨野チヨノ様109歳誕生日
10、11月	10月21日	広報誌No.53発行について ・記事担当 ・写真整理、装飾について	蔵ハウス広報紙 「みんなの蔵誌」 令和2年 10~11月号 (No.53)	オンライン発表会、マイヤ書道展表彰式、十五夜、煮しめづくり、野外食、バスハイク、地域との交流、ミニスポーツ大会、ユニット通信欄
			ホームページ	野外食、マイヤ書道展、盛こども園権現様お披露目会、大船渡東高校太鼓部、オンライン発表会、入居者様誕生会、蔵ファーム収穫、田茂山権現、ミニスポーツ大会
12、1月	12月16日	広報誌No.54発行について ・記事担当 ・	蔵ハウス広報紙 「みんなの蔵誌」 令和2年12月～ 令和3年1月号 (No.54)	新年あいさつ、正月行事、イルミネーション、クリスマス忘年会、餅つき会、水木団子作り
			ホームページ	年賀状を書きました、餅つき、イルミネーションなど、回転寿司、成人式、元日、年頭あいさつ
2、3月	3月17日	広報誌No.53発行について ・記事担当 ・今年度反省	蔵ハウス広報紙 「みんなの蔵誌」 令和3年2～3月号 (No.55)	節分行事、ひな祭りなべ焼き作り、新型コロナウイルス関連、全国うまいもの巡り、ユニットの日常（編集作業中）
			ホームページ	更新作業中

## 研修委員会

今年度も限られた時間で有意義な研修となるよう、職員から議題案を出してもらうことで、

日々の業務の中で生じた問題点や疑問に対して、施設全体で検討できる内容の他、研修会に参加できなかった職員に周知できるよう説明した。

### 内部研修会

回数	年月日	開催内容	参加職種
第1回	4月8日	施設内研修会 担当：鎌田相談員 「倫理及び法令遵守について」	蔵ハウス大船渡全職員
第2回	5月20日	施設内研修会 担当：千葉雄子看護係長 「感染症予防について」	蔵ハウス大船渡全職員
第3回	6月3日	施設内研修会 担当：鷺田有希子介護主任 「身体拘束について」	蔵ハウス大船渡全職員
第4回	7月1日	施設内研修会 担当：佐藤国子介護主任 「介護現場におけるリスクマネジメントの考え方」	蔵ハウス大船渡全職員
第5回	8月5日	施設内研修会 担当：寺澤希実介護員 「褥瘡体位交換の重要性・ホジショニングについて」	蔵ハウス大船渡全職員
第6回	9月2日	施設内研修会 担当：金野文子看護師長 「新型コロナウイルス対策について」	蔵ハウス大船渡全職員
第7回	10月7日	施設内研修会 担当：刈谷宏子介護員 「介護施設での接遇マナー講座について」	蔵ハウス大船渡全職員
第8回	11月9日	施設内研修会 担当：金野文子看護師長 「新型コロナウイルス感染症の施設内での感染症対策」	蔵ハウス大船渡全職員
第9回	12月3日	施設内研修会 担当：鷺田有希子介護主任 「身体拘束をせずに使うケアについて」	蔵ハウス大船渡全職員
第10回	1月6日	施設内研修会 担当：新沼悦子副主任 「事例検討会」	蔵ハウス大船渡全職員
第11回	2月10日	施設内研修会 担当：金野文子看護師長 「床ずれについて」	蔵ハウス大船渡全職員
第12回	3月17日	施設内研修会 担当：金野文子看護師長 「実技講習（血糖測定・心電図）」	蔵ハウス大船渡全職員

## 3 職員研修実施状況 (外部研修)

日付	内容	出席者
令和2年10月26日～10月28日	令和2年度 介護支援専門員研修 更新研修①	介護係主任 菊池百恵
令和2年11月11日～11月13日	令和2年度 介護支援専門員研修 更新研修②	介護係主任 菊池百恵
令和3年1月25日～1月27日	令和2年度 介護支援専門員研修 更新研修③	介護係主任 菊池百恵
令和3年1月22日	新入社員フォローアップセミナー	介護係介護員 千葉凌馬
令和2年10月19日～10月21日	令和2年度 介護支援専門員研修 専門Ⅱ更新研修①	相談課課長 鎌田由美
令和3年2月3日～2月4日	令和2年度 介護支援専門員研修 専門Ⅱ更新研修②	相談課課長 鎌田由美

## 給食委員会

給食委員会では、入居者にとって楽しみの多い食事を提供するために、献立内容や盛り付けなど日々の食事状況について、給食委託業者も交え行つた。また、毎日の食事状態を観察し、個々人にとってより良い食形態や本人の好む食品を各課と連携し提供した

回数	年月日	開催内容	活動内容	参加人数
第1回	4月27日	①4月の反省 ②5月の計画	①5月の行事食について 憲法記念日 ②ホーム喫茶の計画	6
第2回	5月25日	①5月の反省 ②6月の計画	①6月の行事食について ②運動会の献立計画 ③ホーム喫茶の計画	5
第3回	6月30日	①6月の反省 ②7月の計画	①7月の行事食について 海の日、土用の丑の日 ②ホーム喫茶の計画	6
第4回	7月30日	①7月の反省 ②8月の計画	①8月の行事食について ②開所記念日の献立計画 ③ホーム喫茶の計画	7
第5回	8月25日	①8月の反省 ②9月の計画	①9月の行事食について ②敬老会の献立計画 ③ホーム喫茶の計画	6
第6回	9月30日	①9月の反省 ②10月の計画	①10月の行事食について 野外食、体育の日 ②ホーム喫茶の計画	5
第7回	10月21日	①10月の反省 ②11月の計画	①11月の行事食について ②文化祭の計画 ③ホーム喫茶の計画	6
第8回	11月11日	①11月の反省 ②12月の計画	①12月の行事食について ②クリスマス・忘年会の計画 ③ホーム喫茶の計画	6
第9回	12月16日	①12月の反省 ②1月の計画	①1月の行事食について ②水木団子作りについて ③ホーム喫茶の計画	8
第10回	1月20日	①1月の反省 ②2月の計画	①2月の行事食について ②節分、餅バイキングの計画 ③ホーム喫茶の計画	8
第11回	2月17日	①2月の反省 ②3月の計画	①3月の行事食について 桃の節句、春分の日 ②ホーム喫茶の計画	8
第12回	3月17日	①3月の反省 ②4月の計画	①4月の行事食について ②観桜会、寿司バイキングの計画 ③ホーム喫茶の計画	7

参加人数合計  
78名

## 4. 運営推進会議の実施状況

地域密着型サービス事業所の運営を透明性のあるものにし、サービスの質確保と向上を図り、地域資源として機能していくために、各関係機関及び地域の代表者を委員として運営推進会議を開催。新型コロナウイルスにより感染予防を図るため集会による開催を見送り書面による情報提供を及び報告を行い委員各位から意見・要望を収集した。

年月日	内容	開催主体	出席者
令和2年10月5日	①令和2年度第1回から3回まで（4月、6月、8月分）情報提供、報告 ②今年度、運営推進会議の取り扱いについて ③委員の委嘱について ④運営推進委員より意見収集（書面にて）	蔵ハウス大船渡まちぐるみ合同	大船渡市生活福祉部長 寿社会課課長 入居者の家族 本町公民館長 商店街代表 福祉の里指定居宅介護支援事業所所長 施設職員
令和3年3月25日	①令和2年度第4回から6回まで（10月、12月、2月分）情報提供、報告 ②外部評価の報告 ③新型コロナウイルスの対応について ④運営推進委員より意見収集（書面にて）	蔵ハウス大船渡まちぐるみ合同	"

## 蔵ハウス大船渡 1年間の様子



お花見



寿司バイキング



つばき姫任命式



フラワーアレンジメントクラブ



蔵ファーム 苗植え



夕食作り



野外食・スイカ割り



出張理容

## 蔵ハウス大船渡 1年間の様子



訪問歯科診療



蔵ファーム収穫祭



ビアガーデン・早食い大会



縁日



県内最高齢者 109歳誕生会



オンライン敬老会・テレビ取材



マイヤ書道展表彰式



オンライン発表会

## 蔵ハウス大船渡 1年間の様子



蔵ファーム サツマイモ収穫



回転寿司



イルミネーション点灯式



餅つき



正月行事・蔵権現



職員成人式



バイキング



PCR検査

令和2年度

## 事 業 報 告

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

認知症対応型共同生活介護事業所 まちぐるみ

# 1 各課の事業実施状況

## (1) 生活相談係

令和2年度は、事業所のテーマ「いつでも夢を」と設定し、前年の「夢をあきらめないで」を発展させ、日々の日常生活の会話や家族の話、懇談会などから個々の希望や夢を確認しケアプランに取り入れながら対応を行った。テレビを見ながら「こんな花畠に行ってみたい」との声があれば、菜の花畠を見に行ったり、「髪が伸びて気になる」と話されればカットの対応を行ったりと、その方その方それぞれの希望を実現することで、生活意欲の維持・向上に努めた。新型コロナウイルスの影響で外出などの外出支援は大きな制約を受けたが、密になる場所を避けたバスハイクや買い物の代行、郵便物の差出援助など、日常生活に不便をきたさないよう留意した。また、コロナ禍において家族との関係が切れないよう、面会は感染状況に応じて適宜窓越しでの対応や、広報誌や電話・SNSを活用したテレビ電話での面会、日常生活の様子を動画にして家族へ送信し家族との結びつきの維持を図った。特に敬老会や敬老会の代替として行われた発表会はオンラインを使用し、入居者家族への参加・交流につなげることができ、主に遠方に住まいの家族には「こういった機会にこんな形で参加することができて良かった」と感謝の言葉をいただくことができた。

介護保険請求では、入退院・要介護度区分変更による月遅れの請求もあったが、過誤申請や返戻など無く確実に行うことができた。

今年度は看取り期において1名、入退院による退所が1名あったが、家族との連携を図りながら「できるだけ施設での生活を」との希望のもと、事業所の対応の範囲で暮らしを継続し嘱託医・協力病院との連携を行った。入所に関しては、入所検討委員会を通じ法人内での連携・調整図り、状況を確認したうえで公正な対応をした。

令和2年11月18日介護保険法第23条の規定に基づき大船渡市の実地指導がありましたが、改善の報告を要するものはありませんでした。

## (2) 介護課

入居者と職員がともに生活を送る「寄り添うケア」を基本方針に、入居者個々の有する能力や精神状態などに共感し、身体的かつ精神状態などを見極めながら、安心・安全・笑顔で過ごして頂ける様、疑似体験を通じて、適切なケアに結び付ける事が出来る様に、職員のスキルアップに努めてきた。

毎朝、バイタルチェックを行い、食事量、水分量の把握をし、健康管理に努めた。毎日の活動として、午前中はレク体操、嚥下体操を実施し、その他にも1日を通じて趣味活動や外出、庭散歩、ゲームなど色々なプログラムを計画し頭や身体を動かすだけではなく、入居者が生きがいを感じられるようなレク活動を心がけ ADL の維持に努めた。

食事支援においては利用者様の嚥下状態に合わせた食事を提供できた。また、食事摂取量を把握し健康状態の把握に努める。行事、誕生日など、入居者のご希望に添えるような食事、おやつなどを提供し、記念日には家族と連携しながらプレゼントを送っていただきお祝いをすることができた。また、食事作りへの参加、盛り付け、茶わん洗い、おしぶりたたみなどの軽作業を担っていただいており、生活の中で役割を感じながら、生活意欲を引き出せるよう支援し、昨年に続き全国郷土料理メニュー献立に取り入れ、47都道府県、48品目を提供する事が出来た。

施設内外の美化清掃に努め、家族との協力のもと設えを行いながら、健康的で住み良い施設の住環境を整えた。全職員と協力し季節感のある飾りなどにて季節を感じていただきながら作品作りで入居者同士、または入居者と職員の交流を深めることができた。

日頃の入居者の体調の変化を早期発見し、併設特養の看護師や主治医、家族とも連携を図りながら的確な対応に努めることができた。感染予防としては、手洗い・うがい・消毒・マスク着用のほか、プレミアム電解水で常時、噴霧、加湿し、アルコール消毒も徹底して行っている。

新型コロナウイルス感染症の拡大で、外出制限や面会制限、施設内でのボランティアなどによる催しが中止となり、入居者のストレスが溜まらないよう、天候を見ながら密を避けバスハイクを行い、外に出る機会を多く作った。交流を伴った年間行事も中止となりユニット内でできるものを企画・実施した。何事も「出来ない」ではなく「出来ない環境での楽しみを見つける」とし入居者と共に暮らしを支えた。

## 2. 入退所の状況

### (1) 入 所

今年度は在宅から2名の入居を受入した。独居で認知症状がありご家族も市外におり支援が難しい状況で施設への入居となった。

入居の順番については法人で行っている入所検討委員会の結果を持って各施設と連携を図っている。

No.	年月日	氏 名	介護度	摘 要	住 所
1	令和2年4月9日	T・T様	3	在宅	大船渡町
2	令和2年11月24日	S・M様	4	在宅	大船渡町

### (2) 退 所

今年度は3名が医療機関への入院に伴い退所となった。

No.	年月日	氏 名	介護度	摘 要
1	令和2年4月6日	K・S様	4	入院のため
2	令和2年11月23日	K・M様	2	長期入院のため
3	令和2年12月20日	S・M様	4	特養入所のため

### (3) 入・退院者の状況

No.	入院年月日	氏 名	介護度	退院年月日
1	令和2年4月6日	K・S様	4	
2	令和2年10月23日	K・M様	2	

### 3. 令和2年度 委員会の開催状況

#### (1) リスクマネジメント委員会

認知症高齢者における、様々なリスクについて検討し合い、利用者個々のリスクを予測し、介護計画に取り入れた。また、ヒヤリハットに基づき、事故につながらないよう、見守りや環境整備に努めた。

開催	年月日	会議内容
第1回	4月2日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例(異食とは？異食はなぜ起こるのか？)
第2回	5月8日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例(介護施設での主な認知症の事例・症状)
第3回	6月7日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例(車椅子・ベッド・手すり事例 No.119,182,224)
第4回	7月6日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例(転倒防止に有効な安全靴について)
第5回	8月6日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例(転倒・徘徊への対応と転倒予防の 居室をつくる)
第6回	9月7日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例(歩行器使用時のヒヤリハット事例)
第7回	10月5日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例(行方不明事故、自立歩行中の転倒、 ベッドからの転落、排泄中の便座からの転落について)
第8回	11月6日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例(職員のルール違反をなくすの為の 安全規則)
第9回	12月7日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例(ベッド周辺でのヒヤリハット事例 No.34,182,200,312,347)
第10回	1月10日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例(歩行介助の種類と分類について)
第11回	2月9日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例(歩行介助中の転倒について)
第12回	3月7日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例(誤薬事故について)

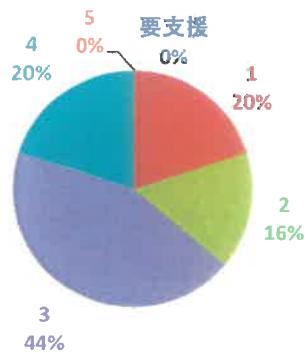
※広報委員会では、2ヶ月に1度「まちぐるみ通信」を身元様に発送し、入居者様個々のアルバ作りを実施した。

## 令和2年度 ヒヤリハット集計

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
総件数	0	1	1	1	2	5	0	1	7	5	0	2	25
性別	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	1	1	1	2	5	0	1	7	5	0	25
介護度	要支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	0	0	1	0	0	0	0	3	1	0	0	5
	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	4
	3	0	1	0	0	2	2	0	1	2	1	0	11
	4	0	0	0	1	0	3	0	0	0	1	0	5
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日常生活自立度 (障害)	A1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	A2	0	1	1	1	2	5	0	1	6	5	0	24
	B1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	B2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	C1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	C2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日常生活自立度 (認知)	正常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	I	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	II a	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	II b	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	III a	0	1	1	1	1	0	0	0	6	4	0	14
	III b	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	4
	IV	0	0	0	0	1	2	0	0	1	1	0	7
	M	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業務の多忙度	非常に忙しい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	忙しい	0	0	0	0	0	1	0	0	4	3	0	9
	普通	0	1	1	1	2	4	0	0	3	2	0	15
	余裕がある	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
曜日	日曜日	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
	月曜日	0	1	0	0	0	1	0	0	1	4	0	7
	火曜日	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	5
	水曜日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	木曜日	0	0	0	0	0	2	0	0	4	0	0	17
	金曜日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
	土曜日	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
時間	06~09	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0	1	5
	09~12	0	1	0	1	0	1	0	0	1	1	0	5
	12~15	0	0	0	0	1	2	0	1	2	1	0	8
	15~18	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3
	18~21	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	21~24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	24~06	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3
場所	居室	0	0	0	1	1	4	0	1	1	2	0	11
	廊下	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	リビング	0	0	1	0	0	0	0	3	2	0	1	7
	ユニット内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	浴室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	脱衣室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	トイレ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
	外出先	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	4
種類	転倒・転落	0	1	1	1	1	3	0	1	5	3	0	18
	打ちつけ・挟み込み	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	皮膚剥離・出血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	誤嚥・誤飲・異食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	2	0	0	2	2	0	6
原因	職員の思い込み	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	7
	注意不足	0	1	1	0	2	2	0	0	6	4	0	18
	状態把握不足	0	0	0	0	0	2	0	1	4	0	0	7
	説明不足	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	連絡不十分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

## 令和2年度 リスクマネジメント委員会ヒヤリハット集計表

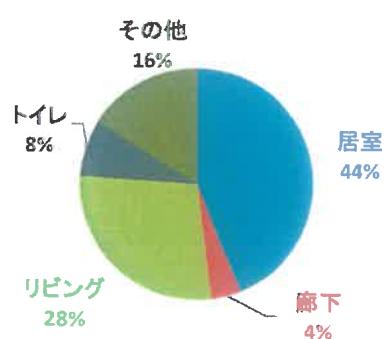
介護度



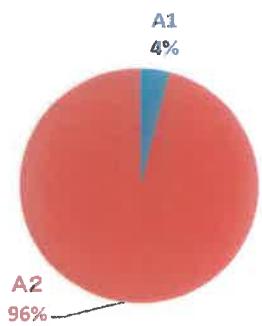
多忙度



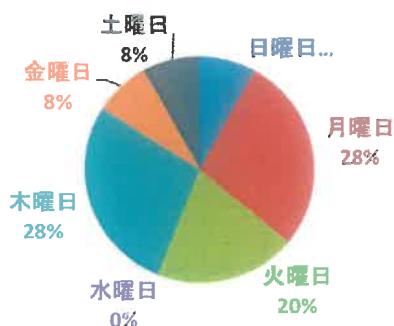
場所



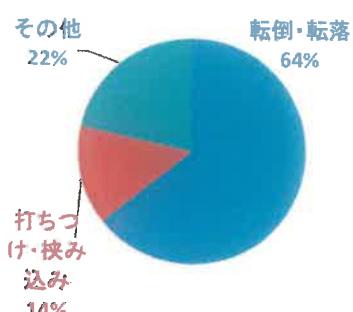
日常生活自立度(障害)



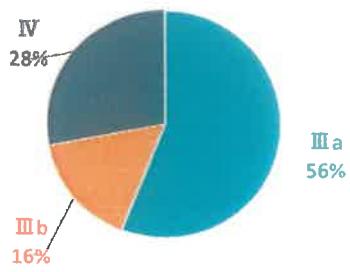
曜日



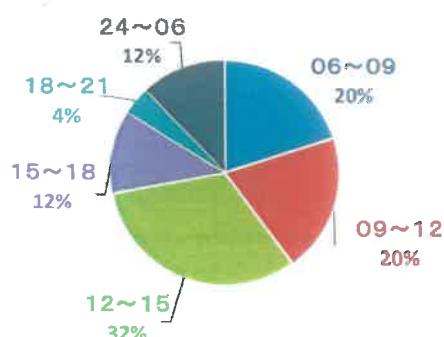
種類



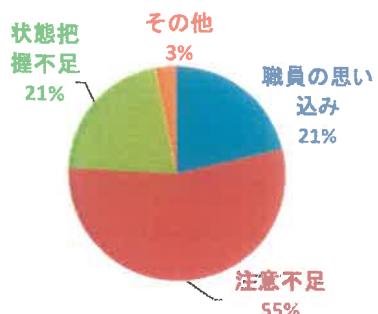
日常生活自立度(認知)



時間



原因



## (2) 令和2年度 感染症予防対策委員会

蔵ハウス大船渡の同委員会に属し、予防対策として日常の手洗い・うがい、床のハイター消毒、手すりドアノブの消毒を実施、清潔保持と環境整備に努めた。

新型コロナウイルス対策について、毎月委員会で新情報を共有し、他県への外出注意や面会時の体調管理、標準感染<sup>3)</sup>。

第1回	4月15日	*3月の感染症の実態*3月の体調不良者の実態*新型コロナウイルス対策について*その他
第2回	5月20日	*4月の感染症の実態*4月の体調不良者の実態*新型コロナウイルス対策について
第3回	6月17日	*5月の感染症の実態*5月の体調不良者の実態*新型コロナウイルス対策について*健康診断の結果*職員の感染予防*その他
第4回	7月15日	*6月の感染症の実態*6月の体調不良者の実態*新型コロナウイルス対策について*その他
第5回	8月19日	*7月の感染症の実態*7月の体調不良者の実態*新型コロナウイルス対策について*その他
第6回	9月16日	*8月の感染症の実態*8月の体調不良者の実態*新型コロナウイルス対策について*その他
第7回	10月21日	*9月の感染症の実態*9月の体調不良者の実態*インフルエンザ予防対策*インフルエンザ、コロナウイルスノロウイルス感染症の予防について、*その他
第8回	11月18日	*10月の感染症の実態*10月の体調不良者の実態*新型コロナウイルス感染症予防対策について*その他
第9回	12月16日	*11月の感染症の実態*11月の体調不良者の実態*冬の乾燥対策について*インフルエンザ、新型コロナウイルス感染予防対策*その他
第10回	1月20日	*12月の感染症の実態*12月の体調不良者の実態*インフルエンザ予防対策、新型コロナウイルス予防対策について*その他
第11回	2月17日	*1月の感染症の実態*1月の体調不良者の実態*新型コロナウイルス、インフルエンザ予防対策について*その他
第12回	3月17日	*2月の感染症の実態*2月の体調不良者*今年度の反省*次年度の目標*新型コロナウイルス対策、法人のコロナ関連発信の情報*その他

#### 4. 令和2年度 職員研修実施状況（内部研修）

内部研修では、定期的に認知症についての勉強会を実施し、その他高齢者虐待、身体拘束、プライバシーについてなどの研修を行い、職員のスキルアップに向けた。

開催	年月日	会議内容
第1回	4月16日	・内部研修「認知症ケアについて/認知症を持つ高齢者とのコミュニケーション」
	4月19日	・給食委員会「一汁三菜“和の配膳・盛りつけのコツ”基本」
	4月22日	・内部研修「緊急時の対応(緊急時の対応の流れ)」
	4月24日	・内部研修「三大介護/食事介護について」
第2回	5月8日	・内部研修「接遇について/接遇力を身につけよう」
	5月17日	・内部研修 身体拘束廃止委員会「身体拘束・高齢者虐待の種類について」
	5月25日	・内部研修「認知症ケアについて/認知機能の低下とは？」
第3回	6月2日	・給食委員会「食べない理由を徹底解説」他
	6月17日	・内部研修「認知症ケアについて/混乱期のケア方法について」
	6月27日	・内部研修「プライバシーの侵害について」
	6月29日	・疑似体験「食事介助について」
第4回	7月16日	・内部研修「認知症ケアについて/介護職が心得ておきたいこと」
第5回	8月24日	・内部研修「認知症ケアについて/忙しい時間帯《早朝ケア》のポイント」
第6回	9月16日	・内部研修「認知症ケアについて/忙しい時間帯《夜間ケア》のポイント」
第7回	10月9日	・給食委員会「まちぐるみ献立表へのアドバイス(管理栄養士)とご当地メニュー」
	10月12日	・内部研修「緊急時の対応について/食欲がない・便が出ない・尿が出ない」
	10月17日	・内部研修「三大介護/入浴介護について」
	10月25日	・内部研修「認知症ケアについて/認知症の方との接し方のポイントと声掛け」
第8回	11月3日	・内部研修「接遇について/正しい言葉づかい、できていますか？」
	11月14日	・内部研修 身体拘束廃止委員会「介護の身体拘束、どこから？」
	11月25日	・内部研修「認知症ケアについて/昼間の安全ケアの工夫」
第9回	12月15日	・内部研修「認知症ケアについて/ストレスにどう向き合つたらいいか」
	12月24日	・内部研修「プライバシーについて」
第10回	1月25日	・内部研修「認知症ケアについて/レビー小体型認知症って、どんな病気？」
第11回	2月10日	・給食委員会「まちぐるみ献立表へのアドバイス(管理栄養士)とご当地メニュー」
	2月24日	・内部研修「認知症ケアについて/前頭側頭型認知症って、どんな病気？」
第12回	3月23日	・内部研修「認知症ケアについて/コロナ禍での認知症の人との接し方」

## 5. 行事実施状況

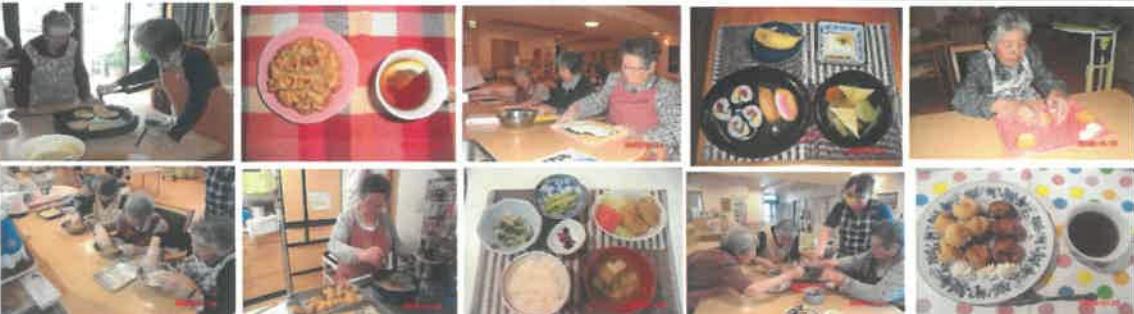
季節ごとに特色あるイベントの開催や入居者の誕生会を月ごとに行ってています。令和2年度は新型コロナウイルスの影響で外出支援ができない状況となっているが、感染防止対策のもと意向に沿ったバスハイクなどの支援を行いつつ、室内できる調理や裁縫などの趣味活動の充実を図った。

月 日	行 事 概 要	月 日	行 事 概 要
4月8日 14日 15日 16日 17日 19日 21日 22日 28日	花祭り 生け花 前庭でお花見 入居者懇談会 お花見弁当 手作りおやつ（ねったぼ） 手作り昼食（ぼたもち）・バスハイク 手作り昼食（お好み焼き） 寿司バイキング	10月1日 1日 6日 11日 15日 16日 18日 23日 24日	入居者懇談会、大森千代子様誕生会 十五夜 手作り昼食（栗ごはん） 手作りおやつ（あん入りゴマ付き団子） 外部評価 盛こども園来所 バスハイク（長安寺） 野外食 バスハイク（大野川ダム）
5月1日 8日 10日 12日 13日 14日 15日 21日 26日 27日 30日	入居者懇談会 バスハイク フラワーアレンジ 手作りおやつ（カノムドークジョーク） バスハイク（吉浜） バスハイク（米崎） バスハイク（盛町） バスハイク（住田） 手作り昼食（のり巻き・いなり） 手作りおやつ（クレープ） 手作り夕食（コロッケ） 手作りおやつ（変わりたこ焼き） 手作りおやつ（キノコの山）	11月1日 5日 8日 18日 26日 29日 30日	入居者懇談会 秋のミニスポーツ大会 田茂山地区権現様来所 介護サービス事業所実地指導 手作り昼食（おにぎり） 文化祭 手作りおやつ（ベビーカステラ）

月 日	行 事 概 要	月 日	行 事 概 要
6月1日 2日 3日 9日 10日 13日 14日 15日 17日 20日 25日 27日	入居者懇談会 佐藤恵子様誕生会 千葉武子様誕生会 まちスポ（玉入れ） 手作りおやつ（イチゴ大福） 消防訓練 手作りおやつ（ワッフル） 手作りおやつ（アップルパイ） フラワーアレンジメント 手作り昼食（ピザトースト） まちスポ（パン食い） 手作り昼食 まちスポ（ボール送り）	12月1日 5日 6日 10日 21日 22日 24日 28日	回転ずし 入居者懇談会 手作りおやつ（リンゴワッフル） 手作り昼食（のり巻き） 手作り夕食（いかシュウマイ） 手作りおやつ（レーズンホットケーキ） フラワーアレンジメント クリスマス忘年会 餅つき
7月1日 3日 5日 6日 8日 12日 17日 18日 20日 21日 22日 26日 28日 29日	入居者懇談会 七夕飾り作り 手作り昼食（絶品おやき） 手作りおやつ（エビせんべい） 七夕飾り 消防訓練 手作りおやつ（くるくるロールクレープ） カラオケ フラワーアレンジメント 灯ろう作り バーベキュー 土用の丑の日 手作り昼食（夏野菜カレー） 手作りおやつ（どら焼き） 手作りおやつ（あんことチーズの三角パイ） 習字クラブ 佐々木悠子様誕生会	1月1日 3日 8日 12日 15日 18日 24日	元日 入居者懇談会 手作り夕食（エビフライ） フラワーアレンジ 小正月（水木団子づくり） 手作りおやつ（ナツツ入りホットケーキ） 手作りおやつ（たこ焼き）

月 日	行 事 概 要	月 日	行 事 概 要
8月1日 2日 7日 9日 11日 12日 13日 15日 16日 19日 23日 25日 30日	入居者懇談会 手作り夕食（ぎょうざ） ビアガーデン 村上高一様誕生会 開所記念日 避難訓練 迎え火 手作り昼食（ぼたもち） 送り火 ホーム喫茶・縁日（～22日） 林田綾様誕生会 手作りおやつ（くるくるロール） 手作りおやつ（フルーツポンチ、カナッペ）	2月2日 4日 5日 8日 10日 11日 12日 20日 25日 27日 28日	節分 入居者懇談会 手作りおやつ（おろしリンゴのケーキ） 今野恵子様誕生会 防災訓練 手作りおやつ（サツマイモ茶巾絞り） 手作り昼食（天むす） 手作りおやつ（おにまんじゅう） 餅バイキング 古賀昭子様誕生会 手作りおやつ（かぼちゃドーナツ）
9月1日 4日 5日 7日 14日 16日 20日	入居者懇談会 手作り昼食（おやき） 手作りおやつ（ずんだ団子） 手作り昼食（鯖めい） 青空キッチン バスハイク（大船渡温泉・足湯） 敬老会	3月1日 3日 7日 9日 14日 20日 26日 28日	手作り昼食（広島風お好み焼き） 入居者懇談会 手作り夕食（コロッケ） 手作り昼食（五平餅） フラワーアレンジメント 手作りおやつ（つゆぶくさ） 手作り昼食（ぼたもち） バイキング昼食 手作りおやつ（ふくれ菓子）

## 6. 令和2年度 行事等食事実施状況

日 時			行 事 名	献立内容
R2年	4月	17日	花見弁当	・ちらし寿し・菜の花の辛し和え・煮豆・佃煮・フルーツ・お吸物・プリン
		19日	手作りおやつ	・ねったんぽ
		21日	手作り昼食	・ぼた餅・お吸物・煮しめ・漬物・いちご
		28日	寿司バイキング	・寿司バイキング・お吸物・桃
				
R2年	5月	10日	手作りおやつ	・カノムドーケジョーク(タイ)
		21日	手作り昼食	・のり巻き いなり・お吸物・玉子豆腐・バナナ
		26日	手作り夕食	・ご飯・味噌汁・コロッケ・アスパラベーコン・春雨サラダ・漬物
		27日	手作りおやつ	・変わり種たこ焼き
				
R2年	6月	2日	入居者様誕生会	・ちらし寿し・そうめん汁・漬物・茶碗蒸し・ぶどう液・メロン
		3日	入居者様誕生会	・うな重・お吸物・炊き合わせ・漬物・ジュース・フルーツ
		10日	手作りおやつ	・いちご大福
		13日	手作りおやつ	・ワッフル
		14日	手作りおやつ	・アップルパイ
		17日	手作り昼食	・ピザトースト・シーザーサラダ・コンソメスープ・いちご
		25日	手作り昼食	・お好み焼き・餃子スープ・ナムル・ヨーグルト
				

R2年	7月	3日	手作り昼食	・絶品お焼き・ふかひれスープ・野菜サラダ・パイン
		5日	手作りおやつ	・えびせんべえ
		12日	手作りおやつ	・くるくるロールケーキ
		18日	手作りおやつ	・餃子チョコバナナ
		20日	バーベキュー	・焼きおにぎり・焼きそば・焼肉・野菜・イカポッポ・スイカ・とうもろこし等
		22日	手作り昼食	・夏野菜カレー・枝豆とトマトのミモザスープ・大根サラダ・スイカ
		26日	手作りおやつ	・三角パイ
		29日	入居者様誕生会	・ちらし寿し・そうめん汁・漬物・なます・炊き合わせ・メロン



R2年	8月	2日	手作り夕食	・ご飯・味噌汁・餃子・胡瓜ともやしのナムル・一口豆腐・佃煮
		7日	ピアガーデン	・カレーライス・サラダ・飲みもの
		9日	入居者様誕生会	・お寿司・そうめん汁・天ぷら(エビ・なす・大葉)・メロン
		11日	開所記念日	・いか飯・天ぷら・香の物・夏野菜のポトフ・なすとパプリカのグリル・茶碗蒸し・お吸物
		15日	手作り昼食	・ぱた餅(あんこ・ごま・きな粉)・お吸物・なすと蒟蒻の味噌田楽・スイカ
		23日	入居者様誕生会	・ちらし寿し・お吸物・煮しめ・メロン・カルピス
		25日	手作りおやつ	・くるくるロールクレープ
		30日	手作りおやつ	・フルーツポンチ・カナッペ



R2年	9月	4日	手作り昼食	・おやき(長野)・お吸物・タがんのカニあんかけ・オクラのごま和え・コーヒーゼリー
		5日	手作りおやつ	・ずんだ団子
		7日	手作り昼食	・鰯めし(和歌山)・お吸物・フルーツゼリー・秋野菜の天ぷら
		14日	青空キッチン	・おにぎり2種、秋刀魚、芋の子汁・漬物
		20日	敬老会	・赤飯・くるみ餅・おつつき・天ぷら・茶碗蒸し・鮭の親子焼き・銀あんかけ・ホヤ酢・フルーツ盛り合せ・漬物



R2年	10月	1日	入居者様誕生会	・ちらし寿し・お吸物・大根なます・煮しめ・柿
		6日	手作り昼食	・栗ごはん、さんますり身汁、ポテトサラダ、柿
		11日	手作りおやつ	・白玉団子焼き
		23日	野外食	・おにぎり2種、芋の子汁、秋刀魚、ふかし芋



R2年	11月	14日	手作り昼食	・おにぎり2種・鶏つみれ汁・春雨サラダ・ゼリー
		29日	文化交流会	選択食(きつね・たぬきそば、うどん・中華そば・カレーライス・味噌おにぎり・いなり寿司)
		30日	手作りおやつ	・ベビーカステラ



R2年	12月	1日	回転寿司	・まぐろ、ブリ、甘えび、蒸しエビ、いか軍艦、玉子、かつば巻き・うどん汁
		5日	手作りおやつ	・りんごワッフル
		6日	手作り昼食	・のり巻き・お吸物・レタスとシラスのアオジソ和え・バナナ
		10日	手作り夕食	・ご飯・味噌汁・イカしゅうまい(佐賀)・プロコリーサラダ・煮豆・佃煮
		21日	手作りおやつ	・レーズンホットケーキ
		24日	クリスマス忘年会	・おにぎり・サンドイッチ・オードブル・寒天ゼリー・コーンスープ
		28日	餅つき	・あんこ・きな粉餅・焼き合わせ・なます・みかん・お吸い物



R3	1月	1日	お正月御膳	・あんこ餅・煮しめ・おせち・ひきな汁
		4日	お正月御膳	・くるみ餅・柿なます・マスの幽庵焼き・すまし汁・キウイ
		7日	お正月御膳	・ごま餅・焼き合わせ・お吸い物・松前和え・お吸い物
		8日	手作り夕食	・ご飯・みそ汁・エビフライ・白菜と若布の和え物・佃煮・ブルーン
		18日	手作りおやつ	・ホットケーキ
		24日	手作りおやつ	・たこ焼き



R3	2月	2日	節分	・のり巻き・いなり寿司・茶わん蒸し・みかん・すまし汁
		5日	手作りおやつ	・おろしりんごのケーキ
		8日	入居者様誕生会	・ちらし寿司・お吸い物・カブとツナのソテー・イチゴ
		12日	手作り昼食	・天むす・芋の子汁・ツナサラダ・いよかん
		20日	餅バイキング	・(あんこ、くるみ、海苔醤油、大根おろし、ごま、きな粉)餅・お吸い物・炊き合わせ・みかん
		27日	入居者様誕生会	・手毬寿司・お吸い物・含め煮・漬物・いちごフルーチェ
		28日	手作り昼食	・かぼちゃドーナツ



R3	3月	1日	手作り昼食	・広島風お好み焼き・野菜スープ・ニラともやしの中華和え・バナナ
		3日	手作り夕食	・ご飯・みそ汁・コロッケ・ツナときゅうりの酢の物・漬物・ブルー
		7日	手作り昼食	・五平餅・ポトフ・法蓮草と梅のオーリーブ和え・イチゴ
		14日	手作りおやつ	・つやぶくさ
		20日	手作り昼食	・二色ぼた餅・お吸い物・炊き合わせ・大根なます・フルーツゼ
		26日	バイキング	・変わり交ぜ寿司・オムライス・中華ぶかし・そうめん汁・パスタスープ・ラーメン・タラの塩昆布蒸し・ステーキ・エビのスイートチリソース・ナスのツナマヨネーズ焼き・ホイコーロー・里芋の揚げ出し風・まんじゅう・ワッフル・マンゴーブリン
		28日	手作り昼食	・ふくれ菓子



## 7. 運営推進会議の実施状況

地域密着型サービス事業所の運営を透明性のあるものにし、サービスの質確保と向上を図り、地域資源として機能していくために、各関係機関及び地域の代表者を委員として運営推進会議を開催。新型コロナウイルスにより感染予防を図るため集会による開催を見送り書面による情報提供を及び報告を行い委員各位から意見・要望を収集した。

年月日	内容	開催主体	出席者
令和2年10月5日	①令和2年度第1回から3回まで（4月、6月、8月分）情報提供、報告 ②今年度、運営推進会議の取り扱いについて ③委員の委嘱について ④運営推進委員より意見収集（書面にて）	蔵ハウス大船渡まちぐるみ合同	大船渡市生活福祉部長 寿社会課課長 入居者の家族 本町公民館長 商店街代表 福祉の里指定居宅介護支援事業所所長 施設職員
令和3年3月25日	①令和2年度第4回から6回まで（10月、12月、2月分）情報提供、報告 ②外部評価の報告 ③新型コロナウイルスの対応について ④運営推進委員より意見収集（書面にて）	蔵ハウス大船渡まちぐるみ合同	〃

## まちぐるみ 1年間の様子



## まちぐるみ 1年間の様子



敬老会



外部評価



バスハイク(足湯)



指導監査



バスハイク(日頃市方面)



クリスマス・忘年会



正月行事



小正月



令和2年度

## 事 業 報 告

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

大船渡市デイサービスセンター

## 令和2年度の事業を振り返って

### ～“明るく、元気で、健康で!!”主役は利用者の皆様です。～

令和2年度は定員30名に、東日本大震災による特例として対象となる被災者3名を加えての1日33名までの受け入れで営業を行いました。

令和2年度の利用者数は延べ11,150名、1日平均30.5名の利用で、前年度と比較して、1日平均0.7名の増加となりました。令和2年度は安定した集客を大きな目標として掲げ、その一方では新型コロナウイルス感染症への対応に追われながら始まった1年でありました。

まず、新規の利用者を獲得し、安定した稼働率を確保するために、職員一人ひとりの集客意識を高めることから始まり、職員会議では新規利用者の登録状況や利用実績等を確認しながら経営感覚の大切さについても認識するように努めました。利用実績に関しては、本部と連携しながら、稼働実績の数値をその詳細内容がわかるよう、資料の「見える化」を図りました。また、市内の地域包括支援センターや居宅介護支援事業所に対して、新規利用者の紹介を促すための資料を配布し、集客にかかる営業活動を継続的に行いました。このことについては、コロナ禍での休業及び一部利用制限期間を設けた経過があったものの、昨年度比で稼働率が上昇しているという結果となったことからも、その効果はあったと考えております。

また、新型コロナウイルス感染症に関しては、本部との連携により、最新の情報を基に利用者の安全確保を第一に、スタッフの行動指針を明確にして感染媒体となることが無いように指示を徹底しました。さらに、利用者の家族等で感染拡大地域への移動や帰省される等の情報に関しては、関係部署や機関と緻密に連携しながら収集するとともに、前日の段階での健康状況や他地域への外出状況等を詳細に聞き取りながら、水際での感染防止対策を徹底しました。その結果、新型コロナウイルス感染症を始めとする、他の感染症への罹患者も1年を通して無く経過することができます。

通所サービスの役割は、在宅高齢者の社会的孤立感の解消、一人ひとりが持つ身体機能維持向上、また、利用者様、ご家族様の身体的、精神的負担の軽減であり、これらの実現に向けて目標を掲げ努力をしてきました。さらに今後深めていかなければならない課題として、科学的根拠に基づくパーソナルケアの実践があります。個人の尊厳の大切さに注目し、利用者一人ひとりのこれまでの人生の歴史が手に取るようにわかることで、その人らしさを大切にしたケアが提供できるように努めてまいります。

当センターは、富美岡荘よりその介護力と実践力を継承し、山崎シゲ会長の目指す、地域福祉の拠点づくりの一端を担うべく今年度も事業を開拓してきました。『“明るく、元気で、健康で!!”主役は利用者の皆様です。』のテーマ通り、主役である利用者の皆様が気持ちよく1日を過ごし、次回利用への活力となることで健康で明るい在宅生活が継続できるように、スタッフの資質の向上を図りながら地域の社会の一助となるべく今後も精進してまいります。

大船渡市デイサービスセンター  
所長 金野 晃

## 1 各係の業務実施状況

### (1) 総務相談係

令和2年度も昨年に引き続き利用定員 30 名のほか、東日本大震災以降続いている 3 名分の被災者利用受入れを実施した。今年度の利用中止者は 31 名（うち施設入所 9 名、亡くなった方 15 名）あった。新規利用者は 48 名で昨年度より 3 名減となったが、登録利用者数は 150 名（うち被災者枠の利用者は 21 名、昨年度は 16 名）となり、昨年度に比べ 14 名の増となっている。令和元年度の稼働率は 101.6%（最大値 9 月 108.5%）となり、前年度の 99.4% より 2.2 ポイント高い数値で推移した。

5月4日と5日の2日間、新型コロナウイルス感染症に係るセンター内の室内環境を整える作業のため休業とした。また、2月に入り市内での新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したことにより、2月7日から19日まで、一部利用制限を行ったうえでの営業となった。このうち2月7日と11日の両日を休業として対応した。なお、今年度は台風等の自然災害による営業の休止は無く経過することができた。

新型コロナウイルス感染症による対応に追われる 1 年となったが、本部の方針と指示に基づき、最新の情報を得ながら適切かつ迅速に対応することで、その他の感染症にも罹患する利用者と職員もなく一年を終えることができた。また、感染拡大地域から帰省される利用者の家族等に対しては、抗原検査の実施もしくは 2 週間の健康観察期間を経てからの利用再開を徹底するなど、施設としての方針を明確して対応した。さらに、利用前日には、生活状況や市外との往来など感染リスクにつながる情報の収集を徹底し、危険回避の対応を毎日行った。

今年度は、昨年度の反省を踏まえ、新規の利用者を確保するため営業活動を徹底した。利用稼働率の数値が読み取れる資料を作成し、職員に対して経営に係る意識向上の啓発を図るとともに、市内の居宅支援事業所や地域包括支援センターに対しては、定期利用枠の空き情報を掲載したインフォメーションを配布し、集客につなげるための活動を展開し、一定の成果が得られたと思われる。

体調や体力面、地域的な事情等のため、他の施設での受け入れが困難であったり、短時間での利用が条件となる利用者も積極的に受け入れた。今後も利用者が必要とするサービスが、必要な時に提供できるよう、これまで以上に魅力あふれるサービスの提供に努めたい。

## (2) 介護係

コロナ禍においても利用者が心身機能の維持と活性化を図ることができるよう毎日の業務を展開した。また、センターでの交流を通して、利用者一人ひとりが生き生きとした社会性を確保し、孤立感を解消するとともに、ご家族の身体的・精神的負担の軽減を図ることで、家族の生活環境が円滑で安定的なものとなるよう努めた。

入浴は、身体の清潔保持を第一に、安全安楽で快適な入浴が提供できるように心がけた。また、看護係と連携し身体状態の変化の早期発見に努め、家族や担当ケアマネジャーへの報告と情報提供に繋げることができた。

食事は、季節を感じることができるバラエティーに富んだメニューの提供に努めた。春には「お花見」、夏には「清涼感」、秋には「紅葉狩り」、冬には「体が温まる」等その時々の季節感を大切に見た目にも、食べても美味しい食事を楽しんでいただけるよう給食委託業者との協力と連携のもと創意工夫し提供した。また、利用者様個々の身体状況に合わせた食事形態や療養食等を幅広く提供することができた。

アクティビティ及びレクリエーションに関しては、コロナ禍でもあり飛沫を伴う内容の活動を控えて実施した。そのような状況においても、懇談会等を通して、可能な範囲内で利用者様の要望を取り入れ、楽しんで心身の活性化が図れる内容をスタッフが検討し、プログラムを作成しマンネリ化しない内容で実施できたことは、来年度以降の活動にも活かせると思われる。

介護係の役割として、通所することが楽しみとなっていただけるよう、スタッフ一人ひとりが「気づきの介護を大切に」の意識をもってサービスを提供し、『毎日が心に残る一日』となるように努めていく。

### (3) 看護係

年度当初より新型コロナウイルス感染症を始めとする他の感染症にも対応するため、一年間、季節にかかわらず、感染対策を徹底して行った。センター到着後の玄関先での手指消毒及びうがいの他、センター内と送迎車両の衛生管理について徹底指導した。また、食事前及び午後のおやつ時の前にも手指消毒を行うとともに、おしほりを提供し衛生面の確保に努めた。おしほりに関してはより高い安全性を考慮し、年度途中より使い捨てタイプの紙おしほりを使用して一層の衛生管理に努めた。施設内環境においては、プレミアム電解水の噴霧とオゾン発生装置を設置し、定期的な換気を行いながら室温・湿度の調整に十分な配慮と対応を行い安心で安楽な室内環境の確保に努めた。また、利用者・職員ともに、送迎車両内及びセンター内での常時のマスク着用を徹底するとともに、テーブル上にはアクリルパーテーションを設置し利用者間の飛沫感染予防に努めた。

一方、職員自身が感染症等の感染媒体となることがないよう、年間を通して自己の健康管理を徹底するよう指導を続けた。その結果、当センターを介しての感染症の発症は一切無く、利用者様、職員ともに健康状態を維持して年度を終えることができた。

職員の健康管理として、年2回の職員健康診断とストレスチェックを実施し、職員への健康指導を行った。

施設内研修では、主に新型コロナウイルス感染症に関する最新情報や対応策等に関する内容を中心に指導を行い、職員の意識向上に繋がるよう努めた。

日頃から利用者様一人ひとりの顔色や身体の特徴、食事摂取の状況、入浴時の全身観察により身体状態を注意深く確認し、大きな変化や異常が見受けられた場合には、速やかにご家族や担当ケアマネジャーに連絡し、早めの帰宅や病院への送致対応を行った。

今年度も利用者様個々の身体状態に合わせた、レクリエーションや口腔機能体操等を実施することで、ADL（日常生活動作）の低下を予防し、残存機能の維持を図り、自宅での在宅生活を継続できるように援助した。

今後もセンター単独での看護体制には限度があるため、隣接する法人内の施設の看護担当者と必要時には連携し、協力を得ながら利用者様へのサービス提供を心掛けたい。

新年度に向けては、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を中心に法人内の看護職員との連携・情報交換を密に行い、看護職としてのスキルアップを図り、利用者様にとって、センターが安心安楽で快適に過ごせる空間を提供できるよう努める。

## 2 職員研修実施状況

### (施設内研修)

年月日	研修内容
令和2年4月	新型コロナウィルス感染症について
5月	新型コロナウィルス感染症について
6月	新しい生活様式における熱中症予防行動
7月	C型肝炎について
8月	熱中症を疑ったときに何をするべきか
9月	高齢者入所施設での感染症対策について
10月	ALS(筋萎縮性側索硬化症)について
11月	汚物処理における防護具の着脱手順
12月	新型コロナウィルス感染症の施設内での感染症対策
令和3年1月	嘔吐物の処理方法について
2月	ガウンテクニックについて
3月	正しい換気方法について

### (外部研修)

当該年度の実績なし

## 利用者の状況

### (1)月別利用状況

令和2年度 の年間利用者数は11,150名、1日平均 30.5名で稼動した。

(単位 : 名)

日／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	31	32	27	33	31	32	31	31	33	23	33	32
2	31	27	31	33	32	32	33	33	33	25	33	30
3	29	29	32	31	33	33	31	32	33	31	32	32
4	30	0	32	29	30	33	33	33	33	32	29	30
5	32	0	33	31	33	33	33	32	33	29	31	33
6	26	32	33	27	33	33	32	33	33	33	32	31
7	31	33	31	29	33	32	33	30	33	27	0	33
8	28	32	26	32	33	32	33	32	33	31	13	31
9	33	31	26	31	33	33	31	33	33	30	18	31
10	30	31	33	30	33	33	30	32	33	32	14	30
11	30	28	30	29	32	33	33	32	33	33	0	32
12	30	32	33	27	33	32	33	30	33	33	16	33
13	27	33	33	29	31	33	33	32	32	33	15	31
14	31	28	27	28	27	33	33	33	33	33	33	33
15	31	28	29	33	26	31	32	32	32	33	29	31
16	33	29	30	29	30	33	33	31	33	31	29	31
17	29	28	32	33	32	31	31	29	32	33	24	33
18	32	28	28	31	31	33	32	32	32	32	26	31
19	24	28	32	31	32	32	30	32	30	31	22	33
20	28	32	31	30	31	33	31	32	33	33	25	27
21	29	31	26	26	32	33	33	30	33	32	31	33
22	33	25	32	33	29	33	31	31	33	31	33	32
23	29	31	30	33	31	33	33	33	33	31	31	31
24	30	27	33	33	32	32	32	32	33	33	31	33
25	28	26	33	33	27	32	33	33	33	33	27	32
26	30	29	32	33	32	33	33	31	32	31	28	32
27	27	30	32	32	30	33	33	31	33	33	24	30
28	31	30	30	31	33	33	33	30	33	33	30	31
29	32	28	30	33	30	33	30	32	32	33	—	28
30	30	25	31	31	31	32	30	32	32	32	—	27
31	—	33	—	33	32	—	29	—	29	33	—	29
合計	895	856	918	957	968	977	991	951	1,009	973	689	966
1日平均	29.8	27.6	30.6	30.9	31.2	32.6	28.9	31.7	32.5	31.4	24.6	31.2
令和2年度稼働率	99.4%	92.0%	102.0%	102.9%	104.0%	108.5%	106.5%	105.6%	108.4%	104.6%	82.0%	103.8%
前年度稼働率	102.3%	98.3%	98.3%	101.0%	101.3%	104.7%	96.3%	99.0%	103.3%	94.3%	98.0%	95.7%

令和2度年間稼働率	101.6%
前年度年間稼働率	99.4%

(2)登録者年齢構成

令和3年3月31日現在(単位:名)

年齢区分	男	女	計
64歳以下	0	0	0
65~74歳	0	1	1
75~79歳	2	4	6
80~84歳	8	15	23
85~89歳	13	34	47
90~94歳	10	37	47
95~99歳	2	20	22
100歳以上	0	4	4
合計(名)	35	115	150

(3)利用者介護度登録状況 ※総合事業対象者含む

令和3年3月31日現在(単位:名)

区分	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合計
男	0	2	2	8	12	6	2	3	0	35
女	2	10	23	26	25	12	13	3	1	115
合計(名)	2	12	25	34	37	18	15	6	0	150
前年度	3	14	21	26	28	16	14	9	2	133

平均介護度 1.92

(4)新規利用受入れ状況

(単位: 名)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(名)
新規利用受け入れ	6	3	5	2	1	4	2	6	5	6	1	7	48

(5)利用中止状況

(単位: 名)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(名)
死亡	2	2	1	1	0	0	0	2	2	4	0	1	15
施設入所	1	0	1	0	0	1	1	1	1	1	0	2	9
体調不良(入院・通所不可能)	0	2	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	5
他事業所への変更	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
転居・その他	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	3	6	3	1	0	1	1	3	4	6	0	3	31

## 日常活動実施状況

月	活 動 内 容		
4	レク体操・口腔機能向上体操 室内ゲーム(物送りゲーム) お花見バスハイク	利用者懇談会・お茶会 誕生会・選択食 漢字クイズ(魚編)	カラオケ会(童謡) 脳トレクイズ(ことわざ) テーブルゲーム
5	レク体操・口腔機能向上体操 藤棚・箱根山バスハイク 音楽レクリエーション体操	室内ゲーム(風船バレー) 漢字クイズ(野菜編) 室内ゲーム(魚釣り)	誕生会・選択食 利用者懇談会・お茶会 回想映像鑑賞
6	レク体操・口腔機能向上体操 漢字クイズ(動物編) 誕生会・選択食	バスハイク(ド根性ポプラ) バスハイク(尾崎岬) 室内ゲーム(ゲートボール)	利用者懇談会・お茶会 音楽レクリエーション体操 室内ゲーム(ダーツ・紐通し)
7	レク体操・口腔機能向上体操 団扇づくり 七夕飾り作り	バスハイク(夏虫山) 誕生会・選択食 室内ゲーム(輪投げ)	利用者懇談会・お茶会 縁日遊び(射的・くじ引き等) カラオケ会(歌謡曲)
8	レク体操・口腔機能向上体操 スイカ割 避難訓練	室内ゲーム(パーdeゴルフ) 誕生会・選択食 昔話読み聞かせ	機能訓練体操 脳トレクイズ(ことわざ) 盆踊り大会
9	レク体操・口腔機能向上体操 敬老と健康を祝う会・誕生会 バスハイク(高田方面)	脳トレクイズ(間違い探し) 文化祭作品づくり 機能訓練体操	利用者懇談会・お茶会 寺町一座チンドン交流会 DVD鑑賞(市内五年祭)
10	レク体操・口腔機能向上体操 誕生会・選択食 脳トレーニング(地理問題)	ミニ運動会(人間玉入れ) 室内ゲーム(輪投げ) 消防訓練	利用者懇談会・お茶会 紅葉バスハイク 文化祭作品づくり
11	レク体操・口腔機能向上体操 バスハイク(綾里方面) 脳トレーニング(イラスト記憶)	室内ゲーム(風船バレー) りんご狩りバスハイク 誕生会・選択食	利用者懇談会・お茶会 DVD鑑賞(歌謡曲) ミニ文化祭(作品展示会)
12	レク体操・口腔機能向上体操 機能訓練体操 クリスマス装飾作り	カレンダー作り クリスマス・忘年会・誕生会 餅つき大会	利用者懇談会・お茶会 脳トレーニング(単語・動物) 正月飾りづくり
1	レク体操・口腔機能向上体操 正月遊び(福笑い) 小正月飾りづくり	福引き大会 水木団子作り 書初め	利用者懇談会・お茶会 音楽レクリエーション体操 室内ゲーム(紙積上げ)
2	レク体操・口腔機能向上体操 民話読み聞かせ 機能訓練体操	脳トレクイズ(言葉探し) 選択食 室内ゲーム(鬼福ボーリング)	利用者懇談会・お茶会 DVD鑑賞(ちんどん) 音楽レクリエーション体操
3	レク体操・口腔機能向上体操 脳トレーニング(連想クイズ) 昔話読み聞かせ	蓄音機鑑賞( ) 機能訓練体操 雛祭り振袖写真撮影会	利用者懇談会・お茶会 脳トレーニング(昭和の生活) DVD(岩手のお祭り)

# デイサービスセンター1年間の様子



【お花見バスハイク】

令和2年4月12日



【もの送りゲーム】

令和2年4月21日



【魚釣りゲーム】

令和2年5月11日



【風船バレー】

令和2年5月20日



【音楽レク】

令和2年6月18日



【ゲートボール】

令和2年6月28日



【縁日】

令和2年7月9日



【野外食】

令和2年7月31日

## デイサービスセンター1年間の様子



【スイカ割】

令和2年8月12日



【盆踊り】

令和2年8月14日



【敬老会】

令和2年9月16日



【文化作品作り】

令和2年9月28日



【ミニ運動会】

令和2年10月6日



【カラオケ会】

令和2年10月26日



【山崎杯 輪投げ大会】

令和2年11月12日



【ミニ文化祭作品展示】

令和2年11月26日

## デイサービスセンター1年間の様子



【クリスマス忘年会】

令和2年12月17日



【餅つき】

令和2年12月26日



【お正月遊び】

令和3年1月1日



【水木団子作り】

令和2年1月13日



【鬼福ボーリング】

令和2年2月1日



【DVD鑑賞】

令和3年2月18日



【蓄音機鑑賞会】

令和3年3月12日



【機能訓練対応】

令和3年3月23日

令和2年度

## 事 業 報 告

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

小規模多機能型居宅介護施設 ひころいちの郷

## 令和2年度の事業を振り返って

### パーソナルケアで自分らしく ～地域とともに気づきのケア～

令和2年度は、平成27年に開所から5年目を迎える、「パーソナルケアで自分らしく～地域とともに気づきのケア～」をテーマとして掲げ、山崎シゲ会長の教えである『相手の身になって』『気づきのケア』を実践するべく、多種多様の個別介護サービスが要求される中、全職員で各ご利用者様お一人おひとりに、最善のサービスを検討しながらケアプランを作成し、ご利用者様、ご家族様ともに安心してお過ごしできるように支援し、職員の配置人員に合わせて365日、日々必要なサービスを調整し、臨機応変にご利用いただけるように取り組んで参りました。

令和元年度から継続的に取り組んできた課題として、第一に上げられるのは新型コロナウイルス感染症予防対策でした。大船渡市におきましても感染者が出るなど危機感を持って予防に取り組んだ一年間でした。遠方から帰省されるご家族様には抗原検査のご協力をいただきなど、在宅で過ごされているご利用者様やご家族様、各職員、宿直者の安全を第一に考え、会長や理事長、法人本部の皆様、ご利用者様やご家族様、地域の皆様、各関係機関の皆様のご協力をいただきながら、全職員で予防に取組み、感染症などにかかることなく年度末を迎えることができました。今後もご利用者様や各職員へワクチン接種などの最新情報を伝えながら、今後も感染症予防を徹底して参ります。

また、埼玉医科大学病院緩和医療科認定臨床施設として、B I ・ D B D ・ V I 各評価の取組みについて、全世界全人類が幸せになるようにとの山崎会長や理事長の熱い思いを職員一同胸に持ち、勉強会を行い、YES・NOシートに従い取組みました。今後も、法人基本理念であります「すべては愛から始まる」の実践のため、未来の予防医学の発展のために職員一丸として取り組んでいきたいと思います。

小規模多機能型居宅介護の運営にあたり、運営推進会議の開催はコロナ禍であるため各運営推進委員の皆様のご理解とご協力をいただき、第1回から第6回まで書面議決での対応となり、各回におきまして運営状況や活動をした内容、研修内容などをご報告いたしました。その中で、感染症予防対策を取る中で、利用者様へのサービスやご家族様との交流を工夫していること、地域活動として日頃市地区公民館からの依頼により介護予防教室の講師をするなど様々な場面で地域に溶け込んで活動を行い貢献しているなど、スタッフ全員で頑張っているとの評価をいただきました。日頃市地区の皆様の優しさに触れ、感謝申し上げますと共に、これからも、会長の教えを基本として、地域の高齢者が住み慣れた地域の中でお元気にお過ごしいただけることが「ひころいちの郷」の役割とし、ご利用者様、ご家族様、地域の皆様との絆を大切にし、「愛される施設」となりますように職員一丸となって精進して参ります。

小規模多機能型居宅介護施設 ひころいちの郷  
所長 三浦くみ子

# 1 各係の事業実施状況

## (1) 総務相談係

令和2年度は、登録者中止者は18名で、その内訳は、施設入所者が5名、病院入院者が9名、居宅介護支援事業所へ連携した人数が4名でした。その中には要介護認定の結果が「非該当」となり、一般介護予防事業で介護サービスが利用出来るように居宅介護支援事業所へ連携したケースもあった。また、自宅で看取りを希望された利用者があり、在宅のケアマネジャーと連携をして希望に沿い体制を整えたケースもあった。新規登録者は18名で、登録中止者と同じ人数を確保した。介護給付費の請求事務は、法令遵守しながら月々の請求を確実に行った。6月の人事異動により職員11名体制から10名体制となり、常勤換算法に従い職員の配置人員に合わせた利用者数の調整を日々行うなど実績につなげるように努めた。

パーソナルケアの実践を目指し、登録前の実態調査には初回アセスメント用紙を用い、写真も取り入れ作成し、職員全員に周知できるように努めた。個々のニーズに合ったケアプランを作成し、小規模多機能型居宅介護の強みを生かした「通い」「泊まり」「訪問」を組み合わせたサービスを提供し、毎日のミーティングやケース会議、職員会議等で利用者一人ひとりのケアについて見直しをかけ、介護課と連携を行い、連携ノートを活用しながら周知に努め適切なケアにつなげた。B I、D B D、V Iの各評価の勉強会を行い実施したが、在宅ならではの課題があり、継続的に改善策の検討を行う方向で取り組んでいる。

新型コロナウイルス感染症予防対策について本部からの対応策などの情報や指示を職員間で周知徹底し実施した。遠方からの家族の帰省時の抗原検査の実施、利用前と当日の体調の確認を利用者本人や家族の協力により行い、感染症予防を図った。

新型コロナウイルス感染症予防を優先し、地域との交流を図ることがほとんど出来なかつたが、クリスマスカードを利用者と一緒に作成し、保育園や小学校へプレゼントし喜ばれた。お返しとして保育園や小学校からもカードなどをいただき、間接的な交流でしたが、利用者の皆様と一緒に喜びを感じあうことが出来た。

毎月、様々な行事や活動を企画し楽しんでいただけるように努めた。職員は各種必要な内部研修を実施しや外部研修への参加により職員の資質の向上を図り、地域貢献の一環として、日頃市地区公民館の依頼により介護予防教室の講師を務めるなど、1年を通しての各活動行事内容などを運営推進会議において報告(第1回から第6回まで書面議決で対応)し、概ね良好との評価をいただいた。今後も継続的に利用者及び家族の健康と生活を守り、地域のために貢献をしていきたいと考えている。

## (2) 介護係

令和2年度は、日々の記録や連絡ノート等を活用し、職員間で利用者の身体的な状況の変化等を他職種含め連携をしながら情報の共有に努め、相手の身になって寄り添いながら行うパーソナルケアの実践に努めた。また、令和2年度より導入されたB I ・ D B D ・ V Iについて研修会を実施し、内容の理解に努め評価を行った。在宅ならではの疑問点などもあり、今後の課題として次年度引き続き職員一同で取組んでいきます。

具体的なケア内容として食事については、栄養士と相談をして利用者の状態に合わせた食事形態の提供や個々の嗜好に合わせた安全な食事を提供することができた。排泄については、プライバシーに配慮し、一人ひとりの生活リズム、身体状況に合わせて個別に対応した。入浴については、くつろぎと清潔保持のため、温度や入浴時間等を伺い希望を取り入れながら計画的な入浴対応ができた。また、多機能なサービス利用を活かし、「通いサービス」は、利用者個々に合った時間で食事や送迎などの提供を行い、「宿泊サービス」は、利用者が安心して宿泊できるよう家庭的な雰囲気を作り、身体状況に合わせた支援を行い、ご家族の介護負担の軽減に努めた。「訪問サービス」は、24 時間体制で利用者の状態に合わせた支援を提供した。特に夏の暑い時期や体調の変化が懸念される場合など訪問や電話での安否確認を実施し、利用者が安全で安心して在宅生活を過ごせるよう支援した。

新型コロナウイルス等の感染症対策として、本部からの情報や指示に従い、マスクの着用、利用者、来所者、職員等のうがい、手洗い、検温の実施、施設内や公用車内の消毒を徹底的に行い感染症予防に努めた。また、各テーブルにパーテイションを作成設置し、利用者の飛沫感染の予防を図った。他職種とも連携し、利用前日や利用当日の体調等の聞き取りや活動を記録し、万一感染症が発生した場合に接触者などの追跡が出来る様に努めた。

目標としている「地域に愛される施設」としては、感染症対策の為、例年通りの地域との交流が困難なことから、利用者が作成したプレゼントの贈呈や学校行事の際に一定間隔の距離を保ちながらの見学等、間接的な試みで地域との交流に努めた。

一年間、各研修を行い職員の資質の向上に努めた。各月々の行事等では、コロナ禍でも楽しんでいただけるように職員で検討し、手作りおやつやバスハイク、ころ柿つくりなど小規模多機能型居宅介護ならではの季節を感じていただける内容を、日常の過ごし方を中心企画して取り組むことができた。

相談課・看護係と連携し、家族と連携を密に行い、各利用者や家族の体調の変化に留意しながら今後も感染症予防を継続し、利用者、家族が安心して利用していただけるように努めていく。

### (3) 看護係

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防などの感染症予防対策を徹底して行った年でした。最新の情報をキャッチするように努め、法人本部からの情報や指示に従い、利用者や職員の健康管理および全身状態の観察を行い、感染の予防の強化を図った。具体的には、家庭内や施設内での毎日のうがい・手洗いの徹底、午前と午後の体温測定、マスクの使用、利用前日と利用当日の体調不良の有無や市街への往来の有無などの確認など利用者及び家族へお願いし、体調の観察を行なった。また、職員や宿直者、職員や宿直者の家族、業者の協力を得て健康チェックを行い、人の集まる場所などに出歩かないなど媒体となならないように努めた。施設内や公用車用の消毒に係る各薬品の管理や加湿を行い、施設内の床や手すりなどの掃除と消毒を徹底し、また、施設内の午前・午後の換気を行い、施設内の室温、湿度調整に配慮した。送迎時や訪問後にはアルコールを持参し、その都度消毒を行った。飛沫予防対策としては、各テーブルやカウンターにパーティションを設置して食後に消毒を行った。

当施設は在宅サービスの施設であり、「通い」「泊まり」「訪問」の各サービスを通して在宅時や施設利用時のバイタルチェックを実施し、利用者の健康状態の把握を行い、職員間で密な連携により、異常の早期発見・早期治療につなげるよう支援し、家族や主治医などの医療機関との連携を図った。令和2年度は、体調不良や施設内で転倒により骨折し救急搬送をしたケースがあり迅速に対応した。家族への連絡と救急隊及び救急センター医師への連携を適切に行う事が出来た。利用者ご自身で薬の管理が難しい方には施設での管理を徹底した。季節性インフルエンザワクチンの予防接種については、その都度ご家族に協力をお願いし、職員についても実施した。

職員の健康管理として年2回職員の健康診断を実施し、健康指導を行った。

生活リハビリテーションについては、本人の希望や家族の要望に応じて、日常の生活動作、生活のあらゆる場面で「自立」を目指し、ADLの低下を予防し、残存能力を維持する事に努め、在宅生活を継続できるよう支援した。B I・D B D・V Iの評価を実施し、研修会を通してアセスメント能力の向上に努めた。また、医療専門職の役割として、感染症予防、嘔吐物の処理、急変時の対応等について研修会を開催し、職員に周知徹底を図り、職員の資質向上に努めた。特に令和2年度は、感染症に対するシミュレーションを実施し、感染症予防に力を入れた。

令和3年度は継続的に転倒事故や感染症の発生もなく、利用者、職員ともに安心・安全な日々を過ごせる施設を目指して対応をしていきたいと考えている。

## 利用者の状況

令和2年度も、職員の配置人員に合わせたご利用者数を日々調整し、通い・訪問・宿泊サービスを柔軟に組み合わせたサービスの提供を行った。新規登録者は全員在宅のご利用者で、登録解除者は入院や他施設へ移動されるケースが多い状況であった。

### (1) 登録者数（延べ人数）

単位：人

性別・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
男性	4	5	4	5	4	4	3	4	5	5	7	7	4.8
女性	20	19	19	19	19	19	19	21	19	17	18	18	18.9
合 計	24	24	23	24	23	23	22	25	24	22	25	25	23.7

### (2) 新規登録者

No.	登録日	氏 名	登録前	No.	登録日	氏 名	登録前
1	4月1日	K・S様	在宅より	10	11月11日	S・F様	在宅より
2	4月21日	K・S様	在宅より	11	11月18日	I・S様	在宅より
3	5月1日	O・K様	在宅より	12	12月23日	O・A様	在宅より
4	5月1日	O・Y様	在宅より	13	12月27日	S・T様	在宅より
5	6月8日	K・K様	在宅より	14	2月6日	S・Y様	在宅より
6	6月8日	N・M様	在宅より	15	2月23日	T・T様	在宅より
7	7月29日	M・K様	在宅より	16	2月23日	T・T様	在宅より
8	10月7日	T・H様	在宅より	17	3月13日	K・S様	在宅より
9	11月1日	K・R様	在宅より	18	3月29日	Y・T様	在宅より

### (3) 登録解除者

No.	登録解除日	氏 名	登録解除後	No.	登録解除日	氏 名	登録解除後
1	4月19日	K・S様	百年の里へ	10	11月21日	O・K様	在宅へ
2	5月15日	N・S様	大船渡病院へ	11	11月26日	I・K様	大船渡病院へ
3	5月24日	N・M様	気仙苑へ	12	12月7日	T・H様	大船渡病院へ
4	5月28日	S・Y様	大船渡病院へ	13	12月20日	S・T様	大船渡病院へ
5	5月31日	H・A様	大船渡市デイへ	14	2月1日	Y・T様	大船渡病院へ
6	7月22日	O・Y様	大船渡病院へ	15	2月1日	I・S様	百年の里へ
7	9月19日	K・K様	大船渡病院へ	16	3月6日	R・S様	優久苑へ
8	9月26日	N・M様	大船渡病院へ	17	3月18日	K・S様	在宅へ
9	11月5日	O・K様	蔵ハウスへ	18	3月31日	Y・T様	在宅へ

## (4) 利用延べ人数

単位:人

月	通い		泊り		訪問	
	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均
4月	449	14.97	269	8.97	81	2.70
5月	448	14.45	276	8.90	127	4.10
6月	411	13.70	268	8.93	143	4.77
7月	428	13.81	279	9.00	104	3.35
8月	423	13.65	279	9.00	81	2.61
9月	399	13.30	269	8.97	63	2.10
10月	411	13.26	279	9.00	27	0.87
11月	399	13.30	269	8.97	23	0.77
12月	404	13.03	275	8.87	24	0.77
1月	400	12.90	278	8.96	26	0.84
2月	359	12.82	250	8.93	47	1.68
3月	403	13.00	276	8.90	144	4.65
合計	4,934	13.52	3,267	8.95	890	2.44

## (5) 年齢別利用状況

単位:人

月・年齢	~64	~69	~74	~79	~84	~89	~94	~100	合計
4月	1	1	0	0	3	10	4	4	23
5月	0	1	0	0	2	9	4	6	22
6月	0	1	0	1	2	9	4	6	23
7月	0	1	0	1	3	8	5	5	23
8月	0	1	0	1	3	8	5	5	23
9月	0	1	0	0	3	8	4	5	21
10月	0	1	0	0	3	9	4	5	22
11月	0	1	1	0	3	9	4	4	22
12月	0	1	1	0	4	8	5	3	22
1月	0	1	1	0	4	8	5	3	22
2月	1	1	1	0	5	6	6	3	23
3月	1	1	1	0	5	6	6	3	23
延べ合計	3	12	5	3	40	98	56	52	269

3月末平均年齢86.09歳

## (6) 要介護度別利用状況

単位:人

月・介護度	支援1	支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
4月	0	1	4	6	8	3	2	24	2.70
5月	0	1	4	8	7	2	2	24	2.57
6月	0	1	5	8	5	2	2	23	2.45
7月	1	0	4	8	6	3	2	24	2.61
8月	1	0	4	8	4	3	3	23	2.68
9月	1	0	4	8	4	3	3	23	2.68
10月	1	0	4	7	5	3	2	22	2.62
11月	1	0	4	8	4	4	4	25	2.83
12月	1	0	4	8	4	4	3	24	2.74
1月	1	0	4	8	4	4	1	22	2.52
2月	1	0	6	8	5	4	1	25	2.42
3月	1	0	6	8	5	3	1	24	2.35
延べ合計	9	3	53	93	61	38	26	283	2.60

## 2 職員研修の実施状況

年度始めに立てた施設内外の研修計画や必要に応じた研修も企画実施し、質の高いケアの提供が出来るよう努めた。

### (内部研修)

年月日	研修内容（講師）	場 所	出席者
令和2年4月5日	「法人倫理・パーソナルケアについて」（所長）	ひころいちの郷ホール	全職種 7名
4月14日	「認知症ケア・ひもときシートについて」（所長）	ひころいちの郷ホール	全職種 7名
5月8日	「食中毒について」（副主任看護師）	ひころいちの郷ホール	全職種 6名
5月20日	「コミュニケーション技術について」（所長）	ひころいちの郷ホール	全職種 7名
6月14日	「緊急時の対応について」（介護員）	ひころいちの郷ホール	全職種 5名
6月26日	「自立支援について」（係長介護員）	ひころいちの郷ホール	全職種 7名
7月27日	「認知症について」（介護員）	ひころいちの郷ホール	全職種 7名
8月25日	「介護保険制度・地域ケア会議について」（所長）	ひころいちの郷ホール	全職種 7名
9月30日	「介護施設の接遇マナー講座復命について」（所長）	ひころいちの郷ホール	全職種 6名
10月8日	「サービス評価について」（課長補佐）	ひころいちの郷ホール	全職種 7名
10月23日	「倫理・個人情報・プライバシーについて」（介護員）	ひころいちの郷ホール	全職種 6名
10月23日	「リスクマネジメントについて」（主任介護員）	ひころいちの郷ホール	全職種 6名
11月14日	「感染症・コロナウイルス感染症対策について」（看護師）	ひころいちの郷ホール	全職種 7名
11月30日	「労働安全について」（所長）	ひころいちの郷ホール	全職種 7名
12月9日	「感染症について」（副主任介護員）	ひころいちの郷ホール	全職種 6名
1月5日	「ADLについて」（所長）	ひころいちの郷ホール	全職種 6名
2月24日	「身体拘束について」（介護員）	ひころいちの郷ホール	全職種 5名
3月4日	「防災について」（係長介護員）	ひころいちの郷ホール	全職種 7名

※欠席職員には後日資料を配布し説明をして周知を図った。

### (外部研修)

年月日	研修内容	場 所	出席者
令和2年9月5日	「日頃市地区助け合い協議会研修 介護予防教室」	日頃市地区公民館	三浦・西條
9月28日	「介護施設の接遇マナー講座」	百年の里	三浦
10月8日	「感染症について」	百年の里	三浦
2月13日	令和2年度福祉関係者向け在宅医療人材育成研修	Zoomによる受講	三浦
2月16日	令和2年度岩手県認知症・介護予防他職種連携研修	岩手県産業会館	三浦
2月18日	令和2年度岩手県他職種連携推進研修会	岩手県高校会館	三浦
3月6日	第4回ACP初級セミナー	Zoomによる受講	三浦

※令和3年2月～3月の研修は、主任介護支援専門員更新研修受講要件の法定外研修として参加した。

※日頃市地区助け合い協議会・研修会は、介護予防研修の講師として参加した。

※サービス評価や事業所会議・新型コロナウイルス感染症予防のための会議は適宜実施した。

### 3 運営推進会議の実施状況

新型コロナウイルス感染症等予防の観点より事業所内での開催を見合わせ、情報提供及び報告などの運営推進会議資料を各運営推進委員へ配布し書面議決にて実施した。

年月日	内 容	配 布 先
令和2年 5月 28日	令和2年度事業計画について 令和2年3月～4月の利用状況、職員研修 利用状況及び活動状況について	小規模多機能型住宅介護施設 ひろいちの郷 運営推進委員各位
令和2年 7月 28日	令和2年度事業報告について 令和2年5月～6月の利用状況、職員研修、会議 利用状況及び活動状況について	小規模多機能型住宅介護施設 ひろいちの郷 運営推進委員各位
令和2年 9月 29日	令和2年7月～8月の利用状況、職員研修、会議 利用状況及び活動状況について	小規模多機能型住宅介護施設 ひろいちの郷 運営推進委員各位
令和2年 11月 30日	令和2年9月～10月の利用状況、職員研修、会議 利用状況及び活動状況について 小規模多機能型住宅介護施設ひろいちの郷 「サービス評価」について	小規模多機能型住宅介護施設 ひろいちの郷 運営推進委員各位
令和3年 1月 26日	令和2年11月～12月の利用状況、職員研修、会議 利用状況及び活動状況について 小規模多機能型住宅介護施設ひろいちの郷 「サービス評価」について	小規模多機能型住宅介護施設 ひろいちの郷 運営推進委員各位
令和2年 3月 25日	令和3年1月～2月の利用状況、職員研修、会議 利用状況及び活動状況について 小規模多機能型住宅介護施設ひろいちの郷 「サービス評価」総括表について	小規模多機能型住宅介護施設 ひろいちの郷 運営推進委員各位

## ひこういちの郷 1年間の様子

4月



【お花見バスハイク】



【回転寿司バイキング】

5月



【日頃市小学校田植え見学】



【母の日】

6月



【ミニ運動会】



【父の日】

7月



【スイカ割り大会】



【梅ジュースづくり】

## ひころいの郷 1年間の様子

8月



【夏祭り】



【昼食にバーベキュー】

9月



【長寿を祝う会】



【日頃市小学校稲刈り見学】

10月



【ハロウィンバイキング】



【秋の大運動会】

11月



【小さな文化祭】

## ひころいの郷 1年間の様子

12月



【クリスマス会】



【もちつき大会】

1月



【2021年 元旦】



【水木団子作り】

2月



【節分 鬼退治】



【お茶会】

3月



【ひな祭り】



【ホワイトデー】

令和2年度

## 事 業 報 告

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

富美岡荘ホームヘルプ事業所

## 令和2年度の事業を振り返って

～ お一人 おひとりに寄り添って 介護の不安を安心に ～

令和2年度、新型コロナウイルス感染症も収まらぬ中での新年度となり、毎日が緊張の一年だったと感じております。特に例年にはないほど感染症予防対策は訪問入室時の対応から対応内容を事業所内で細かく取り決めし統一を図りました。法人医務室のご協力をいただき感染しないさせないためにガウンテクニックの細かい再確認も行い連携を図りました。ディスピガウン等も優先して提供していただき大変ありがたかったです。利用者・ご家族にも検温や体調確認、場合によっては抗原検査の協力を仰ぐなど徹底させました。毎月定期的に行っていたヘルパー合同会議・研修会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためほとんど集まることができず、資料配布とし今後の情報共有の方法に課題が残ります。また、理事長のご配慮でヘルパー全員定期的に抗原検査を実施させていただきました。シゲ会長・山崎理事長から最もご配慮をいただき、また法人本部からも全面的にサポートしていただいたのはヘルプ事業所だったのではないかと感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

今年度は「お一人 お一人に寄り添って 介護の不安を安心に」をテーマに、ヘルパー一人ひとりが利用者様やご家族様に寄り添うケアを目指してきました。市内でコロナ感染者が発生した時は本当に苦渋の決断でしたが、訪問を中止せざるを得ない状況となりその時は本当に心苦しい思いでした。そのことを伝えるとあるご家族は「ヘルパーさんには来てほしいですが仕方がないですね。ヘルパーさんが来てくれるまでなんとか頑張っています。待っています。」とおっしゃっていました。その時のご家族の思いを考えると、コロナを相手にして自分達の無力さと申し訳なさと、しかしながら私たちを少なからず必要としてくださっていることに感謝の思いでした。

それから今年度は埼玉医科大学病院医療介護連携プロジェクトに参加させていただき、利用者のADL評価の重要性を改めて感じました。評価を重ねるたびヘルパー間で同じ認識を持って対応していくことで観察力が統一され質の向上につなげていきたいと考えています。

今後も収まるどころか広がりを見せる新型コロナウイルス感染症ですが、国は業務継続に向けた取り組みの推進を打ち出しています。感染症や災害が発生した場合においても介護サービスを継続して提供できる体制をどのように構築していくかが今後課題です。

富美岡荘ホームヘルプ事業所

管理者

佐々木和美

# 富美岡荘ホームヘルプサービス事業所

## 1. 令和2年度の実施概要

令和2年度は今までにない「新型コロナウイルス感染症」の流行が懸念され、在宅サービスの要である私たちヘルパーにとっては常に気の抜けない一年となった。訪問に際しては特に移らない移さないを念頭に感染予防対策の徹底をし、利用者・ご家族にも検温や体調確認の協力を仰ぎながら事業を展開してきた。市内に新型コロナウイルス感染症が発生した際は、本部と連携し法人の方針を仰ぎながら訪問調整を取り対応を図ってきた。このコロナ禍の中でも慎重に新規利用者の受け入れに努め、新規契約利用者40名年間約150名の利用者の訪問対応を行った。そのうち、入院5名、施設入所に切り替わった方6名、死去9名、その他9名の計29名が利用終了となっている。また、毎月定期的に行っていたヘルパー合同会議・研修会は、感染症の拡大防止のためやむを得ず資料配布とした月がほとんどであった。

今年度は新介護記録システムとしてブルーオーシャンシステムを導入し、訪問記録の入力を電子下敷きを用いて管理。昨年度までヘルプ事業所だけ単独のソフトだったが、本年度からは法人全体で情報共有ができるようになった。今後さらなる内容の充実を図っていきたい。

## 2. 富美岡荘ホームヘルプ事業所の概要

### (1) 事業所の種類

指定訪問介護事業所

### (2) 事業所名

富美岡荘ホームヘルプ事業所(管理者 佐々木 和美)

### (3) 所 在 地

大船渡市盛町字町6-1

### (4) 設置・運営主体

社会福祉法人 成仁会(理事長 山崎和彦)

## 3. サービスの内容

### (1)身体介護中心型

健康チェック、排泄介助、食事介助、入浴介助、整容、清拭、着脱介助、移乗・移動介助、通院介助、外出介助を主な業務としたサービスを行った。

### (2)生活援助中心型

調理(配膳・後片付け)、買い物、洗濯、衣類の整理・補修、居室の掃除、ベットメーキング、薬の受取り、用足し等を主な業務としたサービスの提供を行った。

### (3)介護予防・総合事業訪問型

身体介護・生活援助の枠は設けず、利用者と一体型のサービスを提供した。

## 4. ホームヘルパー派遣実績

### (1) ホームヘルプサービスの利用状況

①地区別利用者数(前々年度・前年度比派遣実績)

地区	大船渡町			盛町			赤崎町			立根町			猪川町		
年 度	H30	R1	R2	H30	R1	R2	H30	R1	R2	H30	R1	R2	H30	R1	R2
男 性	13	10	8	12	11	8	3	4	2	3	4	3	10	10	5
女 性	28	36	35	19	20	17	13	18	11	20	17	10	23	19	17
合計人数	41	46	43	31	31	25	16	22	13	23	21	13	33	29	22

日頃市町			末崎町			三陸町			合 計		
H30	R1	R2	H30	R1	R2	H30	R1	R2	H30	R1	R2
7	5	5	4	3	5	4	4	4	56	51	39
17	10	6	5	6	6	5	6	5	130	132	108
24	15	11	9	9	11	9	10	9	186	183	147

②月別派遣回数(前々年度・前年度比派遣実績)

区 分		4 月			5 月			6 月			7 月		
年 度		H30	R1	R2									
利 用 者 数		111	125	117	118	128	114	118	124	118	125	125	120
派 遣 回 数		1,686	1,653	1,591	1,856	1,673	1,638	1,824	1,544	1,674	1,950	1,614	1,848
(身体)		504	494	544	604	534	593	639	531	621	677	583	714
(生活)		733	571	538	749	555	531	719	511	526	783	535	539
内 訳 (身生)		247	311	246	285	285	274	245	234	281	250	221	334
(予防)		202	277	263	218	299	240	221	268	246	240	275	261
一日平均(回)		56.2	55.1	53.0	59.8	53.9	52.8	60.8	51.4	55.8	62.9	52.0	59.6

区 分		8 月			9 月			10 月			11 月		
年 度		H30	R1	R2									
利 用 者 数		128	123	121	123	124	120	126	127	124	128	126	129
派 遣 回 数		1,888	1,476	1,826	1,812	1,558	1,772	1,775	1,693	1,697	1,697	1,543	1,629
(身体)		656	458	695	599	469	685	606	522	619	575	500	613
(生活)		745	526	558	744	545	536	628	602	547	605	539	530
内 訳 (身生)		265	231	333	269	252	318	315	275	277	290	235	241
(予防)		222	261	240	200	292	233	226	294	254	227	269	245
一日平均(回)		60.9	47.6	58.9	60.4	51.9	59.0	57.2	54.6	54.7	56.5	51.4	54.3

12 月			1 月			2 月			3 月			年間平均		
H30	R1	R2												
120	128	121	123	124	122	121	125	117	123	118	117	121	124	120
1,585	1,706	1,619	1,567	1,645	1,534	1,417	1,683	1,332	1,631	1,695	1,538	1,724	1,623	1,641
515	604	611	541	600	598	437	611	493	487	627	520	570	544	608
586	559	542	577	535	524	530	519	480	599	546	516	666	545	530
269	285	198	245	295	189	224	329	182	273	280	247	264	269	260
215	258	268	204	215	223	226	224	177	272	242	255	222	264	242
51.1	55.0	52.2	50.5	53.0	49.4	50.6	58.0	47.5	52.6	54.6	49.6	56.6	53.3	53.9

## (2) ヘルパー合同会議の実施

年月日	会議内容(議題)	参加者
R2.4.24	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため資料配布とする
R2.5.25	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため資料配布とする
R2.6.25	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	後藤部長 職員ヘルパー 3名 契約ヘルパー 14名 計 18名
R2.7.22	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	後藤部長 職員ヘルパー 3名 契約ヘルパー 16名 計 20名
R2.8.25	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	本部長 職員ヘルパー 3名 契約ヘルパー 15名 計 19名
R2.9.25	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	悪天候のため資料配布とする
R2.10.26	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	本部長 職員ヘルパー 3名 契約ヘルパー 16名 計 20名
R2.11.25	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため資料配布とする
R2.12.23	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため資料配布とする
R3.1.25	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため資料配布とする
R3.2.8	①市内のコロナウイルス感染状況について ②法人としての対策・対応について ③訪問について ④契約職員の業務について	理事長 専務 本部長 他5名 職員ヘルパー 3名 契約ヘルパー 17名 計 28名
R3.2.26	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため資料配布とする
R3.3.26	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため資料配布とする

### (3) 施設内・外研修

年月日	研修名等(内部)	場所	参加者
R2.4.24	令和2年度富美岡荘ホームヘルプ事業所事業計画 事故の発生、緊急時の対応について	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため資料配布とする	
R2.5.25	介護記録の書き方について	"	
R2.6.25	厚生労働省 訪問介護職員のためのそだつたのか！感染対策(動画視聴)	介護センター	職員ヘルパー 3名 契約ヘルパー 14名
R2.7.22	接遇について	"	職員ヘルパー 3名 契約ヘルパー 16名
R2.8.25	倫理・法令遵守について	"	職員ヘルパー 3名 契約ヘルパー 13名
R2.9.25	防災について	悪天候のため資料配布とする	
R2.10.26	新型コロナウイルス感染症の感染症対策について	介護センター	職員ヘルパー 3名 契約ヘルパー 14名
R2.11.25	認知症について	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため資料配布とする	
R2.12.23	食中毒の予防について	"	
R3.1.25	訪問対応中の事故発生予防について	"	
R3.2.26	ガウンテクニック・感染予防について	"	
R3.3.26	プライバシーと個人情報の保護について	"	

年月日	研修名等(外部)	場所	参加者
R2.7.10	第1回大船渡市介護保険事業者連絡会議	総合福祉センター	佐々木和美
R2.9.14	新型コロナウイルス感染症対策に係る第2回実務担当者会議	総合福祉センター	佐々木和美 伊藤明美
R3.3.1	令和2年度介護保険施設等集団指導の書面開催	資料交付	

山崎理事長講話



ヘルパー合同会議・研修会



令和2年度

## 事 業 報 告

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所

## 令和2年度の事業を振り返って

～ 重ねてきたあなたの年月のすべてを、一緒に作るケアプラン ～

令和2年度は一言でいうと耐える年だったと感じています。  
年度初めから新型コロナウイルスの影響で、他市町村への研修会への不参加、さらには研修会の開催が大幅に減り、Web動画やZOOM開催の研修会を余儀なくされました。

「新型コロナウイルス罹患大船渡第一号にはなりたくない」  
という緊張した雰囲気が市内には蔓延しており、周りに罹患者がいない中、もしかして過剰なのかと思われるほどのサービス事業所の対応でした。遠方にいる利用者様のご家族の中にはピリピリした空気を読んで帰省せずに過ごされた方もおりました。のちに気仙管内に発症したことを考えると、過剰でもなんでもなく当たり前の対応をし、今後も継続していくことが一番の予防なのだと実感しました。

しかし新規でサービスを行いたい利用者の中には独居で近くの親せきも頼れず、遠方から帰省してくる家族の対応をどうするのか、それが最重要課題となりました。電話対応やZOOM、メールなどを活用しながら何とか対応してきたところ、法人で抗原検査キットや抗体検査キットを取り寄せていただいてからはカンファレンスの選択肢も広がり、スムーズなサービス提供にも役立ちました。利用者が高齢者であれば自ずと子供の年代も高くなります。孫世代との連絡も多い中、メールのやり取りやZOOMも当たり前になってきたこともあります。今後はSNSの活用も慎重に検討していくかなければならないのではないかと考えています。

SNSだけでなくメールやZOOMももちろんそうですが、個人情報の取り扱いには慎重にしていかないといけない為、とても難しい分野ではありますがコンプライアンスやプライバシーの研修会に積極的参加させていただき、事業内容に反映させていきたいと思います。

最近の在宅介護利用者の傾向は休みなく毎月のように新規の利用者は来ています。しかし仕事をリタイヤした後に再就職し、長く仕事をしたのちに、体調が悪くなつて病院に行くと病に侵されすでに手おくれと話される程全身にがんが進行している末期がんの人や、元気で過ごしていたのに転倒し骨折してしまい、長期の臥床生活でリハビリを行う人、認知機能の低下がみられても足腰が丈夫でADLがほぼ自立となり要支援の判定が下る人など様々です。中には病院や家族、サービス事業者とたくさんやり取りした後に、急変してしまいお会いできずに終わるケースなどもあります。

末期のがんの方は在宅で頑張りたいと話される方が比較的多く、介護量も多めでサービスも複数使いますが、期間的には短く、家族との穏やかな最期を望んでも、バタバタと忙しくなってしまいもっとできることがあったのではないか、と悔いが残ることもあります。しかし家族と本人の希望である在宅生活を継続したい、家にいたい、という願いを叶えてあげられるように今後も努力をしていきたいと思っています。

また、介護度が軽く出てしまった方でも、家族は大きな悩みを抱えているケースも多く、認知症の対応を適切なアドバイスができるように勉強し、さらにはエキスパートである介護職員の皆さんに委ねていけるように計画をしてまいりたいと思います。

また、新たに埼玉医科大学病院緩和医療科の岩瀬哲教授の医療介護連携プロジェクトに参画し実証実験に取り組む機会に恵まれました。科学的介護による介護の質の向上が図れるように我々も積極的に参加していきたいと思います。

最後に温かく見守りご指導いただいた会長と理事長に、厚く御礼を申し上げたいと思います。

大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所  
副部長 鈴木浩子

## 1 事業の実施

ご利用者の心身の状況や生活状況を勘案し、ご利用者やご家族の意向を尊重した上で、住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう本人に寄り添った計画書を作成し支援を行なった。対応困難事例や新規ケースについて多職種と協働しながら情報共有を行い事業所全体で取り組んだ。コロナ対策で研修には動画やZOOMを多用せねばならなかつたが、介護報酬改定情報の取得と熟知に努めた。特定事業所加算算定事業所として、介護支援専門員実務研修実習生の受入れを行つた。また、運営基準減算又は特定事業所集中減算の適用を受けずに適正に運営している。

## 2 主な業務内容

- (1) ケアプランの管理と評価
- (2) 各事業所との連絡調整とサービス担当者会議の運営
- (3) 介護にかかる相談業務
- (4) 介護保険関連のさまざまな手続きの申請代行
- (5) 介護サービスを利用するため必要な居宅サービス計画の作成・交付
- (6) 給付管理及び請求業務
- (7) 要介護認定訪問調査

## 3 事業実績

### (1) 指定居宅介護支援の提供

(単位:件)

	要介護認定 申請代行件数	要介護認定 訪問調査受託件数	介護サービス 給付管理件数	予防介護サービス 計画作成件数	介護保険苦情 相談件数
4月	5	1	120	29	0
5月	12	0	118	26	0
6月	9	1	118	29	0
7月	11	0	123	29	0
8月	6	0	124	28	0
9月	6	0	129	29	0
10月	8	0	128	30	0
11月	9	0	126	28	0
12月	12	1	132	28	0
1月	12	0	129	28	0
2月	9	0	124	27	0
3月	6	3	135	27	0
2年 度合計	105	6	1506	338	0
2年 度平均	8.8	0.5	125.5	28.17	0

元 年 度合計	138	4	1404	299	0
元 年 度平均	11.5	0.3	117	24.9	0

### (2) 利用者の移行状況

#### 利用者の移行先

新規受け入れ  
施設（特養・老健）入所  
小規模多機能・グループホーム  
在宅死亡  
病院入院  
その他

#### 令和元年度

年間 56 件  
年間 19 件  
年間 2 件  
年間 27 件  
年間 8 件  
年間 2 件

#### 令和2年度

年間 70 件  
年間 17 件  
年間 6 件  
年間 17 件  
年間 3 件  
年間 4 件



### (3) 居宅特定事業所会議

特定事業所加算Ⅱを取得する上で基準としている、概ね週1回の割合で利用者に関する情報またはサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達等を目的とした会議を定期的に開催することという規定に基づき、令和2年度も合計51回開催し情報の共有化と介護保険最新情報などの取得並びに周知を図った。

		(単位:人)
年月日	会議内容	参加人数
令和2年04月02日	困難ケースの検討・報告	4
04月06日	ケアマネジャーが実践する生活の場でのACP	4
04月20日	利用者を総合的に理解するために	4
04月28日	有害植物による食中毒防止の徹底について	4
05月07日	夏マスク熱中症に注意	4
05月13日	大腿骨頸部骨折の症状と福祉用具選定のポイント	4
05月19日	統合失調症の特徴	4
05月27日	入院時情報連携加算算定の取り扱いについて	4
06月03日	悪質商法・特殊詐欺への対応	4
06月08日	介護現場のハイリスク	4
06月17日	安全・快適に入浴ができる環境作り	4
06月26日	生活福祉資金貸付制度	4
07月03日	ひきこもりと精神疾患	4
07月10日	在宅医療で使える得する制度	4
07月17日	高齢者の脱水と福祉用具選定のポイント	4
07月24日	一人10万円定額給付金をめぐり大混乱した訳	4
07月31日	65～74歳で障害がある人は「後期高齢者医療制度」に移行？	4
08月03日	障害者総合支援制度によるサービス	4
08月10日	プライバシーの保護	4
08月17日	指定難病の医療費助成の申請方法について	4
08月25日	認知症介護負担を減らす9つの法則	4
09月02日	新型コロナウイルス感染症が介護・高齢者支援に及ぼす影響の調査結果	4
09月07日	高齢者権利擁護等推進事業の概要	4
09月14日	簡単な嚥下評価のやり方	4
09月24日	リハビリ視点の支援	4
09月28日	依存問題とは	4
10月05日	緊急時は起きる前の対応で決まる	4
10月12日	感情マネジメントと対人コミュニケーション	4
10月19日	ケアプランへの福祉用具の位置づけ	4
10月26日	高齢者の食事について	4
11月03日	病理医は病気全般の専門家	4
11月10日	高齢者のニーズよりも一步先を見て	4
11月18日	感情マネジメントと対人コミュニケーション	4
11月24日	特定事業所加算の中度者要件、見直しを検討	4
12月02日	高齢者のごみ出しなどの支援	4
12月09日	その人らしさをケアプランに反映する15の視点	4
12月23日	負担金の免除期間の延長	4
12月28日	エビデンス・ベースド・ケア(EBC)の視点	4
01月05日	居宅サービス費に係る自己負担額は医療費控除の対象になるのか	4
01月13日	感染症対策に役立つマスクの知識	4

年月日	会議内容	参加人数
令和3年01月20日	ケアマネの通院同行に加算新設	4
01月28日	グループホームの緊急入所	4
02月03日	大船渡市令和3年度第1号被保険者の介護保険料減額	4
02月10日	薬の相互作用	4
02月19日	大人の発達障害とは	4
02月24日	認知症予防、生活習慣の見直しで注意したいポイント	4
03月04日	全サービスで感染対策やBCP策定を義務化	4
03月10日	利用者負担金を非課税世帯に限定して免除期間を延長	4
03月16日	ケアマネ協会、サービス割合の説明義務化で負担増を懸念	4
03月23日	認知症予防で話題のリコード法	4
03月29日	サービス担当者会議、開催しない判断も可能	4

#### (4) 研修会参加状況

特定事業所加算Ⅱを取得する上で基準としている計画的な研修の実施に伴い、個別研修計画を作成し、内外の研修に参加してスキルアップと情報収集に努め研修目標をおおむね達成できています。

(単位:人)

年月日	研修名	参加人数
令和2年04月01日	※新型コロナ感染拡大防止の為研修中止	※
05月17日	新型コロナウイルスの特徴と感染症対策の基本:Web動画	1
05月27日	訪問看護ステーション	3
06月17日	認知症について:Web動画	1
06月20日	新型コロナウイルスの特徴と感染症対策の基本:Web動画	3
07月04日	メンタルヘルスマネジメント:Web動画	4
08月03日	ケアマネ支援センターへの相談事例	4
09月03日	介護報酬改定の見直し:Web動画	4
10月15日	新しい生活様式の中での医療従事者の働き方改革:Web動画	1
10月23日	在宅介護向け福祉用具新製品	3
11月14日	新しい生活様式の中での医療従事者の働き方改革:Web動画	3
11月20日	感染症対策研修プログラム:Web動画	1
12月15日	グリーフケア～みんなで考える「これからのグリーフケア」:Web動画	4
01月13日	大船渡市訪問型サービスB事業	4
02月06日	認知症ケアの基本:Web動画	4
03月09日	令和3年度介護報酬改定について	4



令和2年度

## 事 業 報 告

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

富美岡荘指定居宅介護支援事業所

## 令和2年度の事業を振り返って

### ～ あたたかい手と手をつなぐ『笑顔の和』 ～

令和2年度におきましては、山崎シゲ会長が埼玉医科大学緩和医療科の客員研究員に任命され、成仁会とグループ法人である杜の里福祉会の各施設が、同病院が進める「医療介護連携プロジェクト・病態変化感知システム」の実証実験の施設（令和3年4月から2年間）として認定を受けました。これからもご健康でご活躍されますよう、祈念いたします。

今年度も新規の相談は全てお受けして支援してまいりました。在宅で生活されている各利用者やご家族のさまざまなニーズを的確に把握することに努め、適切なケアマネジメントが行われるように対応をしてきました。独居で認知症の方が状態悪化、高齢夫婦二人暮らしで配偶者が死亡で急に独居、ガン末期の方、精神障害を持っているケースの対応が増えており、専門知識が求められることがあるため、事業所内で周知を図ることのほか、地域包括支援センターや病院関係者、薬剤師を含めた各医療関係機関、民生委員など、これまで以上に多方面の方々と連携をして、対応が滞りなくできるように努めました。また在宅支援中に入院され亡くなる方も多く、在宅で看取りたいとの家族の希望や最後まで自宅で生活したいとの利用者本人の意向に寄り添い各事業所や訪問診療の医師と連携し希望に沿った最期を迎えるよう支援してきました。

今年度は、コロナ禍ではありますが、いきいき岩手支援財団から介護支援専門員実務研修実習指導の依頼があり、居宅スタッフの協力を得ながら実習指導を無事に終えることが出来ました。市内でコロナ感染者が発生した際は、会長はじめ理事長には在宅を訪問する機会が多い私たちに、コロナウイルス感染予防に関する細やかな対策の指導や支援をいただきました。お陰様で無事に過ごすことができました。ありがとうございました。そして、機会あるごとに励ましをいただき、優しく見守っていただいた会長に感謝申し上げます。

富美岡荘指定居宅介護支援事業所  
所長 石井 千枝子

## 1 事業の実施

ご利用者の心身の状況や生活状況を勘案し、ご利用者やご家族の意向を尊重した上で、住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう本人に寄り添った計画書を作成し支援を行なった。対応困難事例や新規ケースについて情報共有を行い多職種と協働しながら事業所全体で取り組んだ。施設内外の研修へ積極的に参加し、相談援助技術の向上を図ると共に、各種制度や地域資源の掘り起しや熟知に努めた。特定事業所加算算定事業所として、介護支援専門員実務研修実習生の受け入れ体制を整えている。また、運営基準減算又は特定事業所集中減算の適用を受けずに適正に運営している。

## 2 主な業務内容

- (1) ケアプランの管理と評価
- (2) 各事業所との連絡調整とサービス担当者会議の運営
- (3) 介護にかかる相談業務
- (4) 介護保険関連のさまざまな手続きの申請代行
- (5) 介護サービスを利用するため必要な居宅サービス計画の作成・交付
- (6) 給付管理及び請求業務
- (7) 要介護認定訪問調査

## 3 事業実績

### (1) 指定居宅介護支援の提供

令和2年度

(単位：件)

	要介護認定 申請代行件数	要介護認定 訪問調査受託件数	介護サービス 給付管理件数	予防介護サービス 計画作成件数	介護保険苦情 相談件数
4月	8	2	120	23	0
5月	9	0	118	22	0
6月	6	0	120	25	0
7月	7	2	122	28	0
8月	8	0	121	28	0
9月	11	1	122	28	0
10月	14	2	122	24	0
11月	10	1	120	27	0
12月	12	4	130	25	0
1月	7	1	125	24	0
2月	3	3	125	22	0
3月	8	1	130	24	0
合 計	103	17	1475	300	0
平 均	8.6	1.4	122.9	25.0	0

令和元年度



合 計	119	37	1507	291	0
平 均	9.9	3.1	125.6	24.3	0

### (2) 利用者の移行状況

#### 利用者の移行先

新規受け入れ  
施設（特養・老健）入所  
小規模多機能・グループホーム  
在宅死亡  
病院入院  
その他

令和元年度

年間 72 件  
年間 17 件  
年間 3 件  
年間 20 件  
年間 7 件  
年間 件

令和2年度

年間 58 件  
年間 14 件  
年間 2 件  
年間 16 件  
年間 2 件  
年間 4 件



### (3) 居宅特定事業所会議

特定事業所加算Ⅱを取得する上で基準としている、概ね週1回の割合で利用者に関する情報またはサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達等を目的とした会議を定期的に開催することという規定に基づき、令和2年度も合計51回開催し情報の共有化と介護保険最新情報などの取得並びに周知を図った。

(単位：人)

年月日	会議内容	参加人数
令和2年04月06日	ケアプランの「軽微な変更」の解釈について居宅内で周知を図る	4
04月13日	妄想について居宅内で周知を図る	4
04月21日	新型コロナウイルス感染症に関わる居宅介護支援事業所の対応について長寿社会課・高橋課長補佐に相談する	4
04月24日	高額療養費制度について居宅内で周知を図る	4
04月30日	認知症者の自動車運転卒業に向けた支援について	4
05月07日	骨粗鬆症の予防と治療について居宅内で周知を図る	4
05月12日	関節リウマチについて	4
05月19日	認知症の介護にあたっての基本的な考え方について居宅内で周知を図る	4
05月27日	「ユマニチュード」の意味と内容について居宅内で周知を図る	4
05月29日	閉塞性動脈硬化症とは	4
06月05日	無気肺のリハビリ、予防、対策についてリハビリのニーズについて	4
06月12日	認知症ケアと自動車運転について情報を共有する	4
06月18日	ストレッチの種類や効果について	4
06月26日	緊急事態宣言解除後のケアマネジメントについて	4
06月29日	世帯分離によるメリットとデメリットについて	4
07月03日	自筆証書遺言の保険制度を新設	4
07月10日	高齢者の脱水について	4
07月17日	新型コロナウイルスの特徴や性質とは？について情報を共有する	4
07月22日	精神安定剤・抗不安薬の種類について学ぶ	4
07月31日	在宅ケアの役割と課題について周知を図る	4
08月03日	障害者控除について居宅内で周知を図る	4
08月12日	認知症とともに歩んでいる人の思いを実現するための専門職の工夫について	4
08月20日	高次脳機能障害について居宅内で周知を図る	4
08月27日	介護保険の高額介護合算療養費制度について	4
09月02日	感情マネジメントと対人コミュニケーションについて	4
09月13日	老人性うつについて	4
09月17日	多系統萎縮症について	4
09月23日	高齢者に多い精神疾患について	4
10月01日	新型コロナウイルス感染症対策に関わる第3回実務担当者会議	4
10月12日	～バーデン結節について	4
10月16日	がん治療の方の食事のヒントについて	4
10月23日	がんの療法とリハビリテーションについて	4
10月29日	災害時における支援について居宅内の周知を図る	4
11月06日	テクロジーの活用と認知症の人の尊厳について	4
11月13日	アルツハイマー型認知症の人の「その人らしさ」を生かし続ける自発支援の取り組みについて	4
11月20日	進行性核上麻痺について	4
11月24日	脊髄小脳変性症・ギランバレー症候群について	4
12月03日	慢性腎不全について	4
12月08日	新型コロナウイルスとその感染症について	4
12月17日	帯状疱疹と合併症について	4

年月日	会議内容	参加人数
令和2年12月24日	腎臓病の食事について	4
令和3年01月04日	在宅酸素療法を用いた日常生活上の注意点、リハビリについて	4
01月14日	死後事務委任について	4
01月21日	新規相談者について	4
01月25日	自立支援医療（精神通院医療費の公費負担）について	4
01月29日	高齢者のむくみについて	4
02月03日	胃食道逆流症の原因と対策について	4
02月12日	軽度認知障害を早期発見する重要性について	4
02月15日	糖尿病と合併症について	4
02月22日	居宅療養管理指導について	4
03月01日	家族信託について居宅内で周知を図る	4
03月08日	2021年度介護報酬改定で入浴介助加算に新設される新たな区分について	4
03月15日	コレセットの種類と特徴について	4
03月22日	原発性公リン脂質抗体症候群について	4

#### (4) 研修会参加状況

特定事業所加算Ⅱを取得する上で基準としている計画的な研修の実施に伴い、個別研修計画を作成し、内外の研修に参加してスキルアップと情報収集に努め研修目標をおおむね達成できています。

(単位：人)

年月日	研修名	参加人数
令和2年04月20日	「在宅医療」知っていますか？ DVDセミナー	4
05月27日	訪問看護花笑み 研修会	4
06月15日	新型コロナウィルスの特徴と感染症対策の基本	4
07月15日	メンタルヘルスマネジメント	4
08月31日	ケアマネ支援センターにおける相談内容から	4
09月15日	次期介護報酬改定の見直し	4
10月23日	ケアテック 福祉用具研修会	4
11月30日	グリーフケア	4
12月30日	「箱根駅伝」から学ぶ よりよい組織づくりが、よりよい人材をつくる	4
01月30日	大船渡市訪問型サービスB事業について	4
02月06日	認知症ケアの基本	4
03月09日	介護報酬改定 ポイント整理と対策	4



令和2年度

## 事 業 報 告

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

大船渡市福祉の里在宅介護支援センター

## 令和2年度の事業を振り返って

～ 4つの助（自助・互助・共助・公助）の安心窓口を目指して ～

地域の高齢者やその家族からの相談に応じて、必要な保健・福祉分野のサービスを受けられるように、行政機関や介護サービス提供機関や居宅介護支援事業所等との連絡調整を密に行い介護サービスにつなげた。市で主催する介護予防及び健康増進を目的とした元気アップ等の事業や、介護予防教室等はコロナ禍のため開催できなかつた。相談の傾向としては、末期がんや骨折後等、具体的に困っているために介護サービスをすぐに利用したいといった内容が多く、居宅にすぐにつなげてサービスを開始できるように連携をした。また、自身や家族のサービス利用渋りでサービスの利用にはつながらなかつたが、定期的に訪問をしていく方も増えている。

### 1 事業内容

#### (1) 相談窓口設置業務

地域高齢者とそのご家族からの福祉全般に関する相談を受けたり、周知活動を行ったり、情報共有の為に地域の会議などへの参加等、実態把握を通じて知った定期的な見守りが必要な方への訪問等、身近な相談窓口として利便性を高めた。

#### (2) 実態把握調査

地域包括支援センターからの依頼で実態調査を行うとともに、家族や民生委員からの要請で訪問活動を行い地域高齢者の実態把握を行い潜在的なニーズや問題の掘り起こしを行って地域包括と情報共有をしている。

#### (3) 介護予防教室・包括事業への協力

元年度は新型コロナウイルスの状況により介護予防教室は開催できなかつた。介護予防教室は出来なかつたが、地区公民館からの依頼で介護予防教室を行つた。実技の講習に富美岡荘ヘルプ事業所の職員をお願いした。今後も主催したり依頼を受けて行つたりと、地域活動の貢献に努めたい。

大船渡市福祉の里在宅介護支援センターは、平成7年10月に高齢者の介護相談と福祉サービスの利用調整を大きな目的として、大船渡市から委託を受けて開設した。

しかし、平成12年の介護保険事業の施行と同時に、介護サービスの利用調整は、居宅介護支援事業所の業務となり、在宅介護支援センターは、高齢者の実態把握調査と介護予防教室のほか、介護保険対象外の高齢者の相談窓口が主な業務となつた。

平成18年から大船渡市でも地域包括支援センターが新設され、地域住民の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行うために、介護予防ケアマネジメント事業、総合相談支援事業、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント事業等を行つており、当在宅介護支援センターはこの中の総合相談支援事業で包括の窓口（ブランチ）を担つてゐる。

また、相談支援の他に地域の高齢者の実態把握とその実態把握のために民生委員や相談協力委員の方との地域のネットワーク形成づくり、そして各種の福祉用具を展示、利用の便宜をはかっている。

令和元年度の委託事業内容は相談窓口設置業務と実態把握調査、介護予防教室だった。

① 相談者数

相談者実人数	63人
--------	-----

② 相談方法別件数

電話	来 所	訪 問	その他	合 計
26人	23人	16人	0人	65人

③ 実態把握調査

実態把握調査	17人
--------	-----

④ 会議・研修会等

年 月 日	内 容	場 所	出席者
令和2年 6月 11日	令和2年度気仙地域リハビリテーション連絡協議会	書面議決	鈴木浩子
令和2年 10月 6日	第1回岩手県沿岸地域包括・在宅介護支援センター協議会理事会	宮古市社会福祉協議会	鈴木浩子
令和2年 10月 7日	令和2年度第2回気仙地域リハビリテーション連絡協議会	書面議決	鈴木浩子
令和2年 10月 16日	在宅介護支援センター事業委託に関する打ち合わせ会	大船渡市総合福祉センター	鈴木浩子
令和3年2月 10日	第1回岩手県沿岸地域包括・在宅介護支援センター協議会理事会	書面議決	鈴木浩子
令和3年3月 10日	在宅介護支援センター事業委託に関する打合せ会	大船渡市総合福祉センター	鈴木浩子



令和2年度

## 事 業 報 告

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

社会福祉法人 成仁会 SGビル

# 社会福祉法人 成仁会 SGビル 事業報告書

## 【事業の名称】

社会福祉法人 成仁会 SGビル

## 【事業の所在地】

岩手県大船渡市盛町字町 6 番地 8

## 【事業の設立年月日】

平成 20 年 8 月 1 日

## 【事業の目的】

社会福祉法人においても、収益を目的とする事業を行うことが認められたことに伴い、法人の自立性を高める観点から、収益事業を行う。

## 【事業の種類】

- ・不動産貸しビルの経営
- ・医療検査サービスシステム事業に係る医療・健診用器材の販売等

## 【賃貸借物件】

所 在 岩手県大船渡市盛町字町 6 番地 8  
種 類 居宅・旅館  
構 造 鉄骨・木造陸屋根・瓦葺 4 階建  
床 面 積 1 階 267.63 m<sup>2</sup> 2 階 432.28 m<sup>2</sup> 3 階 207.61 m<sup>2</sup> 4 階 34.47 m<sup>2</sup>

## 【事業報告】

- ・医療検査サービスシステム事業に係る医療・健診用器材の販売実績
- |                      |         |
|----------------------|---------|
| 微量採血検査事業（ガンリスク等）     | 422 件   |
| 新型コロナウィルス抗原検査キット販売事業 | 1,932 個 |